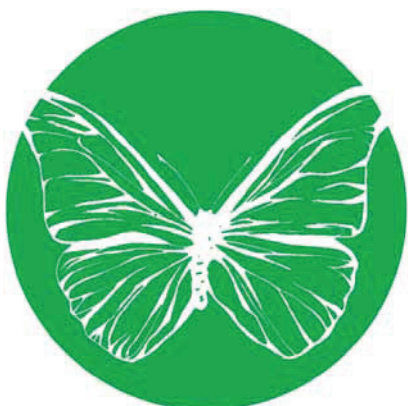
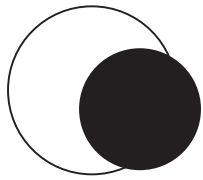


館報

2006

vol. 15





はじめに

人と自然の博物館では、2007年3月末に、「ひとはくの新展開」5年計画を終了いたしました。館員にとっては相当厳しい歩みでしたが、自ら選んだこの試行に成果をあげたものと自負しておりますし、事実内外から暖かい賛意をいただいております。

博物館の活動を県民との協働につなげる努力は着実に成果をあげております。ひとはくの館員が独自に行動するだけではなく、意識の高い人々と連携の環を構築し、定数55の館員から550余万県民に向けて、すべての人々の自然と環境にかかわる生涯学習を支援するすがたを整える方向に向け、確実な歩みを始めております。学校との連帯を強め、専門的な知識を生かしてシンクタンク機能を発揮するなど、生涯学習支援機構に期待されるはたらきを、それぞれ目に見えるかたちで遂行しつつあります。県民に開いたひとはくを標榜する活動は、いまや日本国民に、さらに世界の人々に向けた発信の拠点を築きつつあります。これらの行動を、中期計画で描いた数値目標で評価しようと、月例報告会も一度の休みもなく続けてきました。館報の本号は、5年目にどれだけの成果が上がったか、ある部分では数字で表現する報告にもなっています。

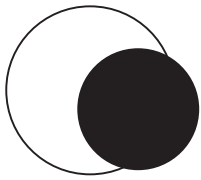
ひとはくの新展開5年目となった2006年には、恐竜化石の発見という話題も呼び込みました。発掘が進めば世界でも例がないほど保存のよすがが整うのではないかと期待さえ抱けるこの恐竜化石、一億数千万年の間静かに横たわって発掘を待っていたという神秘さだけでなく、発掘にいたるまでも、いくつもの偶然の積み重ねで安全にすがたを現したものでした。それも、ひとはくの新展開で見られた成果のあれこれが、確率の小さい偶然をいずれも完璧にとらえる効果をもたらした結果であることから眼を逸らすわけにはいきません。

博物館に収蔵されている資料の貴重さは、いっばんの人々にはなかなか理解していただけないものです。しかし、保存のよい恐竜化石が発見されれば、太古の世界に思いを馳せる人々のロマンはかき立てられ、資料に向けられる眼は躍動するようになります。せっかく与えられた天与の機会を見過ごすことはできません。ひとはくは、人々の生涯学習の意欲を喚起し、支援する役割をさらに充実させるために、これらの機会を最大限に活用し、これまでの博物館の活動をさらに前向きに展開する意欲を、新展開の第2期に向けて、もう一度初心に戻って励起しなおそうとしています。

新展開の5年間は、実際のところ、眼に見えた成果をもたらすために、しゃにむに突っ走ってきたという部分がないとはいえません。博物館はすぐれたひともものを整えた機関として機能します。もの（収蔵品）は研究対象としても展示資料としても最大限有効に活用されるべきものですし、ひと（館員）は常にその能力をリフレッシュして生涯学習支援に機能するようであればなりません。ものとひとを生かして、すぐれた生涯学習支援機構としての博物館はいかにあるべきか、その理想のすがたを求めて、ひとはくの活動はさらなる発展を期待されることでしょうし、期待に沿えるようにひとはくは前進いたします。

館報のような印刷物はとかく形式的なものに陥りやすいですが、ひとはくの館報は新展開の一環として、ひとはくの1年をより確かに表現するものにする努力を重ねてきました。この冊子から、ひとはくが何をやっているかを読み取っていただき、よりよいひとはくづくりのために、改めるべきところ、さらに推進すべきところなどをご指摘いただければこの冊子を編んだ意味も倍増するものと思います。よりよいひとはくの活動の推進のために、皆様方のご配慮とご支援を賜りますようお願いする次第です。

兵庫県立人と自然の博物館
館長 岩槻 邦男



目次

■組織及び施設概要

・沿革	4
・機能	5
・平成19年度事業計画	6
・常設展示の概要	8
・施設の概要	9
・組織と職員	12

■平成18年度事業報告

・ひとはくトピックス	16
・特別プロジェクト	20
・事業報告	24

■資料および個人別成果

○博物館概要等に関連する資料

・平成18年度 購入・寄贈資料	44
・情報システム	45
・条例等	47
・博物館協議会委員名簿	53

○個人別成果報告に関連する資料

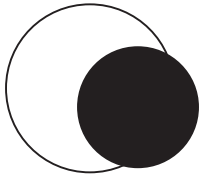
・館長	54
・名誉館長	55
・自然・環境評価研究部	56
・自然・環境マネジメント研究部	73
・自然・環境再生研究部	94
・生涯学習推進室	103
・個人成果報告一覧	106

○博物館事業報告に関連する資料

・セミナー一覧	110
・企画展等一覧	113
・企画展関連講座	114
・生徒・学生等の受け入れ状況	116
・学校教育支援プログラム	117
・平成17～18年度 2年間学校団体連続入館状況	118
・来館一般団体一覧	119
・来館学校団体一覧	124
・共催および協力事業等	127
・理数ワンダーランドひとはくサイエンスショー出展者一覧	136
・ひとはくフェスティバル '06参画団体リスト	138
・フロアサービス実績一覧	139
・外部資金導入状況	140

利用案内	142
------	-----

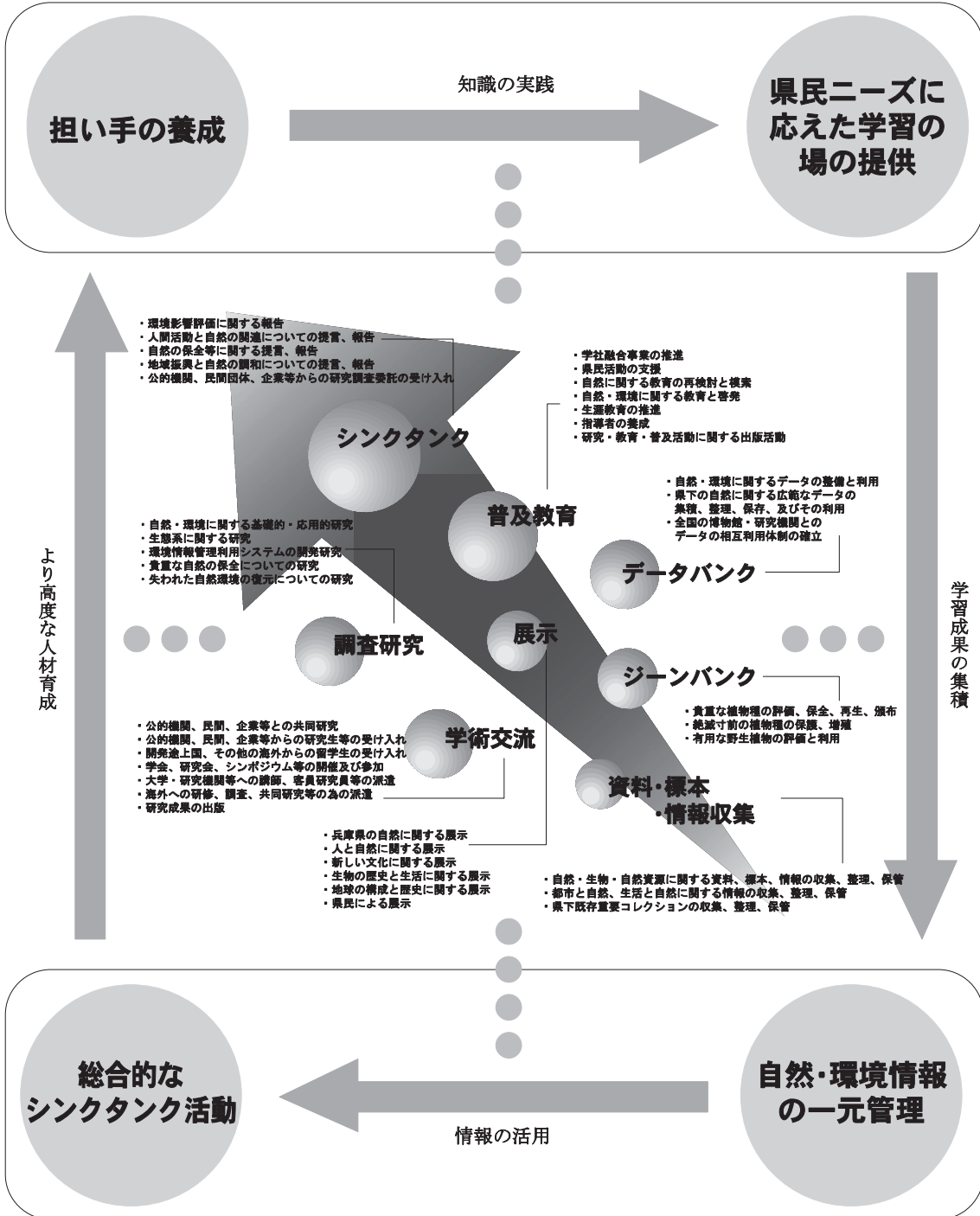
組織及び施設概要



機能

生涯学習の支援

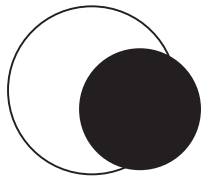
- ・展示法の創意工夫と資料の充実
- ・生涯学習実践フィールドの充実
- ・生涯学習の担い手の養成
- ・広報の充実



自然・環境に関するシンクタンク機能

- ・総合的なシンクタンク機能の充実
- ・自然・環境情報の一元管理と絶滅危惧植物の保護増殖

博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



平成19年度事業計画

展示プログラム

◆特別開館

連休や夏休みなどのお客様が博物館を利用しやすい時期は無休で開館します。

- ゴールデンウィーク（4月28日～5月6日）期間中、無休開館
- 夏休み（7月21日～8月31日）期間中、無休開館
- お正月（平成20年1月3日、4日）、新春開館

◆企画展

常設展では学べない新しい情報を学べるよう、展示物を通じて季節代わりでご用意します。

- 共生の風景 平成19年2月17日～平成19年6月10日
- 瀬戸内海のいまとむかし 平成19年7月7日～平成19年9月24日
- ひょうごのの里山 日本の里山 平成19年10月20日～平成20年1月20日
- クリプトガミック・ボタニー～隠花植物の不思議な世界 平成20年2月23日～平成20年6月8日

学習プログラム

◆フロアサービス

いつ博物館に来てもしっかり学べるよう、フロアスタッフが毎日日替わりの楽しいプログラムを用意しています。

- デジタル紙芝居（毎日 午前11時から11時15分、午後2時30分から2時45分）
自然について楽しく学べる、ひとはくオリジナルの動く紙芝居を大型スクリーンで上映します。
- 展示室ツアー（平日 午後1時30分から1時50分、土日祝日 午前11時30分から11時50分）
ひとはくの展示のみどころを日替わりでフロアスタッフが楽しく紹介します。
- フロアスタッフとあそぼう（毎週土日 午後3時から3時30分）
生き物をモチーフにした折り紙やペーパークラフト、お絵かきや塗り絵をしてフロアスタッフといっしょに遊びます。
- ふかたん「深田公園うきうき探検隊」（4月、5月、8月、9月、10月、11月、2月、3月の第4日曜日）
ひとはくに隣接する深田公園を研究員・フロアスタッフとともに探検してさまざまな生き物を観察します。

◆イベント

大小さまざまなイベントを用意して、自然や生き物への興味をもつきっかけを提供します。

- はくぶつかんの日（毎月第三日曜日）
観覧料のみで参加できるファミリー向け、子ども向けのプログラムを平日よりも数多く開催します。ひとはく連携グループ“NPO法人 人と自然の会”が用意する体験・体感できるイベント“ドリームスタジオ”も参加できます。
- ひとはくフェスティバル（平成19年11月4日）
年に一度の人と自然、人と人をつなぐ博物館の秋祭りです。すてきなイベントを多数用意します。

■ひとはくサイエンスショー2007（平成19年11月11日、12月23日、平成20年2月17日）
小中高等学校などの教職員や高校生も参加して、小中学生向けの実験・観察を多数実施します。

■共生のひろば（平成20年2月11日）

県民のみなさんが地域で調べた自然、環境、文化についてのとっておきの発見を報告しあう発表会を開催します。

◆オープンセミナー

観覧者対象の当日参加・受講料無料の短時間でやさしい内容のプログラムを用意します。小さなお子さまからご家族まで楽しく参加できるテーマを今年度は58テーマ用意しました。

◆セミナー

平成19年度は全158テーマのセミナーを開催します。さらに学会認定の継続教育プログラムや、来館団体向けの事前予約制セミナー“特注セミナー”も多彩なタイトルを用意しています。

◆キャラバン事業・地域研究員養成事業

研究員が県下各地に出張し、展示活動やセミナー、リサーチプロジェクトなどのプログラムを通じて、各地の県民やNPO、行政などが取り組む、地域の自然・環境・文化についての学習や活動をサポートします。

◆スクールパートナープログラム

■高校連携セミナー

県立三田祥雲館高等学校、県立有馬高等学校およびクラーク記念国際高校と博物館が連携して、高校生と一般市民の方々が交流しながら学ぶ地域生涯学習のモデルプログラムを提供します。今年度は兵庫県立大学附属中学校との連携など高校以外に中学校、幼稚園等とも連携することを模索します。

■夏季教職員セミナー

ひとはくの有する豊富な学習資源を活用し、実験や観察を中心とする多様なセミナーを教職員に提供します。

■ミュージアムスクール

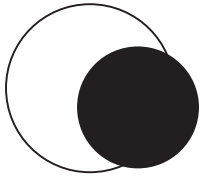
ミュージアムティーチャーと専門研究員のわかりやすい解説を行います。

■ミュージアムハイスクール

来館学校団体向けのセミナーを充実させています。また、高校生を対象としたオープンミュージアム。「博物館まるごと1日体験」も実施します。

■ひとはくサイエンスショー2007

小中高等学校などの教職員や高校生も参加して、小中学生向けの実験・観察を多数実施します。



常設展示の概要

(1) ナチュラリストの幻郷

博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、コレクションすることの楽しさを味わう展示です。この展示には、「鳥に魅せられて—小林桂助氏の足跡とコレクション研究」、「江田茂コレクション—世界からやってきた美しい昆虫たち」、「博物館を支えたコレクション」、「資料トピックスコーナー」、「寄贈者リスト」などのコーナーがあります。

(2) 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海にまたがる数少ない県であり、北部の多雪地帯から南部の暖温帯まで、多様な自然を有しています。

この展示では、兵庫県の多様な自然を紹介し、それらが人とのかかわりの中でどのように成立・維持してきたかを説明しています。兵庫の森に棲む動物たちを標高別に展示している「森に生きる」をはじめ、「池沼と海」、「六甲のアカマツ林」、「北摂の雑木林」、「氷ノ山のブナ林」、「氷上回路」、「上昇する六甲」などのコーナーがあります。

(3) 人と自然

人と自然はこれまでどのように関わってきたのでしょうか。時代とともに変化してきた人と自然とのかかわりを分かりやすく説明しています。

この展示では、「森の変遷」、「自然と調和した暮らしと風景」、「都市化の問題」、「自然のデザイン」、「警鐘」などのコーナーがあります。

(4) 新しい文化

家庭での日々の暮らしから自然保護や環境問題まで取り上げ、それらに対する様々な取り組みが紹介されています。

この展示では、「環境にやさしい暮らし方」、「公園都市」、「水辺の復権」などのコーナーがあります。

(5) 生物の世界

過去から現在にいたる長い年月の歴史の産物である、生物の種・分布・生活などについて標本・パネル・映像等を使って展示・紹介しています。

この展示では、「森に囲まれた溪流」、「上・中・下流の生活」、「種分化」、「変異」、「系統と収斂」、「大陸移動と生物の分布」、「日本の動植物の由来」などのコーナーがあります。

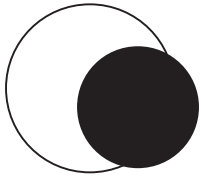
(6) 地球、生命と大地

地球上で展開される生命の営みと進化、そして大地の運動などを標本・パネル・ジオラマ・映像などで紹介しています。

「生物世界の拡大」、「生物の上陸」、「霊長類の進化とヒトの起源」、「地球を構成する物質と構造」、「岩石に残る地磁気の記録」、「世界の森」、「世界の木材」、「共生の森」などのコーナーがあります。

(7) ひとくサロン

人と自然の博物館の楽しみ方は、展示室を観覧することだけではありません。4階「ひとくサロン」では、めずらしい資料も実際にご自分の手に取ってご覧ください。また、絵本から専門図書までいっぱいの蔵書を取り揃えた図書コーナーや映像資料ライブラリ、インターネットなどを利用して、小さいお子さまから大人までたのしく学ぶことができます。毎月第3日曜日の「博物館の日」には、お申込なしでご参加頂ける「オープン・プチセミナー」も開催。深田公園を一望できる「ひとくサロン」をぜひご利用ください。



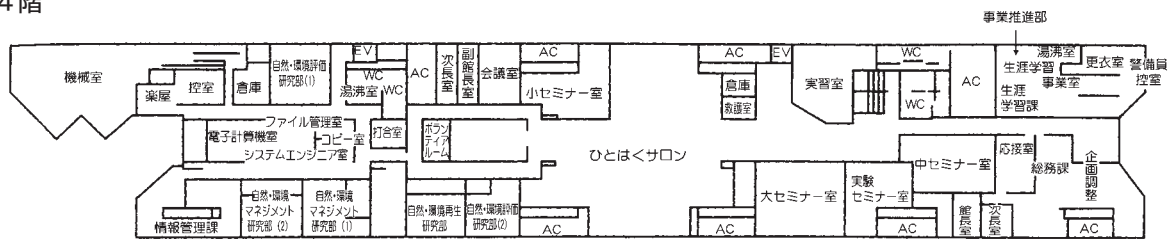
施設の概要

- (1)規模 敷地（設置許可・使用承認面積）：37,036.54 m² 延床面積：18,691 m²
- (2)建物構造
- ・本館（鉄骨4階建） 建面積 4,221 m² 延床面積 12,222 m²
 - ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）
建面積 360 m² 延床面積 360 m²
 - ・研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）
建面積 2,327 m² 延床面積 5,988 m²
 - ・ジーンファーム管理棟（軽量鉄骨平屋）
建面積 121 m² 延床面積 121 m²
- (3)施設の概要
- ・本館（鉄骨4階建）
外観は、建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。
展示関係のスペースをはじめとして電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。
 - ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）
博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。
観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。
 - ・研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）
研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。
 - ・ジーンファーム
ジーンバンク事業を实践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。
- (4)施設状況
- ・展示関係 4,049 m² ・管理関係 349 m² ・収蔵関係 2,951 m²
 - ・研究関係 2,015 m² ・教育普及関係 1,324 m² ・エントランス 360 m²
 - ・機械、その他 7,643 m²

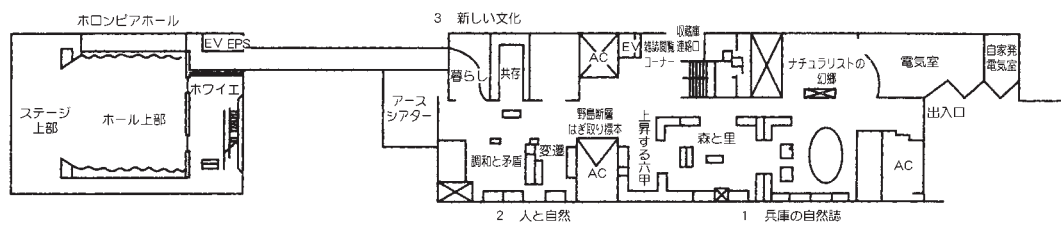
配置図

●本館

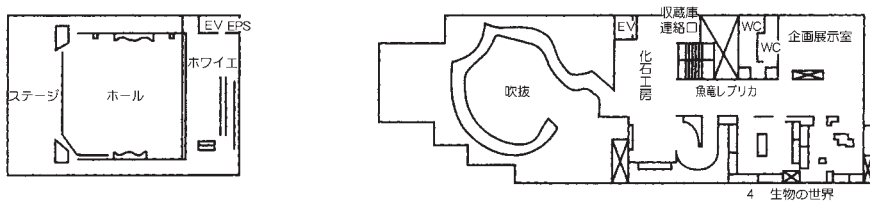
4階



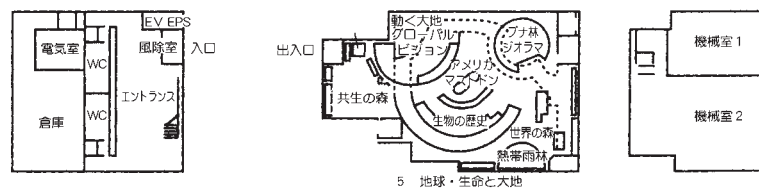
3階



2階

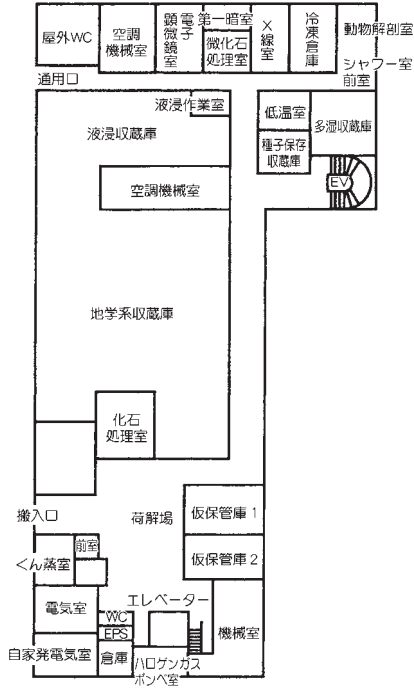


1階

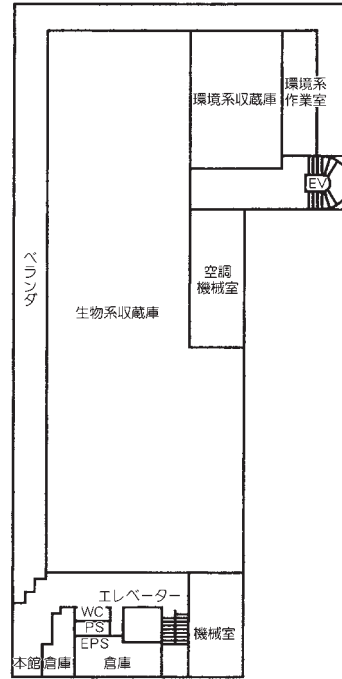


●研究・収蔵庫棟

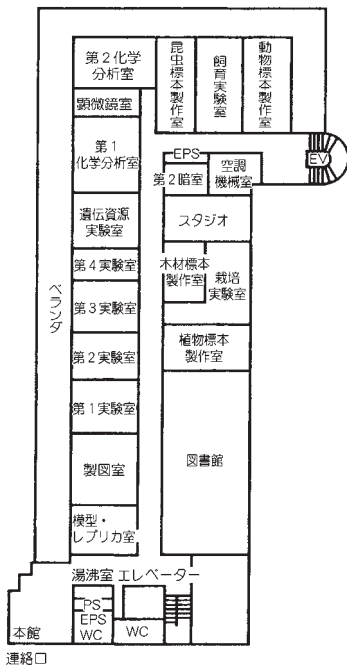
1階



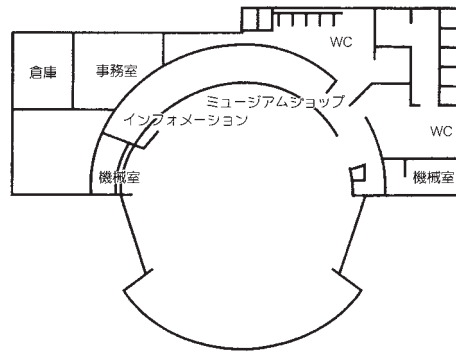
2階

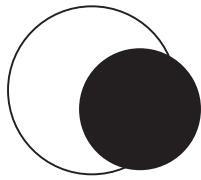


3階



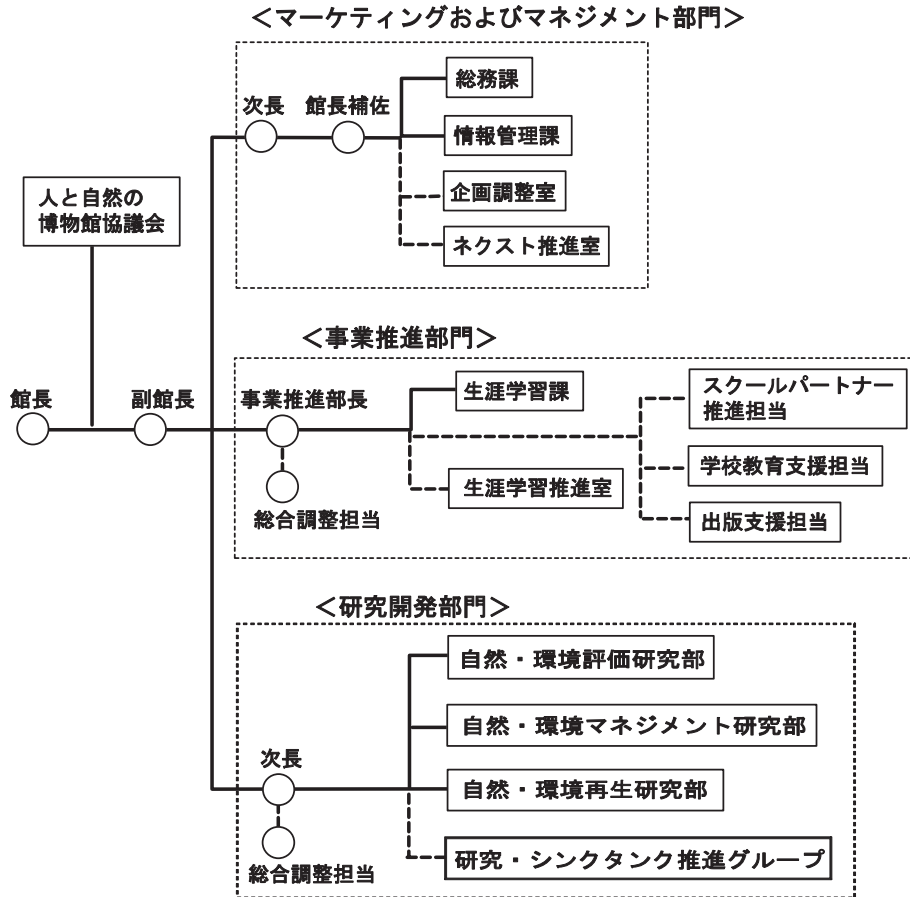
エントランスホール





組織と職員

(1) 組織図



※ 実線は組織規制上の職制で、破線は館長辞令による博物館独自の職制

(2) 職員数

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	2 (館長・名誉館長)	9
情報管理課	2				2
生涯学習課	4				4
自然・環境評価研究部		6 (兼務 10)			6 (兼務 10)
自然・環境マネジメント研究部		4 (兼務 9)			4 (兼務 9)
自然・環境再生研究部		2 (兼務 5)			2 (兼務 5)
合計	12	12 (兼務 24)	1	2	27 (兼務 24)

※ (兼務) は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼務職員

(3) 職員配置

名誉館長	河合 雅雄
館長	岩槻 邦男
副館長	中瀬 勲
次長(事務系)	坂本 啓
次長(研究系)	江崎 保男
館長補佐	西向 寛昭
事業推進部長	(副館長兼務)
事業推進部門総合調整担当	服部 保
研究開発部門総合調整担当	小林 文夫

【マーケティング及びマネジメント部門】

総務課

課長	(館長補佐兼務)
主査	岡井 豊英
主査	川東 丈純
主査	前田容未子
主査	田邊 武史
技師	塚本 健司

情報管理課

課長	藤村 仁志
指導主事	本田 毅

企画調整室(研究員兼務)

室長(主任研究員)	高橋 晃
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘
主任研究員	三橋 弘宗
研究員	布施 静香
研究員	嶽山 洋志
研究員	遠藤菜緒子

ネクスト推進室(研究員兼務)

室長(主任研究員)	田原 直樹
主任研究員	客野 尚志
研究員	三枝 春生
研究員	鈴木 武
研究員	石田 弘明
研究員	田口 勇輝

【事業推進部門】

生涯学習課

課長	平松 紳一
指導主事	谷川 直也
指導主事	春名 潤一
主査	小林 美樹

スクールパートナー推進担当(指導主事兼務)

指導主事	本田 毅
指導主事	谷川 直也
指導主事	春名 潤一

学校教育支援担当(研究員兼務)

主任研究員	中西 明德
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	中瀬 勲
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	三谷 雅純
主任研究員	藤井 俊夫
主任研究員	松原 尚志
研究員	沢田 佳久

出版支援担当(研究員兼務)

研究員	赤澤 宏樹
研究員	嶽山 洋志

生涯学習推進室(研究員兼務)

室長(主任研究員)	佐藤 裕司
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	橋本 佳明
主任研究員	八木 剛
主任研究員	半田久美子
研究員	藤本 真里
研究員	橋本 佳延

【研究開発部門】

自然・環境評価研究部

研究部長	高橋 晃
研究部長代理(主任研究員)	佐藤 裕司
(地域環境地質研究グループ)	
研究部長代理(主任研究員)	佐藤 裕司
主任研究員	小林 文夫
主任研究員	先山 徹
主任研究員	加藤 茂弘
(埋蔵自然遺産研究グループ)	
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	半田久美子
主任研究員	松原 尚志
研究員	三枝 春生
(森林多様性研究グループ)	
研究部長	高橋 晃
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子
研究員	布施 静香
(昆虫共生系研究グループ)	
主任研究員	中西 明德
主任研究員	橋本 佳明
主任研究員	八木 剛
研究員	澤田 佳久

自然・環境マネジメント研究部

研究部長	江崎 保男
研究部長代理	田原 直樹
(流域生態研究グループ)	
研究部長	江崎 保男
主任研究員	田中 哲夫
主任研究員	三橋 弘宗
(動物共生研究グループ)	
主任研究員	大谷 剛
主任研究員	三谷 雅純
研究員	遠藤菜緒子
研究員	田口 勇輝
(コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ)	
副館長	中瀬 勲
研究員	藤本 真里
研究員	赤澤 宏樹
研究員	嶽山 洋志
(コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ)	
研究部長代理(主任研究員)	田原 直樹
主任研究員	客野 尚志

自然・環境再生研究部

研究部長	服部 保
(植生創出研究グループ)	
研究部長	服部 保
研究員	小舘 誓治
研究員	石田 弘明
研究員	橋本 佳延
(生物多様性保全研究グループ)	
主任研究員	藤井 俊夫
研究員	鈴木 武
研究員	黒田有寿茂

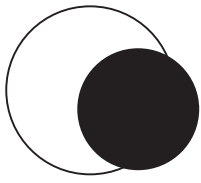
研究・シンクタンク推進グループ(研究員兼務)

リーダー(主任研究員)	田中 哲夫
主任研究員	古谷 裕
主任研究員	秋山 弘之
主任研究員	高野 温子
研究員	小舘 誓治
研究員	橋本 佳延
研究員	黒田有寿茂

(平成19年4月1日現在)

なお下線は館長辞令による、人と自然の博物館独自の職制

平成18年度事業報告



ひとはくトピックス

1

丹波で恐竜化石を発見！発掘を開始。

2006年8月7日に地元丹波市在住の村上茂・足立洌両氏により丹波市山南町上滝の篠山川河床から恐竜の化石が発見された。恐竜の化石を産出した地層は、篠山層群と呼ばれる約1億4千万～1億1千万年前に陸上で堆積した地層で、兵庫県篠山市および丹波市山南町に分布している。篠山層群からはこれまで淡水性の貝、カイエビ、植物の化石などの産出が知られていたが、脊椎動物化石に関する報告は皆無であった。両氏は化石の発見後、8月9日午前まで独力で肋骨一本と尾椎1個を発掘し、9日午後、恐竜の化石ではないかということで兵庫県立人と自然の博物館にこれらの化石を持ち込んだ。博物館研究員は両氏とともに同日直ちに現地に向かい、化石がまだ地層中に一部残っていることを確認した。



発掘された化石

県下での恐竜化石の発見は、2004年に淡路島で見つかったハドロサウルス類恐竜以来であった。しかし、淡路島の場合と異なり、化石の続きがまだ地層中にある状態だったので、2006年9月27日～29日に削岩機を用いてこの地点を試掘した。その結果、保存良好な竜脚類（首の長い大型の草食恐竜）の尾椎と血道弓が獣脚類（肉食の恐竜）の歯のかけらと一緒に産出し、竜脚類一頭に由来する骨がある程度まとまって埋まっていることが分った。そこで、2007年1月22日から3月31日の期間（準備および後片付け工事も含む）、ボランティア約60名とともに本格発掘を行った。



数多くのボランティアのご協力により進められる発掘作業

発掘面積は3×7mと比較的狭いものだったが、小さな骨片も含めると1200点もの化石が発掘され、その中には日本初である竜脚類の連結した尾椎十数個が含まれている。こうしたことから、未発掘の地層中にはさらに多くの化石、特に竜脚類の胴体、四肢、頸部さらには頭部の埋まっている可能性が高くなった。

本発掘に先立ち、1月2日に化石の産出に関して記者発表をし、あわせて臨時展示「丹波の恐竜化石」を行った。臨時展示としては会館以来の観客を集め、一時は展示ケースの前から館入り口まで行列が出来るほどであった。

2

新たな人と自然の博物館基本構想（案） についてパブリック・コメントを募集

人と自然の博物館はこの春、平成 4 年 10 月の開館以来 14 年目を迎えます。この間、京都議定書の締結と批准、阪神淡路大震災、コウノトリ自然放鳥、丹波市での恐竜発見など、人と自然の関係を考える上で重要な、さまざまな出来事がありました。こうした状況を背景に、博物館では平成 23 年を目標年次とした新しい博物館基本構想を元文化庁長官で作家の三浦朱門氏をはじめ、学識経験者のみなさまとともに 1 年余りの期間にわたって検討してきました。そして平成 18 年秋に、この結果を新たな「人と自然の博物館」基本構想（案）としてとりまとめ、ネット上に公開するとともに、平成 18 年 11 月 6 日から 30 日にかけて広く県民のみなさまからのご意見（パブリック・コメント）を募集したところ、県内外 24 人の方々からご意見をいただきました。



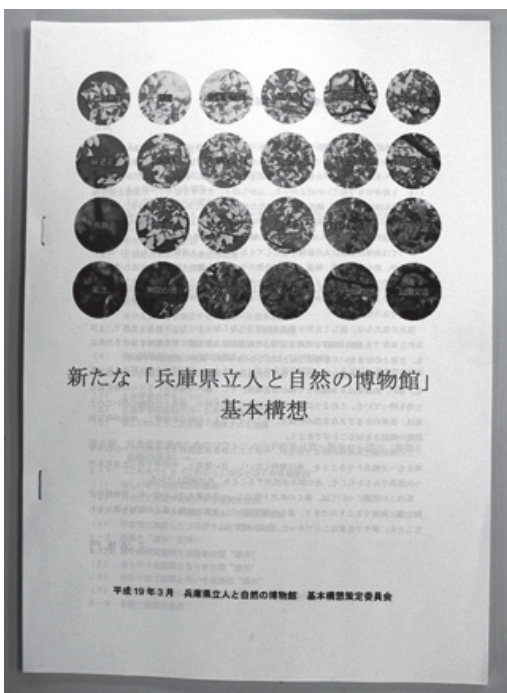
新しい博物館将来基本構想の検討会議の様子

新しい博物館基本構想（案）では（1）幼児から高齢者まで誰もが自発的に学べる生涯学習拠点の創出を目的として、（2）新しい展示コンセプトとして「演示」を提案。展示を活用した体験的学習プログラムの提供、（3）素人から専門家まで、幼児から大学院生・研究者まで、さまざまな学習進度に対応した博物館利用プランの提供など、これまでにない博物館将来像を提案しております。

いただいたご意見では、幼児期からの生涯学習機能を求める声、各成長段階に対応したプログラム提供を望むご意見、体験的な学習プログラムの提供を求める声などが多数を占めたほか、博物館の機能拡大に対応した組織体制の見直しや、全活動の基盤である研究活動の維持・活性化を求めるご意見がありました。

このように、基本構想（案）が目指す新しい博物館像に対して数多くの方からご支持いただきましたこと、また弊館の実績・取り組みへのご理解、暖かいご声援を頂戴したことにたいへん感謝いたしております。

今回いただきましたご意見を元に、平成 19 年度には新しい博物館基本構想を確定し、具体的なプラン策定に向けての博物館の新体制が本格スタートいたします。引き続き、みなさまのお声を活かして参りたいと思います。



3

ひとはくが社団法人環境情報科学センター賞特別賞を受賞

平成 18 年 5 月 17 日、ひとはくが社団法人環境情報科学センターから「第 6 回環境情報科学センター賞・特別賞」を受賞した。

選考理由は「本博物館では、従来の博物館における展示や知識伝達機能だけでなく、真の意味での『生涯学習』、即ち県民が自ら考え、自ら学習機会を創出していくという、県民参加型で自律的・持続的な学習環境を構築している。また、その活動水準は高く、県民の参加数も多く、社会に大きな影響力を継続的に及ぼしている。これらの事業の展開は、その膨大な実績の蓄積とあいまって、県民参加による生涯学習機関としての新たな博物館機能を付加させたものと高く評価できる」となっている。

平成 12 年に「博物館の新展開」計画を策定し、生涯学習とシンクタンクの事業を推進してきた 5 年間の活動が、高く評価されたものだ。



館を代表して賞状を受け取る中瀬副館長

4

中瀬副館長が平成 18 年度兵庫県科学賞を受賞

中瀬副館長が平成 18 年度兵庫県科学賞を受賞した。実践経験に基づきながら、緑地計画に生態学、社会学などを組み込んだ総合的な環境計画論を構築した業績を評価されての受賞である。主な業績として 3 つの流れがある。第 1 は兵庫県のビオトープ地図・プランにつながるもので、ドイツのビオトーププランの分析を基に、兵庫県独自の地域特性に配慮し、土地利用策定に役立つビオトーププランの概念を構築したことである。第 2 には阪神・淡路大震災直後からの都市公園避難地利用実態調査、県や市への提案、緑からの復興を支援する「阪神グリーンネット」などにコアメンバーとして関わったことを契機に、多様な緑を媒介としたコミュニティ形成のモデルを確立したことである。第 3 に、市民参画型の公園運営をめざし市民の継続的活動を可能にする支援方策やパークコーディネーターの職能論などについて研究し、県立有馬富士公園、(仮)県立丹波並木道中央公園などで実践している。以上のように、兵庫県において、自然環境の専門家としてさまざまな計画に関わり科学行政の推進に貢献したことが認められたといえる。

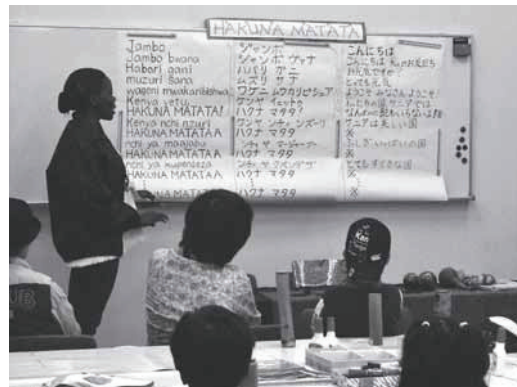


井戸兵庫県知事(右)より表彰をうける中瀬副館長(左)

5

ケニアからの研修生、フィービーさんが
ひとはくで6ヶ月研修

平成18年8月1日から平成19年1月23日にかけての6ヶ月間、キスムミュージアム（ケニア）の博物館指導員であるフィービーさん（AWITI PHOGBG AWUOR）が、環境学習の手法を学ぶべく、ひとはくに研修員として来館された。主に、化石レプリカ、封入標本、昆虫標本、エコクッカーなど、ひとはく研究員が環境学習の現場で実際に用いている多様なツール、およびそれらを用いてのプログラム運営のノウハウを習得された。また、キャラバン事業やひとはくフェスティバル、フロアスタッフ業務、連携施設（有馬富士公園等）でのワーキングなどの、多様な博物館活動についても体験的に習得していただいた。「ケニアでは講義形式が中心で、子ども達も飽きてしまう。ここでは触ったり、音を感じたり、体験型の展示やプログラムも多く、参考になる」と、意欲的に研修に打ち込まれ、さらに研修終了時には「ここで得た環境学習の知識と技術をキスムにあった形で展開していきたい。そしてこのような環境学習を通じて、子ども達や若者達が環境保全に対して意欲的に取り組みだすことを期待したい」と、帰国後の目標についても語られた。彼女が将来の環境づくりを担う人材の育成に尽力されることを期待したい。



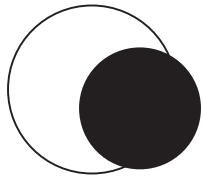
ひとはくフェスティバルで、子ども達にスワヒリ語を紹介するフィービーさん（左）

6

コウノトリ常設展示をリニューアル！

兵庫県が進めているコウノトリの野生復帰計画も2005年と2006年に試験放鳥がなされ、現在の豊岡盆地は、あちこちにコウノトリの飛ぶ姿が見られるようになった。すでに地域にコウノトリの姿がなじんでいるといえる。もはや、コウノトリの野生復帰は将来の姿ではなく、現実の地域のあり方として、目に見える形になっているのである。そこで、ひとはくでは、人と自然が調和して生きる兵庫県のシンボルとして、コウノトリとその野生復帰を支える地域、をテーマとした新たな常設展示を作成した。このコーナーはコウノトリの剥製を中心にした一区画で、3階の中ほどにある。コウノトリの翼を広げた実物大写真の前で体重計に乗り、コウノトリがいかに大きいか、そしていかに軽いかを実感してもらえるハンズオン（フィートオン）の展示、コウノトリの羽根1枚がいかに大きいかを見てもらえる封入標本のハンズオン展示、コウノトリとはどんな鳥なのかをわかりやすく示した展示、野生復帰のためにどのような努力がなされているのか、そのためには地域の努力が不可欠であることを示す展示などが、段ボールの素材を使った斬新な手法で作成されている。ちなみに、本展示は、2005年に行なった企画展「コウノトリの野生復帰と自然再生」の素材を二次利用し、加工して作成したものである。





特別プロジェクト

1 ワイルドライフ・マネジメント プロジェクト

シカやイノシシによる農業被害、ツキノワグマの絶滅危惧と集落への出没、外来生物（ヌートリアやアライグマなど）の分布拡大など、人と野生動物の軋轢が、環境保全と被害対策の両面で深刻になっている。

地域における問題解決の能力を向上させ、野生動物と適切に共存していくために、兵庫県ではワイルドライフ・マネジメント（野生動物の保護と管理）を行なう中核機関として森林動物研究センターを平成 19 年 4 月丹波市青垣町沢野に開設する。人と自然の博物館は、農林水産部森林動物共生室と協力し、調査研究、現場対応や施策計画の支援などを行ないながら、センター設立をはじめとした兵庫県のワイルドライフ・マネジメントの体制づくりに参画してきた。



完成した森林動物研究センター

森林動物研究センターには、研究員 6 名（兵庫県立大学自然・環境科学研究所の教員が兼務）が新たに配置され、野生動物の適切な管理に必要な正確な状況把握、計画的な施策の立案、対策を講じる人への技術支援を行う。野生動物の適切な管理は県民・行政・研究者が一体となって取り組まなければならない課題である。新センターには、研究員に加えて森林動物専門員が配置され、関係機関や課題を抱える県民と協力して、研究成果の活用や対策の普及・実施に向けたコーディネートや技術支援を行なう。本プロジェクトでは、平成 17 年度より 2 年間にわたって森林動物専門員候補の研修も担当してきた。

野生動物の適切なマネジメントには、1) 被害を防除する被害管理、2) 野生動物の個体数を管理する個体数管理、3) 野生動物の適切な生息地を保全するための生息地管理、の 3 つの管理を、客観的な調査・研究の結果に基づき科学的・計画的に行なうことが必要であり、森林動物研究センターの創設にあたって、人と自然の博物館はこれらの具体的な構想と仕組みづくりに大きな役割を果たしてきた。

担当研究員：江崎保男 坂田宏志 横山真弓

ワイルドライフ・マネジメントの体制づくりの検討への参画

- ・ワイルドライフ・マネジメント運営協議会
- ・森林動物研究センター設置の検討
- ・森林動物専門員制度創設に向けた検討

保護管理計画の策定・見直しなどへの支援

- ・外来生物防除指針、鳥獣保護事業計画、ニホンジカ保護管理計画、ツキノワグマ保護管理計画などの策定や見直し
- ・イノシシ、ニホンザル等の保護管理計画策定準備
- ・環境審議会など

上記の対応のための調査・研究活動

- ・センター設置に先行した調査、研究、資料収集（生息状況や森林環境などのモニタリング、生息密度や被害の将来予測）
- ・体制作りに向けた調査研究
- ・現場の実情を政策に結びつけるための社会学的調査
- ・クマ出没対応や個体数調整などの現場対応ならびに事例検証
- ・課題のある動物、移入種、希少種の分布調査

普及事業

- ・研修会、セミナー、シンポジウム等の実施
- ・展示やビデオソフトの作成

2 サバ・プロジェクト（人博・サバ大学共生生物学研究事業）

ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム協力は、同島の熱帯雨林の生物多様性調査を行い、そのデータに基づいて公園整備や野生動物保護、環境教育などを包括的に押し進めていこうとする5年間（2002年2月-2007年1月）のプロジェクトであり、環境保全にかかわる日本の国際協力のモデル事業になることが期待されているものである。マレーシア国立サバ大学とサバ州政府3省9部局が参画し、「研究教育」「公園管理」「生息域管理」「環境啓発」の4つのコンポーネントから構成されている（図参照）。本プログラムのなかで、人博が「人博・サバ大学共生生物学研究事業」として、特に中心的な役割を果たしているのは、サバ州における生物多様性・生態系保全のための研究・教育能力を確立することである。このために、1. サバ州での生物相調査の指導・実施、2. サバ大学熱帯生物学・保全研究所の自然史博物館機能確立（標本収集・保管能力、生物多様性情報管理能力、分類学の研究能力の確立、展示・普及活動の指導）、3. サバ州内の自然環境保全研究機関間ネットワーク構築（サバ大学、サバ州公園局キナバル博物館とサバ州森林局中央研究所の生物多様性情報のデータベース化とデータ共有のための組織構築）などに取り組んでいる。

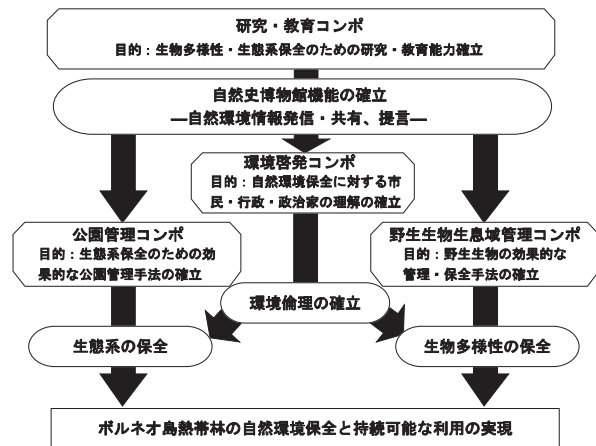


図 ボルネオ生物多様性・生態系保全プロジェクトの概念図

1. サバ州での生物相調査の指導・実施、2. サバ大学熱帯生物学・保全研究所の自然史博物館機能確立（標本収集・保管能力、生物多様性情報管理能力、分類学の研究能力の確立、展示・普及活動の指導）、3. サバ州内の自然環境保全研究機関間ネットワーク構築（サバ大学、サバ州公園局キナバル博物館とサバ州森林局中央研究所の生物多様性情報のデータベース化とデータ共有のための組織構築）などに取り組んでいる。

表 人博・サバ大学共生生物学事業における2006年度の活動

2006年度の主な活動	活動内容	成果物など
ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラムの推進（2006年4月から2007年1月）	各種ワークショップ/セミナー、研修、出版、展示等の企画運営と、研究・教育活動への指導助言を行うと共に、プログラムの進行管理、評価、活動計画立案等を支援した。	ワークショップ実施（7回、29日）、セミナー実施（13回、13日）、国際会議実施（1回、3日）、出版物（3冊）、展示実施（2回）等
長期森林生態系研究のための拠点づくり（2006年4月から2007年1月）	長期的な森林生態系研究の拠点づくりを行うために、サバ州最大の自然公園であるクロッカー山脈に永久調査区を設置し、調査区内の生物や土壌等に関する調査を行った。さらに、調査区のモニタリングや維持管理手法、データ解析手法等についての研修およびセミナーを実施し、マニュアルを作成した。	ワークショップ実施（6回、25日）、セミナー実施（13回、13日）、永久調査区設置（3ヶ所）、マニュアル出版（2冊）
マルチメディアデータベースの構築（2006年4月から2007年1月）	サバ州における生物多様性情報のデータベース化とその公開に向けた支援を行った。	約2万点の生物標本情報のデータベース化、生物多様性情報活用のためのホームページの改良
サバ州カウンターパートの研修受け入れ（2006年6月から2006年9月）	サバ州環境副大臣Karim Bujang氏の環境保全行政に関する研修と、サバ大学熱帯生物学・保全研究所副所長Henry Bernard氏の野生動物保護・管理に関する研修を実施した。	カウンターパート2名への研修実施
マレーシア国立博物館における生物多様性展示の実施（2007年3月）	マレーシア国の首都にある国立博物館で、ボルネオ島の生物多様性に関する展示を行った。	展示用パネル、カエル拡大模型（2体）、展示用標本セットの製作・整備等
第9回ボルネオジャングル体験スクールの実施（2006年6月から2006年11月）	第9回目となるボルネオジャングル体験スクールのマレーシア・サバ州ダナムパレー自然保護区で実施した。県内の小学4年生から高校2年生までの男女合わせて18名がこれに参加した。	ジャングル体験スクール成果報告書の出版、体験発表会の実施等
JICAとの共催による国際協力公開シンポジウムの実施（2007年3月）	ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラムの活動成果を報告し、今後の活動計画を検討するための公開シンポジウムをJICAと共に東京で行った。	ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム成果報告書の作成

担当研究員：佐藤裕司，橋本佳明，石田弘明，高橋 晃，中西明德，秋山弘之，高野温子

3 GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進プロジェクト

【背景】

日本国内には、およそ 300 の自然史博物館があり、各館において貴重な標本が大量に収蔵されている。これらの標本は、地域の自然環境を後世に伝えるための重要な役割を担っており、生態系の保全や学術研究への活用が期待されている。しかし、目録やデータベースとして情報発信されている事例は限られており、自然科学分野の研究者ですら情報へのアクセスが難しい状況にある。この状況を改善する方策は、全国の博物館が収蔵する標本情報を一元的に統合し、インターネットを通じて複数の館や分野を横断的に検索するシステムを構築することである。

こうした試みは、すでに世界規模の生物多様性データベース整備（Global Biodiversity Information Facilities: GBIF）として取り組まれている。しかし、GBIF の公開データは全て英語であること、データ登録や検索が煩雑で汎用性が低いこともあり、国内で参加する博物館はごく一部であった。この状況をうけて、昨年（2005 年）より国立科学博物館および NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワークが協力して、科学系博物館情報ネットワーク事業（通称：S-net）を開始した。この事業では、単なる情報処理技術だけでなく、簡単なデータ整備の方法や標本整理に関する課題検討などを通じたワークショップを行い、ネット上だけのネットワークだけでなく、実務者による人的なネットワークを構築し、事業に対する理解と互いの技術力の向上を図った。その結果、初年度にて約 40 万件を、2006 年度にはさらに約 40 万件のデータが整備され、日本ではじめて大規模な生物多様性データベースを国内外に情報発信することができた。

【このプロジェクトの取り組み】

当館の GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進プロジェクトでは、NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワークにおけるワーキンググループ幹事館として参画した。2006 年度の主な実施事業は、以下のとおりである。

- 1) データベース整備事業の公募および選定、データ取りまとめ（16 館 18 件：約 20 万件のデータ整備）
- 2) 自然史博物館における情報発信に関する研究会の開催（4 回／北九州市立いのちのたび博物館・国立科学博物館・伊丹市立産業・情報センター・大阪市立自然史博物館：のべ 250 名参加）、科学系博物館情報ネットワーク事業推進委員会への参画（1 回／国立科学博物館）、作業部会（2 回／東京大学・大阪市立自然史博物館）
- 3) データベース整備に関するツール開発（RDB リスト、地名辞書、データ整形ツール、メーリングリスト）

特に、3) のツール開発においては、全国のレッドデータブック掲載種一覧を作成し、容易に非公開情報をチェックできるようにした。また、全国の自然地形や地名のデータベースを作成し、読み仮名や位置を検索できる「地名検索システム」を整備することで、データ整備の作業効率性を高めることに貢献した。

一方、全国規模でのデータ整備事業は順調に進んでいるが、当館における収蔵品データ発信については、課題が残されている。タイプ標本のリスト作成においては、最も資料数が多い昆虫分野の整備が進まず、タイプ標本目録を整備することが出来なかった。また、当館における収蔵品データベースの公開についても、データクリーニングが未完了のため公開にまで至っていない。次年度以降の課題として、中期目標として資料関連の指標を設けて、当館が収蔵する標本の情報を公開することが急務と言える。



国立科学博物館内に設置されたサイエンスミュージアムネットのホームページ (<http://science-net.kahaku.go.jp>)。このページから、各館の標本情報やホームページの横断検索ができる。

担当研究員：江崎保男・高橋晃・秋山弘之・高野温子・鈴木武・三橋弘宗

4 ファーブル展ひょうごプロジェクト

「ファーブル昆虫記」刊行 100 年を記念し、国内自然系博物館 5 館（北海道大学総合博物館、国立科学博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、北九州市立自然史・歴史博物館と当館）とフランス国立自然史博物館との共同企画として「ファーブルにまなぶ」展を開催することになった。この展示はファーブルとその業績の紹介及び、「昆虫記」後の 100 年間になされた昆虫学ならびに関連分野の研究と、その応用技術の進展と現状を展示・解説することを目的として、2007 年夏、北海道大学総合博物館から始まり、各館を巡回する。

今年度当館からは、5 館の館長による実行委員をはじめ、企画運営委員会と展示ワーキングに担当者を送り、巡回展の共通展示部分を作るための協議・展示案作成・展示物調達などを行った。また 2008 年兵庫での開催に向けて、県内各地での自然の調査や保全への取り組みなど、兵庫のナチュラリストの活動を取り入れた展示案作成の準備と、関連機関との調整を行った。

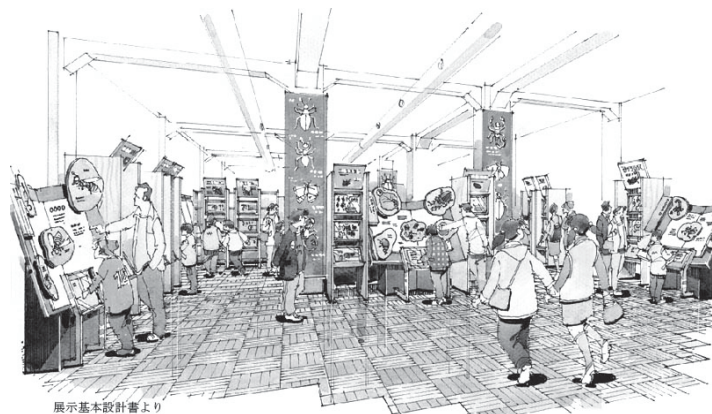
<展示予定>

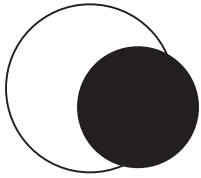
2007 年 7 月 1 日～9 月 17 日	北海道大学総合博物館
2007 年 10 月 6 日～12 月 2 日	国立科学博物館
2007 年 12 月 22 日～2008 年 2 月 11 日	北九州市立自然史・歴史博物館
2008 年 4 月 29 日～8 月 31 日	滋賀県立琵琶湖博物館
2008 年 9 月 20 日～11 月 30 日	兵庫県立人と自然の博物館

<展示ストーリー概要>

- 第 1 部 プロローグ・・・来館者とファーブルとの出会いの場
- 第 2 部 昆虫記の世界・・・「昆虫記」に描かれた実験の様子を楽しく紹介
- 第 3 部 ファーブルの時代と日本・・・ファーブルの生涯とともに、彼を受け入れた日本の特性を紹介
- 第 4 部 100 年後の昆虫記・・・「昆虫記」から 100 年たった、現在の昆虫学を概観
- 第 5 部 エピローグ・・・本展示のメッセージ性を高める「ふりかえり」の場

担当研究員：高橋晃・橋本佳明・中西明徳・大谷剛・沢田佳久・八木剛・田原直樹・江崎保男





事業報告

人と自然の博物館では、その活動の内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成14年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標はいわば博物館の行動の指針となる大項目であり、これが全部で14項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として措置が設定されている。措置は、中期目標に関連する個別の具体的な項目について、その行動の方針と具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に即して平成18年度の博物館の活動内容と平成19年の事業の計画を整理したものであり、「この指標を支える項目」としてこれに関連する措置について同様の説明を加えたものである。

なお、平成19年度には平成14年度から平成18年度の活動成果をふまえ、社会のニーズに対応した新しい中期目標と措置を設ける予定である。

生涯学習の支援

担い手の養成 - 「学習」から「実践」までをサポートするソフトの提供

1

県民ニーズに即した段階的・連続的な学習プログラムを提供し、新規参加者を開拓するとともに、再参加を促進し、参加者数および参加者の層を拡大する

指標：学習プログラム参加者の総数

学習プログラム：館主催・共催のセミナー等普及教育を目的とする各種プログラム

指標：学習プログラム参加者のひろがり

セミナー受講者のひろがり：地域分布、年齢層（12歳以下、13歳から20歳未満、以降60代以上までの10歳刻みの7段階）

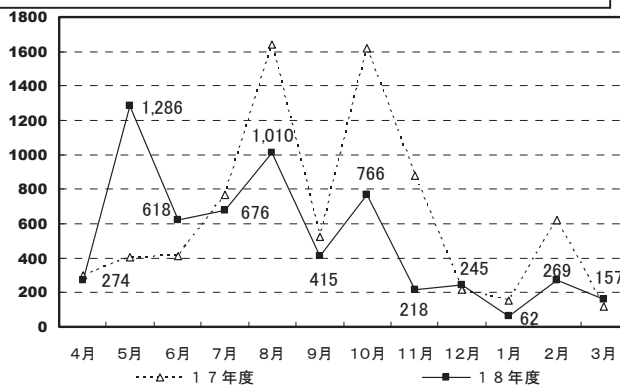
担当課室
生涯学習
事業室

学習プログラム参加者の総数

達成度

目標 5,000人/年 に対して、**119.9% (5,996人)**

■セミナー参加者数 **4,432**
■キャラバンセミナー参加者数 **1,564**



セミナー受講者数

解説

学習プログラム参加者の総数

①H18年度の取り組み

地域研究員の養成を目指し、体系だったプログラムの構築に努めた。

②H18年度の到達状況の自己評価

地域研究員らの発表会「共生のひろば」が前年に引き続き盛況となるなど、担い手の育成は着実に実を結びつつある。

③H19年度の取り組みの予定

担い手育成型のセミナーを充実させるほか、県下5地域で3年間固定型の担い手育成を開始し、より確実にひとはくのパートナーを増やす。

学習プログラム参加者のひろがり

①H18年度の取り組み

中播磨地域や淡路地域だけでなく、全地域において高齢者も参加できる学習プログラムの充実を図った。

②H18年度の到達状況の自己評価

前年に引き続き、ほぼ全県全世代の参加者を得た。

③H19年度の取り組みの予定

気軽に参加できるオープンセミナーを増強し、特に幼児、低学年に学習のきっかけを提供し、年齢層の拡大を図る。また、県下各地で担い手育成事業を開始する。

学習プログラム参加者のひろがり

達成度

目標 全地区・全年齢層の獲得に対して **未達成**

(ただし、上記目標はH18年度に達成を目指すものである)

年代	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	中播磨	西播磨	北播磨	但馬	丹波	淡路	県外	齢別計
10	401	189	802	63	52	14	52	30	37	17	34	1691
20	116	37	72	49	9	5	19	12	7	23	0	349
30	248	78	229	34	28	6	16	6	22	18	1	686
40	359	143	357	51	48	10	26	12	15	12	3	1036
50	301	208	344	102	30	29	52	13	11	13	1	1104
60	179	280	520	133	24	16	13	13	26	7	3	1214
70	94	24	164	53	0	1	5	5	4	0	0	350
不明	346	149	601	132	63	44	45	27	52	16	1	1476
総計	2044	1108	3089	617	254	125	228	118	174	106	43	7906

この指標を支える項目

■セミナー参加へのPRを促進 -セミナー受講者数・セミナー新規受講者数

H18の取り組み	●地域研究員養成のための体系だったセミナープログラムを整備した。
自己評価	●セミナー受講者数は去年に引き続き5000人を上回った。但馬など受講者数の少ない地域もあるが、ひとはくの生涯学習支援活動は、県民に広く知れ渡ってきた。
H19の予定	●複数回セットの担い手育成型セミナーを増設。また無関心層を掘り起こす来館者向けオープンセミナー、来館団体向け特注セミナーを増設。

■講師派遣の拡大 -他団体主催の講演会への研究員の派遣回数（講演会数）・講演会聴講者数

H18の取り組み	●連携事業としての位置づけ、受講生が博物館に来館するための動機づけなど、館事業との繋がりを意識し講義を、館員全体が意識するよう啓発する。
自己評価	●302件、20927名の受講者実績をあげ、目的を達成した。
H19の予定	●博物館主催セミナー・キャラバンセミナーとのバランスをとりながら進める。

■博物館実習の受け入れ -博物館実習受入人数

H18の取り組み	●9大学、9名の学生が受講した。実習初日に博物館の全体像を掴むためのオリエンテーションを行った。
自己評価	●受講者からは、内容について（アンケートの結果で）おおむね「よかった」との評価を受けている。なお受講者からは「やりがいがあった」「もう少し長い期間実習をしたい」との声もあった。
H19の予定	●実習を行う前の週に、事務連絡及び館長による講義を受講することで、実習生の意識を高めて、初日からスムーズに実習が行えるよう日程を工夫する必要がある。

■セミナー受講者の満足度の向上 -アンケートにおける満足度評価点数・セミナー再受講率

H18の取り組み	●セミナー再受講率の高い顧客に対してヒアリング調査を実施するなどの、質的評価を得るための調査を実施した。
自己評価	●アンケートによる調査はプラスの評価に偏りがちである。
H19の予定	●「苦情」を拾いあげ、すぐに解決するシステムを構築する。

■若手研究者の育成 -外部からの研究希望者受け入れ数

H18の取り組み	●外部からの希望にそって、6名の受け入れを行った。また、兵庫県立大学の大学院生の受け入れ態勢を整えた。
自己評価	●大学院生の受け入れができるようになったことは大きな前進である。
H19の予定	●大学院生8名を4月に受け入れるので、大学院と連動した生涯学習活動を行っていく。

■「科学する心」を育むプログラムの整備 -中高生のセミナー受講人数

H18の取り組み	●学校団体の来館促進のため、来館団体向けの特注セミナー（ワンポイントセミナーを含む）を実施した。また、高校生向けに「1日体験オープンミュージアム」などのプログラムを用意した。
自己評価	●学校団体の来館者増に貢献できた。
H19の予定	●「自然環境調査入門」や「人と自然の共生を考える」などの高校連携セミナーなどをより充実させるだけでなく、中学生向けのプログラムについても研究開発を行う。

生涯学習の支援

担い手の養成 - 「学習」から「実践」までをサポートするソフトの提供

2

県下各地域において、県民と館とが参画と協働によって実施する参画・協働型プログラムを積極的に企画し、学びの実践を支援する

指標：県民・団体・NPO等との連携による参画・協働型プログラム数

参画・協働型プログラム：県民・団体・NPO等との連携によって実施するプログラム

担当課室
シンクタンク
事業室

県民・団体・NPO等との連携による 参加・協働型プログラム数

達成度

目標 30件/年に対して **243%** (73件)

内訳

キャラバン関連事業	34
県民、NPO等との連携事業 (キャラバン、アウトリーチ プログラムを除く)	39

解説

①H18年度の取り組み

昨年度と同様、県下10地域でキャラバン事業を実施した。また、キャラバン等で連携した活動団体の発表の場として「共生のひろば」を開催した。

②H18年度の到達状況の自己評価

キャラバン関連事業が普及したこともあり、昨年度より微増した。

③H19年度の取り組みの予定

連携グループ等が主催するセミナーの回数や多様性を高めることが必要。

この指標を支える項目

■県民参画プログラムの拡大 -共催事業数・活動人数

H18の取り組み	●昨年度に引き続き、キャラバン事業を10地域21ヶ所で実施した。そのうち2ヶ所で地域研究員養成プログラムを実施した。
自己評価	●連携団体は昨年度の102件から29件減の73件となったが、質の充実化を図った
H19の予定	●地域研究員養成事業との連動をすすめ、人材育成などの質的な充実をはかる。

■県民参画プログラムの拡大 -フェスティバルへの参画団体数・キャラバン事業への参画団体数

H18の取り組み	●昨年度に引き続き、ひとはくフェスティバル、キャラバン事業、共催事業など、多数の県民参画型プログラムを実施した。特に、活動発表の場である「共生のひろば」を開催し、市民活動で培われた貴重な知恵と情報を多くの方で共有する機会を創出した。
自己評価	●共生のひろばにより、発表レベルの向上や団体間の交流もみられ、活動の相乗効果を生むことができた。
H19の予定	●キャラバン事業などと地域研究員の育成をマッチングさせたプログラム展開が必要となる。達成目標の一つとして、共生のひろばへの参画を促し、個々の活動を深化させるよう支援する。

■人と自然の会をはじめとするNPO等との連携事業の拡大

-館主催(共催)の連携・協力事業数・ボランティア登録者数・ボランティア活動のべ人数

H18の取り組み	●関西野生動物問題研究会などを始めとする10件の連携グループがこれまでになかった人形劇のような活動を実施したことで、高度で学術的なものでなく、無関心層を引き付ける機会となった。
自己評価	●博物館を活動の場として、調査研究だけでなく普及教育事業など活動の裾野が広がった。
H19の予定	●連携グループと博物館との連携のレベルが多様化してきていることから、それぞれのレベルでのよりよい連携のあり方について模索する。

生涯学習の支援

県民ニーズに応えた学習の場の提供

－魅力ある空間づくり・実践フィールドの提供

3

展示の質の向上、レファレンスの充実等によって、魅力ある空間づくりの観点から館の機能を充実させる

指標名： ビジター数

一年間の博物館の利用者総数、本館への入館者数および、主催および共催事業への参加者数で表される。

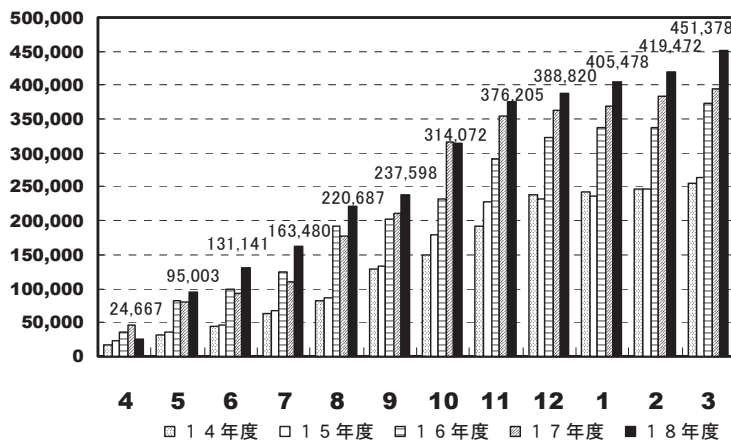
担当課室
生涯学習課
スクールパートナー
推進室

ビジター数

達成度

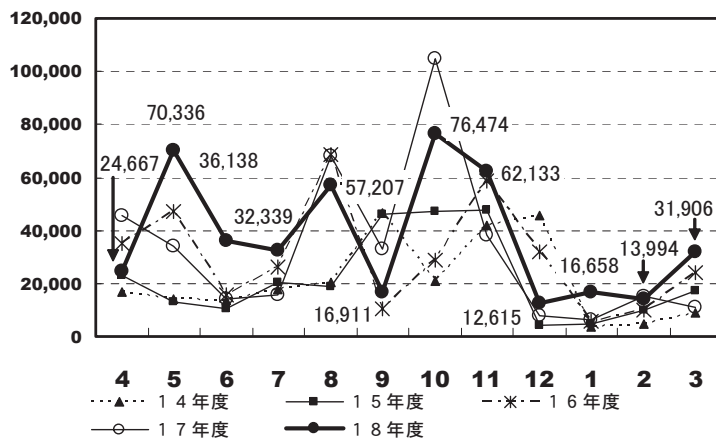
目標 250,000人/年 に対して

180.6% (451,378人)



累積ビジター数

内訳		
本館	206,605	学校団体 12.2%
キャラバン	155,466	一般団体 9.4%
共催事業	89,307	その他個人 78.4%



月別ビジター数

解説

①H18年度の取り組み

子ども向けのセミナーやイベントの充実を図り、来館者の増加に力を入れた。

②H18年度の到達状況の自己評価

館内でのイベント等を充実させた結果、来館者増につなげることができた。さらに、キャラバン事業、共催事業の効果もあってビジター数が大幅に増加した。

③H19年度の取り組みの予定

館内のお客様へのサービスを向上させ、わかりやすい、親しみやすい博物館となるような取り組みを充実させる。来館者が満足のいく様々なイベント等を企画する。

この指標を支える項目

■ イベントの開催と充実 -フェスティバルへの参加者数

- H18の取り組み ●例年通り広域の博物館、公園、市民グループの参画を得るとともに新たに近郊6校による吹奏楽ステージ、日頃の博物館事業紹介プログラムなどを実施した。近隣公共施設・商業施設等とも連携し地域の祭りの事務局として集客を図った。
- 自己評価 ●充実したプログラム内容により、目標の2万人を上回る参加者を得た。
- H19の予定 ●集客とともに参画していただく連携施設・団体との連携を重視し、企画内容、実施体制を工夫する。

■ イベントの開催と充実 -博物館の日への参加者数

- H18の取り組み ●サイエンスショーをはくぶつかんの日に開催し、参加者数増を目指した。
- 自己評価 ●サイエンスショーの参加者や恐竜化石見学者により、参加者数が増加した。
- H19の予定 ●はくぶつかんの日とともに、日祝と夏休み期間中の土日のオープンセミナーを充実させ、来館者増を図る。

■ イベントの開催と充実 -イベント参加者数の確認

- H18の取り組み ●イベント開催日を増やすのではなく、効果的なイベント企画を行って参加者数の増加に努めた。
- 自己評価 ●ファミリーで参加できるイベントを同日に集中開催したため、複数のイベントへの参加を促せた。
- H19の予定 ●研究員によるオープンセミナーを充実させ、イベント参加者数の増加を目指す。

■ イベントの開催と充実 -サイエンスショー

- H18の取り組み ●昨年度に続き、年3回(11月、12月、2月)実施して、より多くの子どもたちに参加機会を提供した。
- 自己評価 ●各回とも大勢の子どもたちが参加した。小学生の参加は多いが、中高生の参加を今後増加させる方策を検討したい。
- H19の予定 ●年3回の実施を継続するが、実施日は近隣の学校行事等を考慮して参加しやすい日に設定する。

■ 一般団体の利用の拡大 -来館一般団体数

- H18の取り組み ●県内各旅行社へのパンフレットの送付など、団体誘致に努めた。
- 自己評価 ●471団体にご利用いただいた。県内が減り県外が増えた。
- H19の予定 ●わかりやすい博物館となるよう努め、各旅行社や各団体への広報を強化する。

■ 学校団体の利用の拡大 -来館学校数

- H18の取り組み ●研究員等によるセミナーを充実させることにより、学校団体へのサービスを向上させた。
- 自己評価 ●学校来館団体数は300校の大会に乗せた。
- H19の予定 ●来館学校に対するセミナーをさらに充実させて、より満足のいく来館にするよう努める。

■ 学校団体の利用の拡大 -継続来館学校数

- H18の取り組み ●81校が昨年度に引き続き来館した。
- 自己評価 ●学校団体への研究員等によるセミナーが充実してきた。
- H19の予定 ●特注セミナーなど団体対応をよりきめ細かく行い、今後も継続来館学校数を増やすよう取り組む。

■ 学校団体の利用の拡大 -ミュージアムティーチャーによる展示案内・指導回数

- H18の取り組み ●館内見学時の支援よりも、学校団体向けセミナーに力点を置いた。
- 自己評価 ●セミナー開催が129回。今後、開催数を増やす必要がある。
- H19の予定 ●より魅力あるセミナーを企画して、指導回数の拡大を図る。また、館内での見学時の支援も強化する。

■ 学校団体の利用の拡大 -教職員セミナー開催数

- H18の取り組み ●8月17日から23日まで、5日間に昨年度より5講座多い23講座を開催した。
- 自己評価 ●のべ562名の受講者があった。小学校の教員の参加が増え、周知されてきたことを示している。
- H19の予定 ●6日間に25講座と、日数、講座数ともに増やして、幅広いニーズに対応して実施する。

■児童生徒の来館促進 -ココロンカードの利用者数

- H18の取り組み ●ココロンカードの利用者増を図るため、放課後のイベントを増やし、近隣小中学校への広報も実施した。
- 自己評価 ●ココロンカードの利用者数は、前年比7.3%（2602人）増で、取り組みの効果が現れた。
- H19の予定 ●子どもたちがいつ来館しても楽しく参加できるイベントを今後とも充実させていく。

■児童生徒の来館促進 -ミュージアムティーチャーのセミナー開催数

- H18の取り組み ●7講座9回のミュージアムティーチャーによるセミナー（ミュージアムスクール）を開催した。
- 自己評価 ●定着したメニューになりつつある。
- H19の予定 ●一般セミナーとしてだけでなく、オープンセミナーの開催数を増やす。

■児童生徒の来館促進 -夏休み理科相談室への参加者数

- H18の取り組み ●8月24日から27日の4日間で119件の相談を受けた。前年比35件増であった。
- 自己評価 ●夏休み後半だけの開催であるため、どうしても質問・同定だけに終わる傾向が見られる。
- H19の予定 ●8月の前半と後半に各1日設けることで、単なる質問会ではなく、事前・事後指導につながる取組に発展させる。

■児童生徒の来館促進 -児童への資料等の活用件数

- H18の取り組み ●ホームページからダウンロードできる資料・教材を充実させた。
- 自己評価 ●活用しやすいミュージアムボックスの開発と広報が必要である。
- H19の予定 ●新しいミュージアムボックスの開発に力を入れる。

■常設展・企画展の質・面白さの向上 -企画展を目的とした来館者の比率・来館者の満足度

- H18の取り組み ●古生代化石、外来生物、昆虫、景観写真と多様なテーマを設定し、とくに昆虫分野では子どもを意識した企画展を開催した。
- 自己評価 ●企画展観覧者はおおむね来館者数の50%以上を占めた。
- H19の予定 ●丹波の恐竜化石を活かした展示の開催や、多様なテーマの企画展を実施する。

■展示空間の活用-企画展、貸会場、臨時展示の回数・常設展示の改善件数

- H18の取り組み ●10ヶ所以上の常設展の補修を進め良い展示環境を維持するとともに企画展4回、ミニ企画展17回、資料・トピックス展示2回を開催し展示空間を活用した。
- 自己評価 ●企画展等の開催数は年次目標を達成できた。常設展の故障が多く補修に努めたが、耐用年数をこえる展示物が主体で、今後の維持に問題がある。
- H19の予定 ●資料・トピックス展示を研究グループ単位で各月1回、年12回開催する。

■ホスピタリティの向上

- H18の取り組み ●自然や環境を題材にした遊びを通じて、来館者との交流をより深めた。
- 自己評価 ●フロアスタッフを中心としてミニ企画展やお正月イベントなどを意欲的に展開した。
- H19の予定 ●団体対応をより円滑に進めるための改善策をさぐる。

■レファレンスルーム・情報センターの充実-レファレンスルーム利用者数・情報施設の利用度

- H18の取り組み ●サロンカウンターでの質問対応など、サロンの利用促進に努めた。
- 自己評価 ●カウンターでの対応人数は2月現在で昨年度実績より約4000人増加した。
- H19の予定 ●丹波市での恐竜化石の発見にともない、関連する図書や資料を増やす。

生涯学習の支援

県民ニーズに応えた学習の場の提供

—魅力ある空間づくり・実践フィールドの提供

4

他施設との連携等により、県下各地に館のサービス提供の場を設け、県民の学習や実践の機会を拡大する

指標名： 連携施設数

連携施設：プログラムの共催、協力等連携して事業を実施した施設



連携施設数

達成度

目標 のべ10施設(18年度まで) ※下記は今年度の連携
 に対して **14年度ですでに達成** 施設一覧(60件)

たつの市教育委員会	尾崎市立浜田小学校
芦屋市	日本昆虫学会近畿支部
芦屋市教育委員会	日本鱗翅学会近畿支部
芦屋市市民センター	姫路市立余部小学校
加古川市立神吉中学校	姫路市立林田小学校 兵庫県土整備部
加西市生活環境部	兵庫県立大附属高校
県立神戸生活創造センター	兵庫県立但馬長寿の郷
福原市昆虫館	豊岡市立コウノトリ文化館
県立六甲山自然保護センター	豊岡市竹野地区公民館
県立舞子高等学校	豊橋市自然史博物館
高砂市教育委員会	名古屋大学博物館
国立民族学博物館	兵庫県立神戸学習プラザ
自然体験教育研究所	明石市立文化博物館
宍粟防災センター	兵庫県西播磨県民局環境課
洲本市立淡路文化史料館	有馬富士公園
神戸三田新阪急ホテル	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校
神戸市立王子動物園	養父市立養父公民館
神戸市立広陵中学校	豊岡市立但馬国府・国分寺館
神戸市立道場小学校	頌栄保育園
神戸市立有野児童館	北播磨田園空間博物館
西宮市立名塩小学校	北摂コミュニティ開発センター
浅見化石会館	三田市立有馬富士自然学習センター
猪名川町生涯学習センター	淡路ワールドパークONOKORO
大阪市立自然史博物館	姫路市伊勢自然の里・環境学習センター
鳥取市歴史博物館	兵庫六甲農業協同組合三田富農総合センター
徳島県立博物館	—
独立行政法人国際協力機構	兵庫県阪神北県民局県土整備部三田土木事務所
南あわじ市	財団法人兵庫県園芸・公園協会一庫公園管理事務所
二戸市立二戸歴史民俗資料館	
佐用町	

解説

①H18年度の取り組み

昨年度と同様、キャラバン事業を軸とした他施設との連携に努めた。

②H18年度の到達状況の自己評価

H17年度は75件であったが、本年度は他事業への労力分配を意識して、努力目標を低く設定したにも関わらず、昨年に近い60件であり、連携体制を維持することができた。

③H19年度の取り組み

地域研究員などの人材養成事業を中心として連携プログラムの充実化をはかり、裾野が広い活動を展開する。

この指標を支える項目

■学習の場となる連携施設・会場の開拓

—館外会場件数・イベント集客数・展示出展回数・有馬富士公園等でのプログラム数・有馬富士公園等でのプログラム参加者数・ガイド作成など実践フィールドの質の向上につながる措置の件数・学習の場となる連携施設数・研究員の派遣施設・会場数

H18の取り組み	●昨年と同様の施設等での継続的な連携事業を発展させた。
自己評価	●連携施設数を維持させつつ、より多様なプログラムを展開し、固定客を確保できた。
H19の予定	●次年度はさらに重点的なキャラバンを5箇所、広報的なものを5箇所実施する予定。

II 自然・環境シンクタンク機能の充実

自然環境情報の一元管理 -ひととはくに来ればすべてがわかる

1

収蔵資料等の電子化を進めるとともに、家庭、職場、学校等館外であっても必要な情報をネットワークで活用できる情報システムの整備を図り、電子化された情報の効果的な活用を促進する

指標：電子情報の利活用件数

電子情報の利活用件数：収蔵情報システム、自然・環境情報システム、館HP資料関係ページへのアクセス数

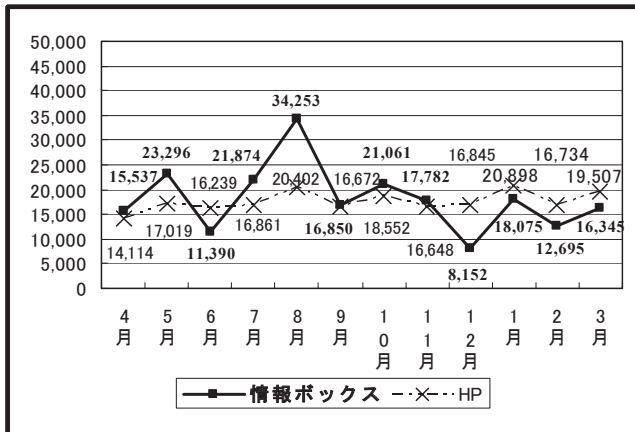
担当課室
シンクタンク
事業室

電子情報の利活用件数

達成度

目標 70,000 アクセス/年に対して

611.1% (427,801件)



内訳 情報ボックス **217,310**
館HPアクセス **210,491**

解説

①H18年度の取り組み

館の展示解説やイベント情報等の基本情報の提供は、来館者へは館内情報端末、一般の県民へは館ホームページで行っている。

②H18年度の到達状況の自己評価

ホームページを利用したセミナー情報の提供に加え、ホームページからセミナーへの参加申し込み機能を追加している。ホームページからの申し込み実績は、セミナー参加者の4割程度と微増している。

③H19年度の取り組み予定

ホームページを利用した機能付加の一つとして、リアルタイムで新しい情報を発信するためブログ機能やセミナー倶楽部会員のWEB登録システムを追加する。

この指標を支える項目

■電子登録数の拡大 -資料の電子情報化件数

- H18の取り組み ●国立科学博物館、GBIF(地球規模生物多様性情報機構)との連携事業により、収蔵品資料の情報公開を進めた。
- 自己評価 ●国立科学博物館およびGBIFを通じ博物館収蔵資料の電子情報1万2千点を公開した。
- H19の予定 ●収蔵品データベースやマルチメディアデータベース等の館内の電子情報化をさらに進める。

■館内端末の利活用 -情報ボックスの利活用件数・情報センターの利活用

- H18の取り組み ●情報ボックスで視聴できる博物館制作のビデオを追加するとともに図書を充実させた。
- 自己評価 ●丹波の化石に関するページを追加した。新着図書を319件追加した。
- H19の予定 ●端末のコンテンツに、わかりやすく魅力的なものを追加する。次期システムを検討する。

■自然環境情報システムの整備と質の向上 -自然環境情報システムの利用数・配布件数等

- H18の取り組み ●自然環境に関する調査委託を地域の団体と協力して実施する。自然環境モノグラフを発行する。
- 自己評価 ●希少動植物等を中心に8件の調査成果をまとめた。大型野生動物に関する調査成果を発刊した。
- H19の予定 ●今後もさらに調査結果をとりまとめた冊子の製作等を行う。

II 自然・環境シンクタンク機能の充実

自然環境情報の一元管理 —ひととくに来ればすべてがわかる

2

収蔵資料及び関連情報を広く一般に提供するとともに、より専門的な学習、調査研究に資するため、閲覧、貸出等収蔵資料の直接的な利活用を促進する

指標：資料利用者総数

資料利用者：収蔵庫利用者、レファレンスルーム等館内資料閲覧場所における資料利用者、及び外部への貸し出し等館外での資料利用者を合わせたもの

担当課室
シンクタンク
事業室

資料利用者総数

達成度

目標 1,000 人/年 に対して

110.7% (1,107人)

①内は調査	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
<収蔵>													
地学系	21(2)	5(0)	6(2)	20(0)	18(0)	7(0)	2(0)	16(0)	12(3)	2(0)	23(8)	7(0)	154(15)
液浸	0(0)	0(0)	6(0)	0(0)	7(2)	4(0)	0(0)	9(0)	0(0)	0(0)	4(4)	2(2)	38(8)
生物系	40(9)	14(5)	14(9)	30(8)	33(11)	49(7)	29(10)	11(1)	34(1)	38(31)	75(1)	13(5)	473(98)
環境系	21(0)	0(0)	0(0)	4(0)	3(0)	0(0)	10(0)	1(0)	9(0)	0(0)	0(0)	0(0)	48(0)
小計	82(11)	19(0)	26(6)	54(4)	61(4)	60(7)	41(10)	37(1)	55(4)	40(31)	102(13)	22(7)	690(98)
ジーン	78(0)	104(0)	41(0)	9(0)	37(0)	78(0)	32(0)	8(0)	52(0)	0(0)	0(0)	7(0)	446(0)
月別合計	160(11)	123(0)	67(6)	63(4)	98(4)	138(7)	73(10)	45(1)	107(4)	40(31)	102(13)	29(7)	1136(98)

収蔵庫など見学者数

解説

①H18年度の取り組み

収蔵品データベースを活用した研究目的での資料の貸し出し、キャラバン事業での展示に力を入れた。

②H18年度の到達状況の自己評価

年次目標に対して達成度が 110.7%であった。

③H19年度の取り組み

資料の活用方針の検討が必要である。タイプ標本の再確認と情報発信が急務である。

この指標を支える項目

■収蔵資料に関する情報の提供 —一般県民向け出版物またはCDの発行の有無

- | | |
|----------|--------------------------------------------------|
| H18の取り組み | ●藤本コレクションを受け入れることが出来た。野生動物に関する自然環境モノグラフ第三号を発刊した。 |
| 自己評価 | ●野生動物関連の膨大な自然環境情報を発信することができた。 |
| H19の予定 | ●タイプ標本の再確認と外部へのデータ発信が不可欠 |

■収蔵資料の積極的公開 —収蔵庫利用者のべ人数

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| H18の取り組み | ●資料の貸し出し、収蔵庫の案内などを行った。 |
| 自己評価 | ●資料利用者総数が昨年度に比べ倍増し、多岐にわたる研究活動に活用された。 |
| H19の予定 | ●資料活用をさらに進めることを検討する。 |

■ミュージアムボックスの製作 —ミュージアムボックスの検討状況

- | | |
|----------|------------------------------------------|
| H18の取り組み | ●資料の貸し出しについては、計11件(230点)であった。 |
| 自己評価 | ●資料貸し出しを促進する仕組みが必要。新規の環境学習グッズの開発が不可欠である。 |
| H19の予定 | ●ミュージアムグッズの整理・開発を行い、ミュージアムボックスの充実を図る。 |

■ジーンファームの積極的公開 —ジーンファーム見学者数・絶滅危惧植物里親の登録者

- | | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| H18の取り組み | ●博物館の日にジーンファームツアーを開催し、ジーンファーム内部の公開に努めるとともに、ジーンファームの紹介映像をひととくサロンで上映した。 |
| 自己評価 | ●ジーンファームでの取り組みをより一般来館者に知ってもらえることができた。 |
| H19の予定 | ●引き続き、ジーンファームの映像をひととくサロンで上映する。 |

II 自然・環境シンクタンク機能の充実

総合的なシンクタンク事業 —ともに考えるコミュニティシンクタンク

3

地域が抱える人と自然の共生に関する多様な課題に対し、専門的な立場からのアドバイス、情報提供を行う

指標：館員が関与したプロジェクト数

担当課室
シンクタンク
事業室

館員が関与したプロジェクト数

達成度

目標 300 件/年 に対して **137.7% (413件)**

内訳	
受託研究件数	20 (うち企業等からの受託研究 2)
各種委員会参画数	314
共催・協力事業などの相手先数	42
植物、種子、ノウハウ等の提供件数	32
企業等のプロジェクトへの 指導助言件数	5

解説

①H18年度の取り組み

ワイルドライフマネジメントセンターの設立準備室を受け持った。

②H18年度の到達状況の自己評価

昨年と同様、数多くの県政課題に関するプロジェクトに参画した。

③H19年度の取り組み

引き続き、委員会参画、受託研究等のプロジェクトに積極的に関わるよう館員に促していく。

この指標を支える項目

■行政課題に関する研究の受入 —受託研究件数

H18の取り組み	●受託研究件数が昨年度の17件からさらに24件と増加した。
自己評価	●行政の依頼に対し、断ることなく十分に対応できた。受託額が大幅に増加した。
H19の予定	●キャラバン事業と連動させて、委託調査を受け入れていくなどの工夫を行う。

■行政に対する専門知識・ノウハウの提供 —各種委員会参画数・分野別広がり

H18の取り組み	●行政機関の委員会委員、アドバイザー等、依頼機関の事業推進、政策立案等の支援を実施した。
自己評価	●依頼に十分答えることができ、専門知識やノウハウを提供できた。
H19の予定	●引き続き依頼があれば優先的に参画し、専門知識を活かして貢献していく。

■企業・NPO等への専門知識・ノウハウの提供 —企業等からの受託研究、企業等のプロジェクト

H18の取り組み	●㈱リコー等の企業からの受託研究を実施し、また合計5件の指導・助言を行った。
自己評価	●昨年度の指導・助言件数23件と同等のレベルを維持できた。
H19の予定	●引き続き、企業等からの受託研究や生涯学習支援事業を2件以上実施する。

■シンクタンク事業における外部機関との連携の拡大 —共催・協力事業等の相手先数、貸出制度有無

H18の取り組み	●特にキャラバン事業において、外部機関と連携を心がけて実施した。
自己評価	●共催・協力事業等の相手先数を維持し、質的な深化を行う事ができた。
H19の予定	●関心層を担い手へと人材育成する仕掛けを検討し、実践する必要がある。

■ジーンファームの利活用 —植物・種子・ノウハウ等の提供件数

H18の取り組み	●貴重植物の育成・増殖・受入だけでなく、県の事業に対する支援を行うなど、ジーンファームを活用したミチゲーションの可能性を検討した。
自己評価	●ジーンファームに対する多様なニーズに対応できた。
H19の予定	●さらなるジーンファームの活用を検討していきたい。

II 自然・環境シンクタンク機能の充実

総合的なシンクタンク事業 —ともに考えるコミュニティシンクタンク

4

県民・NPO・団体等と共に人と自然の共生に資する活動を推進するために、わからないことは博物館に聞く受皿となる仕組みの構築を検討するとともに、その一環として相談しやすい環境・システムを整備する

指標：わからないことは博物館に聞く受け皿となる仕組みの有無

指標：年間相談件数
博物館への年間の質問件数

担当課室
シンクタンク
事業室

わからないことは博物館に聞く仕組みの有無

●4件の新しい仕組みを整備した

- ・よく受ける質問や学習素材をブログにまとめ、わからないことを聞くことができる体制ができた。
- ・館からの情報を積極的に受け取れる体制として、セミナー倶楽部会員向けのメールマガジンを整備した。
- ・地域研究員制度を整えて、館員とのコラボレーションによる学習の推進体制を整備した
- ・高度な学習を目指す方のために、大学院を設置した

解説

①H18年度の取り組み

電話や e-mail 等による質問や依頼等に対し、それぞれ専門に近い館員が対応した。

②H18年度の到達状況の自己評価

相談件数の算定方法が課題であったが、数の算定よりも、内容の還元に重点をおいた。

③H19年度の取り組み

相談を受けた内容を、できるだけブログ等を通じて返す体制が必要

年間相談件数

達成度

目標 300件/年 に対して **925.0 % (2,775 件)**

内訳

電話・メールによる相談件数

1,884

相談来館者件数

891

この指標を支える項目

■相談へのきめ細やかな対応

-県民等からの電話・メールによる相談件数・行政関連での相談来館者数

H18の取り組み

●電話、e-mail 等による質問や依頼に対し、それぞれ専門の近い館員が対応した。質問および回答の内容はイントラネット上の掲示板により館員間で共有するようにした。

自己評価

●2000件を超える相談に応えることができ、十分に目標を達成した。

H19の予定

●相談内容を要約して、知識の共有化が図れるよう情報発信する必要がある。

III 研究・資料

世界～地域の研究・資料を全事業にフィードバックし、 効率化・最適化を図る

1

兵庫県の人と自然に関する研究の中核拠点としての水準を保ちつつ、博物館として常に魅力的なテーマの研究を遂行する

指標：学術論文著書数

論文は学会等審査付き、あるいはそれに準じるもの

担当課室
研究開発
会議

学術論文著書数

達成度

目標 40 本/年 に対して

137.5% (55本)

解説

①H18 年度の取り組み

研究員 1 年 1 本の学術論文作成を目標に掲げ、月例報告会で学術論文著書の累積実数を示し、各研究員・各研究部の現状把握を図り、目標値の達成を目指した。

②H18 年度の到達状況の自己評価

目標値 40 本に対し 55 本の学術論文著書数があり、達成率 137.5%であった。個人や研究部ごとの実績の評価体制をつくりあげることが今後の課題である。

③H19 年度の取り組みの予定

総合共同研究の仕組みを大幅に改良して、博物館にしかできない研究を進め、館全体としての研究レベルの向上を図る。

この指標を支える項目

■学術交流の推進による研究活動の活性化 –学術交流事業数

- | | |
|-----------|--------------------------------------------|
| H18 の取り組み | ●分野横断的な地域研究、および研究会を実施し、異なる研究分野の交流の機会を提供した。 |
| 自己評価 | ●研究会には国際色も盛り込み、部門研究の発表会を実施するなど活発に事業を行った。 |
| H19 の予定 | ●研究会・地域研究の内容を精査して、学術交流をなお一層進める。 |

■学術交流の推進による研究活動の活性化 –共同研究・プロジェクト数

- | | |
|-----------|---------------------------------------------|
| H18 の取り組み | ●昨年度と同様に、予算的措置のある共同研究・プロジェクト 10 件を目標値に設定した。 |
| 自己評価 | ●文部科学省科学研究費をはじめ多数の共同研究やプロジェクトを獲得することに成功した。 |
| H19 の予定 | ●総合共同研究などを見直し、博物館らしい共同研究を促進する仕組みを検討する。 |

■競争的研究資金の獲得 –科学研究費等の研究助成金採択金額

- | | |
|-----------|------------------------------------------------|
| H18 の取り組み | ●競争的資金獲得のための情報交換会などを開催し、外部資金を積極的に獲得するよう呼びかけた。 |
| 自己評価 | ●科研費を中心に多数の研究資金を獲得できた。うち 2592 万円が科研費によるものであった。 |
| H19 の予定 | ●引き続き科研への申請を促進するとともに、他の助成金などへの応募も促してゆく。 |

■国際共同研究の推進 –国際共同研究プロジェクト件数

- | | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------|
| H18 の取り組み | ●サバ大学及び JICA との共同事業として推進中のサバ・プロジェクトの進行管理を行うとともに、新たに科研による国際協同研究に着手した。 |
| 自己評価 | ●目標を達成することができた。 |
| H19 の予定 | ●科研による国際共同研究を適切に進め、その取り組みを積極的に展開していき、世界に情報発信できるような成果を蓄積してゆく。 |

III 研究・資料

世界～地域の研究・資料を全事業にフィードバックし、 効率化・最適化を図る

2 兵庫県の人と自然に関する地域特性の解明、課題の解決、魅力づくりに貢献する研究を推進する

指標：県政課題、地域課題に関連した論文著書・総説その他件数

兵庫県に係るもの、または兵庫県の抱えている課題に係るもの

指標：一般向け著書・総説その他数

自費出版以外の一般向け著書、雑誌・新聞等への執筆

担当課室
研究開発
会議

県政課題、地域課題に関連した論文著書・総説 その他件数

達成度

目標 80件/年 に対して

96.3%
(77件)

一般向け著書 総説その他数

達成度

目標 120件/年 に対して

135.0%
(162件)

県政課題、地域課題に関連した論文著書・総説その他件数

①H18年度の取り組み

研究開発会議を開催して総合共同研究や部門研究の進行管理を行い、研究成果の増加を図った。また、県政課題対応を担う部門研究については、研究成果発表会を実施して、成果の共有と課題の洗い出しを行った。

②H18年度の到達状況の自己評価

目標値80件に対して77件の成果があり、達成率96.3%であった。

③H19年度の取り組みの予定

県の関連部局などとの情報交換を行い、県政のニーズを把握し、有意義な研究となるように、その内容についても精査してゆく。

一般向け著書・総説その他数

①H18年度の取り組み

月例報告会などを通して、研究者への呼びかけを行い、研究員各自の意欲を高めることに努めた。

②H18年度の到達状況の自己評価

目標値120件に対して162件の成果（達成率135%）であった。

③H19年度の取り組みの予定

館内の定期刊行物だけでなく、外部の広報誌等を通して研究内容を紹介できるような仕組みを検討する。

この指標を支える項目

■県政課題の解決、提言に向けた研究の促進

—県政課題の解決、提言に資する研究テーマ選定の仕組みの整備状況

H18の取り組み	●博物館協議会等で研究課題とその成果を報告し承認を受けるとともに、あげられた意見を研究課題に反映することで仕組みの整備に取り組んだ。
自己評価	●仕組みの整備そのものが目標となり、引き続き検討をすすめる必要がある。
H19の予定	●県政学会やホームページで積極的に成果を公開するなど、現在の取り組みを継続する。

■時代を先導する研究の促進 —時代を先導する研究テーマ選定の仕組みの整備状況

H18の取り組み	●博物館協議会等で研究課題とその成果を報告し承認を受けるとともに、あげられた意見を研究課題に反映することで仕組みの整備に取り組んだ。
自己評価	●仕組みの整備そのものを目標とする必要がある。
H19の予定	●総合共同研究の仕組みを見直して、博物館にしかできない学際的共同研究を行い、その中から時代を先導する研究の種を拾い出してゆく仕組みを整備する。

III 研究・資料

世界レベルの博物館へ、飛躍の5年間

3

わが国有数の博物館として、広く県民の期待に応えるために、特色ある質の高い資料を収集する

指標：県内外のコレクションの受け入れ

担当課室
研究開発
会議

県内外のコレクションの受け入れ

達成度

目標 20 件/年 に対して

30.0% (6件)

解説

①H18 年度の取り組み

研究部長や資料担当を通してコレクション等の資料受入を積極的に進めるよう研究員に呼びかけた。

②H18 年度の到達状況の自己評価

平成 18 年度まで 100 件の目標に対し本年度 6 件の受入であり、年間の目標 (20 件) に達しなかった。引き続き、コレクションの情報を収集し、積極的な受け入れに努める。

③H19 年度の取り組みの予定

キャラバン事業や地域研究員事業等を継続し、県民の博物館に対する認知度と信頼を高め、コレクションの寄贈意欲を高めるようにする。

この指標を支える項目

■特色ある質の高い資料の収集を担保する

-特色ある質の高い資料収集方針を定める仕組みの整備状況

H18 の取り組み	●新たな博物館構想・計画をたてるなかで、将来を見据えた資料収集の方針について議論した。
自己評価	●資料収集および管理の仕組みについて時代の趨勢をみながら議論を進めている。
H19 の予定	●新たな博物館の構想にしたがって、資料収集の方針を固めると同時にその仕組みづくりを進める。

■図書文献資料の充実 -図書点数

H18 の取り組み	●書庫の整理を引き続き進め、収蔵スペースの確保を図った。
自己評価	●引き続き図書点数を増やし、雑誌なども充実させた。
H19 の予定	●さらに図書点数を増やすとともに、既存の図書資料の整理をすすめていく。

III 研究・資料

世界レベルの博物館へ、飛躍の5年間

4

ふるさと兵庫の人と自然に関する資料を積極的に収集し、県民共有の財産を継承する中核拠点としての機能を確固たるものとする

指標：兵庫県版レッドデータブック掲載種及び掲載箇所に関する資料の収集数

担当課室
研究開発
会議

レッドデータにブックに関する資料収集

達成度

目標 H18年までに 80%収集 に対して

40.9% (865件)

解説

①H18年度の取り組み

昨年に引き続き、レッドデータブック記載種に対する現状の収集状況を把握し、全分野における収集状況を再検索および整理した。

②H18年度の到達状況の自己評価

現時点での収集状況を整理した結果、全体で 40.9%の収集率である。

③H19年度の取り組みの予定

レッドデータ掲載種の収集状況の整理を進め、重点的に収集すべきものを抽出して、引き続き資料収集にとりくむ。

この指標を支える項目

■県民の持つ資料・情報の受入の促進 -寄贈資料数

- | | |
|----------|----------------------------------|
| H18の取り組み | ●昨年と同様に受け入れをすすめた。 |
| 自己評価 | ●平成18年度までの目標値である75,000点の受入を達成した。 |
| H19の予定 | ●新たな博物館構想・計画にしたがって、新たな目標作りを行なう。 |

■県民の持つ資料・情報の受入の促進 -兵庫県産絶滅危惧植物(種子・生株)受入件数

- | | |
|----------|----------------------------------------------|
| H18の取り組み | ●レッドデータブックの改訂により、対象となる資料が増加したが、引き続き受け入れを進めた。 |
| 自己評価 | ●全体で40.9%の収集率であり、目標に到達しなかった。 |
| H19の予定 | ●あらためて受け入れ計画を策定し、それにもとづいて積極的に受け入れをすすめる。 |

IV マーケティングおよびマネジメント

すべての県民に知られ利用される博物館

1

広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を拡大する

指標：知名度の向上

担当課室
企画調整室

知名度の向上

ひとはくの知名度

行ったことがある+知っている

49.1%

解説

①H18年度の取り組み

一昨年度、知名度 49.1%の結果を示したが、本年度はそれ以上の詳細調査をしていない。年度終期に恐竜化石の発見・発掘事業があり、多数のメディアに何度も露出したことにより知名度は格段に向上したと思われるが、実地調査はできなかった。

②H18年度の到達状況の自己評価

恐竜化石関連でメディアへの露出回数は明らかに増加したが、回数以上に主要テレビ局でのニュース報道がなされたことにより、知名度は確実に上がったと思われる。

③H19年度の取り組みの予定

恐竜関連の展示や二次発掘に向けた取り組みのホームページ、ブログ、メルマガ等による発信、新形式のセミナー、キャラバンの充実により、更なる知名度の向上に努める。知名度の数値データを何らかの形で測定できるよう検討する。

この指標を支える項目

■メディアを通じた情報提供 -新聞等掲載数

H18の取り組み

●季節ネタや活動の紹介をこまめに続けた結果、年間目標を超える 539 件の掲載があった。

自己評価

●1 月から 3 月に恐竜関連の記事等が多数掲載されたが、それ以外の時期もコンスタントに 30-40 件の掲載を続けることができた結果、目標達成に結びついたと考えている。

H19の予定

●引き続き、興味を引く内容を考慮しながら、新聞・テレビ等への効果的な情報提供を検討する。

■ホームページを通じた情報提供 -ホームページアクセス数、メルマガ読者数

H18の取り組み

●トップページ写真の随時更新、イベントの最新情報の適宜アップなど、HP の新鮮さを保つことに努めた。

自己評価

●HP アクセス数は少し伸びたが、メルマガ購読数は漸減しており、より魅力的な内容の開発が必要である。

H19の予定

●日々の博物館活動を楽しく伝えるブログを開始し、一層のアクセスを誘引する。

■セミナー倶楽部による直接情報提供 -セミナー倶楽部会員数

H18の取り組み

●ひとはく手帖、季刊セミナーガイド、ハーモニーのわかりやすい編集・制作・送付や、企画展プレビューへの招待など、会員限定サービスの向上に努めた。

自己評価

●各種サービスの顧客満足度は横ばい状態と思われ、会員数の増加は微増である。

H19の予定

●更なるニーズの把握とサービスの充実をはかり、満足度向上に努める。

■ホスピタリティの向上 -苦情処理数・館員の対応の適正度

H18の取り組み

●館に寄せられた苦情に関しては、協議の上、適切に対応を行った。

自己評価

●個々の苦情に対して、適切に対応したことにより、大きな問題は起こっていない。

H19の予定

●寄せられる苦情に迅速・適切に対処すると共に、館員の対応について更なる意識向上を図る。

IV マーケティングおよびマネジメント

柔軟で活力を生み出す開かれた博物館運営

2

参画と協働の理念にもとづき、開かれた博物館運営と積極的な情報公開によって博物館運営を透明化すると同時に、よりいっそうの効率化を図り、博物館活動を活性化する

指標：中期目標の達成

中期目標の各項目について目標値を達成したものの割合

担当課室
企画調整室

中期目標の達成

達成度

目標 H18年までに 80% 達成に対して

80.0% (8件)

解説

①H18年度の取り組み

中期計画最終年にあたり、とくに研究資料に関する未達成の指標を達成できるよう努力したがかなわなかった。

②H18年度の到達状況の自己評価

相手との関係があつて容易に達成できない指標のみが残された。

③H19年度の取り組みの予定

資料やシンクタンク関連の目標を強化した次期中期計画の策定および、外部評価委員会による評価点検を実施し、効果的な計画推進をはかる。

この指標を支える項目

■ 博物館運営への外部評価の実施と結果の公開 –適切な評価システムの整備状況

H18の取り組み	●2月に博物館協議会を実施し、主要事業の報告および将来構想策定委員会の進捗状況について説明し、意見を頂いた。
自己評価	●事業の外部評価は受けたといえるが、研究資料や運営を含めた全体の評価には至っていない。
H19の予定	●次期中期計画については、策定時から外部委員会による評価を受ける予定で事務を進める。

■ 外部資金の導入 –調査研究受託金額

H18の取り組み	●調査研究に関する受託は20件5241.6万円になった。
自己評価	●ワイルドライフ事業への研究委託など、次年度にはない委託費が相当数含まれている。
H19の予定	●調査研究に関するより多くの外部資金が得られるようさらに努力していく。

■ 外部資金の導入 –各種事業における外部機関の負担金額

H18の取り組み	●ボルネオジャングルスクールや、市民団体との協働活動への委託のほか、JSTによる子供向け環境教育関連の委託事業などを受けた。
自己評価	●外部資金の導入により、事業の質を落とすことなく多くの事業を実施することができた。
H19の予定	●展示やイベント、キャラバン事業など、今後ますます県民ニーズの高まる多様な事業について、外部資金を積極的に導入していくことが求められる。

■ 季節開館、夜間開館等開館時間の融通性の拡大 –融通性をもった開館形態の実施状況

H18の取り組み	●ゴールデンウィーク及び夏休みの無休開館、夜間開館、正月開館(1/3-1/4)を実施した。
自己評価	●開館日の拡大が次第に浸透してきており、入館者増に結びついている。
H19の予定	●引き続きこれら融通性のある特別開館を実施する。

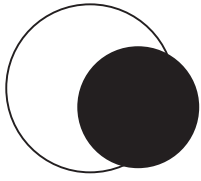
■ 職員等の士気の向上 –業務改善提案・改善数やサバティカル等研究活動を活性化する仕組み等の整備状況

H18の取り組み	●事業推進会議を月1回にし、懸案の問題を検討する事業戦略検討会議を新規実施した。
自己評価	●日々の事業の拡大に伴い、中期的視野にたつて事業や研究を検討し共有する場が少ない。
H19の予定	●事業の効率化をはかり、各個人が館の使命・将来を考えられる時間を確保する。

■ 適切な危機管理の実施 –危機管理上重要な情報の処理の適正度

H18の取り組み	●企画調整室が中心となって危機管理にあたった。
自己評価	●危機管理マニュアルの策定までは至らなかった。
H19の予定	●想定される危機に備えて危機管理マニュアルの作成に着手する。

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

【平成18年度購入・寄贈資料】

植物

田中光彦コレクション 2006 (維管束植物) 25 点

昆虫

- 鉢伏高原産ガ類 (永瀬コレクション) 18 点
- カミキリ類 (小田コレクション) 9200 点
- ホソヒメカタゾウ (吉田コレクション) 3 点
- グミチョッキリ (岸コレクション) 1 点
- ヒラズゲンセイ (青木コレクション) 1 点
- ゴホンダイコク (丹野コレクション) 1 点
- ミツコブヘンマコガネ (高橋コレクション) 6 点
- 和田コレクション 2006 (タテハチョウ科) 35 点

化石

- 新生代貝類 (伊藤コレクション) 30 点
- 三葉虫 (エルラシア) (斎藤コレクション) 2 点
- 三葉虫 (コウモリ石) (小川コレクション) 1 点
- 鎖サンゴ (鈴木コレクション) 2 点
- テンタキュルス 1 点
- ステイグマリア 1 点
- クリプトゴレウス 1 点
- アンフィグラブタス 1 点
- ケイチョウフィルム 1 点
- ウニ化石 1 点
- ユカリプトウクリヌム 1 点
- スキフォクリニテス 1 点
- レプトダス 1 点
- 古生代化石標本セット 2 点
- クサリサンゴ 1 点
- 活遊性ウミユリ化石 1 点
- 腕足類化石 1 点
- ペロノプシス 1 点
- フィログラプヌス 1 点
- リンギュラ 1 点
- アーケオプテリス 1 点
- ホロシスティス 1 点
- フフェオロニテス 1 点
- 層孔虫化石 1 点
- ペコプテリス 1 点
- ウミユリ化石 1 点
- 昆虫化石レプリカ 1 点
- 巻き貝化石 1 点
- ハチノスサンゴ化石 1 点

環境

六甲山絵葉書と神戸市談会会報 (森地コレクション) 4 点

○主な寄贈資料

〔化石〕

- 神戸層群産植物化石 4,627 点 (堀冶三郎氏)
- 神戸層群産植物化石 2,656 点 (高岡得太郎氏)
- 日本産中生代貝類化石 890 点 (市川浩一郎氏)
- 高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点 (仙頭鷹雄氏)
- 備北・勝田層群産中新世化石 187 点 (岸本眞五氏)
- 岩手県一関地域産中新世貝類化石 80 点 (林広樹氏)
- 長野県富草層群産中新世貝類化石 49 点 (小関正嗣氏)

〔地質・岩石・鉱物〕

生野鉱山鉱石 7 点 (シルバー生野)

〔動物〕

- 貝類標本 10,000 点 (菊池典男氏)
- 鳥類標本 87 点 (中田富士雄氏)
- 鳥類標本 620 点 (西堀静江氏)
- 鳥類標本 130 点 (柴田嘉三氏)
- 鳥類標本 15,442 点 (小林登美子氏)

〔昆虫〕

- ハエ類等標本 10,300 点 (田中梓氏)
- チョウ類等標本 14,000 点 (柴田篤弘氏)
- チョウ類等標本 5,700 点 (山本廣一氏)
- チョウ類他標本 11,000 点 (小林登美子氏)
- カリバチ類タイプ標本 367 点 (常木三澄子氏)
- ハバチ類標本 14,000 点 (猪股光子氏)
- ゴミムシ類標本 5,700 点 (大倉孝子氏)

〔植物〕

- 蘚苔・地衣類標本 25,000 点 (中西田鶴子氏)
- シダ類標本 4,000 点 (稲田政子氏)
- 高等植物標本 20,000 点 (細見末雄氏)

○主な購入資料

〔化石〕 オフサルモサウルス・ドイツ・メッスル産化石一式、ポプロフォネウス・アメリカマストドン全身骨格・ヒブセロサウルス卵化石・ユーステノプテロン・ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式 〔地質・岩石・鉱物〕 兵庫県産鉱物・石鉄隕石・隕鉄 〔動物〕 オオヒクイドリ剥製・鳥類剥製・甲殻類剥製・軟体動物含浸標本・貝類含浸標本・鳥類生態写真・魚類生態写真 〔昆虫〕 タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)・ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)・チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)・チョウ類標本 (台湾・中国産 1,300 点)・チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)・シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)・フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)・甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)・甲虫類標本 (高橋コレクション 7,248 点)・ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点) 〔植物〕 兵庫県産木材樹幹・外国産木材樹幹・屋久杉輪切り (年輪) 標本・種子標本 (種子コレクション)・特殊材 〔映像資料〕 兵庫の自然シリーズビデオ本・生物系ビデオ本・地球大紀行再編集ビデオ本

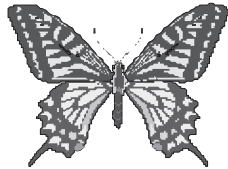
○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

1) システム構成



① 収藏品管理システム ～ひととはくデータベース～

100万点を超える収藏品を管理するシステムで、収藏品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひととはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収藏品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のデータや収藏品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末からWebブラウザを利用して行う。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひととはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末からWebブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



③ 普及広報システム

平成8年6月25日に館内に独自サーバを設置し、インターネット発信を開始した。現在の発信内容は、博物館の紹介・交通案内・展示解説・イベント情報などの基本情報の提供に加え、仮想的に館内を自由に観覧体験できるバーチャルミュージアムも楽しむことができる。

遠隔授業は、インターネット回線や電話回線を利用した会議機能を活用して、主体的な学びや自然体験の創出、専門家との交流を目的に平成12年度から実施している。



④ 地理情報システム (GIS)

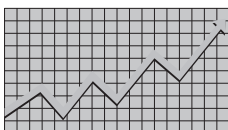
収藏品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



⑤ 研究支援システム

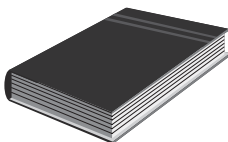
館内LANを利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになっている。顕微鏡の精細な映像や化石のクリーニング映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っている。



⑥ 運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末からWebブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

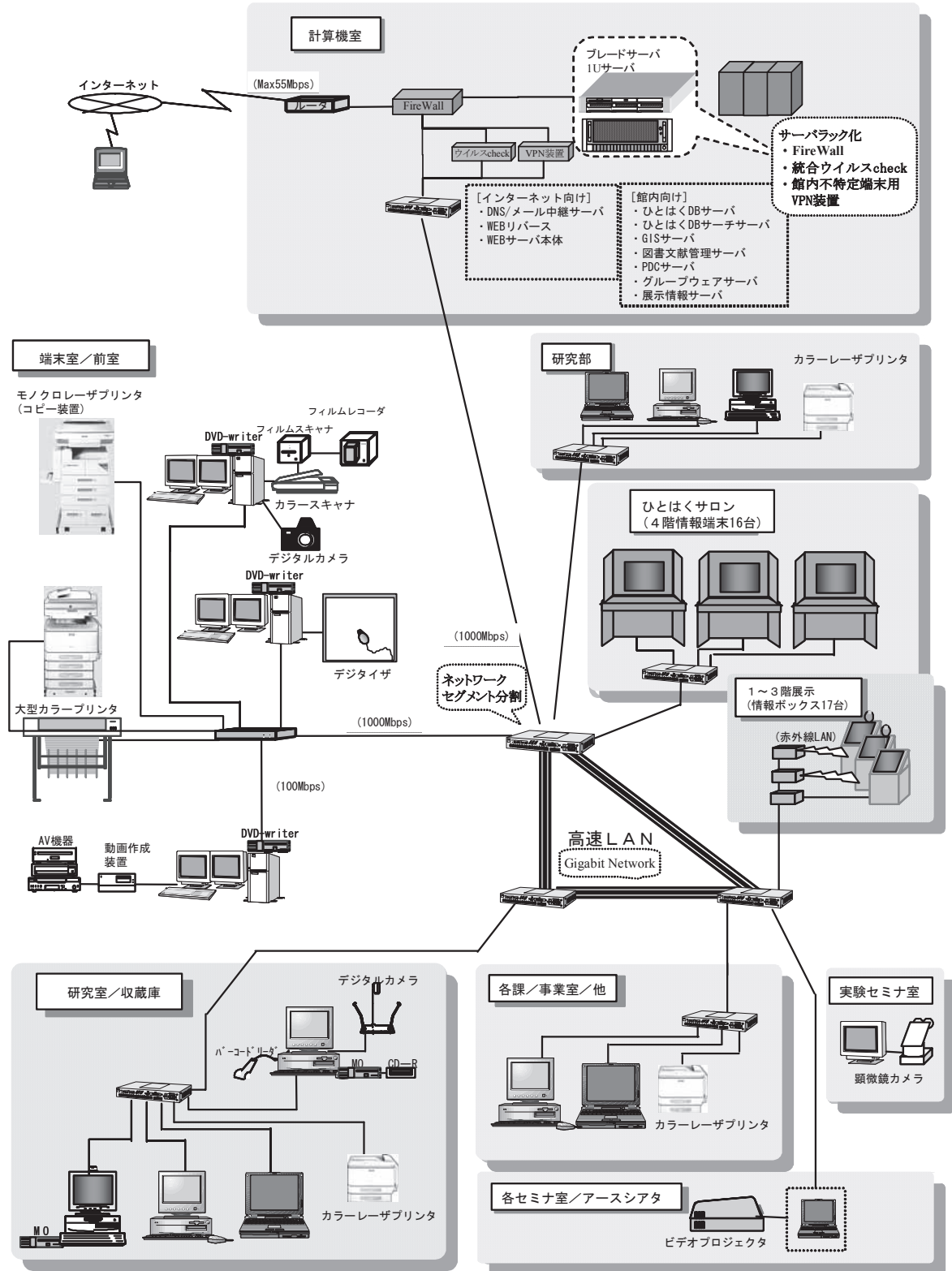
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



⑦ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する10万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

1) システム構成



* サーバ11台、クライアントパソコン88台、プリンタ等13台

○条例等

兵庫県立人と自然の博物館設置
及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号

[沿革] 平成7年7月18日条例第24号改正。15年3月17日条例第7号改正 16年3月26日第7号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下博物館という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。
(1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下博物館資料という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
(2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
(3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
(4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
(5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
(6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
(7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
(8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
(9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表1に定める額の観覧料を納めなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をしようとする者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者

(遵守事項等)

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
 - (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
 - (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
 - (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - (5) 他人に害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。
- 2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第2に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をしようとするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

(原状回復の業務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別な理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
- ただし第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

7) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の前日に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成16年3月26日条例第7号抄）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。（後略）

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
大人	200円	150円	1 「学生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 2 「小人」とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 県内に住所を有し、又は県内の学校に在学する小人が利用する場合は、無料とする。
学生	150円	100円	
小人	100円	70円	

別表第2（第9条関係）

区 分	使 用 料			備 考
	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで	
ホール	5,500円	7,000円	12,500円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日以外の日をいう。
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

（平成4年3月27日）
教育委員会規則第8号）

〔沿革〕平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正。15年3月25日第7号改正

（趣旨）

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。

ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日（当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日）とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同12月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は、同項の休館日において臨時に開館することができる。

（観覧料の納付）

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

（特別観覧の許可等）

第5条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

（展示品の利用）

第6条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

（施設の利用の許可）

第7条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書を申請者に交付するものとする。

（平日に利用する場合のホールの使用料の額）

第8条 条例別表第2の規定による別に教育委員会規則で定めるホールの使用料の額は、別表第2に定めるとおりとする。

（附属設備の使用料の額）

第8条の2 条例別表第2の規定による別に教育委員会規則で定める附属設備の使用料の額は、別表第3に定めるとおりとする。

（特別観覧料及び使用料の納付）

第9条 特別観覧許可書及び兵庫県立人と自然の博物館利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

（観覧料の免除）

第10条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 県内に居住する65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料の2分の1に相当する額

(2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額

（観覧料等の還付）

第11条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額

(2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。

当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第3号）を教育委員会に提出しなければならない。

（寄託又は寄贈）

第12条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第13条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

(補則)

第14条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項(観覧時間に係る部分に限る。)、第4条から第6条まで、第9条(特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。)、第10条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。並びに第11条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。))の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則 (平成4年10月26日教育委員会規則第19号)

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則 (平成15年3月25日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年3月26日教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

別表第1 (第5条関係)

区 分	特別観覧料 (1点1回につき)		
熟 覧	150円		
複写・模造	2,000円		
撮 影		学術研究を 目的とする 場合	学術研究以 外を目的と する場合
	単 色	150円	1,000円
	原 色	300円	2,000円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。
2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。
3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別表第2 (第8条関係)

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金額	4,400円	5,600円	10,000円

2 附属設備の使用料

附 属 設 備	金 額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント (録音器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 2,000円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 3,000円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持込む場合)	持込み器具1式につき 5,000円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号 (第5条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日
兵庫県教育委員会 様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者	備 考
観覧希望日時	年 月 日 時から 時まで		
研究の方法	熟 覧 模 写 模 造 撮 影		
研究の目的			

様式第2号 (第7条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日
兵庫県教育委員会 様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

利用目的	
利用室名	
附属設備の名称	
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 月 日 時まで
利用者数	
※ 使用料	円
※ 備 考	

(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

様式第3号 (第11条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書

年 月 日
兵庫県教育委員会 様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返 還 請 求 の 内 容	※還付金の内訳
利用等の日時	年 月 日 時から (日 時間) 月 日 時まで
既 納 付 額	円
返還を受けようとする理由	
※ 還 付 率	パーセント
※ 還 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議会 の組織及び運営に関する規則

(平成4年3月27日)
教育委員会規則第9号

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。
2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。
2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館 の管理に関する規程

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則(平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第13条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第10条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県教育委員会 行政組織規則(抜粋)

[沿革] 昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第4号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号改正

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もって教育行政事務の適性かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

(機関の分類)

第2条 前乗の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

(機関の定義)

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治体(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

(行政機能の発揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となって教育行政機能の発揮に努めなければならない。

(規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものと

する。

(組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

(位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

(業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

(組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部
総務課

情報管理課
生涯学習課
自然・環境評価研究部
自然・環境マネジメント研究部
自然・環境再生研究部
(事業推進部の事務)

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- (2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- (3) 自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- (5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

(総務課の業務)

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 文書の取受、発送、保存等に関すること。
- (3) 職員の進退及び服務に関すること。
- (4) 給料その他の諸給与に関すること。
- (5) 児童手当に関すること。
- (6) 会計経理に関すること。
- (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
- (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
- (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

(情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (5) 情報機器の管理に関すること。
- (6) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指導生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く)。
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く)。
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に関するものを除く)。
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。

- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

(附属機関)

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担当事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名 称	担 任 事 務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあっては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立障害児教育センター、県立但馬やまびこの郷及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(副所長等)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館及び県立人と自然の博物館に、副館長を置くことができる。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、次長等を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。

(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

職 名	組 織	職 務
部 長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及びコウノトリの郷公園	上司の命を受け、部の事務を処理する。
課 長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館、コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことができる。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとお

りとする。

職名	職務
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることがある。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。)若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長(副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

別表(第74条の3、第77条の3、第80条の6関係)

職名	職務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
条例第16号

(沿革) 平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品並びに兵庫県立歴史博物館及び兵庫県立人と自然の博物館の博物館資料(以下「美術品等」という。)を円滑に取得するため、美術品等取得基金(以下「基金」という。)を設置する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入には、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもって美術品等を取得することができる。

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実有利な方法により保管するものとする。

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附則(平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則(平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

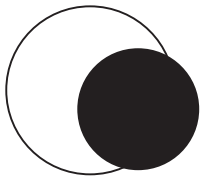
1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。(後略)

附則(平成15年8月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

○博物館協議会委員名簿

区 分	役 職	氏 名
学校教育関係者	三田市立高平小学校長	吉 田 礼 子
〃	神戸市立岩岡中学校長	館 章
〃	県立洲本高等学校長	高 坂 健
社会教育関係者	県立歴史博物館長	端 信 行
〃	兵庫県社会教育委員 (神戸親和女子大学教授・同大学院教授)	寺 見 陽 子
〃	兵庫県社会教育委員専門部会専門委員 (ライフデザイン研究所FLAP代表)	岩 木 啓 子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山 西 良 平
〃	NPO法人コミュニティーサポートセンター神戸 理事長	中 村 順 子
〃	JT生命誌研究館館長	中 村 桂 子
〃	兵庫県立大学副学長	鈴 木 胖
〃	三田市長	岡 田 義 弘
〃	阪南大学教授	貴多野乃武次
〃	辻本智子デザイン研究所代表取締役 淡路夢舞台温室プロデューサー	辻 本 智 子
公募委員		小 西 真 弓
公募委員		朝 日 真 澄



個人別成果報告に関連する資料

岩槻 邦男 Kunio IWATSUKI

館長

1934年兵庫県丹波市生 京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。

東京大学名誉教授、放送大学客員教授

所属学協会：(社)日本植物学会(評議員、元会長ら)、(社)日本植物園協会(顧問、元会長ら)、日本植物分類学会(元会長ら)、日本シダ学会、生き物文化誌学会(編集委員)、熱帯生態学会、植物形態学会、日本地衣学会、国際植物園連合(直前会長)、国際植物分類学連合(元理事ら)、国際植物形態学会(評議員)、アメリカ植物分類学会(名誉会員)、国際シダ学連合、インドシダ学会(名誉会員)、アメリカシダ学会、イギリスシダ学会、その他



<研究開発>

1 調査研究

■論文・著書

著書

- 岩槻邦男, (2006)『植物の利用30講』(図説生物学30講シリーズ植物2). 朝倉書店.
- 岩槻邦男, (2006)希少種の保護と生息地保全. 村井俊治編『人とわがわが(上)』, 366-384.
- Koike, F., Clout, M. N., Kawamichi, M., de Poorter, M. & Iwatsuki, K. (eds.) (2007) Assessment and Control of Biological Invasion Risks. Biodiversity Network Japan, 1906.

審査付き論文

- Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki, and J.-Y. Dubuisson. (2006) New insights into the phylogeny of the genus *Hymenophyllum* s. l. (Hymenophyllaceae): Revealing the polyphyly of *Mecodium*. Syst. Bot. 31, 271-284.
- Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., Hennequin, S. & Ito, M. (2006) A Taxonomic Revision of Hymenophyllaceae. Blumea 51, 221-280.
- Hennequin, S., A. Ebihara, M. Ito, K. Iwatsuki & J.-Y. Dubuisson. (2006) Phylogenetic systematics and evolution of the genus *Hymenophyllum* (Hymenophyllaceae: Pteridophyta). Fern Gaz. 17 (5), 247-257.
- Iwatsuki, K. 2006. Spherophylon, the concept of life at the level higher than individual. Proc. Jap. Acad. B. 82, 289-296.
- Ebihara, A., Dubuisson, J.-Y., Iwatsuki, K., and Ito, M. 2007. Systematics of *Trichomanes* (Hymenophyllaceae: Pteridophyta), progress and future interests. Fern Gaz. in press.

講演集、著書分担等

- Iwatsuki, K. (2006) Sacred forests connected with the temple shrines of Japan. Conserving Cultural and Biological Diversity: the Role of Sacred Natural Sites and Cultural Landscapes, 90-92. UNESCO-MAB
- Iwatsuki, K. (2007) Alien species and wild flora. In Koike, F. & al. (eds.): Assessment and Control of Biological Invasion Risks, 2-3. Biodiv. NW Japan.

■その他著作(一部)

著作

- 岩槻邦男 シルクロードの植物たち 27-50 朝日週間百科『シルクロード紀行』27号-50号
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性を生きたる 6, ログスドン, 66, 54-57.
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性を生きたる 7, ログスドン, 67, 46-49.
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性を生きたる 8, ログスドン, 68, 44-47.
- 岩槻邦男, (2007)生物多様性を生きたる 9, ログスドン, 69, 46-49.
- 岩槻邦男, (2006)7月の植物. プランタ, No. 106, 3.
- 岩槻邦男, (2006)日本の絶滅危惧植物 87-88, プランタ, No. 106,

59-60.

- 岩槻邦男, (2006)9月の植物, プランタ, No. 107, 3.
- 岩槻邦男, (2006)ワラビ. プランタ, No. 107, 4-6.
- 岩槻邦男, (2006)11月の植物, プランタ, 108, 3.
- 岩槻邦男, (2006)日本の絶滅危惧植物 89-92, プランタ, No. 107, 60-63.
- 岩槻邦男, (2006)植物と共に生きる, プランタ, No. 108, 4-9.
- 岩槻邦男, (2006)日本の絶滅危惧植物 93-100, プランタ, No. 108, 47-54.
- 岩槻邦男, (2006)生物多様性の持続的な利用-人と自然の共生 農業と経済, 臨時増刊, 72(14), 13-22.
- 岩槻邦男, 師を語る:科学のための科学. 学術月報, 59(12), 54-55.
- 岩槻邦男, (2006)100年後の森. 日経サイエンス, 36(12), 3.
- 岩槻邦男, (2006)植物園の魅力. 都市公園, 175, 2-4.
- 岩槻邦男, (2006)名前を通じて植物にしたしむ. 緑・花文化の知識認定試験 公式問題集平成18年度版, 6-7.

■研究発表

国際会議など

- Iwatsuki, K. (2006) Harmonious Co-existence between Man and Nature. Beijing Symposium on Biodiversity, Beijing.
- Iwatsuki, K. (2006) Biodiversity and Mankind - for harmonious co-existence between nature and mankind. Professor Wu Cheng-yi's 90 years memorial symposium, Kunming.
- Iwatsuki, K. (2006) GBIF, its history, present status, and future prospect. GBIF International Workshop, Tokyo.

■学会役員など

- (社)日本植物園協会, 顧問.
- 自然史学会連合, 顧問.
- アメリカ植物分類学会, 名誉会員.
- インドシダ学会, 名誉会員.
- インドネシア学術機構 (LIPI), 科学顧問.
- マレーシア植物誌委員会, 評議員.
- 国際植物形態学会, 評議員.
- Indian Fern Journal (印), 編集顧問.
- Journal of Japanese Botany (日), 編集委員.
- ビオストーリー (生き物文化誌学会), 編集委員.

■助成を受けた研究

- 人間環境としての照葉樹林の植物学的解析 - 中国と日本を対比して. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 B 海外), 研究代表者 (平成18年度 832万円)
- 「Flora of Japan IIa 巻」. 日本学術振興会科学研究費補助金 (出版助成), 研究代表者. (金額 240万円)
- 生物圏保存地域における生物多様性の回復予測. 文部科学省科学研究費補助金 (特別研究促進費), 研究分担者 (80万円/640万円)

■海外調査

- 2006. 8 中華人民共和国福建省
- 2006. 12 中華人民共和国雲南省

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

県関係講演等

- 岩槻邦男, 2006. 5, 「生物多様性の調査研究 - その現状と展望」. 兵庫生物学会創立60周年記念大会, 明石市.
- 岩槻邦男, 2006. 8, 「ジャングルスクールに学ぶ - 学んだものをどう生かすか」. ジャングルスクール解団式, 三田市.
- 岩槻邦男, 2006. 9, 「外来生物と人の生活 - 現実をどうとらえ、それにどう対応するか」. 企画展シンポジウム「どうする兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市.
- 岩槻邦男, 2007. 2, 植物からの警告 - 人と自然の調和ある共存に向けて. 一白会, 神戸市.
- 岩槻邦男, 2007. 2, 「生物多様性の持続的利用」. 関西学院大学講

義, 三田市.

岩槻邦男, 2007.3, 人と自然を生かした町づくりー 自然と共生する日本列島を. 香美町村岡公民館, 香美町.

県外講演等

岩槻邦男, 2006.4, 「植物多様性の研究ー 現状と展望」. 奈良植物研究会創立30周年記念大会, 近畿大学, 奈良市.

岩槻邦男, 2006.4, 「人と自然の共生を考える」. グリーンセイバー, アドバンス講義, 環境工科大学, 東京都.

岩槻邦男, 2006.6, 「生命の寿命を考えるー 生き物にとって生きるとはー」. 奥野総合法律事務所研修会, 熱海.

岩槻邦男, 2006.6, 「生物多様性と日本人のこころ」. 日本法律家協会近畿支部総会, 大阪市.

岩槻邦男, 2006.9, 「ヒトとこころ」. パネリスト, コスモスフォーラム IX, 大阪市.

岩槻邦男, 2006.11, 「博物館は今ー 地域博物館に期待するもの」. 新潟に博物館をつくる準備委員会, 新潟市.

岩槻邦男, 2006.12, 「生物多様性を俯瞰するー 生物多様性の現状とこれから」. 京都大学集中講義, 京都大学, 京都市.

岩槻邦男, 2006.12, 「写真によるシダ植物研究者紹介2」. 日本シダの会12月例会, 東京都.

岩槻邦男, 2007.1, パネリスト, IUCNシンポジウム, 東京都.

岩槻邦男, 2007.3, 「地域博物館がやるべきこと、やっていること」. 日本学術会議中国・四国地区講演会, 広島市.

非常勤講師など

放送大学 客員教授として, 授業担当 (2科目の主任講師, 1科目の分担講師), 大学院生の指導 (10人以上の客員指導教員; 修士号取得2名).

京都大学大学院 関西学院大学の授業担当.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007.2, 共生のひろば コメンテーター.

2. シンクタンク事業

■行政等支援 (委員会, 法人等役員など)

政府機関等委員

日本ユネスコ国内委員会, 委員 (自然科学小委員会委員長, MAB分科会主査).

中央環境審議会, 委員 (野生生物部会長, 世界自然遺産候補地検討委員会委員長ら). (-2007.1)

文化学術審議会, 専門委員.

(独) 理化学研究所, 相談役

(独) 国立科学博物館, 評議員, アドバイザー; 同筑波実験植物園運営委員会, 副会長.

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所, アドバイザー; 同生物資源委員会, 幹事.

(独) 科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会, 委員長.

日本学術会議第20期, 連携会員.

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員会, 委員長.

国際機構等

国際植物園連合 (IABG), 直前会長.

国際植物情報機構地球植物誌編集委員会 (IOPI-SPP), 委員.

法人等役員

国際生物学賞委員会, 委員; 同選考専門委員会, 委員.

コスモス国際賞委員会, 委員.

日本国際賞審査委員会第2部, 部会長.

みどりの学術賞選考委員 (委員長代理).

(財) WWF- ジャパン, 常任理事; 同自然保護委員会, 委員長.

(財) 藤原ナチュラリスト歴史振興財団, 理事.

(財) 松下幸之助花博記念財団, 理事.

(財) 日本自然保護協会, 評議員.

(財) 国際生態学センター, 評議員.

(財) 国際花と緑の博覧会記念協会, 参与, コスモスフォーラム実行委員長.

(財) 公園緑地管理財団, 緑・花試験実行委員会, 副会長.

(財) 科学技術振興財団, 研究植物園助成選考委員.

(財) 昭和聖徳記念財団, 研究助成選考委員.

(NPO) 聚, グリーンセイバー実行委員長.

(NPO) ベルデ, 理事.

生物多様性 Japan, 代表.

兵庫県生涯教育審議会, 委員.

(財) ひょうご科学技術協会, 理事.

3 資料収集・整理

■資料収集

2006.8 シダ植物標本の採集, 中華人民共和国福建省.

2006.12 シダ植物標本の採集, 中華人民共和国雲南省.

■整理同定

1990年代収集のベトナム産シダ植物の同定, 配架.

2006年収集の中国産シダ植物の同定, 配架.

4 特別プロジェクト

サバ・プロジェクト

ジャングルスクールの企画に参加し, JICAの受入研究者に対応, サバ大学学長・研究所長の来日時に対応するなど, さまざまな機会に博物館とサバ大学の協力に貢献した.

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト

国内技術専門委員会委員長として参画.

フェアブル展ひょうご・プロジェクト

フェアブル展5館共同事業実行委員として参画.

河合 雅雄, Masao KAWA I

名誉館長

大正13年兵庫県篠山市生 京都大学理学部動物学
科卒業.

理学博士. マレーシアサバ大学名誉博士

京都大学名誉教授. 丹波の森名誉苑長. 日本人類

学会, 日本霊長類学会, 日本哺乳類学会, 生生物

文化誌学会, 日本アフリカ学会, 日本ナイル・エチオピア学会, 兵庫

政学会等所属.



■著書

河合雅雄 (2007) 里山と動物、動物反乱と森の崩壊 (森林環境研究会編著), 7-14, 森林文化協会

■その他著作

河合雅雄, 柳生慎吾, (2006) 「柳生慎吾のこの人と語りたい!」, NHK 趣味の園芸 400号, 日本放送出版協会

河合雅雄, (2006) 世界へへへ世界から「リヤカー引いて4万キロ」, 月刊みんぱく, 国立民俗博物館.

河合雅雄, (2006) 本の周辺「“絶滅危惧種” 科学雑誌」, これから出る本 2006-No.19, (財) 日本書籍出版協会

河合雅雄, (2006) 本の周辺「森のえほん館」, これから出る本, 2006-No.21, (財) 日本書籍出版協会

河合雅雄, (2006) 本の周辺「素読と多読」, これから出る本, 2006-No.23, (財) 日本書籍出版協会

河合雅雄, (2007) 多病息災ー小さな声で, 月刊波, Feb-2007, (財) 日本てんかん協会.

河合雅雄 (2007) 子どもの自然, Link+, Vol. 02, 次世代研究所 suntory.

■委員会等

□法人役員

(財) 日本モンキーセンター常務理事.

(財) 三菱UFJ環境財団理事.

(財) 日本生命財団会長.

(財) 小学館・日本児童教育振興財団評議員.

(財) 石田財団評議員.

(財) 下中記念財団評議員.

(財) 花博記念財団評議員.

(財) 子ども教育支援財団評議員.

(財) 兵庫創造協会理事.

(財) 丹波の森協会顧問.

□その他

篠山市名誉市民

犬山市名誉市民

県立丹波年輪の里運営協議会会長.

ワイルドライフ・マネジメント計画・運営協議会会長, 農林水産局
森林動物共生室.

CSR活動ネットワーク委員会会長, 産業労働部商工労働局福祉課.

ささやまの森運営協議会会長, ささやまの森公園.

植村直己冒険賞審査委員会, 委員, 日高町.

小学校児童出版文化賞審査委員会, 委員, (財)日本児童教育振興財団.
アジア太平洋文化賞選考委員会, 委員, アジア太平洋フォーラム淡路会議.
NPO 日本アンリ・フェアブル会理事.
コウノトリファンクラブ副会長.

■館外講演など

河合雅雄, 2006. 4, 「自然と文化」, 第3回文化芸術フォーラム, 公明党関西芸術振興会議, 大阪中央公会堂. (500名)
河合雅雄, 2006. 4, 「シュールベルディアーデ 丹波と地域の活性化」(畑儀文とトーク), 丹波の森公園10周年記念講演, 丹波の森公園ホール. (600名)
河合雅雄, 2006. 5, 「森が学校」, 豊田市, 足助交流館. (200名)
河合雅雄, 2006. 6, 「子どもの未来を育てる」, 生野学園子どもの未来研究所, 姫路市市民会館中ホール. (150名)
河合雅雄, 2006. 6, 「人と自然の共生について」, 2006年度日本福祉大学セミナー文化講演会(日本福祉大学後援会), 名古屋国際ホテル. (300名)
河合雅雄, 2006. 6, 「アフリカの旅から—異文化について考える」, 兵庫県高齢者放送大学篠山市友の会, 篠山市市民センター.
河合雅雄, 2006. 8, 「新しい家族像を求めて」, 円応教青年会, 円応教ホール(丹波市). (300名)
河合雅雄, 2006. 8, 「日本人の自然観と里山」, 信濃木崎夏期大学, 講義, 木崎湖畔木崎夏期大学(長野県大町市). (200名)
河合雅雄, 2006. 9, 「人にとって森とは—森の旅から」, 到道大学, 東北公益文化大学大学院ホール(鶴岡市). (120名)
河合雅雄, 2006. 9, 「森に還ろう」, サトルエネルギー学会, イノホール(東京).
河合雅雄, 2006. 10, 「サルに学ぶ子育て」, (財)日本モンキーセンター設立50周年記念特別講演(財)日本モンキーセンター, 中日新聞社, 女性会館(名古屋). (400名)
河合雅雄, 2006. 10, 「人間はいつどこで生まれどこへ行くのか」, NHK京都文化センター. (60名)
河合雅雄, 2006. 11, 「子どもと自然」, 工藤直子, 里木郁朝と鼎談, 木城えほんの郷(宮崎県). (60名)
河合雅雄, 2006. 11, 「幼児と自然」, 広島大学幼児教育研究会, 広島県附属幼稚園.
河合雅雄, 2006. 11, 「多病息災—小さな声で」, 日本でんかん教会第33回全国大会, 同志社大学(京都).
河合雅雄, 2006. 11, 「子どもたちに夢を」(永田萌と対談), 丹波の森大学, 丹波の森公園ホール.
河合雅雄, 2007. 1, 「ヒトはどうしてサルから進化したか」, 香川大学第一内科同門会, 全日空ホテルクレメント(高松市). (100名)
河合雅雄, 2007. 2, 「サル学の先頭を行く3人の女性」, 武庫川女子大学付属中・高等学校, 武庫川女子大学付属中・高等学校. (30名)
河合雅雄, 2007. 2, 「野生の反乱」, 篠山ロータリークラブ, 篠山商工会館. (80名)
河合雅雄, 2007. 3, 「野生動物の一揆」, ささやまの森公園, ささやまの森公園. (60名)

■シンポジウム

河合雅雄, 2006. 5, 講演「宮沢賢治の童話と動物」およびパネルディスカッション「イーハトーヴのコウノトリ—宮沢賢治に学ぶ人と生きものたちの共生」(河合雅雄, 池田啓, 工藤直子, 稲葉哲郎), シンポジウム「宮沢賢治セミナー—篠山—イーハトーヴのコウノトリ」, 篠山市市民センター(篠山市). (250名)
河合雅雄, 2006. 9, 基調講演「子どもの自然」およびパネルディスカッション(大日向雅美, 春日井敏行, 鷺田清一, 佐藤友美子), 第2回次世代フォーラム「次世代を育む」, 時事通信ビル. (200名)
河合雅雄, 2007. 2, 基調講演「日本人の動物観」および基調報告と討論(三浦慎吾, 河村文夫, 森本幸裕, 栗原廣子, 竹内敬二), 「国民参加の森づくり」シンポジウム「野生動物の異変と森林崩壊」, 有楽町マリオン朝日スクエア(東京), 朝日新聞社, (財)森林文化協会. (120名)

■インタビュー・座談会等

河合雅雄, 2006. 4, 「森遊びの素地ようやく」, 神戸新聞.
河合雅雄, 2006. 6, 「師あり弟あり」霊長類学, 読売新聞.
河合雅雄, 2006. 6, 「このひとに聞きたい」, 消費者情報No. 372.
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(1), 京都新聞.
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(2), 京都新聞.
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(3), 京都新聞.

河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(4), 京都新聞.
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(5), 京都新聞.
河合雅雄, 2007. 3, 「サル学の60年」(6), 京都新聞.

■テレビ・ラジオ

2006. 5 「震災メッセージ」, NHK 神戸, NHK 総合IV.
2006. 4— 「丹波ささやま山東の猿便り」, 兵庫県立ネットミュージアム兵庫文学館にて河合雅雄作品等インターネット展示.

■学会・非常勤講師等

日本福祉大学生涯学習名誉センター長.
神戸女子大学客員教授.
丹波の森大学学長, (財)丹波の森協会.
神戸新聞客員論説委員.
日本ナイル・エチオピア学会名誉会長.
日本霊長類学会名誉会員.
日本アフリカ学会評議員.
日本熱帯生態学会名誉会員

■生涯学習支援事業

第8回ボルネオ・ジャングル体験スクール顧問.

○自然・環境評価研究部

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授.

昭和23年新潟県生. 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士.

日本地質学会, 日本古生物学会, The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The Paleontological Society 所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ
大学・各種学校教育支援担当, 学校団体などへのセミナーなどの実施計画
2. 研究開発部門
地球科学研究部代表, 同研究部研究担当, 同研究部予算とりまとめ, 和文・英文紀要編集業務総合責任者, 英文紀要編集委員長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史
2. 後期古生代・中生代有孔虫化石群集解析
3. 「小林文夫コレクション」の世界

■共同研究

部門研究「兵庫県産古生代化石の研究」, 研究代表者.
部門研究「山崎層帯の活動性に関する基礎的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Fumio Kobayashi (2006) Middle Permian foraminifers of the Izuru and Nabeyama formations, Tochigi prefecture, Japan, Part 1. Schwagerinid, neoschwagerinid, and verbeekinid fusulinoideans. Paleontological Research, Vol.10, No. 1, 37-59.

Fumio Kobayashi (2006) Middle Permian foraminifers of the Izuru and Nabeyama formations, Tochigi prefecture, Japan, Part 2. Schubertellid and ozawainellid fusulinoideans, and other non-fusulinoidean foraminifers. Paleontological Research, Vol.10, No.1, 61-77.

Fumio Kobayashi (2006) Middle Permian foraminifers of Kaize, southern part of the Saku Basin, Nagano prefecture, central Japan. Paleontological Research, Vol.10, No. 3, 179-194.

Fumio Kobayashi and Valery Ja, Vuks (2006) Tithonian-Berriasian foraminiferal faunas from the Torinosu-type calcareous blocks of the southern Kanto Mountains, Japan: their implications for post-accretionary tectonics of Jurassic to Cretaceous terranes. GEOBIOS (Journal of the European Paleontological Association), Vol. 39, 833-843, Elsevier.

Fumio Kobayashi, Rossana Martini, Roberto Rettori, Louise Zarinetti, Benjavun Ratanasthien, Haruo Saegusa, and Hideo Nakaya (2006) Triassic foraminifers of the Lampang Group (Northern Thailand). *Journal of Asian Earth Sciences*, Vol. 27, 312-325, Elsevier.

◎Fumio Kobayashi (2007) Late Middle Permian (Capitanian) foraminifers in the Mikata area, Hyogo, with special reference to plasticity deformation of their test and their paleobiogeographic affinity with South China - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 5 -. *Nature and Human Activities*, No. 11, 17-28

■その他著作

◎Fumio Kobayashi (2007) Middle Permian (Wordian) fusulinoideans from Takedao, NW of Takarazuka, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 7 -. *Nature and Human Activities*, No. 11, 67-69

◎Fumio Kobayashi, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2007) Early Permian (Cisuralian) fusulinoideans from Hijima, west of Yamasaki, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 6 -. *Nature and Human Activities*, No. 11, 61-66

Rossana Martini, Jerome Chablais, Fumio Kobayashi, Elias Samankassou, and Hiroyoshi Sano (2006) Upper Triassic mid-oceanic atoll-type carbonate rocks in the Sambosan Terrane (Kumagawa River, southern Kyushu, SW Japan). "From the Highest to the deepest", 17th International Sedimentary Congress, Fukuoka, Japan, Vol. A, p-020, 236.

◎小林文夫 (2006) 武庫川の流れにズームイン. 江崎保男(編), 武庫川散歩, 5-35, 人と自然の博物館.

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B) (2) 研究成果報告書), pp. 12-28.

■研究発表

Rossana Martini, Jerome Chablais, Elias Samankassou, Hiroyoshi Sano, and Fumio Kobayashi (2006) Upper Triassic mid-oceanic atoll-type carbonate rocks in the Sambosan Terrane (Kumagawa River, southern Kyushu, SW Japan) (in poster). 17th International Sedimentary Congress, Fukuoka, Japan.

■学会役員など

Journal of Paleontology, レフェリー, The Paleontological Society
地質学雑誌, レフェリー, 日本地質学会

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 石灰岩・石灰岩礫岩石薄片の作成 (1500 枚): 兵庫県 4 市, 岐阜県赤坂石灰岩, 広島県帝釈石灰岩, 山口県秋吉石灰岩とその周辺層, 東京都あきる野市古生代~中生代層, 和歌山県由良町古生代~中生代層, 高知県佐川町, 熊本県五木村, 宮崎県高千穂町, 京都府夜久野町, トルコ共和国タウルス山地の古生代石灰岩など(小林文夫コレクション).

2006. 4-2007. 3 石灰岩薄片写真資料 (1,700 点: 小林文夫コレクション).

2006. 5-2007. 3 中・古生代石灰岩, 含石灰岩層地質資料. 岐阜県, 京都府, 熊本県, 宮崎県, 山口県.

2006. 5-2007. 3 県下の中・古生代地質資料, 丹波市, 相生市.

2006. 8-2007. 3 恐竜化石の発掘および現場警備, 丹波市.

■整理同定担当資料

小林文夫コレクション (中・古生代石灰岩石薄片).

■資料貸出

2003. 4- 日本産古生代珊瑚化石石灰岩石薄片 72 点 (小林文夫コレクション). 国立科学博物館.

2004. 11-2006. 8 鳥の巣石灰岩石薄片 224 点 (小林文夫コレクション). University of Geneva, Switzerland and University of Perugia, Italy.

2005. 1-2006. 8 球磨川流域三宝山石灰岩石薄片 28 点 (小林文夫コレクション). University of Geneva, Switzerland.

2006. 11- 日本産ペルム紀後期こけむし化石石灰岩石薄片 222 点 (小林文夫コレクション). Western Washington University, Washington.

■資料借入

1996. 6- 青海石灰岩, 関東山地古生代石灰岩石薄片 350 点. 国立科学博物館.

■資料譲渡

2007. 1 タイ国及び日本産三畳系石灰岩片 (小林文夫コレクションの母岩の一部). University of Geneva, Switzerland.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2006. 4, 「日本列島の生き立ち」企画展開連セミナー, 博物館. (31 名)

小林文夫, 2006. 8, 「地球大紀行-活きている大地の素顔-」教職員セミナー, 博物館. (45 名)

小林文夫, 2006. 9, 「兵庫の山」, 博物館. (13 名)

小林文夫, 2006. 10, 「兵庫の川」, 博物館. (11 名)

小林文夫, 2006. 10, 「兵庫の平地」, 博物館. (10 名)

小林文夫, 2006. 4-2007. 3, 「実演化石工房-薄くしてみる化石-」, 博物館. (全 9 回, 540 名)

館外講演

小林文夫, 2006. 9, 「神戸の地盤構造と自然災害」, 神戸市立東陽東養護学校教職員研修セミナー, 講師, 東陽東養護学校. (75 名)

小林文夫, 2006. 11, 「西播平野の軟弱地盤と自然災害」姫路市消防局防災セミナー, 博物館. (40 名)

小林文夫, 2006. 11, 「円山川の河川特性と豊岡盆地」, 兵庫県シンクタンク等協議会第 2 回研究サロン, 人と自然の博物館. (24 名)

非常勤講師

2006. 5, 「地形のデザイン」, 神戸芸術工科大学 分担.

2007. 2, 「日本列島の地震活動と活断層長期評価の最新情報」, 関西学院大学集中講義「環境教育」分担.

■キャラバン事業

主担当

2006. 7 淡路地区, テーマ「海底, 地下, 学校に眠る化石」

セミナー担当

2006. 7 淡路地区, 「石灰岩のペーパーウエイト作り」(講師)

2006. 7 淡路地区, 「化石発掘体験会」(指導・助言)

■地域研究員養成事業

ひとはく地域研究員ステップアップセミナー

2006. 10 阪神北地域「自然と環境コース」, 「大量絶滅と生物の進化」(猪名川町立生涯学習センター, 講師. (50 名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6-6. 9, 三田市中学校 4 名.

2006. 6. 14, 啓明学院中学校 1 名.

学校団体対応

2006. 5. 「三田フラワータウンの今昔-土地開発と土地改変-」, 講師, 兵庫県立大学環境人間学部. (36 名)

2006. 5. 「化石入門-薄くしてみる化石-」講師, 大阪府立住吉高校. (40 名)

2006. 7. 「化石入門-薄くしてみる化石-」講師, 兵庫県立姫路飾西高校. (19 名)

2006. 9. 「海の一生涯-大地のロマン-」講師, 新温泉町立浜坂中学校. (55 名)

2006. 9. 「地層と化石」講師, 西脇市立比延小学校. (47 名)

2006. 11. 「地層と大地のつくり」講師, 姫路市立峰相小学校. (50 名)

2006. 12. 「地層と大地のつくり」講師, 三田市立つつじヶ丘小学校. (124 名)

2006. 12. 「大地のつくりと変化」講師, 三田市立武庫小学校. (117 名)

2006. 12. 「地層と大地のつくり」講師, 三田市立広野小学校. (57

名)

■研修生等の受入
博物館実習

2006. 8. 21, オリエンテーション, 参加全大学実習生 9 名.

■フェスティバル等

2006. 11. ひとつはくフェスティバル, 「化石工房スペシャル」(分担者).

■展示

企画展

2006. 2. 18-2006. 6. 11, 企画展「古生代の世界」(副代表者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2 回, 12 名.

■行政等支援

委員会等 (計 5 件)

1998. 4-. 近畿地方土木地質図改訂委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

1997. 4-. 西播磨地域地域地震防災連絡会, 顧問, 西播磨市町長会.

2001. 2-. 三木総合防災公園断層保存懇話会, 委員, 兵庫県まちづくり部.

2001. 2-. 北近畿豊岡自動車道環境評価技術検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2007. 2-. 「兵庫の地質」地質情報データベース作成委員会, オブザーバー, 県土整備部.

2005. 12-. 「玄武洞ミュージアム」登録博物館審査, 審査員, 兵庫県教育委員会.

相談・指導助言

来訪者 15 件, 20 名. 電話・FAX 相談 45 件.

佐藤裕司 Hiroshi SATO

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学

研究部門 教授.

昭和 32 年大阪府生まれ. 神戸大学大学院理学研究科修士課程修了. 学術博士(神戸大学). 日本第四紀学会, 日本陸水学会, 日本藻類学会, 日本珪藻学会, 日本環境教育学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ
フロアマネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人)

1. ミレニアルスケールの海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究

■共同研究

部門研究「瀬戸内の自然史研究、全史解明に向けた企画調査」, 研究代表者.

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 分担者.

■論文・著書

◎Sato, H., J. Okuno, J and S. Katoh (2006) Evaluation of the Holocene crustal movement in the Ako Plain, western Japan. The Holocene, No. 16, 533-545.

◎佐藤裕司・横山 正・真殿克麿・辻 光浩・水野雅光・魚留 卓・妹尾嘉之・杉野伸義・永野正之・三橋弘宗・浅見佳世・道奥康治・原田一二三 (2006) 兵庫県上郡町・安室川における淡水産紅藻チズジノリ配偶体の出現 ― 特に河川の流量変化との関係について ―. 陸水学雑誌, 67, 127-133.

◎Katoh, S., Handa, K., Hyodo, M., Sato, H., Nakamura, T., Yamashita, T. and Danhara, T. (2006) Estimation of eruptive ages of the late Pleistocene tephra layers derived from Daisen

and Sambe Volcanoes based on AMS-14C dating of the moor sediments at Ohnuma Moor in the Chugoku Mountains, Western Japan. Nature and Human Activities, No. 11, 31-52.

■その他著作

◎佐藤裕司 (2006) 兵庫県・大沼湿原ボーリングコアの珪藻分析と最終氷期以降の堆積環境(予察). 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書), pp. 53-58.

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書), pp. 12-28.

◎半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫 (2006) 中国山地東部, 大沼湿原における 3. 8 万年前以降の植生変遷. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書), pp. 43-52.

◎Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K. and Yagi, T. (2006) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. In Katoh, S. (ed.), High-resolution reconstruction of the paleoenvironmental changes since the Last Glacial by the analyses of highland moor deposits. Report to the Japan Society for Promotion of Science, Tokyo, pp. 83-86.

■研究発表

◎杉野伸義・宮田祥史・関基・瀧健太郎・三橋弘宗・佐藤裕司 (2007) 兵庫県安室川におけるチズジノリの発生と光環境の関係. 日本藻類学会第 31 回大会, 神戸大学, 神戸市).

新井章吾・千原光雄・長谷井 稔・羽生田岳昭・比嘉 敦・香村真徳・笠井文絵・熊野 茂・中村 武・大谷修司・佐藤裕司・洲澤 譲・田中次郎・吉田忠生・吉崎 誠 (2007) レッドリストに掲載された淡水産紅藻の分布地図. 日本藻類学会第 31 回大会, 神戸大学, 神戸市.

■学会役員など

2006. 4-2007. 3, 日本第四紀学会博物館連絡委員

2007. 1-2007. 12, 日本珪藻学会編集委員

■助成を受けた研究

ジャワ鮮新更新世の古環境変遷と原人の出現・進化に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B)(1)), 研究分担者. (分担金 30 万円/総額 300 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 篠山層群産恐竜化石の発掘. 丹波市.

2006. 4-2007. 3 現生淡水藻類の標本採集. 上郡町など.

■整理同担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司, 2006. 4-2006. 5, 「ため池をさぐる」, 博物館ほか. (全 4 回, のべ 35 名).

佐藤裕司, 2006. 8, 教職員セミナー「古環境を調べる」, 博物館. (6 名)

佐藤裕司, 2006. 9, 「自然史からみた兵庫の海~高塚山海進から縄文海進まで」, 博物館. (23 名)

田中哲夫・佐藤裕司, 2006. 10, 高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう~ピオトープ池を調べる」, キリンビール(株)神戸工場. (のべ 43 名)

佐藤裕司, 2007. 2, 連携セミナー「環境時代の時代の見かた(第 1 回) 21 世紀の地球温暖化対策を過去から学ぶ」, 県立神戸生活創造センター. (30 名)

佐藤裕司・田中哲夫・赤澤宏樹・橋本佳延・服部 保・小林文夫・岩槻邦男, 2006. 2. 20-23, 関西学院大学連携講座「環境教育 2 クラス」. (67 名)

館外講演など

- 佐藤裕司, 2006.10, 生涯学習カレッジ・リバグレス猪名川「地球温暖化と海面上昇①」, 猪名川町生涯学習センター. (24名)
佐藤裕司, 2006.11, 生涯学習カレッジ・リバグレス猪名川「地球温暖化と海面上昇②」, 猪名川町生涯学習センター. (21名)

非常勤講師など

2006.10-2007.3, 環境教育1クラス, 関西学院大学.

■ミニキャラバン事業

2006.10, 兵庫自治学会 (兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.13, 啓明学院中学校1名

学校団体対応等

- 2006.10, 兵庫県立篠山鳳鳴高校. (29名)「藻類と水質」
2006.12, 京都府立福知山高校. (59名)「地球温暖化と海面上昇」
2007.2, 東条町立東条東小学校. (34名)「水の話」と実習「水の中の微生物」

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8, 神戸大学理学部・高知大学理学部 各1名

卒論生等の受入

2006.4-2007.3 神戸大学理学部地球惑星科学科 1名

■フェスティバル等

2006.10 ひとつはくフェスティバル, 実行委員会.

■展示

ミニ企画展等

2006.9-11, ミニ企画展「自然史からみた兵庫の海 (共催: 日本第四紀学会)」(責任者)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ビオトープ創出に関する研究」, キリンビール株式会社神戸工場. 研究分担者(70万円)
企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとつはく」, 株式会社リコー. 研究分担者(20万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 13名.

■行政等支援

委員会等 (計4件)

- 2006.4-2007.3, 川西市環境保全審議会専門委員, 川西市.
2006.4-2007.3, 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.
2006.4-2007.3, 安室川自然再生検討会・技術部会, 委員, 兵庫県上郡土木事務所.
2006.4-2007.3, いなみ野ため池ミュージアム・客員キュレーター

相談・指導助言

来訪者15件, 18名. 電話・FAX相談12件, メール相談25件.

■特別プロジェクト

サバ・プロジェクト

リーダー

先山 徹, Tohru SAKIYAMA

地域環境地質研究グループ/企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 助教授
昭和29年岐阜県生, 広島大学大学院理学研究科博士課程修了, 理学博士. 日本地質学会, 日本岩石鉱物床学会, 地学団体研究会, 日本地学教育学会所属



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

- マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室企画調整グループ 経営戦略マネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

- 特別課題研究 (個人研究)

1. 花崗岩の岩石学的研究
2. 各種石材の産地同定に関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「瀬戸内の自然史研究, 全史解明に向けた企画調査」, 研究分担者.

■その他著作

先山 徹 (2006) 地域と連携する博物館. 文部科学時報, 10月号, 11-12.

先山 徹 (2007) 展示室で遊ぶ子ども向けプログラム ~ひとつはく・フロアスタッフの例~. 第14回全国科学博物館協議会研究発表大会資料, 33-38.

■研究発表

SAKIYAMA, T. (2006) Application of mineralogy and petrology to lifelong education in the Museum of Nature and Human Activities, Hyogo. 19th General Meeting of the International Mineralogical Association, International Conference Center Kobe, Kobe.

先山 徹 (2006) ひとつはくキャラバンと地域研究員. 日本地質学会夜間小集会, 高知大学, 高知市.

先山 徹 (2006) 地域の景観を作る地域の石材. 竜山石フォーラム「竜山石を語ろう 2006 ~石の文化とまちづくり~」, ふれあいの郷生石研修センター, 高砂市.

先山 徹 (2007) 学校や地域の地震・防災教育をアシストする博物館活動. 北淡活断層シンポジウム, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.

先山 徹 (2007) 展示室で遊ぶ子ども向けプログラム ~ひとつはく・フロアスタッフの例~. 第14回全国科学博物館協議会研究発表大会, 新江ノ島水族館, 藤沢市.

■学会役員など

日本地質学会, 生涯教育委員会委員.

■海外調査

2007.1 英国・博物館調査

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.5-11 考古・歴史遺物中の石材資料. 芦屋市, 西宮市, 高槻市.

2006.5 山陰帯宮津花崗岩.

2006.7 県内花崗岩収集. 川西市.

2007.3 遺跡石材調査. 高槻市.

■受贈担当資料

2007.2 北但層群球顆流紋岩 (笠浪氏コレクション). 20点.

■整理同定担当資料

岩石・鉱物資料担当

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

先山 徹, 2006.5, 「石の観察と見分け方ー古墳時代から今に伝わる石材: 竜山石ー」, 博物館. (22名)

先山 徹・加藤茂弘, 2006.5, 「春の石めぐりハイキングー高砂: 石の宝殿と竜山石ー」, 高砂市. (42名)

先山 徹, 2006.8, 「地学実験講座1」, 博物館. (19名)

先山 徹, 2006.8, 「地学実験講座2」, 博物館. (13名)

先山 徹, 2006.8, 「石の観察と見分け方ー水晶のなかまー」, 博物館. (31名)

先山 徹, 2006.9, 「石の観察と見分け方ー建物の石材を知ろうー」, 博物館. (8名)

加藤茂弘・先山 徹, 2006.10, 「秋の石めぐりハイキングー野島断層と大阪層群ー」, 博物館. (17名)

先山 徹, 2006.11, 「石の観察と見分け方ー花崗岩 (みかげ石) のなかまー」, 博物館. (23名)

先山 徹, 2007.3, 「石の観察と見分け方ー磁石をひきつける鉱物と地球の磁場ー」, 博物館. (18名)

館外講演

先山 徹, 2006.6, 「ひょうごは石の国ー日本の文化と経済をささえたひょうごの石材と鉱山」, ひょうご講座, 兵庫学習プ

ラザ. (30名)

先山 徹, 2006.7. 「生命の進化をもたらした地球と大気の歴史」, 兵庫県立大学特別公開講座, 丹波の森公苑. (30名)

先山 徹, 2006.8. 「三田付近地層の観察」, 平成18年度小・中・高等学校 学ぶ意欲を育てる観察・実験講座 (教育研修所), 三木市. (26名)

先山 徹, 2006.8. 「泥んこお絵かき その1」, さようアートスクール2006, 大撫山埋蔵文化財事務所. (35名)

先山 徹, 2006.8. 「泥んこお絵かき その2」, さようアートスクール2006, 佐用町教育集会所. (35名)

先山 徹, 2006.9. 「古の西播磨 ～祖先を育んだ自然環境 研修編」, 西播磨エコプレイヤー塾, 講師, 西播磨総合庁舎. (35名)

先山 徹, 2006.9. 「古の西播磨 ～祖先を育んだ自然環境 現地見学編」, 西播磨エコプレイヤー塾, 講師, 宍粟市千種町. (35名)

先山 徹・加藤茂弘, 2006.9. 「地学から見た六甲山～都市山の地形と地質～」, 講師, 六甲・三田・一庫環境学習セミナー, 六甲山自然保護センター. (39名)

先山 徹, 2006.10. 「六甲山地の生い立ちと花崗岩」, 芦屋まちかど学一石の文化を語る, 芦屋市立公民館. (32名)

先山 徹, 2007.1. 「火打石セットをつくろう」, 高砂市小中学校理科研究会, 高砂市荒井小学校. (35名)

非常勤講師

2006.4. 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

2006.10-11. 「地学」, 但馬技術大学校.

■ミニキャラバン事業

2006.10. ひとつはくがやってくる in ふれあいフェスティバル (展示実施、分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 丹波の森公苑.

■学校教育支援

学校団体対応

2006.5. 宝塚北高等学校. (42名)

2006.7. 兵庫県立大学府増高等学校. (38名)

2006.9. 岡山理科大学. (76名)

講師派遣

2007.1. 「岩石を学ぼうー岩石を使ったおもしろ実験」, 講師, 高砂市立荒井小学校6年生. (120名)

2007.2. 「地層の成り立ち・岩石の見分け方」, 三木市立みなぎ台小学校6年生. (60名)

2007.3. 「山南町の地層と岩石」, 丹波市立久下小学校5・6年生. (70名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8.21-8.25, 高知大学1名, 神戸大学1名.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町. 研究分担者 (30万円)

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2006.4-2007.3. 六甲山自然保護センター運営協議会, 副委員長, 兵庫県神戸県民局.

2006.4-2007.3. 玄武洞公園整備検討委員会, 委員, 豊岡市商工観光課.

2006.4-2007.3. 徳川大坂城東六甲採石場調査研究検討会, 委員, 兵庫県教育委員会.

相談・指導助言

来訪者16件, 20名. 電話・FAX相談2件, メール相談6件.

加藤 茂弘, Shigehiro KATO

地域環境地質研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和35年岐阜県生. 東京大学大学院理学研究科地

理学専攻博士課程単位取得後退学. 日本地理学会,

日本地質学会, 日本第四紀学会, 日本地形学連合,

日本人類学会, 東北地理学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ

展示マネージャー, 企画展・ミニ企画展・新着資料及びトピックス展示の進行と予算管理, 常設展示の補修と改善

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究

2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究

3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■共同研究

部門研究「山崎断層帯の活動性に関する基礎的研究」, 研究代表者.

■論文・著書

◎Kato, S., Handa, K., Hyodo, M., Sato, H., Nakamura, T., Yamashita, T. and Danhara, T. (2006) Estimation of eruptive ages of the late Pleistocene tephra layers derived from Daisen and Sambu Volcanoes based on AMS-¹⁴C dating of the moor sediments at Ohnuma Moor in the Chugoku Mountains, Western Japan. *Humans and Nature*, No. 11, 31-52.

◎Sato, H., Okuno, J. and Kato, S. (2006) Evaluation of Holocene crustal movement in the Ako Plain, western Japan. *The Holocene*, No. 16, 533-542.

■その他著作

◎加藤茂弘 (2006) 武庫川のふしぎな地形と地質. 江崎保男編著『武庫川散策』(人と自然特別号2), 37-51

◎加藤茂弘編著 (2006) 高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元. 平成14~17年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究成果報告書, 95p.

◎加藤茂弘・田中義文・大嶋秀明・林 成多 (2007) 近畿地方北部, 福知山盆地における中部更新統・福知山層上部層堆積期の古環境. *人と自然*, No. 17, 19-34.

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第3系神戸層群の哺乳類化石産出層準のF-T年代. *日本地質学会第113回学術大会講演要旨*, 67.

上北 孝・野中寿信・加藤茂弘・兵頭政幸 (2006) 未固結粘性土地盤を対象とした定方位試料サンプラーの開発. 全地連「技術 e-フォーラム2006」名古屋講演集CD-R, 論文No.94.

◎北淡活断層シンポジウム実行委員会編 (2007) 北淡活断層シンポジウム2007「学校と地域で考える地震と防災」講演要旨集, 北淡活断層シンポジウム実行委員会, 84p.

■研究発表

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第3系神戸層群の哺乳類化石産出層準のF-T年代. *日本地質学会第113回学術大会*, 高知大, 高知市.

上北 孝・野中寿信・加藤茂弘・兵頭政幸 (2006) 未固結粘性土地盤を対象とした定方位試料サンプラーの開発. 全地連「技術 e-フォーラム2006」名古屋, メルパルク名古屋, 名古屋市.

■学会役員など

北淡活断層シンポジウム2007 実行委員会, 事務局幹事.

■助成を受けた研究

汎用中深度定方位サンプリング手法の開発. 文部科学省科学研究費萌芽研究, 研究代表者 (220万円)

長大活断層のセグメント区分・地下構造・活動履歴の再検討と大地震予測の総合研究. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(B), 研究分担者 (研究代表者: 岡田篤正立命館大学歴史都市防災センター教授, 分担金260万円/平成18年度総額570万円)

鮮更新世の初期人類をも含む哺乳動物相の進化古環境学的研究. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(A), 研究協力者 (研究代表者: 諏訪 元東京大学総合研究博物館教授, 分担金60万円/平成18年度総額490万円)

■海外調査

- 2006.12 台湾 (921 地震博物館トレンチ展示の保存処理)
- 2007.3 エチオピア (中新世化石サイトの地質層序調査)

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2006.5,7 第四紀火山岩とテフラの収集。香美町, 養父市。
- 2006.8 沖積層ボーリングコア。福井県坂井市。
- 2006.9 白亜紀恐竜化石の発掘。丹波市。
- 2006.12 熊川断層トレンチ資料の収集。福井県熊川町。
- 2007.2 暮坂峠断層トレンチ壁面はぎとり標本の作成。姫路市。
- 2007.2-3 白亜紀恐竜化石の発掘。丹波市。

■整理同定担当資料

- 第四紀の火山灰・堆積物。
- 活断層トレンチはぎとり標本などの地震関連資料。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 先山 徹・加藤茂弘, 2006.5, 「春の石めぐりハイキングー高砂: 石の宝殿と竜山石」, 高砂市。(42名)
- 加藤茂弘, 2006.7, 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 博物館。(14名)
- 加藤茂弘, 2006.8, 「兵庫の大地の成り立ちを探る」, 人と自然の博物館。(41名)
- 加藤茂弘・先山 徹, 2006.10, 「秋の石めぐりハイキングー野島断層と大阪層群」, 野島断層保存館とその周辺。(17名)
- 八木 剛・加藤茂弘・足立 勲ほか, 2006.7-8, 夏のアドベンチャー「ひとく博士と行くハチ北高原サマースクール」(全4回6日間, 主催: Run Run Plaza), 博物館&ハチ北高原。(17名)
- 加藤茂弘, 2006.11-2007.2, 「偏光顕微鏡で見る鉱物と岩石」, 博物館。(全4回, 248名)
- 高橋 晃・高野温子・布施静香・橋本佳延・三枝春生・加藤茂弘, 2007.2, 「私たちの新発見ーひとく研究員海外調査報告会」, 博物館。(15名)

館外講演

- 加藤茂弘, 2006.5, 「兵庫県の活断層と近未来の大地震」, 兵庫県阪神シニアカレッジ同窓会, 講師, ソリオ2。(150名)
- 加藤茂弘, 2006.7, 「あわじサイエンスチャレンジ2006ー学校と社会をつなぐ体験型科学教育フォーラム」(2泊3日), 国立淡路青少年交流の家, 講師, 国立淡路青少年交流の家及び南あわじ市吹上浜周辺。(32名)
- 先山 徹・加藤茂弘, 2006.9, 「六甲山の地形・地質と活断層」, 講師, 財団法人ひょうご環境創造協会, 六甲山自然保護センター。(38名)
- 加藤茂弘, 2006.10, 「六甲山地と三田盆地周辺の地形・地質と活断層」, 三田市理化学部会, 講師, 人と自然の博物館。(17名)
- 加藤茂弘, 2006.11, 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 平成18年度兵庫県阪神シニアカレッジ3年生講座, 講師, ソリオ2。(150名)
- 加藤茂弘, 2006.11, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 平成18年度兵庫県阪神シニアカレッジ4年生講座, 講師, ソリオ2。(140名)
- 加藤茂弘, 2007.1, パネル・ディスカッション「学校と地域で地震・防災教育をどう進めるか?」, 北淡活断層シンポジウム実行委員会, 司会進行, 北淡震災記念公園セミナーハウス。(200名)
- 加藤茂弘, 2007.2, 「宝塚市の活断層と将来の大地震の予測」, 講師, 宝塚市中筋山手自治会, 中筋山手公民館。(15名)

■ミニ・キャラバン事業

- 2006.5, 「ひとくオリジナル遊びで楽しもう!」(主担当), みんなくキッズフェスティバル, 国立民族学博物館。

■地域研究員養成事業

成果発表

- 2006.12 淡路地域 「大阪層群産植物化石を含む火山灰の対比とそれに基づく化石の年代推定」, 南淡路地学の会(指導・協働)
- 2007.2 共生の広場「人とクマ, 共存に向けた環境教育」, 東中

国クマ集会(博物館副責任者)。

■学校教育支援

学校団体対応等

- 2005.12 「六甲山地周辺の地形・地質と活断層」, 講師, 兵庫県立舞子高校環境防災科1年生。(31名)

講師派遣

- 2005.6 「21世紀の南海地震を探る」, 環境防災科専門科目「環境と科学」, 講師, 兵庫県立舞子高校環境防災科1年生。(31名)
- 2005.6 「液化化と耐震・免震」, 環境防災科専門科目「環境と科学」, 講師, 兵庫県立舞子高校環境防災科1年生。(31名)

■フェスティバル等

- 2006.8 夜間特別セミナー「コウモリ・ウォッチング」(補助)
- 2006.8 夜間特別セミナー「観望会2006 星空を見てみよう」(博物館側責任者)(西はりま天文台との共催)
- 2006.11 「ひとくフェスティバル'06」実行委員会委員。

■展示

ミニ企画等

- 2005.7-9 ミニ企画展「自然史から見た兵庫の森と海」(日本第四紀学会50周年事業共催展示)(分担者), 人と自然の博物館。

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内8回, 57名。

■行政等支援

委員会等(計4件)

- 2006.4-2007.3 野島断層活用委員会 委員, 淡路市教育委員会。
- 2006.4-2007.3 野島断層活用委員会展示更新ワーキンググループ, 委員, 淡路市教育委員会。
- 2006.4-2007.3 兵庫県立舞子高校環境防災科運営協議会, 委員, 兵庫県立舞子高校。
- 2006.4-2007.3 平成18年度うれしの学園生涯大学運営委員会, 委員, 兵庫県立嬉野台生涯学習センター。

相談・指導・助言(来訪者件数, 電話・FAX等相談含む)

- 来訪者20件, 電話・FAX相談40件, メール等相談100件
- 2006.7 平林地区の道路工事に伴う野島断層の保存に関する助言・指導。専門家, 淡路市教育委員会, 淡路市。
- 2006.7-8 921 地震博物館特別イベント「世界地震故事の日本鯨繪」に関する助言・指導, および絵葉書・リーフレット「年鯨有魚」の資料提供。専門家, 台湾国立自然科学博物館, 台中市。
- 2006.12 野島断層保存館内の地震断層の補修に関する助言・指導。専門家, 淡路市教育委員会, 淡路市。
- 2006.12 台湾竹山地区の地震断層トレンチ壁面の保存処理に関する助言・指導。専門家, 台湾国立自然科学博物館, 台中市。
- 2006.12 福井県熊川断層トレンチ調査に関する現地指導・助言。専門家, 関西電力株式会社, 福井県。
- 2007.2 関西国際空港2期工事深層ボーリングコア調査に関する助言・指導。専門家, 関西国際空港株式会社, 大阪市。
- 2007.2 暮坂峠断層のトレンチ調査および電気探査に関する取材。専門家, NHK 大阪, 大阪市。
- 2007.2 暮坂峠断層のトレンチ調査に関する取材。専門家, 神戸新聞, 姫路市。

■学会開催等支援

- 2007.1 北淡活断層シンポジウム2007開催, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 400名。

古谷 裕, Hiroshi FURUTANI

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 助教授。

1952年島根県生。名古屋大学大学院理学研究科博士課程(後期課程)単位取得満了。理学博士。日本地質学会, 日本古生物学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

- 1. 事業推進部門生涯学習事業推進室シンクタンク活動支援グループ
キャラバン・地域研究員マネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 古生代放散虫の研究
2. 兵庫県産中・古生代化石に関する研究

■共同研究

部門研究「兵庫県産古生代化石の研究」, 研究分担者.

■その他著作

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B) (2) 研究成果報告書), pp. 12-28.

Fumio Kobayashi, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2007) Early Permian (Cisuralian) fusulinoideans from Hijima, west of Yamasaki, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 6 -. Nature and Human Activities, No. 11, pp. 61-65.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 7 放散虫化石. 丹波市.
2006. 9 恐竜化石. 丹波市.

■整理同定担当資料

化石 (中・古生代無脊椎動物化石、微化石).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 古谷 裕, 2006. 4, 「古生代ってなんだ?」, 博物館. (17名)
- 古谷 裕, 2006. 6, 「化石に親しむ」博物館. (39名)
- 古谷 裕, 2006. 8, 「地層の見方・調べ方」, 国立淡路青少年交流の家・野外. (11名)
- 古谷 裕, 2006. 8, 「三宮で化石を探す〜街の中の化石〜」, 神戸学習プラザ. (23名)
- 古谷 裕, 2006. 10, 「南あわじで白亜紀の地層と化石を探る」, 南あわじ市南淡公民館. (27名)
- 古谷 裕, 2006. 4-2007. 3, 「顕微鏡で見る化石」, 博物館. (10回, 1077名)

非常勤講師

2006. 5 「博物館学実習」, 神戸学院大学

■キャラバン事業

主担当

2006. 7 淡路地区 テーマ「ひとく博士がアトムのまちにやってくる」

展示作成

2006. 7 丹波地区 化石関係展示 (分担者)

セミナー担当

2006. 7 微化石で探る丹波の大地の成り立ち (講師)

■ミニキャラバン事業

2006. 5 「古生代の世界 特別展示」(分担者), 主催: 人と自然の博物館, 北摂コミュニティ開発センター, フローラ 8 8.
2006. 10 ふれあいフェスティバル 2006 (主担当), ふれあいの祭典実行委員会, 丹波の森公苑.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2 共生のひろば (企画運営)

■学校教育支援

学校団体対応

2006. 11 「地層・化石を調べる」三田市立すずかけ台小学校 6 年生. (127名)
2006. 12 「顕生代の生物の変遷と古生代デボン紀の放散虫に見る生物の進化」兵庫県立有馬高等学校 3 年生. (33名)
2006. 12 「化石のレプリカづくり」姫路市立林田小学校 6 年生. (44名)
2006. 12 「地層・化石を調べる」姫路市立余部小学校 6 年生. (74名)
2007. 2 「地層・化石を調べる」明石市立花園小学校 6 年生. (70名)

名)

2007. 2 「地層・化石を調べる」西宮市立大社小学校 6 年生. (101名)

講師派遣

2006. 4 「古生代の世界」, 講師, 阪神シニアカレッジ. (90名)
2006. 8 「地層の観察を通して大地の成り立ちを知る一兵庫の地層一」, 講師, 県立教育研修所. (30名)
2006. 10 「身近な石の調べ方」, 講師, 神戸市立六甲アイランド小学校. (15名)
2006. 11 「地層を調べる」, 講師, 三田市立挾間小学校 6 年生. (120人)
2007. 3 「平成18年度第3回いきいきファミリーふるさと講座」, 講師, 南あわじ市. (40名)

■展示

ミニ企画等

2007. 1. 6-2007. 1. 21, 臨時展示「丹波の恐竜化石」(責任者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1回, 18名.

三枝春生 Haruo Saegusa

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学
部門 助手.

昭和 33 年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.



<事業部での配属もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ
展示コンテンツ開発担当
2. 研究開発部門
資料担当, 交換雑誌担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 東および東南アジアの第三紀哺乳動物群の研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究代表者.
部門研究「瀬戸内の自然史研究, 全史解明に向けた企画調査」, 研究分担者.

■論文・著書

- Kobayashi, F., Martini, R., Rettori, R., Zaninetti, L., Ratanasthien, B., Saegusa, H., Nakaya, H. (2006) Triassic foraminifers of the Lampang Group (Northern Thailand). Journal of Asian Earth Sciences, 27, 312- 325.
- White, T. D., WoldeGabriel, G., Asfaw, B., Ambrose, S., Beyene, Y., Bernor, R. L., Boisserie, J.-R., Currie, B., Gilbert, H., Haile-Selassie, Y., Hart, W. K., Hlusko, L. J., Howell, F. C., Kono, R. T., Lehmann, T., Louchart, A., Lovejoy, C. W., Renne, P. R., Saegusa, H., Vrba, E. S., Wesselman, H., & Suwa, G. (2006) Asa Issie, Aramis and the origin of Australopithecus. Nature, 440, 883- 889.
- Suganuma, Y., Hamada, T., Tanaka, S., Okada, M., Nakaya, H., Kunimatsu, Y., Saegusa, H., Nagaoka, S., Ratanasthien, B. (2006) Magnetostratigraphy of the Miocene Chiang Muan Formation, northern Thailand: Implication for revised chronology of the earliest Miocene hominoid in Southeast Asia Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology, 239, 75- 86.

■その他著作

Takai, M., Saegusa, H., Thaug-Htike, Zin-Maung-Maung-Thein.

(2006) Neogene mammalian fauna in Myanmar. Asian Paleoprimateology 4, 143-172.

Saegusa, H., Thaug-Htike, Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Chit Sein (2006) Preliminary investigations on the Neogene proboscideans from Myanmar. 日本地質学会第113年学術大会講演要旨, 118.

Tsubamoto, T., Matsubara, T., Saegusa, H., Tanaka, S. (2006) Paleogene anthracotheriid and primitive rhinocerotoid mammals from the Kobe Group of Japan and the age of the Kobe Group. Journal of Vertebrate Paleontology, Vol. 23, Supplement to Number 3, 132A.

三枝春生 (2007) 丹波市からの恐竜化石の発見. ハーモニー, No. 56, 7.

■研究発表

三枝春生・仲谷英夫・国松 豊・中務 真人・辻川 寛(2006)ケニア, ナカリ産の最初期ゾウ科化石. 日本古生物学会 2006 年年会, 島根大学, 島根市.

鏗本武久・三枝春生・田中里志・松原尚志(2006)神戸層群産出のアントラコテリウム科および原始的サイ上科の哺乳類化石と神戸層群の地質年代. 日本古生物学会 2006 年年会, 島根大学, 島根市.

松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹(2006)兵庫県三田地域における古第三系神戸層群の哺乳類化石産出層準の F-T 年代. 日本地質学会第113年学術大会, 高知大学, 高知市.

Saegusa, H., Thaug-Htike, Zin-Maung-Maung-Thein, Takai, M., Chit Sein (2006) Preliminary investigations on the Neogene proboscideans from Myanmar. 日本地質学会第113年学術大会, 高知大学, 高知市.

Tsubamoto, T., Matsubara, T., Saegusa, H., Tanaka, S. (2006) Paleogene anthracotheriid and primitive rhinocerotoid mammals from the Kobe Group of Japan and the age of the Kobe Group. 66th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Ontario, Canada.

沢田順弘・酒井哲弥・仲谷英夫・兵藤博信・兵頭政幸・板谷徹丸・三枝春生・実吉玄貴・国松 豊・中務真人(2006)ケニア・リフトにおける 1000 万年前の大規模な環境変化と哺乳類のアフリカ-西ユーラシア間の交流. 地球惑星科学連合 2006 年大会, 幕張メッセ, 東京.

■学会役員など

化石研究会, 運営委員.

The Society of Vertebrate Paleontology, Journal of Vertebrate Paleontology, レフェリー.

日本第四紀学会, 第四紀研究, レフェリー

■助成を受けた研究

後期中新世の旧世界における長鼻類の進化. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (100 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 8-2007. 3 恐竜化石. 丹波市.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (恐竜化石など).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三枝春生, 2006. 10, 「動物の歯の石膏模型を作ってみよう」, 博物館. (9 名)

三枝春生・小林文夫, 2006. 5, 10, 「三田哺乳類化石産地見学会」, 博物館. (20 名)

三枝春生・長谷川太一, 2006. 8, 「脊椎動物の骨格の機能と進化」, 博物館. (9 名)

三枝春生, 2006. 4-2006. 3, 「実演! ! 化石工房: 国内外の哺乳類化石」, 博物館. (全11回, 180名)

三枝春生, 2007. 1 「臨時展示丹波の恐竜化石展示解説」, 博物館. (全21回, 2100名)

館外講演

三枝春生, 2006. 5, 「化石が語る太古の兵庫」, 講師, 大学連携「ひょうご講座: ひょうごの自然・環境十話」, 兵庫県立神戸学習プラザ. (38 名)

三枝春生, 2006. 7. 生命の誕生と人類の起源, 講師, シニア自然大学研究部, 自然と文化科, 大阪 NPO プラザ. (50 名)

三枝春生, 2006. 7. 第2回知の創造シリーズセミナー, 兵庫県立大学特別公開講座, 講師, 丹波の森公苑. (50 名)

三枝春生, 2006. 10. 神戸にサイがいた頃, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ. (100 名)

三枝春生, 2006. 10. 人類とゾウの 700 万年, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ. (100 名)

■キャラバン事業

主担当

2006. 7-8 東播磨地域 テーマ「ひととはくキャラバン in 明石化石展〜化石が語る生物の進化と太古の明石〜」

展示作成

2006. 8 東播磨地域 「ひととはくキャラバン in 明石 化石展〜化石が語る生物の進化と太古の明石〜」.

セミナー担当

2006. 8 東播磨地域 化石レプリカ作り (講師・企画運営)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6-6. 9, 上野台・藍中学校 3 名.

学校団体対応

松原尚志・三枝春生, 2006. 8 「神戸層群の地質と化石」, 守口市教育研究会中学校理科教育研究会. (10 名)

三枝春生 2006. 9 「1 階展示解説」, 神戸ドイツ学院ヨーロッパンスクール 2 年生. (8 名)

三枝春生・小林文夫, 2006. 12 「大地をさぐる〜化石公園と人と自然の博物館へ行こう」つつじヶ丘小学校. (121 名)

三枝春生, 2006. 12 「アケボノゾウの話」, 明石市立谷八木小学校 6 年生. (76 名)

講師派遣

2006. 6 「化石からたどるほ乳類の進化」, 講師, 高砂南高等学校 3 年生. (25 人)

■フェスティバル等

2006. 11 ひととはくフェスティバル, 「化石工房スペシャル」(責任者).

■展示

ミニ企画等

2006. 9. 9-11. 5, ミニ企画展「自然史からみた兵庫の海〜地層や化石で知る 100 万年のおいたち〜」(分担者).

2007. 1. 6-1. 21, 臨時展示「丹波の恐竜化石」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2 回, 12 名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 4 件, 17 名. 電話・FAX 相談 15 件, メール相談 5 件.

2006. 6-8 明石海峡産哺乳類化石の整理と保管に関する指導・助言, 専門家, 明石市立文化博物館.

■学会開催等支援

2006. 6. 日本古生物学会 2006 年年会, 古脊椎動物の部, 座長

2006. 9. 日本地質学会代 113 年学術大会, 脊椎動物化石セッション, 世話人

半田 久美子, Kumiko HANDA

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習事業推進室主任研究員

昭和 45 年栃木県生. 大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了. 理学修士.

日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習事業推進室生涯学習支援グループ イベントマネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

■共同研究

部門研究「瀬戸内の自然史研究、全史解明に向けた企画調査」, 研究分担者.

■論文・著書

Hiroshi Ikeda, Kumiko Handa, Su-Kung Wu and Hideaki Ohba (2006) A Revision of the Genus *Spenceria* Trimem (Rosaceae). The Journal of Japanese Botany, 81, 154-167.

◎Katoh, S., Handa, K., Hyodo, M., Sato, H., Nakamura, T., Yamashita, T. and Danhara, T., 2006. Estimation of eruptive ages of the late Pleistocene tephra layers derived from Daisen and Sambu Volcanoes based on AMS-14C dating of the moor sediments at Ohnuma Moor in the Chugoku Mountains, Western Japan. Nature and Human Activities, 11, 31-52.

■その他著作

◎半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫 (2006) 中国山地東部, 大沼湿原における 3. 8 万年前以降の植生変遷. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書), pp. 43-52.

◎加藤茂弘・森永速男・檀原 徹・山下 透・小林文夫・佐藤裕司・半田久美子・古谷 裕・八木 剛 (2006) 後期更新世における中国山地東部の大沼湿原の形成過程. 加藤茂弘編『高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元』(平成 14~17 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書), pp. 12-28.

◎Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K. and Yagi, T., (2006) Paleoenvironmental changes during the last 50, 000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. In Katoh, S. (ed.), High-resolution reconstruction of the paleoenvironmental changes since the Last Glacial by the analyses of highland moor deposits. Report to the Japan Society for Promotion of Science, Tokyo, pp. 83-86.

◎Fumio Kobayashi, Hiroshi Furutani, and Kumiko Handa (2007) Early Permian (Cisuralian) fusulinoideans from Hijima, west of Yamasaki, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 6 -. Nature and Human Activities, No. 11, 17-28.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 兵庫県産植物化石資料収集. 神戸市北区, 西区, 三木市, 篠山市.
2007. 1-3 篠山層群産恐竜化石発掘. 丹波市.

■受贈担当資料

2006. 12 神戸層群産珪化木 (竹内利長氏コレクション). 37 点.

■整理同定担当資料

植物化石担当

■資料貸出

2006. 4-6 徳島県立博物館 企画展「奇跡の化石たち」神戸層群産植物化石 51 点.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2006. 4, 「植物化石採集会」, 神戸市北区. (18 名)
半田久美子, 2006. 6, 「古生代に繁栄した植物」, 博物館. (21 名)
半田久美子, 2006. 10, 「花粉の観察-化石編」, 博物館. (10 名)

館外講演

半田久美子, 2006. 9, 「神戸の植物化石」, ひょうご自然環境セミナー, 講師, 神戸生活創造センター. (47 名)

■キャラバン事業

展示作成

2006. 7-8. 明石文化博物館 化石展-化石が語る生物の進化と

太古の明石.

2007. 2-3. 学校キャラバン 神戸層群の植物化石

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6-6. 9, 上野台・藍中学校 3 名.

学校団体対応

2006. 11, 神戸市立南落合小学校 6 年生. (37 名)

2006. 12, 篠山市立小学校 6 年生. (19 名)

■フェスティバル等

2006. 11. ひとつはくフェスティバル 06, 「パーク・プラス・ステージ」(責任者).

■展示

企画展

2006. 2. 18-6. 11, 企画展「古生代の世界」(分担者).

ミニ企画等

2006. 9. 9 - 11. 5, ミニ企画展「自然史から見た兵庫の海」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫の案内, 1 回, 6 名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 5 件, 7 名. 電話・FAX 相談 5 件.

2006. 12 史跡新宮宮内遺跡の植栽に関する指導助言. たつの市教育委員会.

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

埋蔵自然遺産研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和 43 年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科博士課程(後期)単位取得退学. 学術博士(理学)(東北大学). 日本地質学会, 日本古生物学会, The Paleontological Society (USA) 日本貝類学会所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習事業室シンクタンク活動支援グループ

出版・発信マネージャー, ひとつはく通信「ハーモニー」編集・発行管理, 季刊セミナーガイド発行管理, ミュージアムレター(メルマガ)編集・発行, ひとつはく手帖 2007 年度版編集(分担)

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 新生界の層序に関する研究
2. 新生代貝類の分類・古生物地理・古生態学的研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「瀬戸内の自然史研究-全史解明に向けての企画調査-」, 研究分担者.

■論文・著書

Matsubara, T. and Komori, K. (2007) The first record of fossil *Ellobium* (Gastropoda: Ellobiidae) from northeastern Japan. Venus (Journal of the Malacological Society of Japan), 65, 325-331.

◎Yokogawa, K., Nakao, K. and Matsubara, T. (2007) Precedence of *Pecten yagurai* Yagura, 1922 (Bivalvia: Pectinidae) over *Pecten yagurai* Makiyama, 1923, with lectotype designation of both taxa. Venus (Journal of the Malacological Society of Japan), 65, 375-378.

■その他著作

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第 3 系神戸層群の哺乳類化石産出層準の F-T 年代. 日本地質学会第 113 回学術大会講演要旨, 67.

◎Tsubamoto, T., Matsubara, T., Saegusa, H. and Tanaka, S. (2006) Paleogene anthracotheriid and primitive rhinocerotoid

mammals from the Kobe Group and the age of the Kobe Group. Journal of Vertebrate Paleontology, 26 supplement (3), 132.
◎松原尚志 (2006) 展示の周辺 「高塚山粘土層」のはざと標本。ハーモニー, No. 55, 5.

■研究発表

松原尚志・小守一男 (2006) 岩手県二戸市の中新統門ノ沢層からオカミミガイ属 (腹足綱: オカミミガイ科) の発見とその古生物地理学的意義。日本古生物学会 2006 年年会。島根大学総合理工学部, 松江。

◎松原尚志・三枝春生・加藤茂弘・岩野英樹 (2006) 兵庫県三田地域における古第三系神戸層群の哺乳類化石産出層準の F-T 年代。日本地質学会第 113 回学術大会, 高知大学, 高知。

松原尚志・廣瀬浩司・菊池直樹・野田芳和 (2007) 鹿児島県諸浦島の中部始新統白嶽層からエンマノツノガイ属 (*Campanile*) の発見とその古生物地理学的意義。日本古生物学会第 156 回例会。徳島県立博物館, 徳島。

松原尚志 (2007) 台湾の化学合成群集について—文献レビュー—。日本古生物学会第 156 回例会夜間小集会, 徳島県立博物館, 徳島。

中島 礼・松原尚志・大串健一・大原健司・鈴木 淳・川幡穂高 (2007) 酸素同位体比解析に基づくトウキョウウホタテの成長過程復元。日本古生物学会第 156 回例会。徳島県立博物館, 徳島。

■学会役員など

日本貝類学会「ちりぼたん」編集委員。
IXth International Congress on Pacific Neogene Stratigraphy, Member of Organizing Committee.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.9 鮮新世貝類化石。高知県。
2006.10 中新世貝類化石。岩手県・青森県。
2006.11 北但層群産貝類化石。朝来市。
2007.1-3 篠山層群産恐竜化石。丹波市。

■資料借出

2006.8 マングローブ棲貝類。二戸市立二戸歴史民俗資料館。

■整理同定担当資料

中一新生代貝類化石。
池邊展生氏寄贈文献資料
森下 晶氏寄贈文献資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

松原尚志, 2006.7, 「化石標本の作製と整理のしかた」, 博物館。(10名)

松原尚志, 2006.8, 「化石のレプリカをつくろう!」, 博物館。(19名)

松原尚志, 2006.4-9 「実演!!化石工房 中生代の貝化石」, 博物館。(全4回, 93名)

松原尚志, 2006.10-2007.3 「実演!!化石工房 古第三紀の化石」, 博物館。(全5回, 139名)

松原尚志・嶽山洋志・フィービー A. アウエイティ, 2007.1 「化石工房新春スペシャル フィービーさんと化石のレプリカをつくろう!」, 博物館。(全2回, 46名)

館外講演

松原尚志 2006.5 「触ってあてようひとはくクイズ」, フローラ 88。(90名)

■キャラバン事業

展示作成

2006.8 東播磨地域 「ひとはくキャラバン in 明石 化石展—化石が語る生物の進化と太古の明石—」。

■学校教育支援

学校団体等対応

松原尚志・三枝春生, 2006.8 「神戸層群の地質と化石」, 守口市教育研究会中学校理科教育部会研究会。(10名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8.21, オリエンテーションひとはくの資料と活動概要-3 (地学系資料)。全学生。

2006.8.22-8.25, 神戸大学理学部学生1名, 高知大学理学部学生

1名。

■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, 「化石工房スペシャル」(分担者)。

■展示

ミニ企画等

2006.9.9-11.5, ミニ企画展「自然史からみた兵庫の海—地層や化石で知る100万年のおいたち—」(分担者)。

2007.1.6-1.21, 臨時展示「丹波の恐竜化石」(分担者)。

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 3回, 19名。

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者13件, 20名。電話・FAX相談18件, メール相談46件。

2006.8. 特別企画展「かつて二戸は熱帯だった!化石展」展示内容に関する指導・助言, 二戸市立二戸歴史民俗資料館。

2006.9-10 安藤保二氏寄贈新生代貝類化石の整理と保管に関する指導・助言, 専門家, 明石市立文化博物館。

2007.10 青森県東部地域の中新統および貝類化石に関する現地指導, 専門家, 高知大学理学部自然環境科学科進化古生物学研究室。

2007.10 岩手県二戸地域の中新統の層序と化石産地に関する現地指導, 専門家, 山形大学理学部地球環境学科。

■学会開催等支援

2007.2 日本古生物学会第156回例会, 古生態の部-3, 座長。

○自然・環境評価研究部

中西 明德, Akinori NAKANISHI

昆虫共生系研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授。

昭和18年 兵庫県生。昭和40年, 九州大学農学部卒業。

日本昆虫学会, 日本鱗翅学会, 国際鱗翅学会, 熱帯鱗翅学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ
大学・各種学校教育支援担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. タテハチョウ科の高次分類群の系統関係の解明
2. 兵庫県の昆虫相の多様性の起源と保全に関する研究
3. チョウと共生する街づくりの実現
4. 熱帯雨林のチョウ類の多様性

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者

■論文・著書

Hiroshi SHIMA & NAKANISHI Akinori (2006) Notes on some Oriental species of the genus *Ypthima* (Satyrinae). Nature and Human Activities, No.11, 53-61.

■その他著作

中西明德(2006)マレーシア領サバ州のチョウ類研究。昆虫と自然, Vol.42(4), 13-18.

2. 資料収集・整理

■受贈担当資料

2006.10, 佐藤英次フタオチョウコレクション(第3期分)東南アジアおよびアフリカ産フタオチョウ (130点)

2006.10, 和田コレクション(*Vindula* 属のチョウ 183点)

■整理同定担当資料

柴谷篤弘コレクション (オーストラリア地域のチョウ類、約 1600 点)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

■館主催セミナー

- 中西明德, 2006. 6, 「チョウの飛ぶ街づくり」, 博物館 (5名)
- 中西明德・橋本佳明, 2006. 9, 「ハチの見分け方」, 博物館 (20名)
- 中西明德, 2006. 10, 「チョウの見分け方」, 博物館 (7名)
- 中西明德, 2006. 12, 「チョウの変異」, 博物館 (3名)

■学校教育支援

学校団体対応

- 2006. 5 加古川市立両荘中学校 1年生 (88名).
- 2006. 5 三田市立三輪小学校 3年生 (102名).
- 2006. 10 神戸大学農学部昆虫科学 学生 (40名).
- 2006. 11 淡路教育事務協議会 教員 (20名).
- 2006. 12 神戸市立糞台小学校 3年生 (75名).

■展示

企画展

- 2006. 10. 21-2007. 1. 21, 企画展「虫の風林火山」(分担者)

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等

- 2006. 4-2007. 3, サバ州生物多様性保全プログラム. 国内支援委員会, 委員, 国際協力機構. 3回
- 2006. 7 - 2007. 3, SSH (スーパーサイエンスハイスクール, 神戸高校) 運営指導委員会. 委員, 2回.

橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

昆虫共生系研究グループ/生涯学習事業推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

部門 助教授

昭和31年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研

究科博士課程修了, 学術博士, 昆虫学会等所属



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯事業推進室スクールパートナー推進グループ

学校教育支援担当

2. 研究開発部門

和文紀要「人と自然」編集長担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

- 1. 膜翅目昆虫 (アリ類等) の系統分類学的研究
- 2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
- 3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
- 4. 共生生物学

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

■その他著作

橋本佳明 (2007) ボルネオ島サバ州の昆虫研究- その多様性と保護. 昆虫と自然 3月号, 2-4.

■研究発表

Yoshiaki Hashimoto (2006) The ANeT network in Asia, capacity building and its fruits. 国際社会性昆虫学会, 米国ワシントン.

Yoshiaki Hashimoto (2006) Vertical Distribution Pattern of Ants in a Bornean Tropical Rainforest. 国際社会性昆虫学会, 米国ワシントン.

橋本佳明・遠藤知二 (2006) アリ形グモ群集とモデルとしてのアリ群集多様性: アリ形グモ多様性の鋳型としてのアリ類群集の多様性. 日本昆虫学会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

遠藤知二・橋本佳明 (2006) アリ形グモ群集とモデルとしてのアリ群集多様性: アリ擬態はどこまで有利になるか?. 日本昆虫学会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員.

Insectes sociaux レフェリー

Asian myrmecology レフェリー

■助成を受けた研究

アリ類の種多様性はアリグモ類の種多様性の鋳型となっているか?- 熱帯林でのアリ・アリグモ共生系の解明 文部科学省科学研究費萌芽的研究, 研究代表者 (90万円).

■海外調査

2006. 8 マレーシア・サバ州

2006. 12 マレーシア・サバ州

■学会賞等

国際社会性昆虫学会ワシントン大会2006年「ベストプレゼン・ポスター」受賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 8 アリ類の採集. マレーシア・サバ州.

2006. 12 アリ類の採集. マレーシア・サバ州.

■整理同定担当資料

常木, 岩田, 坂上ハチ類コレクション 1000点

トゲアリ・タイプ標本 40点

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

中西明德・橋本佳明. 2006. 9 「ハチの見分け方」, 博物館. (20名)

布施静香・高橋晃・高野温子・中西明德・橋本佳明, 2007. 2, 生物系収蔵庫ツアー. 博物館. (40名)

館外講演など

橋本佳明, 2007. 2, APN 国際セミナー「生物多様性の保全による持続的な社会の達成をめざして」. 兵庫県立美術館 (200名).

橋本佳明, 2006. 6. 生物多様性保全はなぜ難しいのか. 国際協力事業団 JICA, 本部. (30名)

非常勤講師など

2006. 5. 「アリとハチのデザイン」. 神戸芸術工科大学. (80名)

■学校教育支援

学校団体対応等

2006. 4 熱帯雨林に生きる昆虫たち. 大阪府立泉北高校. (26名)

2006. 5 熱帯雨林の自然. 大阪府立住吉高等学校. (291名)

2006. 6 熱帯雨林の生物多様性の世界. 県立福岡高等学校. (42名)

2006. 9. 自然の恩恵. 新温泉町立浜坂中学校. (56名)

2006. 9. 昆虫のふしぎ. 姫路市立山田小学校. (29名)

2006. 10 アリの話. 高槻市立川西小学校. (51名)

2006. 11 昆虫のふしぎ. 姫路市立峰相小学校. (60名)

2006. 2 アリのデザイン・人のデザイン. 国際クラーク高校. (80名)

博物館実習

2006. 8. 22 講義「自然史博物館とは」参加全大学実習生. (9名)

■展示

企画展

2006. 10. 21-2007. 1. 21, 企画展「虫の風林火山」(分担者)

2. シンクタンク事業

相談・指導助言

来訪相談 7件, 電話相談 22件

3. 特別プロジェクト

サバ・プロジェクト

マレーシア国立サバ大学, JICA との連絡調整を行った.

フェアブル展ひょうご・プロジェクト

人博企画調整・全国企画運営会議委員, 展示制作 WG 委員担当. 国内5博物館共同開催のフェアブル100年展の巡回展および, 兵庫

沢田 佳久, Yoshihisa SAWADA

昆虫共生系研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

部門 助手

昭和34年京都府生 九州大学大学院農学研究科修

了。農学博士。日本昆虫学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室シンクタンク活動支援グループ

資料活用マネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. オトシブミ, チョッキリの多様性

■論文・著書

沢田佳久 (2006) オトシブミの頭。昆虫と自然, 41(6), 18-23, Pl. 1.

■研究発表

沢田佳久 (2006) 兵庫県のゾウムシ相。日本昆虫学会第66回大会, 鹿児島大, 鹿児島市。

沢田佳久 (2006) 甲虫研究における立体写真の活用。日本甲虫学会 2006年次大会, 大阪自博, 大阪市。

沢田佳久 (2006) 昆虫研究における立体写真の活用。日本昆虫学会 近畿支部大会, 兵庫県博, 三田市。

■学会役員など

日本昆虫学会, 電子化推進委員。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.6 昆虫の採集。篠山市など。

2006.6 ヒスマイトトンボ生態写真等撮影。豊岡市。

2006.7 ウスイロヒョウモンモドキ生態写真等撮影。香美町。

2007.3 海浜性ゾウムシ類の採集。岩手県宮古市, 陸前高田市等。

■受贈担当資料

2006.4 カミキリ類標本等 (小田コレクション)。約9,200点。

2006.8 有野台産ヒラズゲンセイ標本 (青木コレクション)。1点。

2006.8 姫路産ミツコブエンマコガネ標本 (高橋コレクション) 6点。

2006.8 柏原産ゴホンダイコク標本 (丹野コレクション) 1点。

2006.8 深田公園産グミチョッキリ標本 (岸コレクション) 1点。

■整理同定担当資料

昆虫 (鞘翅目, 半翅目)。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

沢田佳久, 2006.6, 「もいちどはじめる昆虫採集」。博物館。(全4回, 5名)

沢田佳久, 2006.5, 「深田公園オトシブミ観察会」。博物館。(40名)

沢田佳久, 2006.7, 「小さな虫の標本作り」。博物館。(20名)

沢田佳久, 2006.8, 「土の中のむし」。博物館。(20名)

沢田佳久, 2006.9, 「虫の体を調べよう」。博物館。(10組)

沢田佳久, 2006.10, 「とびだせ立体写真!」。博物館。(100名)

沢田佳久, 2006.10, 「立体写真撮影入門」。博物館。(10名)

沢田佳久, 2006.11, 「立体写真特習」。博物館。(10名)

沢田佳久, 2007.2, 「ゾウムシ学序論」。博物館。(40名)

大谷 剛・沢田佳久, 2006.8, 「家族で完成! 昆虫標本」。博物館。(全2回, 10組)

館外講演

沢田佳久, 2006.6, 「ひょうご自然環境セミナー『神戸周辺の甲虫』」。神戸生活創造センター。(30名)

沢田佳久, 2006.7, 「親子で楽しむ夏休み『昆虫標本教室』」。サンピア明石。(20組)

■キャラバン事業

展示作成

2006.4-2007.3 阪神地域, 西播磨地域, 丹波地域, 昆虫標本 (甲虫)

■ミニキャラバン

2006.4-2007.3 有馬富士フェスティバル, 昆虫標本 (甲虫)

■展示

企画展

-2006.6.11, 企画展「古生代の世界」(分担者)。

2006.7.8-9.24, 企画展「兵庫の外来生物」(分担者)。

2006.10.21-07.1.21, 企画展「虫の風林火山」(分担者)。

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

収蔵品標本調査協力, 5回, 5名。

■行政等支援

来訪者約30件, 約30名。電話・FAX相談約10件, メール相談約50件。

■学会開催等支援

2006.12, 日本昆虫学会近畿支部日本鱗翅学会近畿支部合同大会開催。

八木 剛, Tsuyoshi YAGI

昆虫共生系研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和43年大阪府生 神戸大学大学院農学研究科

修士課程修了。農学修士。日本昆虫学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ

グループリーダー。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 昆虫分布の解釈に関する研究

2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

■共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究ハチ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究代表者。

■論文・著書

近藤博道・八木 剛 (2007) 大規模な出水が郡家川 (兵庫県淡路市) に生息するゲンジボタルおよびカワニナ属の個体数に及ぼす影響。人と自然, No. 17, 67-72。

■その他著作

八木 剛 (2006) プチ図鑑 兵庫の螢。兵庫県立人と自然の博物館, 20pp。

八木 剛 (2006) プチ図鑑 兵庫の赤とんぼ。兵庫県立人と自然の博物館, 20pp。

八木 剛 (2006) ホタルの飛び交う森。森発見, No. 4, 1. 日本万国博覧会記念機構「自立した森再生センター」

大谷 剛・八木 剛 (2006) プチ図鑑 兵庫の身近な秋の鳴く虫。兵庫県立人と自然の博物館, 20pp。

■研究発表

八木 剛・安岡拓朗 (2006) ヒメボタル発光時刻の地理的変異。日本昆虫学会第66回大会, 鹿児島大学, 鹿児島市。

安岡拓朗・八木 剛 (2006) ヒメボタルの幼虫を捕獲するためのベイトトラップの開発。日本昆虫学会第66回大会, 鹿児島大学, 鹿児島市。

八木 剛 (2006) ミヤマアカネ。日本昆虫学会近畿支部大会・日本鱗翅学会近畿支部例会合同大会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市。

■学会役員など

日本昆虫学会, 近畿支部幹事。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2005.5-2005.7 ヒメボタル等. 川西市, 三田市, 香美町, 熊本県, 京都府.

2005.5-2005.10 昆虫類. 三田市, 神戸市, 宝塚市, 養父市.

■整理同定担当資料

昆虫(双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

八木 剛. 2006.4-2007.3, 「ユース昆虫研究室」. 兵庫県立明石公園・明石市立文化博物館・香美町ハチ北高原・博物館. (全13回. 206名)

八木 剛. 2006.5-7, 「レッツ・チャレンジー自然環境調査入門ー身近な環境を調査しようー三田のホタルを調べるー」. 博物館. (全2回. 34名)

八木 剛・橋本佳明・鈴木 武・宮崎ひろ志・赤澤宏樹, 2006.5-12, 「人と自然の共生を考える」. (全6回, 220名)

八木 剛, 2006.6, 「ひめぼたるアドベンチャーin 奥米地」. (23名) (共催: ホタルの里創造協会・養父市立養父公民館)

ひとはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza・八木 剛, 2005.6-8. 「ひとはく博士と行くハチ北高原サマースクール」. 博物館・ハチ北高原. (全5回, 80名) (共催)

ひとはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza・八木 剛, 2005.4-5. 「かわい虫をみつけよう」, 深田公園. (全2回36名) (共催)

八木 剛・奥山清市, 2007.3. 「クイズとトークショー: 知っているホタルのプリンセス」, ヒメボタルサミット in 伊丹 (主催: あーす・いたみ), スワンホール, 伊丹市. (240名) (共催)

館外講演

八木 剛, 2006.4, 「赤いか黒いか, ヒメボタルの幼虫」. 第10回ヒメボタルサミット, 兵庫県立人と自然の博物館. (130名)

八木 剛, 2006.5, 「ホタル調査のしかた」. 猪名川町企画政策課. (30名)

八木 剛, 2006.5.7. 三田のホタル調査隊学習会. NPO法人キッピーフレンズ. 三田市立有馬富士自然学習センター. (全2回, 30名)

八木 剛, 2006.6. 「美しくふしぎなヒメボタル」. 第1回ヒメボタルまつり. やまなみホール, 丹波市山南町. (180名)

八木 剛, 2006.7 「ヒメボタル観察会」兵庫県自然環境保全課. 香美町ハチ北高原自然協会. (30名)

八木 剛, 2006.7 「森林の昆虫」森のインストラクター養成講座. 兵庫県森林林業技術センター. (20名)

八木 剛, 2006.8 トンボとりベナントレースとミヤマアカネ調査. 川がきクラブ, 西宮. (20名)

八木 剛, 2006.8 ヒメボタルサミット in 愛知, 名古屋市科学館. (50名)

八木 剛, 2006.8 みやまあかね祭. みやまあかね委員会. 宝塚ゴルフ場. (289名)

八木 剛, 2006.9 鳴く虫の声を聞き分けよう. ささやまの森公園. (30名)

八木 剛, 2006.11, 「ボランティア養成」, 阪神シニアカレッジ. (19名)

八木 剛, 2006.11 虫の風林火山展示解説. 自然環境市民大学空の会. (20名)

八木 剛, 2006.11 藤田孝夫講演会, 養父市. (50名)

八木 剛, 2007.1. 「六甲山の昆虫」. 山の案内人研修会. (財)ひょうご環境創造協会. (40名)

八木 剛, 2007.2 ミヤマアカネマーカーキング調査. 兵庫トンボ研究会. (20名)

非常勤講師

2006.5. 「自然とデザイン」. 神戸芸術工科大学

■キャラバン事業

展示作成

2006.8 但馬地域 モルフォチョウ, 兵庫のホタル

2007.2 阪神北地域(学校)西宮市立名塩小学校 モルフォチョウ

セミナー担当

2007.2 阪神北地域(学校)西宮市立名塩小学校(講師)

■ミニキャラバン事業

2006.7-8 加西市環境展(主担当), 加西市環境課.

2006.9 ボランティアメッセ2006(分担者), 九州国立博物館.

2002.10, ふれあいフェスティバル(分担者), ふれあいフェスティバル実行委員会, 明石公園.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007.2 共生の広場「ケヤキ樹皮下にて越冬する昆虫達」吉田貴大(テネラル)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「熱く燃えた! ミヤマアカネマーカーキング調査」安達貴美子・河田真紀子・玉村佳子・玉村佳彦(川がきクラブ・みやまあかね委員会)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「第1回ヒメボタルまつりの実施」藤原利正・岸本稚世(ヒメボタルまつり実行委員会)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「10年ぶりの三田市域におけるゲンジボタル分布調査」粟井信行(NPO法人人と自然の会)(アドバイス)

2007.2 共生の広場「有馬富士のホタルは〇〇だった!」汗と涙のホタル調査ー服部泰樹・榎谷紀久夫(NPO法人キッピーフレンズ三田のホタル調査隊)・中峰空(三田市立有馬富士自然学習センター学習指導員)(アドバイス)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.11 神戸市立北神戸中学校5名, 池田市立渋谷中学校1名.

学校団体対応

2006.5. 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」宝塚市立西山小学校4年生. (74名)

2006.7 「スーパー昆虫びんご深田公園編」みこころ幼稚園親子学級. 深田公園・博物館. (158名)

2006.10 「博物館の概要」神戸大学農学部. (30名)

2006.12 「企画展虫の風林火山解説」. 大阪府立北野高校. (34名)

2007.1 「ホタルについてのお話」, 赤穂市立原小学校. (31名)

2007.2 「ホタルについてのお話」, 山崎町立城下小学校. (20名)

2007.2 「博物館の概要」神戸大学博物館学. (40名)

2007.2 「ミヤマアカネ」宝塚市立西山小学校6年生. (90名)

講師派遣

2006.5 「ホタルはなぜそこにいるのか」, 灘中学校土曜講座. (26名)

2006.5 「ヒメボタル」, 講師, 川西市立加茂小学校5年生. (98名)

2006.7 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」. 宝塚市立西山小学校4年生. (88名)

2006.7 「ホタルは自然環境のシンボル」. 神戸市立八多中学校. (88名)

2006.7 「学校林を活用した環境教育実習」. 神戸市立君影小学校教員研修. (15名)

2006.7 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」. 宝塚市立仁川小学校4年生. (110名)

2006.9 「ミヤマアカネの標本づくり」. 宝塚市立西山小学校4年生. (88名)

2006.9 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」. 関西学院中学部, 理科クラブ. (20名)

2007.2 「名塩の昆虫」. 西宮市立名塩小学校4年生. (70名)

■研修生等の受入

2006.8-2007.1, Poebie Anwak 兵庫海外研修員(分担者)

博物館実習

2006.8.-2007.3, 東京農業大学1名, 甲南大学1名.

■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, スーパー昆虫びんご(責任者).

■展示

企画展

2006.10.22-2003.5.18, 企画展「虫の風林火山」(責任者).

ミニ企画等

2006.6 第5回ホタル展ホタル・鳥取・ひととの共存. 鳥取市歴史博物館(協力: 標本・資料提供)

2006.8 (協力) みんぱく昆虫展, 国立民族学博物館(協力: 標

本提供)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「生息地の造成工事がヒメボタル個体群へ与える影響に関する研究」, 猪名川上流広域ゴミ処理施設組合. 研究代表者 (60 万円)
「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町. 研究分担者 (30 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 3 回, 30 名.

■行政等支援

委員会等 (計 2 件)

2006. 4- ささやまの森公園運営協議会, 委員.
2007. 2 ヒメボタル保全検討会委員, 国土交通省京都国道事務所.

相談・指導助言

来訪者 30 件, 50 名. 電話・FAX 相談 50 件, メール相談 20 件.

2006. 6 兵庫県洲本土木事務所

2006. 6 兵庫県宝塚保健所

2006. 6 神戸市北区役所

■学会開催等支援

2006. 4 第 10 回ヒメボタルサミット開催. 130 名

2006. 12 日本昆虫学会近畿支部大会開催. 62 名

2007. 2 兵庫トンボ研究会総会開催. 18 名

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

森林多様性研究グループ/企画調整室

研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類

研究部門 教授.

昭和 29 年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士

課程単位取得退学. 理学博士. 日本植物学会,

日本植物分類学会, 植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会

等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティング及びマネジメント部門企画調整室企画調整担当グループグループリーダー.
2. 研究開発部門
研究部の統括.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 兵庫県産植物の分類・地理学的研究
2. 熱帯産樹種の生長解析・木材解剖学
3. 植物を素材にした自然史教育の研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然・環境遺産の開拓と総合化に関する研究」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究. ハチ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究分担者.

■その他著作

- ◎高橋 晃 (2006) 道端の植物と仲良くなる方法. 三田市民大学.
- ◎高橋 晃 (2006) 秋の七草. 緑の相談所だより, 5 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.
- ◎高橋 晃 (2006) 紅葉. 緑の相談所だより, 6 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.
- ◎高橋 晃 (2007) 千両, 万両, 似ているようで違う植物. 緑の相談所だより. 7 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.
- ◎福岡忠彦・高橋 晃・布施静香 (2007) 兵庫県三田市の街路樹. 人と自然, No. 17, 35-41.
- ◎福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃 (編) (2007) 兵庫県産維管束植物 8. 人と自然, No. 17, 143-188. (編集およびキク科分担執筆)
- ◎高橋 晃 (2007) 春の道端で野生の草花を楽しむ. 緑の相談所だより, 8 号: 1. (財) 兵庫県園芸・公園協会 緑の相談所.

■助成を受けた研究

熱帯樹木の木部解剖学的生長解析, (財) 藤原ナチュラルヒストリ

一振興財団研究助成, 研究代表者 (60 万円).

マオウ科植物の形態ならびに成分化学的多様と種分類に関する調査研究, 文部科学省科学研究費基盤研究 (B) 海外学術研究, 研究分担者. (分担金なし/総額 420 万円)

■海外調査

2006. 7-8. マレーシア・サハ州 (JICA)

2007. 1-2. マレーシア・サハ州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 5-11, 維管束植物. 養父市水ノ山, 香美町・新温泉町・豊岡市の日本海沿岸部

■整理同定担当資料

種子植物, 材鑑標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

高橋 晃, 2006. 4, タンポポをさがしにいこう. 博物館. (15 名)

高野温子・高橋 晃・布施静香, 2006. 4, 植物リサーチクラブ 1: 植物用語の基礎知識 花編. 博物館. (22 名)

高橋 晃・高野温子・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ 2: 但馬海岸の植物. 竹野町. (全 2 回, 20 名)

高橋 晃・高野温子・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ 3: 植物用語の基礎知識 葉・茎編. 博物館. (32 名)

長谷川太一・高橋 晃, 2006. 9, ミュージアムスクール 植物画を描こう. 博物館. (25 名)

高野温子・布施静香・高橋 晃, 2006. 10, 植物リサーチクラブ 4: 秋の雪彦山. 夢前町雪彦山. (27 名)

布施静香・高橋 晃・高野温子, 2006. 10, 植物リサーチクラブ 5: 植物用語の基礎知識 果実編. 博物館. (23 名)

布施静香・高橋 晃・高野温子, 2007. 1, 植物リサーチクラブ 6: 標本の調べ方. 博物館. (全 2 回, 8 名)

高橋 晃・加藤茂弘・高野温子・布施静香・橋本佳延, 2007. 2, 私たちの新発見〜ひとはく研究員海外調査報告会. 博物館. (13 名)

布施静香・高橋晃・高野温子・中西明徳・橋本佳明, 2007. 2, 生物系収蔵庫ツアー. 博物館. (40 名)

館外講演など

Takahashi A., 2006. 8, Maintenance and re-census Permanent plot project in Crocker Range Park. Lecture, Committee for Establishment of Permanent Plots in Crocker Range Park, BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (18 名)

高橋 晃, 2006. 9, 宝塚市の自然. 講師, みち草案内人育成塾, NPO 法人 シニアパワーを活かす会, 宝塚市. (12 名)

高橋 晃, 2006. 9, さよう子どもアートスクール 植物画をかこう. 講師, 佐用町生涯学習課, 佐用町海内地域づくりセンター. (25 名)

高橋 晃・長谷川太一・田路川和子・貴島せい子・肥田陽子
2006. 11, ホンモノそっくり! 植物画. 講師, NHK 神戸放送局, 神戸市. (36 名)

非常勤講師など

2006. 9 共生博物館, 兵庫県立大学 (集中).

2006. 4-7 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

■ミニキャラバン事業

2006. 11. 11-16 地球だい好き環境キャンペーン・こども植物画展示, NHK 神戸放送局, 神戸市.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2 共生のひろば, 三田の街路樹, 福岡忠彦 (指導)

2007. 2 共生のひろば, 子どもたちと学ぶ—科学の目で描く植物画—, GREEN GRASS, (指導・協働)

■展示

ミニ企画

2006. 10. 9-11. 5, こども植物画作品展. (責任者).

2. シンクタンク事業

■自然環境情報調査

但馬海岸における貴重植物の現状調査, 但馬地域 (委託先: 県フロ

ラ研).

■**収蔵庫・ジーンファームの公開**

生物系収蔵庫の案内 2回, 40人

■**行政等支援**

委員会等

2005. 4- 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境省.

2005. 4- 希少野生動物植物種保存推進員, 環境省.

相談・指導助言

来訪相談 3件, 3人, 電話相談 8件

3. **特別プロジェクト**

○**フェアブル展プロジェクト**

プロジェクトリーダー: 国内5博物館共同開催のフェアブル100年展の巡回展および、兵庫県の地域展示・関連事業の開催に向けた準備事務を行った。

○**サバ・プロジェクト (ひとはくサバ大学共生生物学研究事業)**

ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラムのJICA短期専門家(40日間): マレーシア・サバ州クロッカー山脈国立公園の森林で展開している永久調査区の維持管理・メンテナンスに関するワークショップを実施した。

秋山 弘之 Hiroyuki AKIYAMA

森林・昆虫研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 助教授.

昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蕨苔類学会, 米国植物分類学会等所属.



<**事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事**>

1. **事業推進部生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ**

学校教育支援担当.

2. **研究開発部門**

資料担当. とりまとめならびに燻蒸, 資料委員会の開催.

<**研究開発**>

1. **調査研究**

■**特別課題研究 (個人研究)**

1. 東南アジア産蕨苔類の分類学的・植物地理学的研究
2. 半数体植物における種分化のあり方に関する研究
3. ボルネオ島蕨苔類相の研究

■**論文・著書**

Akiyama, H. (2006) Notes on the taxa previously classified in the genus *Trimsegistia* (Sematophyllaceae). J. Hattori Bot. Lab., 100, 1-14.

Suleiman, M., H. Akiyama & B. C. Tan. (2006) A revised catalogue of mosses reported from Borneo. J. Hattori Bot. Lab., 99, 107-183.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 11. 蕨苔類研究, 9(4), 112-113.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 12. 蕨苔類研究, 9(4), 114-115.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 13. 蕨苔類研, 9(4), 115-116.

秋山弘之 (2006) アジア産蕨苔類の分類・生態ノート 14. 蕨苔類研究, 9(4), 116-117.

秋山弘之 (2006) 北半球に広く分布するタカオジャゴケに与えられた新しい学名. 蕨苔類研究, 9(3), 88-90.

田中敦司・大西規靖・西村直樹・秋山弘之, (2006) 兵庫県但馬の蕨苔類. 人と自然, No.16, 69-91.

■**その他著作**

秋山弘之 (2006) コケはしめったところに生えるの?. かがくるプラス, 36号, 19-24 朝日新聞社

秋山弘之 (2006) アクアリウム・モス・ワールド. 月刊アクアライフ, 10月号, 74-83, マリン企画.

秋山弘之 (2006) コケ百選3 プランタ 第103号, 47-48, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選4 プランタ 第104号, 53-54, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選5 プランタ 第105号, 57-58, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選6 プランタ 第106号, 45-46, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選7 プランタ 第107号, 47-48, 研成社.

秋山弘之 (2006) コケ百選8 プランタ 第107号, 35-36, 研成社.

■**研究発表**

秋山弘之, (2006) 自由生活するコケ配偶体がたどった形態多様化の道筋. シンポジウム「配偶体の多様性と進化」, 第70回日本植物学会大会, 熊本大学, 熊本市.

横山勇人・山口富美夫・秋山弘之・田中敦司・出口博則 (2006) 屋久島の蕨苔類の垂直分布. 日本蕨苔類学会, 南九州大学, 宮崎市.

横山勇人・山口富美夫・秋山弘之・矢原徹1・出口博則 (2006) 屋久島の蕨苔類の生態的特徴. 日本植物学会, 熊本大学, 熊本市.

秋山弘之 (2006) 屋久島のコケ, その過去・現在・未来. 公開シンポジウム「今屋久島で何が起きているか」, 屋久島自然遺産センター, 上屋久町.

■**学会役員など**

日本蕨苔類学会, 庶務幹事, 編集委員

日本植物分類学会, 評議員, 編集委員

財団法人平岡環境科学研究所, 監事

■**助成を受けた研究**

屋久島蕨苔類相の現状把握と保全への基礎調査. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C) (一般), 研究代表者 (150万円).

2. **資料収集・整理**

■**資料収集**

2006. 4-2007. 3 蕨苔類. 三田市, 宝塚市, 神戸市, 篠山市

2006. 5-2007. 3 蕨苔類. 鹿児島県屋久島.

■**整理同定担当資料**

植物 (蕨苔類, 菌類).

<**事業推進**>

1. **生涯学習事業**

■**セミナー**

館主催セミナー

秋山弘之, 2006. 5, とつとこクラブ コケ学散歩1. 神戸市. (15名)

秋山弘之, 2006. 7, とつとこクラブ 夏のキノコ探検隊1. 神戸市. (11名)

秋山弘之, 2006. 7, とつとこクラブ 夏のキノコ探検隊2. 箕面市. (13名)

秋山弘之, 2006. 9, とつとこクラブ 秋のキノコ探検隊1. 神戸市. (15名)

秋山弘之, 2006. 10, とつとこクラブ 秋のキノコ探検隊2. 三田市. (14名)

館外講演

秋山弘之, 2006. 10, 甲山キノコ観察会. 西宮市. (30名)

秋山弘之, 2006. 1, シニアウオーキング入門教室. 尼崎市. (70名)

■**キャラバン事業**

主担当

2006. 4-5 西播磨地域 テーマ「世界のクワガタ・カブトムシ大集合」

セミナー担当

2006. 10 西播磨地域 キノコ観察会 (講師)

■**学校教育支援**

学校団体対応

2006. 7 兵庫県立大学附属高校1年生. (160名)

講師派遣

2007. 1 総合的学習. 講師, 藍中学校. (全6回, 180名)

■**研修生等の受入**

博物館実習

2006. 8. 22 講義 博物館と資料収集. (9名)

2. **シンクタンク事業**

■**自然環境情報調査**

「阪神北地域蕨苔類相の調査研究」. 淡路 (委託先: 岡山コケの会)

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件, 18 名。電話・FAX 相談 7 件, メール相談 20 件。

高野 温子, Atsuko TAKANO

森林多様性研究グループ/企画調整室

主任研究員

昭和 46 年大阪府生 大阪市立大学理学研究科後期博士課程修了。理学博士。

日本植物学会, 日本植物分類学会, 米国植物分類学会他所属



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室ネクスト担当グループ
組織整備担当。次期中期目標策定, 基本構想委員会事務局等。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. ショウガ科植物の分類学的研究
2. 兵庫県産植物の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来 氷ノ山・扇ノ山地域における自然利用のあり方」研究代表者。
部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究—鉢北高原における生物とその生育環境の変化—」研究分担者。

■論文・著書

Takano, A., H. Nagamasu. (2006) A new species, *Etilingera palangkensis* (Zingiberaceae) from Borneo. Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, 57, 75-79.

■その他著作

Takano, A., Avelinah Julius, Maryati Mohamed. (2006) Preliminary survey on flexistylous gingers in Borneo. In: Maryati Mohamed, Monica Suleiman, Yoshiaki Hashimoto (eds.) Biodiversity and conservation research for science and the people. pp. 29-33.

◎高野温子(2006) 速報! フサタヌキモが篠山で発見される。兵庫・水辺ネットワーク会報, 48 号, 4-5.

高野温子(2006) 書評: Pollination biology and ecosystems: Sawarak Study. 種生学会ニュースレター, No. 33, 10-11.

◎嶽山洋志・高野温子(2006) ひょうご海外技術研修員のご紹介。ハーモニー, No. 55, 6.

◎高野温子(2006) 親王のお印に選ばれたコウヤマキ。ハーモニー, No. 55, 7.

◎高野温子(2007) 新しい博物館を目指して。ハーモニー, No. 56, 8.

◎高野温子(2007) 兵庫の水辺と細長いお付き合いを。兵庫・水辺ネットワーク会報, 50 号, 7.

◎小山博滋・黒崎史平・高野温子(2007) キク科ノコギリソウ属, ノブキ属, ウサギギク属, トキンソウ属, イズノハコ属, ハルシヤギク属, マメカミツレ属, アゼトウナ属, キク属, タケダグサ属, ムカシヨモギ属, ツワブキ属, ヤナギタンポポ属, スイラン属, エゾコウゾリナ属, ニガナ属, アキノノゲン属, ヤブタバコ属, メタカラコウ属, コウモリソウ属, フキ属, コウゾリナ属, フクオウソウ属, シュウブソウ属, キオン属, アキノキリンソウ属, ヒメジョオン属, ヤブレガサ属, オニタバコ属。(福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物 8)。人と自然, No. 17: 143-144, 146, 156-157, 160-164, 166, 169-180, 182-184, 187-188.

◎黒崎史平・高野温子(2007) キク科カミツレモドキ属(福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物 8)。人と自然, No. 17: 146.

◎小山博滋・黒崎史平・副島颯子・高野温子(2007) キク科シオン属(福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編): 兵庫県産維管束植物 8)。人と自然, No. 17: 148-152.

■研究発表

Avelinah Julius, A. Takano, Monica Suleiman (2006) Studies on Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 1: Revision of Bornean

Plagiostachys with description of eight new species. 4th International Symposium on the family Zingiberaceae. Singapore.

Avelinah Julius, A. Takano, Monica Suleiman (2006) Studies on Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 2: Phylogenetics of Bornean *Plagiostachys* based on nuclear ribosomal DNA ITS sequence data. 4th International Symposium on the family Zingiberaceae. Singapore.

高野温子・布施静香・橋本佳延・坂田宏志・三橋弘宗(2007) 六甲山のブナはどこから来たか? 兵庫県産ブナ(*Fagus crenata*)の遺伝型解析。日本植物分類学会第6回大会, 新潟大学, 新潟市。

■学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, レフェリー
Plant Systematics and Evolution, レフェリー

■助成を受けた研究

雌しべが動いて性が変わる: フレキシスタイリーの起源と進化に関する研究。文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(110万円)

■受賞

Best three posters. For: Avelinah Julius, A. Takano, Monica Suleiman (2006) Studies on Bornean *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 1: Revision of Bornean *Plagiostachys* with description of eight new species. 4th International Symposium on the family Zingiberaceae. Singapore.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 5. 維管束植物。豊岡市, 姫路市。
2006. 6. 維管束植物。姫路市, 新温泉町。
2006. 7. 維管束植物。赤穂市, 篠山市, 姫路市。
2006. 8. 維管束植物。香美町, 篠山市, 新温泉町。
2006. 9. 維管束植物。新温泉町, 姫路市。
2006. 10. 維管束植物。豊岡市, 姫路市, 新温泉町, 香美町, 養父市, 神戸市。
2007. 3. 維管束植物。姫路市。

■整理同定担当資料

被子植物。キク科(キク連, シオン連, キオン連, ノコギリソウ連, タンポポ連)

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

- 高野温子・高橋晃・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ① 植物用語の基礎知識 ~花編~。博物館。(22名)
- 高橋晃・高野温子・布施静香, 2006. 5, 植物リサーチクラブ② 但馬海岸の植物。豊岡市竹野町。(全2回, 20名)
- 高橋晃・高野温子・布施静香, 2006. 7, 植物リサーチクラブ③ 植物用語の基礎知識~茎・葉編~。博物館。(32名)
- 高野温子・布施静香, 2006. 8, 教職員セミナー 子供と触れ合う身近な植物。博物館。(34名)
- 高野温子・高橋晃・布施静香, 2006. 10, 植物リサーチクラブ④ 秋の雪彦山。姫路市夢前町。(27名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子, 2006. 10, 植物リサーチクラブ⑤ 植物用語の基礎知識 ~果実編~。博物館。(23名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子, 2007. 1, 植物リサーチクラブ⑥ 植物標本の調べ方。博物館。(14名)
- 高橋晃・加藤茂弘・高野温子・布施静香・橋本佳延, 2007. 2, オープンセミナー わたしたちの新発見。博物館。(10名)
- 布施静香・高橋晃・高野温子・中西明徳・橋本佳明, 2007. 2, 生物採取庫ツアー。博物館。(40名)

非常勤講師など

2006. 5, 花のデザイン。神戸芸術工科大学。(80名)

■キャラバン事業

展示作成

- 2006. 7 中播磨地域 地域のみなさんとボランティアの人が作った植物標本。
- 2006. 9 丹波地域 国領の植物 ナンバンギセル。

セミナー担当

2006. 6 リサーチプロジェクト 姫路のため池の水生植物を探

そう。

■ミニキャラバン事業

2006.5 フローラ88 ひとつはクイズ触って当てよう 水草の3択クイズ (分担者), フローラ88. (56名)

2006.10. 丹波の森フェスティバル ひとつはクイズ 丹波黒大豆の3択クイズ(分担者).

■学校教育支援

学校団体対応等

2006.4, 実体顕微鏡で植物を観察しよう. 朝鮮初中級学校. (39名)

2006.7, DNA抽出実験. 兵庫県立大附属高校. (19名)

2006.8, DNA抽出実験. 県立柏原高校. (28名)

2007.1, 熱帯雨林. 県立有馬高校 人と自然科. (37名)

2007.2, 博物館学実習. 神戸大学. (49名)

講師派遣等

2006.6, エコネットミュージアム勉強会. 国土交通省, 環境省他. 県民会館 (12名)

■研修生等の受入

2006.8-2007.1, Poebie Anwak 兵庫海外研修員(分担者)

卒論生等

2003.11-2006.11, Avelinah Julius (マレーシア国立サバ大学大学院修士課程) Systematic study on the genus *Plagiostachys* (Zingiberaceae) in Borneo

■フェスティバル等

2006.11, ひとつはフェスティバル, 「フィービーさんと遊ぼう ~ケニアの楽器づくり~」 責任者.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 7回 100名

■行政等支援

委員会等

2006.4.-2007.3. 環境省版レッドデータブック兵庫県調査. 環境省.

相談・指導助言

来訪者 15件, 22名, 電話31件, メール相談16件, 手紙2件

3. 特別プロジェクト

GBIF・科学系博物館ネットワーク推進・プロジェクト
事務局等

布施 静香, Shizuka FUSE

森林多様性研究グループ/企画調整室

研究員

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 博士(理学). 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門企画調整室企画調整グループ

事業推進マネージャー, 事業推進会議進行・事務局, 地域子ども教室 事業事務局・総括. 等

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理
2. ヒガンバナ科およびショウジョウバカマ属の分類学的研究
3. 単子葉植物の大規模分子系統
4. 兵庫県産植物の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来 氷ノ山・扇ノ山地域における自然利用のあり方」, 研究分担者.
部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究-ハチ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究分担者.

■その他著作

◎小山博滋・黒崎史平・布施静香(2007) キク科ヌマダイコン属,

ブタクサ属, オケラ属, ヒレアザミ属, ヒヨドリバナ属, キツネアザミ属, トウヒレン属, タムラソウ属, ヤマボクチ属, オナモミ属. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編):兵庫県産維管束植物8). 人と自然, No. 17: 144-145, 152-154, 164-166, 169, 179, 181, 185, 187.

◎黒崎史平・布施静香(2007) キク科オオアザミ属. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃(編):兵庫県産維管束植物8). 人と自然, No. 17, 182.

◎福岡忠彦・高橋晃・布施静香(2007) 兵庫県三田市の街路樹. 人と自然, 17, 35-41.

◎福岡忠彦・高橋晃・布施静香(2007) 三田の街路樹. 共生のひろば-人と自然からのメッセージ, 2, 21-24.

布施静香(2006) 今年のフィールドワークから(分担執筆). ハーモニー, 53, 6.

小館誓治・布施静香(2007) ひとつはブック 深田公園での植物観察. ひとつは子ども教室事業推進委員会, 20p.

小館誓治・布施静香(2007) 小さな子どもの生き物教室 子どもの遊び場学びの場-植物編-. ひとつは子ども教室事業推進委員会, 20p.

■研究発表

布施静香(2006) タケシマラン属(ユリ科)の分子系統と分類. 種子植物談話会, 大阪.

布施静香(2006) さく葉標本からDNAを取り出すための留意点, 第5回自然史系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 主催:国立科学博物館・NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 伊丹市立産業・情報センター, 兵庫.

◎福岡忠彦・高橋晃・布施静香(2007) 三田の街路樹. 共生のひろば, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫.

田村実・Conny B. Asmussen・山下純・布施静香・Mark W. Chase(2007) 単子葉植物の *matK* 遺伝子による大規模分子系統樹. 日本植物分類学会第6回大会, 新潟大学, 新潟.

◎高野温子・布施静香・橋本佳延・坂田宏志・三橋弘宗(2007) 六甲山のブナはどこから来たか? 兵庫県産ブナ(*Fagus crenata*)の遺伝型解析. 日本植物分類学会第6回大会, 新潟大学, 新潟.

■学会役員など

日本植物分類学会, 講演会担当委員.

種子植物談話会, 事務局・世話人.

■助成を受けた研究

単子葉植物の大規模分子系統樹の構築と形態・分子データの調和による新分類体系の設立. 文部科学省科学研究費基盤研究C. 研究分担者. (分担金なし/総額160万円)

日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理. 独立行政法人日本学術振興会二国間交流事業(韓国との共同研究). 研究分担者. (分担金なし/総額100万円)

■海外調査

2006.6 韓国

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.5-2007.3 種子植物. 赤穂市, 香美町, 篠山市, 新温泉町, 宝塚市, 豊岡市, 姫路市, 三木市, 養父市, 京都府, 鳥取県, 長野県, 新潟県, 和歌山県, 韓国.

■受贈担当資料

2007.1 田中光彦コレクション2006年, 25点

■整理同定担当資料

種子植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

高橋晃・高野温子・布施静香, 2006.5, 植物リサーチクラブ①植物用語の基礎知識-花編, 博物館. (23名)

高橋晃・高野温子・布施静香, 2006.5, 植物リサーチクラブ②但馬海岸の植物, 但馬海岸. (全2回, 10名)

平松紳一・谷川直也・中瀬勲・布施静香・嶽山洋志, 2006.7, 第8回ボルネオジャングルスクール. マレーシア. (18名)

高野温子・高橋晃・布施静香, 2006.10, 植物リサーチクラブ④秋の雪彦山. 雪彦山. (27名)

布施静香・高橋晃・高野温子, 2006.10, 植物リサーチクラブ⑤

植物用語の基礎知識—果実編. 博物館. (23名)
 布施静香・長谷川太一, 2006.11, ミュージアムハイスクール:
 博物館まるごと1日体験オープンミュージアム—植物の戦
 略・CD ケースを使ったひつつきむし標本の制作. 博物館. (6
 名)
 布施静香・高橋晃・高野温子, 2007.1, 植物リサーチクラブ⑥標
 本の調べ方. 博物館. (28名)
 高橋晃・高野温子・布施静香・橋本佳延・加藤茂弘, 2007.2, 私
 たちの新発見—ひとはく研究員海外調査報告会. 博物館. (40
 名)
 布施静香・高橋晃・高野温子・中西明徳・橋本佳明, 2007.2, 生
 物系収蔵庫ツアー. 博物館. (40名)

非常勤講師

2006.5-2006.10 生物学実験 I. 大阪府立大学.
 2006.9 野外実習. 大阪市立大学.

■キャラバン事業

主担当

2006.8 但馬地域 テーマ「川に棲むもの・山に棲むもの」

展示作成

2006.7-8 丹波地域 丹波の植物セッコク解説パネル.
 2006.8 但馬地域 オオサンショウウオ解説パネル, タマムシ解
 説パネル.

リサーチプロジェクト

2006.8 但馬地域 ウスバツバメ, ピラカンサ, 松枯れ (運営)

セミナー担当

2006.8 展示解説ツアー (講師・企画運営)

■地域研究員養成事業

成果発表

2007.2 共生の広場 「万葉の植物—とっておきの植物画 II」,
 小豆むつ子 (指導)
 2007.2 共生の広場 「三田の街路樹」, 福岡忠彦ら (指導, 共
 著)

■学校教育支援

学校団体対応

2006.4, 収蔵庫説明 (兵庫・地方及び広域計画論の一環). 景観
 園芸学校. (21名)
 2006.4, CD ケースを使った種子標本の制作. 大阪府立泉北高校 (19
 名).
 2006.5, アヤメの話. 開明中学校1年生. (218名)
 2006.5, CD ケースを使った種子標本の制作. 住吉高校. (20名)
 2006.7, DNA 抽出実験. 姫工大附属高校. (20名)
 2006.8, DNA 抽出実験. 県立柏原高校. (28名)
 2006.8, 子どもとふれあう身近な植物. 県内教職員. (34名)
 2006.9, 博物館の業務. 青山短期大学. (16名)
 2006.12, DNA 抽出実験. 京都府立福知山高校. (20名)

講師派遣

2006.11, DNA 抽出実験. 講師, クラーク記念国際高等学校 (芦屋
 キャンパス). (90名)

■研修生等の受入

2006.9 独立行政法人国際協力機構中部国際センター「平成 18 年
 GIS(地理情報システム)による天然資源・農業生産物の管理研修
 (JICA GIS 研修コースの研修員). (9名)
 2006.12, 博物館実習 II 館内業務の説明 (収蔵庫), 神戸学院大学
 実習生. (9名)

■フェスティバル等

2006.11 ひとつはくフェスティバル, ミュージアムワールド (責任
 者).
 2006.11 ひとつはくフェスティバル, 実行委員会委員.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 11回, 74名.

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2005.4- , 環境省版レッドデータブック兵庫県調査員. 環境省.

相談・指導助言

来訪者5件, 6名. 電話・FAX相談14件, メール相談4件.

○自然・環境マネジメント研究部

江崎 保男, Yasuo EZAKI

流域生態研究グループ/研究開発部門
 研究部長/研究系次長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究
 部門 教授

昭和26年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博
 士課程修了. 理学博士, 日本鳥学会, 応用生態工
 学会, 日本生態学会, イギリス鳥学会, アメリカ鳥学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

2. 研究開発部門

研究次長, 館内研究者の指揮・総括,

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 砂州河川の生物群集構造の研究
2. 鳥類の生息場所保全に関する研究

■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」, 研究代表者.

■論文・著書

◎中島 拓・江崎保男・中上喜史・大迫義人 (2006) 水田と河川,
 コウノトリ野生復帰地での餌場の相対的価値—豊岡盆地に生息
 するサギ類を指標として—. 保全生態学研究 11, 35-42.
 Ezaki, Y. & Mizota, H. (2006) Wintering of a Peregrine Falcon
 on an electricity pylon and its food in a suburban area of
 western Japan. Ornithological Science 5, 211-216.
 ◎江崎保男 (2006) (編) 武庫川散歩 (人と自然特別号). 兵庫県立
 人と自然の博物館, 三田, 111pp.
 ◎江崎保男 (2006) (監修) 兵庫県における鳥類の分布と変遷 (自
 然環境モノグラフ2号). 兵庫県立人と自然の博物館, 三田, 187pp.

■その他著作

◎江崎保男 (2006) 鳥の目でみる武庫川. 武庫川散歩 (江崎保男編),
 71-82.
 ◎江崎保男 (2006) どう考える! 2つの野生化 コウノトリと外来
 生物. Hit Spring183:1-2
 ◎江崎保男 (2006) 所長就任のご挨拶. Hit Spring 185, 1-2.
 江崎保男 (2006) 鳥類調査へのスポットセンサス法の導入. リバー
 フロント 56, 10-12.
 ◎江崎保男 (2006) 小林コレクション鳥類目録の完成. ハーモニー
 54, 7.
 江崎保男 (2007) 日本の四季と里の鳥. 紫明 20, 13-17.

■研究発表

中島拓, 江崎保男, 中上善史, 大迫義人 (2006) サギ類から知る,
 餌場としての水田地帯と河川域の利用価値—コウノトリの野生
 復帰に先立って—. 第16回景観生態学会徳島大会, 徳島大学,
 徳島市.
 江崎保男「土工学と生態学の壁はとりのぞかれたか?」パネルデ
 ィスカッション座長, 応用生態工学会, 東京大学, 東京都.
 渡部聡之・松原始・江崎保男 (2006) 木津川におけるホオジロの生息
 環境と行動. 河川生態学術研究会全国大会, サイエンスホール,
 東京都.

■学会役員など

日本鳥学会, 副会長
 日本鳥学会, 評議員
 日本鳥学会, 基金運営委員長
 応用生態工学会幹事長
 日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人
 応用生態工学会10周年記念東京大会実行委員長

■助成を受けた研究

砂州河川の生物群集の研究 研究代表者 (財) リバーフロント整
 備センター (199万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4-2007.3 鳥類死体の収集. 県内各地
 2006.4-2007.3 ハヤブサの餌の残骸収集. 神戸市北区

■整理同定担当資料

鳥類

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

江崎保男, 2006. 6, 「鳥の生態学いろいろ」, 神戸学習プラザ。(全4回, 121名)

江崎保男, 2006. 8 教職員セミナー「生態系のしくみ」, 博物館。(24名)

江崎保男, 2006. 11 特注セミナー(神戸シルバーカレッジ学生)「原生林の鳥類群集」, 博物館。(12名)

江崎保男, 2007. 3 オープンセミナー「深田公園うきうき探検隊とり・ウォッチング」, 博物館。(8名)

館外講演など

江崎保男, 2006. 6 「生態系ってなに?一人の生命を支える生態系」, 藤原台専門家・ブチ専門家との交流会, 講師。(30名)

江崎保男, 2006. 8 「生態系のしくみー物質循環をささえる食物連鎖」, プロジェクトワイルド一般指導者講習会(有馬富士公園), 講師。(5名)

江崎保男, 2006. 10 「湿地と鳥と」尼崎市高齢者生きがい促進協会シニアウオーキング入門教室, 講師。(50名)

江崎保男, 2006. 10 「森と鳥と」甲山自然環境センター森林サポーター講座, 講師。(40名)

江崎保男, 2006. 10 「川と鳥と」尼崎市高齢者生きがい促進協会シニアウオーキング入門教室, 講師。(50名)

非常勤講師など

2006. 10-2007. 3. 「生物学野外実習」, 神戸大学。

2006. 10-2007. 3. 「生態学」, 淡路景観園芸学校。

2006. 4- 京大大学生態学研究センター協力研究員

ラジオ・TV出演等

江崎保男, 2006. 8 「コウノトリの野生復帰」ひとはく博士のプチセミナー, ハニーFM。

江崎保男, 2006. 8 「身近な鳥の外来種」ひとはく博士のプチセミナー, ハニーFM。

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2, 共生のひろば「ハヤブサの落とし物(part2)」, 溝田浩美(指導)

2007. 2, 共生のひろば「兵庫県における鳥類の分布と変遷」, 脇坂英弥(指導)

■研修生等の受入

卒論生等

2006. 4-2007. 3 若園美沙子(兵庫県立大学理学研究科修士号獲得, 「木津川砂州におけるチドリ類の採餌生態と水際動物群集の関係」。

■展示

常設展

2006. 5-6. 「コウノトリとその歴史」作成主担当

企画展

2006. 7. 10-9. 25 「兵庫の外来生物」分担者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 15回, 25名。

■行政等支援

委員会等 (計16件)

2006. 12- コウノトリ保護・増殖(野生化)対策会議, 委員, 兵庫県

2004. 4- 水源地生態研究会議, 委員, ダム水源地環境整備センター

2004. 4- 河川水辺の国勢調査(河川版)スクリーニング委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2004. 4- 河川水辺の国勢調査(ダム湖版)スクリーニング委員会, 委員, ダム水源地環境整備センター

2004. 4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開発機構

2004. 4- 川上ダム希少猛禽類保全委員会, 委員長, 水資源開発機構

2004. 4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委員, 大阪府

2004. 10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府

2005. 8- 大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)環境専門委員会, 委員, 文部科学省

2005. 11- 水位低下(いわゆる干し上げ)に関する鳥類の調査検討小委員会, 委員長, 国土交通省

2006. 2- 生態系保全検討委員会, 委員, 兵庫県環境局

2006. 2- 利根川上流生態系保全河道検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2006. 2- 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター

2006. 11- 利根川水系河川整備計画有識者会議, 委員, 国土交通省関東地方整備局

2006. 4- 近畿圏の自然環境の総点検等に関する研究会, 委員, 国土交通省

2007. 1- 近畿ブロックにおけるエコロジカル・ネットワーク懇談会, 委員, 国土交通省

相談・指導助言

来訪者170件, 350名。電話・FAX相談55件, メール相談25件。

2006. 6- 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」

2006. 4- 紀ノ川大堰「鳥類モニタリング」アドバイザー

2006. 4- 財団法人姫路工業大学後援財団評議員

2006. 4. 14 片岡宜彦 ガビチョウ・ソウシチョウ類の比較

2006. 4. 21 太田貴大 アオゲラの地域変異

2006. 6. 27 浦野栄一郎 ヒメイソヒヨの計測

2006. 8. 30 大西紘子 スケッチのための閲覧(フクロウ)

2006. 8. 30 浦 達也 ジシギ類の雌雄差の検出

2006. 8. 31 浦 達也 ジシギ類の雌雄差の検出

2006. 10. 22 岩橋 徹 バードカービングのための閲覧・計測(オオコノハズク)

2006. 10. 29 岩橋 徹 同上(タシギ)

2007. 1. 10 溝田浩美 ハヤブサの餌鳥類の同定

2007. 1. 16 溝田浩美 同上

3. 特別プロジェクト

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト

代表

ワイルドライフ・マネジメント・プロジェクト

代表

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

流域生態研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究

部門 助教授。

昭和23年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博

士課程中退。理学博士。日本生態学会, 日本魚類

学会, 魚類自然史研究会, 兵庫陸水生物研究会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室生涯学習支援グループ
セミナーマネージャー

2. 研究開発部門

資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究
2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究
3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究
4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

■共同研究

1. 部門研究「共生の過去・現在・未来」, 研究分担者。

■その他著作

◎田中哲夫・信本励(2006)「武庫川上流の自然一治水と河川環境は両立するか」。江崎保男(編), 「武庫川散歩」, 81-90, 人と自然の博物館。

田中哲夫・佐藤裕司・永吉照人・今西将行・川村博史・谷本卓弥・花崎進 (2006) 「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究Ⅴ」, レフュジアビオトープ研究会, 三田, 25pp.
田中哲夫 (2006) 共生のひろば。ハーモニー, 53, 1-2.

■研究発表

田中哲夫 (2006) 県立人と自然の博物館の地域研究員 (ひとはく地域研究員) と環境学習, こども環境学会, 関西大会, 西宮.
田中哲夫 萩原秀人・川口勝己・大塚ゆかり・佐藤裕司・永吉照人 (2006) 希少淡水生物のレフュジアビオトープ (一時避難場所) —キリンビール神戸工場の環境への取り組み—, 造園学会, 大阪.

■学会役員など

2006. 4. 生態学会「保全生態学研究」編集委員.
2006. 6. 生態学会「保全生態学研究」レフェリー
2007. 1. 野生生物保護学会「野生生物保護」レフェリー
2007. 2. 野生生物保護学会「野生生物保護」レフェリー

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 淡水魚, 三田市.
2006. 10 水生動物, 武庫川.
2007. 2-3 淡水魚, 但馬.

■受贈担当資料

2006. 10. 淡水魚類 (土井氏コレクション), 10 点.
2006. 12. 水生動物 (丹羽氏コレクション), 100 点.

■整理同定担当資料

淡水魚, 水生動物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田中哲夫, 2006. 4-5, 「ため池を探る」, 博物館・三田市香下ため池群 (全4回, 35名)
田中哲夫, 2006. 5, 「川からみえる兵庫の自然」, 大学連携ひょうご講座「ひょうごの自然・環境 10 話」, 兵庫県立学習プラザ, 神戸市. (38名)
田中哲夫, 2006. 8, 「ビオトープ池を考える」, 教職員セミナー, 人と自然の博物館, 三田市. (37名)
田中哲夫, 2006. 9, 「オオクチバスとため池の動物」, 企画展シンポジウム「どうする兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市 (120名).
田中哲夫, 2006. 9, 企画展ギャラリートーク「兵庫の外来生物」, 人と自然の博物館, 三田市 (25名).
田中哲夫, 2006. 10, 高校連携セミナー「レッツチャレンジ自然環境調査入門」 「ビオトープ池を調べる」, キリンビール神戸工場, 神戸市. (全2回, 42名)

館外講演

田中哲夫, 2006. 5, 「博物館における教育普及活動の方法」, 博物館職員講習会, 文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター, 東京. (21名)
田中哲夫, 2006. 7, 「河川の生態系の機能と仕組み」, NPO シニア自然大学マイスターコース講座, 大阪府環境情報センター, 大阪市. (40名)
田中哲夫, 2006. 7, 「武庫川上流の魚」, 草野子ども会・夏の夕べ, 草野公民館, 三田市. (26名)
田中哲夫, 2006. 8, 「丹波の川魚」, こども冒険ひろば・NPO 法人いぬいふくし村, いぬい塾, 篠山市. (23名)
田中哲夫, 2006. 10, 「農村ビオトープを考える」, 農業農村整備技術強化対策事業, 水土里ネット兵庫, 神戸市. (40名)
田中哲夫, 2006. 11, 「キリンビオトープ池の目標」, 農業農村整備技術強化対策事業, キリンビール神戸工場, 神戸市. (35名)
田中哲夫, 2006. 11, 「河川環境を皆で考えよう」, 芦屋市民のためのロハス入門, 芦屋市民センター, 芦屋市. (34名)
田中哲夫, 2006. 11, 「兵庫の川魚」, ホタルの住める環境, 藤田孝夫「兵庫の環境学習会」, 養父市民センター, 養父市. (100名)
田中哲夫, 2006. 12, 「キリンビオトープ池の試み」, 兵庫環境学校事業, キリンビール神戸工場, 神戸市北区. (20名)
田中哲夫, 2006. 12, 「河川環境と生物」, 篠山市小学校校長研修会, 篠山市. (17名)

田中哲夫, 2006. 12, 「ひとはく地域研究員と生涯学習」, 兵庫県生涯学習支援ネットワーク交流会議, 神戸クリスタルタワー, 神戸市. (45名)

田中哲夫, 2007. 3. 「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープの意義と今後」, 基調講演・パネラー, 希少生物の保全に向けた環境学習の役割を考えるシンポジウム, 兵庫県, 神戸市. (51名)

非常勤講師

2006. 6. 「流れと生物」, 神戸芸術工科大学, 講師. (70名)
2006. 10-11. 「生物学野外実習」, 神戸大学. (30名)
2007. 2. 「進化と生態系」「水辺環境の再生」, 関西学院大学. (50名)

■キャラバン事業

主担当

2006. 10. 阪神北地区「猪名川の今を知る」, 猪名川町生涯学習センター, 猪名川町.
2007. 2. ~3. 阪神南地区「芦屋の自然と外来生物」, 芦屋市市民センター・公民館, 芦屋市.

展示作成

2006. 8 西播磨地区 外来水生生物
2006. 10 阪神北地区 猪名川の水生动物 外来哺乳類
2007. 3 阪神南地区 外来生物
2007. 3 東播磨地区 外来水生生物

セミナー担当

田中哲夫 2006. 7, 「ため池の生物多様性」, 中播磨キャラバン講座, 姫路市立伊勢自然の里・環境学習センター, 姫路市. (10名)
田中哲夫 2007. 2, 「芦屋の自然と外来生物」, 芦屋キャラバン講座 (芦屋まちかど学講座との合同開催), 芦屋市立公民館, 芦屋市. (37名)

■ミニキャラバン事業

2006. 8, 「ミニキャラバン兵庫の外来生物」 (主担当), 新阪急ホテル納涼夏祭り, 新阪急ホテル, 三田市.

■地域研究員養成事業

セミナー

田中哲夫, 2006. 6, 「治水と自然環境」, リバグレス猪名川・ひとはく地域研究員ステップアップセミナー, 猪名川町生涯学習センター, 猪名川町. (37名)
田中哲夫, 2006. 6, 「猪名川の水生物」, リバグレス猪名川・ひとはく地域研究員ステップアップセミナー, 猪名川町生涯学習センター, 猪名川町. (35名)

成果発表

2007. 2, 共生の広場「生駒市高山のため池群の生物相について」, 琢磨千恵子 (指導)
2007. 2, 共生の広場「ホームページ水生昆虫写真図鑑」, 森本静子 (指導)

■研修生等の受入

博物館実習

2006. 8. 22-25, 「生態調査と生態資料の管理」, 博物館実習, 滋賀県立大学 (1名), 南九州大学 (1名) 人と自然の博物館, 三田市.

■展示

企画展

2006. 7. 8-2006. 9. 24, 企画展「兵庫の外来生物」 (副担当).
2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」 (分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究」, キリンビール神戸工場, 研究代表者 (70万円).
「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」. 猪名川町. 研究分担者 (30万円)
「ひょうごの川自然環境調査における成果とりまとめ」, 兵庫県県土整備部河川計画局河川計画課分任事業, 研究分担者 (2000万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸・生物系収蔵庫等の案内, 5回, 20名.

■行政等支援

委員会等 (計8件)

2006. 4.-2007. 3. 大滝ダム運用環境調査委員会, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局 紀ノ川ダム統合管理事務所.

2006. 4.-2007. 3 「ひょうごの川・自然環境調査」とりまとめ、アドバイザー、兵庫県県土整備部、河川計画課。
2006. 4.-2007. 3. 尼崎市環境審議会、委員、尼崎市環境政策課。
2006. 4.-2007. 3. 長谷ダム水辺の生物調査アドバイザー、兵庫県県土整備部、上郡土木事務所。
2006. 4.-2007. 3. 環境影響評価審査会、委員、兵庫県健康生活部環境局。
2007. 1.-2007. 3. 市川河川環境保全対策検討委員会、委員、兵庫県但馬県民局県土整備部、八鹿土木事務所。
2007. 1.-2007. 3. 円山川水系自然再生推進委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所・兵庫県但馬県民局県土整備部豊岡工事事務所。
2007. 1.-2007. 3. 猪名川自然環境委員会、委員、国土交通省近畿地方整備局 猪名川工事事務所。

相談・指導助言

来訪者 30 件、100 名。電話・FAX 相談 150 件、メール相談 20 件。

三橋 弘宗, Hironune Mitsuhashi

流域生態研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和 45 年京都府生。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。理学修士。日本生態学会、日本陸水学会、アメリカベントス学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進シンクタンク活動支援グループ室
グループリーダー（中期目標に係る指標の全体統括）、セミナー倶楽部およびメルマガ配信体制の再検討、地域研究員および連携活動グループ制度の構築、出版物一覧の作成、ハーモニーおよび季刊セミナーガイドの発刊体制の再整備、来館者に対する発券体制の整理、タイプ標本に関する情報発信
2. 研究開発部門
研究担当、資料担当（収蔵品データベースの整備、レッドデータブックに関する指標とりまとめ）
情報システムアドバイザー（館内ネットワーク整備、館内 BBS 管理、セミナー申し込みシステム整備、ひとはく資料データベース整備、展示システム整備、情報システム定例会に計 12 回参加など）

<研究開発>

1. 調査研究
 - 特別課題研究（個人研究）
 1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
 2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
 - 共同研究
総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来 氷ノ山・扇ノ山地域における自然利用のあり方調査」、研究分担者。
部門研究「共生の現実と未来」、研究分担者。
 - 論文・著書
Katano, I., H. Mitsuhashi, Y. Isobe, H. Sato and T. Oishi (2007) Group size of feeding stream case-bearing caddisfly grazers and resource abundance. *Basic and Applied Ecology*, No. 8, 269-279
 - その他著作
東山真也・瀧健太郎・杉野伸義・横山正・三橋弘宗・上郡中学校科学部員 (2007) 上郡中学校科学部員による安室川の淡水産紅藻チスジノリ (*Thorea okadae*) を復活させる試み。人と自然, No. 17, 73-78.
三橋弘宗・鈴木まほろ (2006) 学会でも博物館学 ～どう伝える？生態学の面白さ～。月刊ミュゼ June, 20-21.
三橋弘宗 (2006) 都市公園法：失われやすい自然を保全してきた大切な仕組みを発展させるために。公園緑地, 67 (4), 107.
「日本のカエルの鳴き声図鑑 ～カエルの鳴き声聞いてみよう～」、兵庫県立人と自然の博物館（ホームページ製作主担当）。
<http://hitohaku.jp/education/frog/top.html>
「身近な川の水生昆虫を調べてみよう」、兵庫県立人と自然の博物館（ホームページ製作主担当）。
<http://info.hitohaku.jp/kawamushi/top.html>

■研究発表

- Yo Miyake, Hironune Mitsuhashi & Tsuyoshi Akiyama (2006) Effects of catchment characteristics on habitat environment and community structure of stream invertebrates. International Conference on Ecological Restoration in East Asia, Osaka, Japan.
- Keigo YAMASHITA, Yosuke KATO, Hironune MITSUHASHI and Mahito KAMADA (2006) Risk assessment of landslid occurrence in the region of monotonous cedar plantation for setting priority of nature restoration. International Conference on Ecological Restoration in East Asia, Osaka, Japan.
- Estuko HARADA1, Hiroyuki FUKAWA, Makoto OGAWA, Kazuo YOSHIDA, Hironune MITSUHASHI and Mahito KAMADA (2006) Classifying wetland habitat by predicted occurrence pattern of hygrophyte - damselfly functional group. International Conference on Ecological Restoration in East Asia, Osaka, Japan.
- 恩地利実・三橋弘宗・下野優子・中江環 (2006) 各都道府県のレッドデータブックからみた全国的に重要な生物種および生息環境の選定, ポスター発表, 第 10 回応用生態工学会, 東京大学
- 笹田直樹・武内孝徳・道奥康治・田中哲夫・横山正・君塚芳輝・三橋弘宗・浜野直樹・八尾昌彦 (2006) 効果的な魚道整備位置の選定手法, ポスター発表, 第 10 回応用生態工学会, 東京大学
- 大澤剛士・丹羽英之・三橋弘宗 (2007) 河川の合流点が創出する生息場の多様性, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
- 田口勇輝・三橋弘宗・夏原由博 (2007) 兵庫県におけるオオサンショウウオの分布と生息適地の推定, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
- 赤坂宗光・角野康郎・三橋弘宗・青木典司・高村典子 (2007) ため池の生物多様性保全に必要な空間スケールについて, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
- 三橋弘宗・鈴木まほろ・石田惣 (2006) 自由集会「博物館の生態学 3 ～標本のチカラ～」, コーディネーター, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市

■学会役員など

2006. 4- 日本陸水学会, 査読
2006. 4- 日本生態学会, 査読

■助成を受けた研究

「水田生物多様性温存地域ホットスポットの広域的探索と農村環境再生ストラテジー-水田生態系の保全再生に必要な農村環境要因は何か?」。研究代表者: 日鷹一雅 (愛媛大学農学部)。文部科学省科学研究費基盤研究 (B), 研究分担者 (80 万円/総額 580 万円)。

■海外調査

2007. 1 イギリス 英国の自然史系博物館における展示および運営に関する現状調査

■受賞

生態学会ポスター賞優秀賞; 大澤剛士・丹羽英之・三橋弘宗 (2007) 河川の合流点が創出する生息場の多様性, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市
生態学会ポスター賞優秀賞; 赤坂宗光・角野康郎・三橋弘宗・青木典司・高村典子 (2007) ため池の生物多様性保全に必要な空間スケールについて, ポスター発表, 第 54 回日本生態学会愛媛大会, 松山市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 河川底生動物。豊岡市, 猪名川町, 上郡町, 青垣町, 芦屋市など。

■受贈担当資料

魚類、底生動物および陸生昆虫, 「河川環境調査採集標本 (兵庫県県土整備部河川計画課)」, 一式 (約 1000 点)

■整理同担当資料

昆虫 (水生昆虫, 甲殻類, 両生類, 魚類, 扁形動物, 環形動物)。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

三橋弘宗, 2006. 5, 「水辺の生き物探検」, 武庫川草野地区。(10

- 名)
三橋弘宗, 2006. 6, 「川の水生昆虫観察会(芦屋川編)」, 芦屋市. (22名)
三橋弘宗, 2006. 7, 「里山の小川と湿地の観察会(有馬富士公園編)」, 三田市有馬富士公園. (21名)
三橋弘宗, 2006. 8, 教職員セミナー「水生昆虫の調べ方(野外編)」, 神戸市道場地区. (50名)
三橋弘宗, 2006. 8, 教職員セミナー「水生昆虫の調べ方(野外編)」, 人と自然の博物館. (50名)
三橋弘宗, 2006. 11, サイエンスショー・ワークショップ「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市. (200名)
三橋弘宗, 2006. 12, サイエンスショー・ワークショップ「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市. (150名)
三橋弘宗, 2006. 2, サイエンスショー・ワークショップ「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市. (250名)
三橋弘宗, 2007. 3, フォーラム「身近な川を知り、よみがえらせる方法」, コーディネーター, 兵庫県三田土木事務所. (94名)

館外講演など

- 三橋弘宗, 2006. 5, バイカモ再生懇談会(丹波市), 講師, 青垣いきものふれあいの里, 丹波市. (30名)
三橋弘宗, 2006. 5, 自然環境 GIS サミット「地図で調べる兵庫の自然」, 講師, 国土交通省, 東京都. (150名)
三橋弘宗, 2006. 7, 知ろう、活かそう三田の川「武庫川の生物観察会」, 講師, 県三田土木事務所, 三田市. (40名)
三橋弘宗, 2006. 7, 河川生態系を再生するためのランドスケープアプローチと博物館の役割, 講師, 河川環境管理財団, 東京都. (50名)
三橋弘宗, 2006. 7, 武庫川流域協議会「戦略的環境アセスメントについて」, 講師, 兵庫県阪神北県民局, 宝塚市. (100名)
三橋弘宗, 2007. 2, 河川講習会(県土整備部技術職員研修)「ひょうごの川・自然環境調査からみた生態系評価について」, 講師, 兵庫県県土整備部, 神戸市. (50名:2日間)
三橋弘宗, 2007. 3, シンポジウム「発見! 発見! 円山川下流域」, コーディネーター, 環境省・豊岡市, 豊岡市. (150名)

非常勤講師など

2006. 4-2007. 3 独立行政法人国立環境研究所(つくば市), 客員研究員.

■キャラバン事業

副担当

2006. 10. 阪神北地区, テーマ「猪名川の今を知る」, 猪名川町生涯学習センター.
2007. 2-3. 阪神南地区, 「芦屋川の自然と外来生物たち」, 芦屋市市民センター.

展示作成

2006. 7 中播磨地区 河川生態系および水生生物に関する展示物作成.
2006. 8 但馬地区 オオサンショウウオおよび水生生物に関する展示物作成.
2006. 10 阪神北地区, 水生生物に関する標本および展示物作成.
2006. 2-3 阪神南地区, 水生生物に関する標本および展示物作成.

セミナー担当

2006. 10-11 阪神北地区, 川虫を観察し封入標本をつくろう(実習), 猪名川町ふるさと館, 猪名川町(2回). (講師)
2007. 3 阪神南地区, 芦屋川の自然環境: 森・川・海のつながり, 芦屋市市民センター, 芦屋市(2回). (講師)

■ミニキャラバン事業

2006. 6 橿原市昆虫館虫祭り, (主担当), 橿原市昆虫館, 橿原市.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2 共生のひろば, 「芦屋川を舞台にした環境学習(芦屋川探検隊!)」, NPO法人さんびいす(協働)
2007. 2 共生のひろば, 「兵庫県における鳥類の分布と変遷」, 日本野鳥の会兵庫県支部(指導・協働)
2007. 2 共生のひろば 運営統括

■学校教育支援

学校団体対応等

2006. 8 課外学習指導「封入標本をつくろう」, 講師, 朝来市立朝

来中学校. (30名)

2006. 8 教員向け学習会「水生昆虫と川の環境」, 講師. (20名)
2006. 9 総合学習「封入標本づくり」, 講師, 篠山市立大芋小学校. (20名)
2006. 9 GIS(地理情報システム)による天然資源・農業生産物に管理に関する技術講習会, 講師, 財団法人日本国際協力センター中部支社(名古屋大学農学国際教育協力研究センター). (10名)
2006. 10 総合学習「カエルの話」, 講師, 篠山市立今田小学校. (20名)
2006. 10 総合学習「川のごれと環境」, 姫路市立峰相小学校. (80名)
2007. 2 総合学習「川の環境について&封入標本の作製」, 講師, 東条町立東条東小学校. (30名)

講師派遣等

2006. 6-12 総合学習「博物館学」, 講師, 県立御影高校, 神戸市. (全3回, 64名)
2006. 7 総合学習「大芋川の水生物観察」, 講師, 篠山市立大芋小学校, 篠山市. (20名)
2006. 7 総合学習「バイカモ移植・観察会」, 講師, 絹山地区, 丹波市立北小学校, 丹波市. (90名)
2006. 7 河原探検, 講師, 青垣いきものふれあいの里, 丹波市. (80名)
2006. 8 加東市学校教員向け学習会「水生昆虫と川の環境」, 東条東小学校, 講師. (20名)
2006. 12 水環境の大切さ, 講師, 兵庫県いなみ野学園, 兵庫県高年齢生きがい創造協会, 稲美町. (80名)
2006. 12 水辺環境について, 講師, 加古川市生涯学習大学, 加古川市民センター, 加古川市. (40名)
2007. 2 河川講習会(県土整備部技術職員研修)「GIS実習」, まちづくり技術センター, 神戸市. (全2回, 計50名)

■研修生等の受入

卒論生等

2006. 4-2007. 3 田口勇輝(大阪府立大学大学院博士課程1年), オオサンショウウオの生息地評価.
2006. 4-2007. 3 出口詩乃(神戸大学発達科学部4年生, 希少草本の生息場所解析).

■フェスティバル等

2006. 10 ひとくフェスティバル実行委員会

■展示

常設展

2006. 10. 「コウノトリとその歴史」(分担者: 構成・グラフィックス・標本)

企画展

2006. 2. 17-6. 10, 企画展「共生の風景」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「立体地図を用いた西播磨地域の景観写真検索システムの開発に関する研究」. 西播磨県民局上郡土地改良事務所, 研究代表者(220万円)
「「知ろう、活かそう、三田の川」プロジェクト推進における情報発信ツールの開発および市民向け講座の実施に関する委託業務」, 阪神北県民局三田土木事務所, 研究代表者(92万円)
「ひょうごの川自然環境調査における成果とりまとめ」, 兵庫県県土整備部河川計画局河川計画課分任事業, 研究代表者(2000万円)

■自然環境情報調査

- 兵庫県におけるオオサンショウウオおよび小型サンショウウオの分布調査. (兵庫自然保護協会)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 液浸蔵庫等の案内, 8回, 24名.

■行政等支援

委員会等(計38件)

2006. 4- 加古川(佐治川)「幸世水辺の楽校」検討委員会, 委員, 丹波県民局柏原土木事務所(計2回)
2006. 4- 安室川自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県西播磨県民局上郡土木事務所(計4回).
2006. 4- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 国土交通省・兵庫県但馬県民局豊岡土木事務所(計4回).
2006. 4- 岸田川水系河川整備計画懇談会, 委員, 兵庫県但馬県民

- 局浜坂土木事務所 (計1回)
2006. 4- 全国科学系博物館情報ネットワーク推進検討委員会, 委員, 国立科学博物館 (文部科学省生涯学習局) (計2回)
2006. 4- 生態系保全対策検討委員会 (特定外来種法に関する対策), 兵庫県健康生活部環境局 (計2回)
2006. 4- 中国支社管内自然環境対策検討委員会, 委員, 社団法人道路緑化保全協会 (計2回)
2006. 4- 豊岡市戸島湿地公園基本構想・計画策定委員会, 委員長, 豊岡市 (4回)
2006. 7- 武庫川上流ルネッサンス懇談会, 委員, 兵庫県三田土木事務所 (4回)
2006. 7- 有馬富士公園湿地活用検討委員会, 座長, 兵庫県三田土木事務所 (6回)
2006. 10- 「田んぼの生き物調査」手引書作成委員会, 委員, 兵庫県但馬県民局豊岡土地改良事務所 (計3回)
2005. 10- 自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 事務局 (運営主担当), NPO 法人西日本自然系博物館ネットワーク (計3回)
2007. 2- 明石川水系河川整備計画懇談会, 委員, 兵庫県神戸県民局神戸土木事務所 (計1回)

相談・指導助言

来訪者 97件, 148名. 電話・FAX 相談35件, メール相談95件.

■学会開催等支援

2007. 3. 18 「身近な川を知り、よみがえらせる方法」, 兵庫県三田土木事務所との共催, 兵庫県立人と自然の博物館, 大セミナー室, 主担当. (100名)
2007. 3. 22 第54回大会日本生態学会「博物館の生態学～標本のチカラ～」, コーディネーター, 愛媛大学, 松山市. (95名)
2006. 4- 人と自然, 査読

3. 特別プロジェクト

GBIF・科学系博物館情報ネットワーク推進・プロジェクト
研究会3回を運営

大谷 剛, Takeshi OHTANI

動物共生研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究
部門 教授

昭和22年福島県生. 北海道大学大学院理学研究科

博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本昆虫学会,

日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ
大学・各種学校教育支援担当, ミニセミナー等の実施

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. ミツバチ類の収穫ダンスに関する基礎的研究
2. 1個体追跡法に基づく動物の行動研究
3. 動物の歩行肢に関する考察

■共同研究

部門研究「共生の現実と未来」, 研究分担者.

■その他著作

- 大谷 剛・八木 剛 (2005) プチ図鑑・兵庫の身近な秋の鳴く虫. 兵庫県立人と自然の博物館, 20pp.
- 溝田浩美・大谷 剛 (2006) 残し餌から推測するアオバズの食卓. 「共生のひろばー人と自然からのメッセージ」, 1号, 56-60.
- 嶽山洋志・上南木昭春・大谷 剛 (2006) 学校ビオトープを中心としたミクロな緑地ネットワークの調査手法. 平成18年度日本造園学会分科会講演集, 92.
- 大谷 剛 (2006) 昆虫の生命力, 人間の生命力. 季刊ひょうご経済 91, 26-27.
- 大谷 剛 (2006) 雑学コーナー「昆虫」ニホンミツバチ *Apis cerana japonica*. 私たちの自然, No. 520, 16.

大谷 剛 (映像監修2006) アサヒ DVD ブック「栗林慧の昆虫ワンダーランド」, 朝日新聞社, 32pp.

大谷 剛 (2006) セイヨウミツバチを火のごとく攻撃するオオスズメバチ. ハーモニー, No. 55, 1-2.

■研究発表

- 大谷 剛 (2006) 雄バチは雌バチに擬態している. 日本昆虫学会近畿支部2006年度大会, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.
- 大谷 剛 (2007) ミツバチの水収集蜂の収穫ダンス. 日本生態学会近畿地区例会・総会, 神戸大学発達科学部, 神戸市.

■学会役員など

兵庫県生物学会, 編集委員.

■助成を受けた研究

ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか. 文部科学省科学研究費萌芽研究, 研究代表者 (110万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 ゲンジボタル幼虫上陸教観察. 神戸市北区道場町.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 大谷 剛, 2006. 5, 「家族で体験! はちみつしぼり (1)」, 博物館. (40名)
- 大谷 剛, 2006. 6~2006. 9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 博物館. (全3回, 69名)
- 大谷 剛, 2006. 6, 「家族で体験! はちみつしぼり (2)」, 博物館. (38名)
- 大谷 剛・中西明徳・沢田佳久・菊池由美子, 2006. 7~2006. 8, 「昆虫標本づくり実演コーナー2006」, 博物館. (全18回, 406名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「家族で完成! 昆虫標本 (全2回)」, 博物館. (全2回, 51名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「昆虫は標本づくりから」(教職員セミナー), 博物館. (25名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「ハチに関する誤解を解く」(教職員セミナー), 博物館. (25名)
- 大谷 剛, 2006. 8~2006. 10, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」, 有馬富士公園・博物館. (全4回, 42名)
- 大谷 剛, 2006. 10, 「親子で楽しむ鳴く虫講座」, 博物館. (16名)
- 大谷 剛, 2006. 11, 「ハチについての大誤解~正しい知識をあなたに~」, 博物館. (21名)
- 大谷 剛, 2006. 12-2007. 2, 「昆虫のトリビア①②③」, 博物館. (全3回, 106名)
- 大谷 剛, 2007. 3, 「ホタル幼虫の上陸観察」, 博物館・神戸市北区道場町. (26名)
- 大谷 剛, 2007. 3, 「昆虫の春夏秋冬」, 博物館. (12名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 夏休みコープ虹つ子「人と自然の博物館で」昆虫採集と標本の作り方を学びましょう!!」, コープこうべ生活文化センター, 博物館小セミナー室. (20名)
- 大谷 剛, 2006. 8, 「体験! はちみつしぼり」, 賀陽学習教室 (京都・新佐吉秋), 博物館ジーンファーム網室. (8名)
- 大谷 剛, 2006. 11, 「ハチ, カメムシ, ケムシに関する話」, 県立学校事務職員協会神戸支部管理研究班, 博物館実習室. (17名)
- 大谷 剛, 2006. 12, 「昆虫の知識トリビア」(リコー親子自然教室 in 兵庫ひとく), 博物館大セミナー室. (78名)

館外講演など

- 大谷 剛, 2006. 5, お父さんとお母さんの勉強会「小さい昆虫の秘められた力」, 講師, 頌栄保育園. (40名)
- 大谷 剛, 2006. 6, ひょうごの自然・環境10話「兵庫の春から秋へと鳴き継ぐ昆虫たち」, 兵庫県立大ひょうご講座. (30名)
- 大谷 剛, 2006. 6, スタッフ研修「昆虫標本の作り方」, 講師, NPO 法人「さんぽくらぶ」, 道場町農村環境改善センター. (14名)
- 大谷 剛, 2006. 7, たかつき子ども自然体験学校第1期第4回「昆虫標本づくり~親子参加プログラム~」, NPO 法人たかつき, 大阪府衛生会地域交流支援センター. (39名)
- 大谷 剛・足立 勲・勝又千寿代, 2006. 8, 「ワクワク昆虫採集

と楽しい昆虫のお話, 国領地区子ども会連絡協議会, 丹波市立進修小学校改善センター会議室. (69名)

大谷 剛・勝又千寿代・西浦睦子・鈴木久代, 2006.8. 親子であつまれ自然あそび塾「昆虫をさがして標本をつくろう」, NPO 法人社会還元センターグループわ, 神戸市しあわせの村. (85名)

大谷 剛, 2006.9, 「昆虫の世界—なぜ大きくなれない?」, NPO 法人はるなか, 福島県立博物館講堂. (115名)

八木 剛・大谷 剛, 2006.9, 「秋の夜、虫の声を聞き分けよう」, 兵庫県立ささやまの森公園研修室「森の道場」. (28名)

大谷 剛, 2006.9, 「一庫公園の鳴く虫」, ひとくらクラブ, 兵庫県立一庫公園ネイチャーセンター大会議室. (30名)

大谷 剛, 2006.11, ウォーキング講習会「道端の昆虫(1)ハチ類」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室. (47名)

大谷 剛, 2006.12, ウォーキング講習会「道端の昆虫(2)甲虫・チョウ・ハエ・カメムシ類」, 尼崎市高齢者生きがい促進協会, 尼崎市立老人福祉センター講義室. (43名)

大谷 剛, 2007.2, ゆめさがし隊「将来こんな仕事をやってみよう」, 神戸市立有野児童館2階集会室. (47名)

大谷 剛, 2007.3, 展示交流員養成講座「里山の昆虫(2)」, NPO 法人キッピーフレンズ, 兵庫県立人と自然の博物館大セミナー室. (23名)

非常勤講師

2006.5, 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.

2006.6, 昆虫野外観察, 神戸市シルバーカレッジ.

ラジオ・TV出演等

2006.12, 「ミツバチの冬籠り、他の虫の越冬」, ハニーFM.

2007.1, 「ハチが刺すということ、雄バチは刺さない」, ハニーFM.

■キャラバン事業

主担当

2006.4.29-30 阪神北地区(有馬富士公園) テーマ「あなたのハチ知識—8つの間違い」

セミナー担当

2006.4 阪神北地区(有馬富士公園), 春の昆虫観察会(講師)

2006.10 阪神北地域(猪名川生涯学習センター) 猪名川町白金で聞く鳴く虫たち(講師)

2006.10 秋の昆虫観察会(講師), 阪神北地区(有馬富士公園)

■ミニキャラバン事業

2006.10.21-10.22, 「ハチに似た虫たち—ハチ擬態の世界」(責任者), 有馬富士フェスティバル2006秋実行委員会, 有馬富士公園.

■地域研究員養成事業

セミナー

2006.7 さよう子どもアートスクール「昆虫採集と虫のお面づくり」, 佐用町生涯学習課(講師・指導). (32名)

2007.3 ホタルプロジェクト第1回公開講座「蛍の幼虫上陸の話」と大池川の観察, NPO 法人キッピーフレンズ(講師・指導). (12名)

成果発表

2006.2 共生の広場「アオバズク一家をとりまく虫たち」, 溝田浩美(指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.5.30-6.2, 富士中学校2名, 長坂中学校1名.

学校団体対応

2006.5, 自然学校のための展示解説、神戸市立道場小学校5年生. (27名)

2006.8, 講義「昆虫行動学」柏原高校ベーシックサイエンスコース1年. (28名)

2006.4-2007.3 ミニセミナー「トリビアの泉風昆虫の知識」小学校14校. (1482名)

講師派遣

2006.5, 自然学校での夜間採集・昆虫採集・標本づくり, 講師, 神戸市立道場小学校5年生. (27名)

2006.10, トリビアの泉風鳴く虫の知識, 講師, 神戸市立井吹西小学校3年生. (236名)

遠隔授業

2006.11-2006.12, 「テレビ会議システムを活用した遠隔授業」, ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校小学部33クラス. (全4回, 79名)

2007.3, 「テレビ会議システムを活用した遠隔授業」, 高砂市立荒井小学校3年生3クラス. (全3回, 117名)

■研修生等の受入

そのほか

2006.4.1-2006.3.31, 溝田浩美(ひとはく地域研究員), テーマ:アオバズクの残し餌に関連する夜間採集、および標本作成・同定.

2007.2.6, 井上牧子, 神戸女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻, 論文題目:「地中性捕食寄生者としてのツチバチ類のホスト探索行動に関する研究」(博士論文最終試験副査)

■展示

常設展

2006.4-2007.3 「ハチに優しい眼差しを！」(企画・監修), (株)エアロビデオ(制作)

企画展

2006.7.8-9.24, 企画展「兵庫の外来生物」(分担者).

2006.10.21-2007.1.21, 企画展「虫の風林火山」(分担者).

ミニ企画等

2006.5.1-7.17, ひとはく連携企画展「あなたのハチ知識—8つの間違い」(責任者), 三田市立有馬富士自然学習センター.

2006.6.14-7.15, ひとはくサロン内展示「昆虫標本づくりプロセス展示(2006年トライやる成果)」(責任者), 兵庫県立人と自然の博物館.

2006.9.15-9.24, NPO 法人はるなか「世界の甲虫と福島の昆虫展」(分担者), 福島県立博物館.

2006.10.23-12.3, ひとはく連携企画展「ハチに似た虫たち—ハチ擬態の世界」(責任者), 三田市立有馬富士自然学習センター.

2006.12.2-2007.1.21, ひとはくサロン内展示「刺すハチ、刺さないハチ」(責任者), 兵庫県立人と自然の博物館.

2. シンクタンク事業

■受託研究

企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとはく」. 株式会社リコー. 研究分担者(20万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 15名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者4件, 5名. 電話・FAX相談15件, メール相談16件.

■学会開催等支援

2006.12 日本昆虫学会近畿支部2006年度大会・日本鱗翅学会第133例会(会場係). 参加者67名.

三谷 雅純, Masazumi MITANI

動物共生研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究

部門 助教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科

博士後期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会,

International Primatological Society, 日本生態学会, 日本アフリカ

学会, 日本熱帯生態学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会所属.



<事業部での配属もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室 スクールパートナー推進グループ
スクールパートナー事業マネージャー, 博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の検討, スクールパートナー推進室行事の記録

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 身障者/身障児の社会教育のあり方
2. 霊長類の生態学的研究
3. GISを利用した哺乳類空間分布の研究

■論文・著書

◎三谷雅純(2007) 博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の課題. 「だれもが楽しめるユニバーサル・ミュージアム

ムー“つくる”と“ひらく”の現場から」, 国立民族博物館 (監修), 広瀬浩二郎 (編), 読書工房, 東京都, 184.

■研究発表

三谷雅純・渡邊邦夫・Gurmaya, J.K.・Noviar, E.・河合雅雄 (2006) シルバールトンの採食にみられた行動変異と植物薬用の可能性. 日本霊長類学会, 大阪大学, 吹田市.

◎三谷雅純 (2006) GIS を利用した野生動物の潜在分布や拡散経路の推定—本当はどんな分布を示すのか? どう分布を広げるはずか? 第15回ニホンザルの現況研究会, 京都大学霊長類研究所, 大山市.

◎三谷雅純 (2006) 博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の課題. 国立民族学博物館公開シンポジウム「ユニバーサル・ミュージアムを考える国際シンポジウム～“つくる”努力と“ひらく”情熱を求めて～」, 国立民族学博物館, 吹田市.

■学会役員など

Mammal Study, reviewer

霊長類研究, 査読者

PRIMATES, reviewer

■助成を受けた研究

2006.11-2007.10 ユニバーサル化をめざした視覚障害児のための理科テキストの開発. 日産科学振興財団 理科/環境教育助成, 研究代表者 (30万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4-2007.3 博物館のユニバーサル化に関する資料の収集

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2006.8, 夏期教職員セミナー「体の不自由な子どもたちの野外活動入門」, 博物館. (16名)

三谷雅純, 2006.10, 「熱帯林とゴリラのはなし」, 博物館. (9名)

三谷雅純, 2006.12, 「いっしょに学ぼう, ユニバーサルなこと」, 博物館. (7名)

館外講演

三谷雅純, 2006.10, 「ユニバーサル・ミュージアムを話題にして」, 小規模作業所トークゆうゆう. (9名)

非常勤講師

2006.6, 「自然とデザイン 哺乳類と果実」, 神戸芸術工科大学.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007.2, 共生の広場「人とクマ、共存に向けた環境教育」, 東中国クマ集会 (指導・協働)

■学校教育支援

学校団体対応等

2006.7, 兵庫県立大学付属高校. (27名)

2006.9, 高砂市立北浜小学校. (55名)

2006.12, 京都府立福知山高校. (32名)

■フェスティバル等

2006.11 ひとほくフェスティバル, 記録担当.

2006.11-2007.2 ひとほくサイエンスショー (全3回), 記録担当.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計2件)

2006.4-2007.3 Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).

2006.4-2007.3 Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話相談5件, メール30件, 手紙5件.

2006.4- 失語症者の発語機能補填について

2006.4- 障害児の自然活動について

2006.11-大学博物館の展示のあり方と障害者について

坂田 宏志, Hiroshi SAKATA

動物共生研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態部門

助教授

農林水産部森林動物共生室調査研究係 係長 兼

務

昭和43年鳥取県生. 京都大学大学院農学研究所博士後期課程修了. 博士 (農学). 生態学会, 哺乳類学会, 個体群生態学会等所属.



<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 生物種間の相互作用と共存に関する研究

2. 野生動物の保護と管理に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来～人口減少社会における自然環境の変遷と生物多様性保全に向けての提言に向けて～」, 研究分担者.

部門研究「共生の現実と未来」, 研究分担者.

■論文・著書

◎宇野裕之・横山真弓・坂田宏志 (2007) ニホンジカ個体群の保全管理の現状と課題. 哺乳類科学, 47(1), 25-38.

◎横山真弓・坂田宏志 (2007) 兵庫県におけるシカ保護管理計画の現状と今後の展望. 哺乳類科学, 47(1), 73-79.

◎坂田宏志・鮫島弘光 (2007) 兵庫県におけるイノシシの個体数と狩猟の管理. 哺乳類科学, 47(1), 157-159.

◎濱崎伸一郎・岸本真弓・坂田宏志 (2007) ニホンジカの個体数管理にむけた密度指標 (区画法, 糞塊密度, 目撃効率) の評価. 哺乳類科学, 47, 65-71.

■研究発表

◎石川圭介・横山真弓・坂田宏志 (2006) 害獣追い払い犬の訓練コストと適性個体選抜テストの可能性, 日本動物行動学会, 岡山大学, 岡山市

◎坂田宏志 (2006) イノシシ個体数と狩猟の管理, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎鮫島弘光・坂田宏志・横山真弓 (2006) 兵庫県におけるニホンジカの相対密度推定の手法について, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎高畑麻衣子・横山真弓・鮫島弘光・木下裕美子・坂田宏志・常田邦彦 (2006) イノシシの農耕地出没パターンと狩猟による追い払い効果の検証, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎木下裕美子・横山真弓・坂田宏志・高畑麻衣子 (2006) 兵庫県におけるアライグマの繁殖状況と食性の分析, 日本哺乳類学会 京都大会, 京都大学, 京都市

◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H., FUJIKI, D., TAKAHATA, M and KATAYAMA, A. (2006) Efforts to verify the effect of Japanese black bear release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町.

◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H. (2006) Human-bear conflicts and challenges to reduce the problems in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町.

■学会役員など

2004.9- 日本哺乳類学会, ニホンジカ保護管理作業部会.

2005.1- 2007.3 日本哺乳類学会, 京都大会実行委員

2006.1- 日本生態学会, 大会企画委員.

2006.4- 2007.3 哺乳類科学誌 査読

2006.4- 2007.3 野生生物保護誌 査読

■助成を受けた研究

地域的な堅果類の豊凶と野生動物の生息状況ならびに獣害発生ダイナミクスの解析. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (130万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4- 2007.3 兵庫県内における人との軋轢の大きい哺乳類の標本や痕跡、被害状況に関する資料の収集

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 橋本佳延・坂田宏志・外山万由・ステイーブ・ブラウン, 2006. 12, 「徹底解説! 外来生物~動物・植物の現状・そして社会的課題に迫る~, 博物館. (35名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 特注セミナー「獣害の現状と対策」, 博物館. (37名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 特注セミナー「野生動物について」, 博物館. (28名)
- 坂田宏志, 2006. 12, 特注セミナー「六甲山イノシシについて」, 博物館. (10名)
- 坂田宏志, 2006. 12, 特注セミナー「野生動物対策」, 博物館. (10名)

館外講演

- 坂田宏志, 2006. 4, 「アライグマの生態と防除・捕獲の方法について」, 講師, 兵庫県三木農業改良普及センター, 山田錦の館 研修室. (45名)
- 坂田宏志, 2006. 6, 「昆虫の生態について」, 講師, シニア自然大学, 森ノ宮. (40名)
- 坂田宏志, 2006. 7, 「移入生物フォーラム~外来種が私たちに与える影響」, 講師, 島根県中山間地研究センター, 島根県民会館. (100名)
- 坂田宏志, 2006. 7, 「鳥獣被害対策事業説明会についての講師」, 講師, 大阪府泉州農と緑の総合事務所, 泉南府民センター. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 8, 「アライグマの生態と防除・捕獲の方法について」, 講師, 兵庫県加西農業改良普及センター, 兵庫県加西農業改良普及センター. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「野生動物にかかる社会的な問題とその解決に向けて」講師, 嬉野台生涯教育センター, 嬉野台生涯教育センター. (100名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「平成18年度高等学校実習助手(理科・家庭科)スキルアップ研修講座」講師, 県立教育研修所, 人と自然の博物館. (40名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「ヌートリア・アライグマの生態と被害の動向」講師, 近畿地域野生鳥獣対策連絡協議会, 農林水産省近畿農政局. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「アライグマの生息と被害の実態と対策上の課題」講師, 鳥取県農林水産部, ケーブルビジョン東ほうき. (50名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「野生動物に関して」講師, 大阪自然環境保全協会, アピオ大阪. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 9, 「アライグマの生態と防除・捕獲の方法について」講師, 兵庫県三田農業改良普及センター, 人と自然の博物館. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 10, 「野生動物対策について」講師, J A兵庫六甲本庄支店, J A兵庫六甲本庄支店. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 10, 「野生動物と人との関わり」講師, 兵庫県高等学校教育研究会生物部会, 人と自然の博物館. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 10, 「人と自然が共生できる農業を目指して」講師, 兵庫県高等学校教育研究会農水産部会, 人と自然の博物館. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 「犬を活用した獣害対策について」, 農林水産省, 農林水産省農林水産研修所食料消費技術研修館. (50名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 「獣害の現状と対策」, 兵庫県農地整備課, 人と自然の博物館. (30名)
- 坂田宏志, 2006. 11, 「自然保護官等研修(野生生物特設)外来生物対策」, 環境省, 環境調査研修所. (20名)
- 坂田宏志, 2006. 12, 「西播磨エコプレイヤーV. 野生動物から見た人間の世界」, 西播磨県民局, 兵庫県西播磨総合庁舎. (20名)
- 坂田宏志, 2007. 2, 「野生動物の生態と対策 イノシシ・アライグマ・ヌートリア・シカ」, J A兵庫六甲宝塚西谷支店, J A兵庫六甲宝塚西谷支店. (50名)
- 坂田宏志, 2007. 3, 「兵庫県の野生動物対策のシステムについて」, 島根県中山間地域研究センター, 島根県中山間地域研究センター. (120名)

■キャラバン事業

展示作成

哺乳類に関する展示(複数のキャラバンで活用)

■学校教育支援

学校団体対応

2006. 6, 明石市立林小学校. (111名)
2006. 10, 県立篠山鳳鳴高等学校. (29名)
2007. 2, 県立佐用高等学校 農業科学科. (39名)

■展示

企画展

2006. 7. 28-2006. 9. 24, 企画展「兵庫の外来種生物」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」. 自然環境研究センター. 研究代表者(357万円)
- 「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」. 森林総合研究所. 研究代表者(475.1万円)
- 「ヌートリアの分布と被害の拡大過程の解析」. 森林総合研究所. 研究代表者(460万円)

■自然環境情報調査

- 「兵庫県下の野生動物の生息状況に関連するブナ科堅果類の豊凶と下層植生の状況に関する広域基盤データの収集」. (委託先: 里山鳥獣研究所).
- 自然環境モノグラフ作成「ひょうごの大・中型野生動物の生息状況と人との軋轢の現状」. (委託先: 里山鳥獣研究所).

■行政等支援

委員会等(計12件)

2006. 4-1. 近畿地方アライグマ防除モデル事業調査検討委員会, 委員, 環境省近畿地方事務所
2006. 4-1. 鳥獣保護小委員会人材育成ワーキンググループ, 委員, 環境省環境省近畿地方事務所.
2006. 4-1. 鳥獣対策専門家育成検討委員会, 委員, 農林水産省.
2006. 4-1. 神戸イノシシ対策会議, 委員, 神戸県民局.
2006. 5. 参議院環境委員会(鳥獣保護法改正に関わる質疑), 参考人, 参議院.
2006. 9. 生物多様性国家戦略の見直しに関する懇談会, ゲストスピーカー, 環境省.
2006. 森林動物専門員研修, コーディネート・講師など, 兵庫県森林動物共生室
2006. 野生動物育成林事業に関するアドバイザー, アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり室
2006. 兵庫県環境審議会鳥獣部会. 委員, 兵庫県.
2006. ワイルドライフマネジメント運営協議会, 事務局, 兵庫県.
2006. 平成18年度特定鳥獣保護管理計画技術マニュアル(ニホンザル編)改訂委員会. 委員, 環境省.
2006. アライグマ全国分布調査検討会, 委員, 環境省.

相談・指導助言

- 来訪者30件, 50名. 電話・FAX相談100件, メール相談100件.
- 取材対応 神戸新聞, 朝日新聞, 朝日小学生新聞, 読売新聞, 日経新聞, 産経新聞, 毎日新聞, NHK総合, NHK教育, 朝日放送, 毎日放送, テレビ大阪, テレビ朝日, 読売テレビ, 日本テレビなど

3. 特別プロジェクト

ワイルドライフ・マネジメント・プロジェクト

事務局運営, 調査研究, 連絡調整など

横山 真弓 Mayumi YOKOYAMA

動物共生研究グループ

主任研究員

農林水産部森林動物共生室 調査研究担当 兼務
昭和42年東京都生まれ。東京農工大学農学研究科
修士課程修了。獣医学博士(北海道大学)。
日本哺乳類学会、日本生態学会、野生生物保護学
会所属



<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ニホンジカ・ツキノワグマの栄養生態学的研究
2. 野生動物個体群の生物学的モニタリングに関する研究

■共同研究

部門研究「共生の実現と未来」, 研究分担者。

■論文・著書

- ◎宇野裕之・横山真弓・坂田宏志(2007) ニホンジカ個体群の保全管理の現状と課題。哺乳類科学, 47(1), 25-38.
- ◎横山真弓・坂田宏志(2007) 兵庫県におけるシカ保護管理計画の現状と今後の展望。哺乳類科学, 47(1), 73-79.

■その他著作

- ◎横山真弓(2006) 絶滅危惧種ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか?。エコソフィア 17号, 23-29, 昭和堂。

■研究発表

- ◎横山真弓(2006) ニホンジカの栄養戦略はどう違うのか。ミニシンポジウム「ニホンジカの種内変異〜見方・考え方〜」日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎鮫島弘光・坂田宏志・横山真弓(2006) 兵庫県におけるニホンジカの相対密度推定の手法について。ミニシンポジウム「ニホンジカの保護管理に関わるモニタリング」日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎高畑麻衣子・横山真弓・鮫島弘光・木下裕美子・坂田宏志・常田邦彦(2006) イノシシの農耕地出没パターンと狩猟による追い払い効果の検証〜GPS テレメトリーの被害対策への応用〜, 日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎木下裕美子・横山真弓・坂田宏志・高畑麻衣子(2006) 兵庫県におけるアライグマの繁殖状況と食性の分析, 日本哺乳類学会京都大会, 京都大学, 京都府。
- ◎石川圭介・横山真弓・坂田宏志(2006) 害獣追い払い犬の訓練コストと適性個体選抜テストの可能性, 日本動物行動学会, 岡山市, 岡山市。
- ◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H., FUJIKI, D., TAKAHATA, M and KATAYAMA, A. (2006) Efforts to verify the effect of Japanese black bear release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町。
- ◎YOKOYAMA, M., SAKATA, H. (2006) Human-bear conflicts and challenges to reduce the problems in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町。

■学会役員など

日本哺乳類学会保護管理部会シカ作業部会事務局。
日本哺乳類学会和文誌「哺乳類科学」レフェリー。

■助成を受けた研究

文部科学省科学研究費補助金 若手 A「絶滅危惧種ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか?—生理学的なアプローチからの出没要因の解明—」, 研究代表者 (640 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2005.4-2006.3 ニホンジカの捕獲個体の標本収集, 豊岡市, 丹波市, 篠山市, 三田市, 西脇市。
- 2005.4-2006.3 ツキノワグマの捕獲個体の標本収集, 丹波市, 篠山市, 西脇市。
- 2005.4-2006.3 ニホンイノシシ捕獲個体の標本収集, 篠山市, 加美町。
- 2005.4-2006.3 ニホンイノシシ捕獲個体の標本収集, 篠山市, 神戸市, 吉川町, 西宮市。

■整理同定担当資料

哺乳類, 哺乳類痕跡, 生態映像資料

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館外講演など

- 横山真弓, 2006.11, 川西市農業祭, アライグマの生態と被害防除, 川西市農業祭, 講師, 西宮市。(30名)
- 横山真弓, 2007.2, 姫路市農業祭, アライグマの被害を防ぐための基礎知識, 講師, 姫路市。(60名)
- 横山真弓, 2007.2, JBN 緊急ワークショップ「絶滅危惧個体群における学習放獣の事例とその効果について」東京大学, 東京都。(100名)
- 横山真弓, 2007.2, JBN 緊急シンポジウム「学習放獣と森林動物専門員によるツキノワグマ対策」東京大学, 東京都。(400名)
- 横山真弓, 2007.2, 森と水の環境大学「シカの生態と森林被害について」, 宍粟市, 国見の森。(20名)
- 横山真弓, 2007.3, 滋賀県獣害対策研修「ニホンジカの有効活用について」, 滋賀県東近江地域振興局。(20名)

■キャラバン事業

展示制作

兵庫県に生息する哺乳類解説パネル, 在来哺乳類と外来生物の剥製製作

2. シンクタンク事業

■受託研究

「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」小課題責任者 森林総研(農水省高度化事業) 森林総合研究所。研究分担者(475.1万円)
「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」, 環境省, 自然環境研究センター。研究分担者(357万円)

■行政等支援

委員会等(計5件)

- 2006.11. 兵庫県鳥獣保護担当者会議, 事務局, 兵庫県農林水産部。
- 2006.10-。森林野生動物管理官(仮称)候補者養成研修, 講師, 兵庫県農林水産部。
- 2006.10-。兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会個体数調整部会, 事務局, 研究結果報告, 事務局, 兵庫県農林水産部。
- 2006.10-。兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会絶滅防止部会, 研究結果報告, 事務局, 兵庫県農林水産部。
- 2006.10-。兵庫県環境審議会鳥獣部会。事務局, 兵庫県。

相談・指導助言

来訪者 20件, 30名。電話・FAX相談 25件, メール相談 30件。

3. 特別プロジェクト

ワイルドライフ・マネジメント プロジェクト

事務局運営, 調査研究, 連絡調整など

藤木 大介, Daisuke FUJIKI

動物共生研究グループ

技術職員(臨時的任用)

昭和49年大阪府生。京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了。博士(農学)。日本生態学会, 日本森林学会, 森林立地学会等所属。



<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. シカの採食が森林植生に及ぼす影響の研究
2. 野生動物と植物の相互作用に関する研究

■論文・著書

- ◎藤木大介・鈴木牧・後藤成子・横山真弓・坂田宏志(2006) ニホンジカ(Cervus nippon)の採食下にある旧新炭林の樹木群集の構造について。保全生態学研究, 11, 21-34.

◎Daisuke FUJIKI and Kihachiro KIKUZAWA (2006) Stem turnover strategy of multiple-stemmed woody plants. Ecological Research, 21, 380-386.

■研究発表

◎YOKOYAMA, M・SAKATA, H・FUJIKI, D・TAKAHATA, M・KATAYAMA, A. (2006) Efforts to verify the effect of Japanese black bear release with aversive conditioning in Hyogo Prefecture. 17th International conference on bear Research and management, 長野県軽井沢町.

■助成を受けた研究

地域的な堅果類の豊凶と野生動物の生息状況ならびに獣害発生ダイナミクスの解析. 日本学術振興会科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (分担金なし/130万円).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演など

2006.8 平成18年度林業普及指導員保護Ⅱ研修「兵庫県におけるシカによる森林衰退の現状と課題」, 講師, 兵庫県農林水産部森林動物共生室, 人と自然の博物館 (30名)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」. 自然環境研究センター. 研究分担者 (357万円)

「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」. 森林総合研究所. 研究分担者 (475.1万円)

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2006. 野生動物育成林事業に関するアドバイザー, アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり室

相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話・FAX相談10件, メール相談10件.

3. 特別プロジェクト

ワイルドライフ・マネジメント・プロジェクト

事務局運営, 調査研究, 連絡調整など

の連携システムに関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

◎藤本真里・中瀬勲(2006)「兵庫県立有馬富士公園における住民参画型公園運営の課題と展望」, ランドスケープ研究, 69(5), 757-762.

◎中瀬勲(2006)「公園緑地行政への期待」, 新都市60(9), 18-20.

◎中村良夫・進士五十八・中瀬勲他(2007)「美しい景観・まちづくりに役立つ景観55事例」, (社)ランドスケープコンサルタンツ協会美しい景観事例集編集委員会編, 環境コミュニケーションズ.

◎辻秀之・田村和也・服部保・中瀬勲・一ノ瀬友博・橋俊光・林健児・土江廣幸(2006)「尼崎の森中央緑地における生態的森林創出の試み」, 造園技術報告集2007, (社)日本造園学会, 20-23.

◎中瀬勲(2007)「自然とのふれあいをとおして」, 兵庫教育, No. 673, 6-11.

■その他著作

中瀬勲(2006)「地域や施設をステップアップさせる元気ビジョン」, 丹波の森, No. 32, 2006.4, (財)兵庫丹波の森協会, 3.

辻秀之・田村和也・服部保・中瀬勲・一ノ瀬友博・橋俊光・林健児・土江廣幸(2006)「尼崎の森中央緑地における生態的森林創出の試み」, 平成18年度日本造園学会分科会講演集, p99

中瀬勲(2006)「風景開眼」, 兵庫教育, No. 664, p71.

中瀬勲(2006)「地域住民が楽しめて主役となって活躍する公園は、地域を元気にします」. 公園文化第7号, (財)公園緑地管理財団, 4-5.

中瀬勲(2006)「都市公園とともに歩んだ造園学」, 日刊建設通信新聞2006年5月23日.

中瀬勲(2006)「その人ならではの活躍を期待して」, 「丹波OB大学大学院」2005年のまとめの巻頭言, (財)丹波の森協会, 丹波の森公苑.

中村良夫・中瀬勲(2006)「対談・公園は人々のために-公園の主役は住民-」. ひょうご公園フォーラム in ありまふじ報告書, 25-30, 兵庫県三田土木事務所.

中瀬勲(2006)「利用者が主役の里山公園」. 公園緑地, Vol.67, 1, (社)日本公園緑地協会, p.88.

中瀬勲(2006)「環境学習とボルネオジャングルスクール」. 広報日造協「樹林」, 2006年8月10日, (社)日本造園建設業協会.

中瀬勲(2006)「ボルネオジャングル体験スクール」, 『論』, 神戸新聞(2006年8月28日)

中村良夫・進士五十八・中瀬勲・藤吉信之・大塚守康(2006)「座談会:美しい景観・まちづくりに関するランドスケープアーキテクトの役割」. ランドスケープコンサルタンツ協会.

Isao NAKASE(2006)「Expectations for the 9th International Landscape Architectural Symposium among Japan, China and Korea」. Journal of Landscape Architecture in Asia Vol.2, JILA, CSLA, KILA.

中瀬勲(2006)「第9回日韓国際ランドスケープ専門家会議への期待」. Journal of Landscape Architecture in Asia Vol.2, JILA, CSLA, KILA.

中瀬勲(2006)「gallerize~寄る灯り, 拡がる灯り」の作品評. 「日本建築学会創立120周年記念近畿支部主催事業『美しくまちをつくる, むらをつくる』設計協議「SCENARIO TAMBA」.

中瀬勲(2006)「団塊の宿場町一滞在型自然体験のまちづくり」の作品評. 「日本建築学会創立120周年記念近畿支部主催事業『美しくまちをつくる, むらをつくる』設計協議「SCENARIO TAMBA」.

中瀬勲(2006)「会長声明」. ランドスケープ研究70(2), 99-100.

中瀬勲(2006)「淡路夢舞台の自然再生」. 監修, (財)淡路花博記念事業協会・(財)公園緑地管理財団明石海峡公園管理センター, 22.

中瀬勲(2006)「地域力を高めよう」. 丹波の森No. 33, 2006.9, (財)兵庫丹波の森協会, 3.

中瀬勲(2006)「自然再生フォーラム in 淡路夢舞台」. 神戸新聞2006年12月15日朝刊.

中瀬勲(2007)「なぜ, いま景観なのか」. 三田市政ニュース, 三田市.

中瀬勲(2007)「美しい風景づくり」. グリーエージ2007/1, 20-21.

中瀬勲(2007)「年頭の辞」. 環境緑化新聞正月号.

中瀬勲(2007)「はじめに」. 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし第6集, (財)兵庫丹波の森協会編.

中瀬勲(2007)「発足30周年を記念して」. 丹波文化団体協議会発足30周年記念誌, 丹波文化団体協議会.

○自然・環境マネジメント研究部

中瀬 勲, Isao NAKASE

副館長

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業推進部門

事業推進部長・主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授.

昭和23年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了. 農学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部

博物館全事業とりまとめ

2. 研究開発部門

総合共同研究調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究

2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究代表者.

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のため

中瀬勲(2007)「子どもを变身させよう」. エコキッズ活動報告書, (財)兵庫丹波の森協会, 2.
 中瀬勲(2007)「地域づくりへの協働」. 丹波の森, No. 34, 2007. 4, (財)兵庫丹波の森協会, 3.
 中瀬勲(2007)「6年間ありがとう」. 阪神南地域ビジョン委員会通信メッセージ, 阪神南ビジョン委員会.
 中瀬勲(2007)「地域の元気を創出」. 平成 18 年度;ぬくもり第 24 号, 丹波 OB 大学自治会, 20-21.
 中瀬勲(2007)「公園と住民参加」. 造園修景とつかい, 2007-20・21 号, (財)日本造園修景協会東海支部, 29-47.
 中瀬勲(2007)「地域力の向上を願って」. 「丹波 OB 大学大学院」2006 年のまとめ, (財)兵庫丹波の森協会.
 中瀬勲(2007)「淡路かがやき未来塾にエール」. 島づくり同行紙, (財)淡路 21 世紀協会.
 ◎嶽山洋志・中瀬勲(2006)「公園内での持続的経済活動とその支援方策に関する研究」. 平成 17 年度公園緑地研究所調査研究報告(社)日本公園緑地協会公園緑地研究所, 97-104.
 嶽山洋志・山下義弘・平井茜・石塚周子・中野由梨・中瀬勲(2006)携帯電話を利用した公園マネジメントについて～兵庫県立有馬富士公園での先行的実践からの考察～. 第4回公園管理運営フォーラム発表資料集, p75-80.

■学会役員など

学会

- 1995. 6- (社)日本造園学会, 評議員.
- 1995. 6- (社)日本造園学会, 校閲委員.
- 2000. 1- (社)日本造園学会, ランドスケープマネジメント研究委員会, 企画責任者.
- 2000. 1- (社)日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員.
- 2004. 5-2006. 4 (社)日本造園学会, 関西支部監事.
- 2005. 5-2007. 4 (社)日本造園学会, 理事, 学会長.
- 1996- (社)日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員.
- 2001. 10- 人間・植物関係学会, 理事, 副会長.
- 1995. 6- (社)環境情報科学センター, 評議員.
- 1995. 7- (社)環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員.
- 1995. 9- 兵庫県政学会, 評議員.
- 2005. 11-2007. 10 (社)日本農学会, 評議員.

NPO など

- 2000- 任意団体「花みどり市民ネットワーク」代表
- 2001- NPO「六甲山と市民のネットワーク」顧問
- 2001- NPO「里と森のゼロエミッション倶楽部」顧問
- 2003- NPO「尼崎男女共同参画ネットワーク」理事
- 2003- NPO「農都共生ネットこうべ」顧問
- 2003- NPO「西日本自然史系博物館ネットワーク」副理事長
- 2003- 任意団体「国領区まちづくり活性化委員会」アドバイザー
- 2004- 任意団体「六甲楽学会」代表
- 2004- 任意団体「朝来自然塾」相談役
- 2005- 任意団体「高槻市民環境会議」相談役.
- 2005- NPO「地域再生研究センター」理事

■助成を受けた研究

対話型科学技術社会に求められる教師教育プログラムの開発と評価, 日本学術振興会科学研究費・基盤研究(A), 研究分担者, (分担金なし/総額 3934.5 万円)

■受賞

平成 18 年度兵庫県科学賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

但馬, 丹波における古写真の収集

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 中瀬勲, 2006. 8-10, 「造園・景観学講座」, 神戸学習プラザ. (全 10 回, 260 名)
- 中瀬勲他, 2006. 7, 「ボルネオジャングルスクール」, ボルネオ島,

(26 名)

館外講演

- 中瀬勲, 2006. 4, 「丹波の森公園の新展開フォーラム」, コーディネーター, 丹波の森公園開園 10 周年・(財)兵庫丹波の森協会発足記念行事, 丹波市. (500 人)
- 中瀬勲, 2006. 5, 「県民参画型の総合的な生涯学習の推進」, 講師, 第 6 回環境情報科学センター特別賞受賞講演, 東京都. (30 人)
- 中瀬勲, 2006. 6, 「環境学習・教育の推進による持続可能な社会の実現」, 講師, 地球と共生・ひょうごの集い 2006, 兵庫県, 神戸市. (300 人)
- 中瀬勲, 2006. 6, 「人・地域・自然と共生できるまちづくりを目指して」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ, 神戸市. (400 人)
- 中瀬勲, 2006. 6, 「講話」, ボルネオジャングル体験スクール講話, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市. (17 人)
- 中瀬勲, 2006. 6, 「造園と市民参加」, 講師, (財)日本造園修景協会東海支部緑化講演会, 名古屋市. (180 人)
- 中瀬勲, 2006. 6, 「花と緑の環境づくりと私達の役割」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 三田市 (兵庫県立人と自然の博物館). (55 人)
- 中瀬勲, 2006. 6, 「環境保全活動を活性化するネットワークとは」, 講師, きんき環境館パートナーシップフォーラム 2006 in 大阪, きんき環境館, 大阪. (120 人)
- 中瀬勲, 2006. 7, 「県民の参画と協働からはじまる地域づくり活動」, 講師, 平成 18 年度こころ豊かな美しい兵庫推進会議総会, 神戸市. (80 人)
- 中瀬勲, 2006. 7, 「市民が主役の花とみどりのまちづくり」, 講師, 平成 18 年度緑化リーダー第 1 回講習会, 大阪市ゆとりとみどり振興局, 大阪市. (200 人)
- 中瀬勲, 2006. 7, 「矢口高雄先生と朝来市町井上英俊の川談義」, コーディネーター, 朝来芸術の森美術館, 朝来市. (120 人)
- 中瀬勲, 2006. 7, 「丹波の原風景」, 講師, 丹波の森大学, 丹波市. (100 人)
- 中瀬勲, 2006. 8, 「緑空間のユニバーサル・デザイン」, 講師, 兵庫県ユニバーサル社会推進フォーラム, 明石市. (30 人)
- 中瀬勲, 2006. 9, 「花と緑のまちづくり」, 講師, 姫路市環境ボランティア講習会, 三田市 (人と自然の博物館). (30 人)
- 中瀬勲, 2006. 9, 「コウノトリ放鳥 1 周年記念, コウノトリと共生する地域づくりフォーラム」, コーディネーター, 豊岡市. (500 人)
- 中瀬勲, 2006. 9, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, 講師, 洲本市. (16 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「熱環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「市民生活と環境問題」, 講師, 宝塚市民環境大学「環境学習リーダー入門講座」, 宝塚市. (15 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「兵庫自治学会第 5 分科会」, コーディネーター, 神戸市. (50 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「日本建築学会創立 120 周年記念近畿支部主催事業『美しくまちをつくる, むらをつくる』設計協議「SCENARIO TAMBIA」記念シンポジウム, コメンテーター, 丹波市. (75 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「触って, 感動して, 学ぶ環境教育の推進に向けて」, コーディネーター, 平成 18 年度環境教育実践発表大会, 兵庫県教育委員会, 神戸. (500 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「自然と暮らす”しぜん”に生きる」, 丹波の森自然派フォーラムパネラー, 第 18 回兵庫のまつり触れあいの祭典, 丹波市. (100 人)
- 中瀬勲, 2006. 10, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16 人)
- 中瀬勲, 2006. 11, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16 人)
- 中瀬勲, 2006. 11, 「フラワータウンは今～孫に引き継ぐニュータウン～」, 講師, フラワータウンまちづくり交流祭 2006, 三田市. (200 人)
- 中瀬勲, 2006. 11, 「都市公園がおもしろい」, 講師, 都市公園法施行 50 周年記念事業, シンポジウム「新時代の都市公園づくり」, 東京都立川市. (100 人)
- 中瀬勲, 2006. 11, 「川づくりサミット in 高槻」, コメンテーター, 高槻市・芥川倶楽部, 高槻市. (100 人)
- 中瀬勲, 2006. 11, 「地域見本市, 地域ってこんなところ, お父さん」, コーディネーター, 阪神北地域ビジョン委員会・兵庫県

阪神北泉民局, 川西市. (250人)

中瀬勲, 2006.11, 「自然再生フォーラム in 淡路夢舞台行政と住民の参画と協働による自然再生」, コーディネーター, (財) 淡路花博記念事業協会, 淡路市. (350人)

中瀬勲, 2006.11, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16人)

中瀬勲, 2006.11, 「これからの公園づくりと管理運営」, 講師, 第40回公園緑地講習会, (社) 日本公園緑地協会, 東京都. (150人)

中瀬勲, 2006.12, 「造園学1, 2」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 神戸市. (35人)

中瀬勲, 2006.12, 「21世紀のランドスケープ」, 講師, 人博と猪名川町連携セミナー, 猪名川町生涯学習カレッジ, 猪名川町. (200人)

中瀬勲, 2006.12, 「こどもと地域の環境会議」, 総合コーディネーター, 阪神北泉民局, 川西市. (200人)

中瀬勲, 2006.12, 「生活と環境」, 淡路かがやき未来塾, コーディネーター, 洲本市. (16人)

中瀬勲, 2006.12, 「造園学3, 4」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, 神戸市. (35人)

中瀬勲, 2006.12, 「都市における緑の創造」, 講師, 21世紀文明研究セミナー: 平和の技術・地球環境, (財) ひょうご震災記念21世紀研究機構, 神戸市. (40人)

中瀬勲, 2007.1, 「緑からのまちづくり」, 講師, 人博と猪名川町連携セミナー, 猪名川町生涯学習カレッジ, 猪名川町. (32人)

中瀬勲, 2007.1, 「ため池フォーラム in 兵庫」, コーディネーター, ため池フォーラム in ひょうご実行委員会, 明石市. (600人)

中瀬勲, 2007.1, 「これからの時代の公園づくり」, 講師, 森の冒険公園プロジェクト, 独立行政法人万博記念機構, サントリー次世代研究所, 吹田市. (50人)

中瀬勲, 2007.1, 「自然を保護するて?」, 講師, 北播磨自然指導員育成講座, 小野市. (38人)

中瀬勲, 2007.2, 「リレートーク, 地域活動の知恵袋」, 講師, 平成18年度阪神南地域夢会議, 尼崎市. (200人)

中瀬勲, 2007.2, 「私達のまちづくりに向けて」, 講師, 三田JC例会, 三田市. (40人)

中瀬勲, 2007.2, 「ふるさとの風景づくりフォーラム」, コーディネーター, 西播磨県民局, 相生市. (300人)

中瀬勲, 2007.3, 「美しい日本の創造」, 講師, コメンテーター, ジャパンフラワーフェスティバル in かがわシンポジウム, 高松市. (120人)

中瀬勲, 2007.3, 「保護者, 地域住民とともに進める学校づくり」, 講師, 平成18年度第2回丹波地区学校経営(校長)研究協議会, 丹波市. (60人)

中瀬勲, 2007.3, 「循環型の地域づくりをめざして」, 講師, コーディネーター, みんなの夢ビジョン in 北播磨, 多可町. (360人)

中瀬勲, 2007.3 「環境経済戦略の目指すもの」, 講師, コーディネーター, 環境経済戦略ビジネスモデル検討報告会, コウノトリ環境経済コンソーシアム, 豊岡市. (80人)

中瀬勲, 2007.3 「生活環境と限界集落について」, 話題提供, 第6回長期ビジョン推進委員会, 兵庫県県民政策部, 神戸市. (40人)

非常勤講師

中瀬勲, 2006.10-2007.3 緑地計画, 兵庫県立大学環境人間学部.

中瀬勲, 2006.10-2007.3 兵庫・地方及び広域計画論, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

中瀬勲, 2006.10-2007.3 ランドスケープ・デザイン論, 名古屋工業大学.

ラジオ・TV出演等

中瀬勲, 2006.11, 「日曜さわやかトーク収録, 知事との対談」, ゲスト, サンTV12月10日22:00放映.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校. (2名)

2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校. (5名), 池田市立渋谷中学校. (1名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

■展示

企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町. 研究分担者(30万円)

■行政等支援

委員会等 (計110件)

1993.3- (財)丹波の森協会, 理事.

1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.

1996.4- (財)丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.

1996.7- 兵庫県立丹波の森公園運営委員会, 委員, (財)丹波の森公園.

1997.8- 阪神シニアカレッジ運営委員会, 委員, 兵庫県.

1997.8- 「なぎさ海道」推進会議, 代表委員, (財)大阪湾ベイエリア開発推進機構.

1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省)建設省.

1997.10- 兵庫県都市計画地方審議会, 委員, 兵庫県県土整備部(まちづくり部).

1998.8- 環境アドバイザー, (財)ひょうご環境創造協会.

1999.4- (財)都市緑化技術開発機構, 研究顧問.

1999.6- (財)姫路市緑化協会, 理事.

1999.8- まちづくり専門家バンクへの登録(第43号), 財団法人兵庫県都市整備協会, ひょうごまちづくりセンター.

1999.9- まちづくり広域活動助成に関する選定委員会, 委員長, 財団法人兵庫県都市整備協会, ひょうごまちづくりセンター.

2000.5- NPO法人森のゼロエミッションサポート倶楽部, 運営委員.

2000.6- 里山保全アドバイザー, (社)大阪自然環境保全協会.

2001.5- (財)兵庫県高齢者生きがい創造協会, 理事.

2001.8- 関電公害防止協議会委員長, 兵庫県, 姫路市, 関西電力株式会社.

2001.9- 丹波地域ビジョン委員会専門委員, 兵庫県丹波県民局.

2002.3- (財)日本グラウンドワーク協会, 評議員.

2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協会.

2002.5 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.

2002.7- 長期ビジョン推進委員会, 副委員長, 兵庫県企画管理部(県民政策部).

2002.7- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.

2002.12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部(県民政策部).

2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財)都市緑化基金.

2003.6- (社)日本公園緑地協会, 研究顧問.

2003.8- 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント計画・運営協議会, 副委員長, 兵庫県農林水産部.

2003.8- いなみ野ため池ミュージアム推進委員会, 委員長, 兵庫県東播磨県民局.

2003.10- 国営明石海峡公園神戸地区マネジメント検討委員会準備会, 委員長, 国土交通省.

2003.10- 被災地空き地活用パイロット事業審査会, 委員, 兵庫県阪神・淡路大震災復興本部.

2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.

2004.6- (財)日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財)日本グラウンドワーク協会.

2004.7- 近畿圏における自然環境の総点検に関する研究会, 委員, 国土交通省.

2004.7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.

2004.7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

- 2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ、アドバイザー、近畿農政局。
- 2005.1- 加古川市環境審議会委員、加古川市。
- 2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会、委員長、兵庫県阪神南県民局。
- 2005.2-2007.3 防災公園検討委員会、委員、(財)日本公園緑地協会。
- 2005.4-2007.3 近畿地方整備局景観アドバイザー、近畿地方整備局。
- 2005.4-2007.3 阪神北ビジョン委員会、アドバイザー、兵庫県阪神北県民局。
- 2005.5- ひょうご環境学校事業、アドバイザー、兵庫県健康生活部。
- 2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会、委員長、神戸市。
- 2005.6-2007.2 イキイキサイエンス推進委員会、委員、兵庫県教育委員会。
- 2005.6-2007.3 (財)淡路花博記念事業協会評議員、(財)淡路花博記念事業協会。
- 2005.6-2007.6 公園緑地折下功労賞選考委員会、委員、(財)都市計画協会。
- 2005.7-2007.7 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会、臨時委員、財務省。
- 2005.7- 大問寺整備委員会、委員、宗教法人大門寺。
- 2005.7- 長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会、委員、兵庫県県民政策部。
- 2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑、公苑長、(財)丹波の森協会。
- 2005.8- 丹波OB大学、学長、兵庫県立丹波の森公苑。
- 2005.8- たんば共創の森、塾長、兵庫県立丹波の森公苑。
- 2005.9-2007.3 野生動物保護管理運営協議会、委員、兵庫県農林水産部。
- 2005.9- 平成17年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会、委員、(社)兵庫みどり公社。
- 2005.11 平成17年度阪神南ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会、委員、兵庫県阪神南県民局。
- 2005.11- 登録ランドスケープアーキテクト(RLA)資格認定試験検定委員会、委員、RLA資格制度総合管理委員会。
- 2005.11- 豊岡市総合計画審議会、副委員長、豊岡市。
- 2005.11- 新さわかみみどり創造プラン推進委員会、委員長、兵庫県県土整備部。
- 2005.12- 六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント手法検討会、委員、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所。
- 2006.2- 事業評価監視委員会、常任委員、西日本高速道路株式会社。
- 2006.2- 三田市新環境基本計画検討委員会、委員長、三田市。
- 2006.2- 特定外来生物対策委員長会議、委員、兵庫県健康生活部。
- 2006.3- (財)大阪市文化財協会、理事。
- 2006.4-2007.3 (社)日本公園緑地協会調査研究委員会、委員。
- 2006.4-2007.3 (社)日本公園緑地協会国際委員会、委員。
- 2006.4-2007.3 (社)日本公園緑地協会国際委員会調査部会、委員。
- 2006.4-2007.3 (社)日本公園緑地協会佐藤国際交流賞部会、委員。
- 2006.4-2007.3 (社)日本公園緑地協会北村賞委員会、委員。
- 2006.4-2009.3 (財)公園緑地管理財団、研究顧問。
- 2006.4-2007.3 西播磨花の郷選定委員会、委員、兵庫県西播磨県民局。
- 2006.4- (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構、参与。
- 2006.4- (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究企画委員会、委員。
- 2006.4- 都市公園法施行50周年記念事業実行委員会、委員長代理、(財)日本公園緑地協会。
- 2006.4- 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会、委員、兵庫県阪神南県民局。
- 2006.4- 登録候補物件調査委員会(兵庫県登録文化財登録事業)、委員、兵庫県教育委員会。
- 2006.4- 三田市環境基本計画検討委員会、委員長、三田市。
- 2006.5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯、実行委員長、丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会。
- 2006.5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』、塾長、(財)兵庫丹波の森協会。
- 2006.5- 平成18年度環境づくり実践活動者育成講座開催事業審査会、委員長、兵庫県阪神北県民局。
- 2006.5- 森林・野生動物保護管理センター(仮称)に関わる増部門検討委員会、委員、兵庫県立大学。
- 2006.5- 政策提言サポートシステム共同研究研修、講師、大阪府総務部。
- 2006.5- 兵庫県立丹波並木道中央公園森の円卓会議、会長、兵庫県丹波県民局。
- 2006.6- (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所研究員選考委員会、委員、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構。
- 2006.6- 兵庫県高大等連携推進協議会、委員長、兵庫県教育委員会。
- 2006.6- コウノトリ自然博物館(仮称)構想検討委員会、委員長、兵庫県県民政策部。
- 2006.6 三田市総合計画審議会、会長、三田市。
- 2006.6 美しくまちをつくる、むらをつくる、提案競技「SCENARIO-TANBA」審査委員会、委員、(社)日本建築学会近畿支部。
- 2006.7 環境教育副読本編集委員会、委員、兵庫県教育委員会。
- 2006.7 近畿農政局農村景観・自然環境保全再生パイロット事業審査委員会、委員、農林水産省近畿農政局。
- 2006.7 兵庫県立国見の丘公園運営協議会、会長、(財)宍粟森林王国協会。
- 2006.7 平成19年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士前期課程(A日程)の試験において専門科目(専門I)の出題委員及び採点委員、兵庫県立大学。
- 2006.8 兵庫楽農生活センター運営協議会、顧問、(財)兵庫みどり公社。
- 2006.8- 淡路花博記念事業協会設立5周年記念誌「淡路」夢舞台の自然再生」の発刊にかかる監修委員、(財)淡路花博記念事業協会。
- 2006.9 平成18年度醸成事業、審査委員、特定非営利法人しみん基金・こうべ。
- 2006.9- (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構、安全・安心研究所、上級研究員。
- 2006.9-2009.3 多自然居住地域における安全・安心に関する研究会、会長、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構、安全・安心研究所。
- 2006.10- 内ヶ池整備に関する検討委員会、委員長、大阪府、高槻市。
- 2006.10-2009.3 丹波地域における集落活性化戦略調査委員会、委員長、(財)兵庫丹波の森協会。
- 2006.10- ひょうごっこグリーンガーデン研究会、会長、兵庫県健康生活部。
- 2006.11- CSRネットワーク委員会、委員長、兵庫県産業労働部。
- 2006.11- 三田市都市景観研究会、会長、三田市。
- 2006.12- 瀬戸内海国立公園西播磨地域管理計画検討会、会長、環境省。
- 2007.1- 近畿ブロックにおけるエコロジカル・ネットワーク懇談会、座長、国土交通省。
- 2007.1- 丹波年輪の里運営協議会、委員、兵庫県立年輪の里。
- 2007.1- たんば風景街道実行委員会、委員長、(財)兵庫丹波の森協会。
- 2007.1- 環境体験支援委員会、副委員長、兵庫県教育委員会。
- 2007.1- ”神戸三田”国際公園都市・カルチャータウン地区センター事業提案協議審査委員会、委員長、兵庫県企業庁。
- 2007.2- 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターひとと未来館展示検討委員会、副委員長、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構。
- 2007.3- ジャパンフラワーフェスティバル in かがわコンテスト審査委員会、委員、ジャパンフラワーフェスティバル in かがわ実行委員会。
- 2007.3- 屋内テニス場運営検討懇談会、座長、(財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2007.3- 近畿圏広域地方計画学識者会議、委員、国土交通省。

相談・指導助言

来訪者 50 件, 100 名。

3. 特別プロジェクト

市町との協力協定推進・推進プロジェクト

藤本 真里, Mari FUJIMOTO

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 助手。

昭和 36 年兵庫県生 大阪市立大学生生活科学部卒。

日本造園学会, 日本都市計画学会, 社会経済システム学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部 生涯学習推進室生涯学習支援グループ フェスティバルマネージャー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 住民参加型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究代表者。

■その他著作

藤本真里 (2006) 戦後・国レベルの住宅政策から地域の課題を踏まえた神戸のまちづくりへ(前編)。月刊きんもくせい, 06 年 4 月号, 阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク, 2-3。

藤本真里 (2006) 戦後・国レベルの住宅政策から地域の課題を踏まえた神戸のまちづくりへ(後編)。月刊きんもくせい, 06 年 5 月号, 阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク, 3。

藤本真里 (2006) ひとくフェスティバル転換期。エルタン, 第 58 号 2006 年 12 月 23 日, NPO 法入会と自然の会, 1。

藤本真里・小坂真也・外山万由(2006)実践編「みんなで何でもできる有馬富士公園をつくる。ありまふじ公園読本, 有馬富士運営・計画協議会, 38-59, 80。

■学会役員など

日本建築学会創立 120 周年記念近畿支部「美しくまちをつくる, むらをつくる」実行委員会ワーキンググループ, 委員。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 7 国見の森公園における地域資源写真収集。宍粟市。
2007. 1 篠山市後川中集落における地域資源写真収集。篠山市。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里, 2005. 11, 「有馬富士公園における運営の特徴と課題」, 講師および企画, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市。(20 名)

館外講演

藤本真里, 2006. 6, 「市民による公園マネジメントの実践事例とそのプログラム企画」, 講師, 平成 18 年度 景観園芸専門講座, 兵庫県立淡路景観園芸学校, 三田市。(20 名)

藤本真里, 2006. 12, 姫路市民活動フォーラムパネルディスカッション, パネラー, 姫路市, 姫路市。(180 人)

藤本真里, 2006. 11, 芦屋のまちづくり, 講師, クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス, 芦屋市。(120 人)

藤本真里, 2006. 11, 「景観からのまちづくり」, 講師, 宝塚市民環境大学 環境学習リーダー入門講座, 宝塚市。(10 人)

藤本真里, 2006. 8, 9, 「緑豊かなふるさとの川づくりワークショップ」, コメンテーター, 兵庫県西播磨県民局。(100 人)

藤本真里, 2006. 9, 「男女共同参画社会を語る」, 座談会, 社団法

人大阪大学工業会。

ラジオ・TV出演等

藤本真里, 2006. 12, 「美しい猪名川を次世代へ」, 対談 (JCOM 宝塚川西放映), 猪名川町。

藤本真里, 2006. 12, 「輝き三田へ引き継ごう 三田の豊かな自然・環境」, インタビュー (JCOM宝塚川西放映), 三田市。

■キャラバン事業

主担当

2006. 8. 19~8. 31, 太古からのおくりもの・海の怪物展(淡路)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6 -6. 9, 藍中学校。(2 名)

2006. 11. 8, 神戸市立北神戸中学校。(5 名), 池田市立渋谷中学校。(1 名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006. 8. 21-8. 25, 京都府立大学 1 名, 龍谷大学 1 名

■フェスティバル等

2006. 11. 5, ひとくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200 名(分担者)

■展示

企画展

2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」(副責任者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」, 猪名川町, 研究代表者(30 万円)

■行政等支援

委員会等 (計 19 件)

2001. 4-2006. 7 有馬富士公園運営・計画協議会コーディネーション部会, 部会長, 兵庫県阪神北県民局。

2006. 7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局。

2006. 2- 三田市新環境基本計画検討委員会, 委員, 三田市。

2006. 4-2007. 3 まちづくりアドバイザー, 豊中市。

1998. 4- 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中市。

2002. 11-2009. 3 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県西播磨県民局。

2006. 12-2009. 3 CSR 活動ネットワーク委員会, 委員, 兵庫県産業労働部。

2006. 10-2007. 3 平成 18 年度地域に根ざした教材開発事業検討委員会, 委員, 兵庫県教育委員会阪神北教育事務所。

2006. 9-2007. 3. 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民局。

2006. 6-2007. 3. 平成 18 年度地域づくり活動支援会議, 委員, 兵庫県阪神北県民局。

2006. 7- 姫路市市民活動推進懇話会, 委員, 姫路市。

2002. 10- 農業農村環境配慮検討委員会, 委員, 兵庫県。

2001. 8- 阪神北地域ビジョン委員会。専門委員, 阪神北県民局。

2000. 11- 千種川圏域清流づくり委員会, アドバイザー, 西播磨県民局。

1998. 11- さとやまづくり推進協議会ワーキング会議, 委員, 中播磨県民局。

2005. 4- 篠山チルドレンミュージアム運営委員会, 委員長, 篠山市。

2002. 10- 神戸市まちづくり専門委員会, 委員, 神戸市。

2005. 6-2009. 5 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市。

2003. 4- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市。

相談・指導助言

電話・FAX 相談 120 件, メール相談 80 件。

赤澤 宏樹, Hiroki AKAZAWA

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画
研究部門 講師

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究
科修士課程修了。農学博士。日本造園学会、日本都市計画学会、環境情
報科学センター、人間・植物関係学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティング及びマネジメント部門企画調整室ネクスト担当グループ
ネクスト・プロジェクト担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための
連携システムに関する研究」, 研究分担者。

■その他著作

赤澤宏樹(2006) 緑からはじめるコミュニティづくり。平成18年
度三田市民大学報告書, 21-29, 三田市・三田市教育委員会・湊
川短期大学。

赤澤宏樹(2007) 普通の風景に潜む人と自然の共生。ハーモニー,
(56), 1-2。

■学会役員など

日本造園学会, 代議員。

日本造園学会, 総務委員会幹事。

日本造園学会, 平成18・19年度造園作品選集刊行委員。

日本造園学会, 論文校閲委員。

日本造園学会, 平成19年度全国大会運営委員会, 委員

日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会 委員

人間・植物関係学会, 監査

■助成を受けた研究

近隣コミュニティの緑化活動および支援制度による規範的緑地計
画に関する研究～米国コミュニティガーデン活動を事例として
～。文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(50万円)

■海外調査

2006.10 アメリカ・ニューヨーク市およびサンフランシスコ市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.10 アメリカのコミュニティ・ガーデン。

2006.6-2007.2 兵庫県下における古写真(阪神南地域, 中播磨地
域など)。

■受贈担当資料

2007.3 高山超陽画白水害画。20点。

■整理同定担当資料

古写真

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2007.1, 「ニューヨークの公園とコミュニティガーデ
ン」, クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス。(全4回, 120
人)

赤澤宏樹, 2007.2, 「企画展ギャラリートーク」, 人と自然の博物
館。(36名)

赤澤宏樹, 2007.3, 「企画展ギャラリートーク」, 人と自然の博物
館。(16名)

赤澤宏樹・客野尚志, 2007.3, 「自分のカメラを作って写真を撮
ろう」, 人と自然の博物館。(29名)

館外講演

赤澤宏樹, 2006.5, 「これからのビジョンとマネジメント」, 万博
記念公園将来ビジョンの検討にかかわる職員研修, 講師, 独立行

政法人万博記念機構。(20名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「ニューヨークのコミュニティガーデン～市
民が勝ち取った緑～」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, 尼
崎中小企業センター。(40名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「緑のパブリックをつくる住民参加～空間の
獲得から場所性の獲得まで～」, 講師, 関西学院大学。(160名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「フランスのエコミュゼ」, 但馬コウノトリ博
物館構想勉強会, 人と自然の博物館。(8名)

赤澤宏樹, 2006.6, 「大都市における風致地区の意義と深江のま
ちづくり」, 講師, 深江まちづくり協議会, 深江公民館。(40名)

赤澤宏樹, 2006.9, 「緑からはじめるコミュニティづくり」, 平成
18年度三田市民大学, 講師, 湊川短期大学。(119名)

赤澤宏樹, 2006.12, 「福島区の緑のまちづくりについて」, 福島
区コミュニティスクール, 講師, 福島区民センター。(25名)

藤本真里・赤澤宏樹, 2007.1, 「淡路かがやき未来塾」, 講師, 洲
本市。(10名)

赤澤宏樹, 2007.2, 「まちづくりのプランニング」, リバグレス猪
名川, 講師, 猪名川公民館。(30名)

非常勤講師

2006.4-2006.9 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。

2006.4-2006.9 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学。

2006.4-2006.9 「農業と社会」, 奈良県立大学。

2006.9 「共生博物館」, 兵庫県立大学

2006.8 「博物館事前実習」, 神戸大学。

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校。(2名)

2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校。(5名), 池田市立渋谷中学校
(1名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名

■フェスティバル等

2006.11.5, ひとくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づく
り, 200名(責任者)

■展示

企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(責任者)。

ミニ企画等

2007.2.17-2007.6.10, 3F ギャラリー展示「昔はこうして暮らし
てた」(責任者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画他検討業務」, 日本公園
緑地協会, 研究代表者(30万円)。

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3回, 12名。

■行政等支援

委員会等 (計14件)

2000.10- ひょうごエコ市民ネットワーク, 理事。

2005.10- 兵庫県立西武庫公園管理運営協議会, 委員, 兵庫県阪
神南県民局。

2003.10- 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 兵庫県阪神
南県民局。

2003.8- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー,
兵庫県県土整備部。

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備
部。

2004.4- 尼崎21世紀の森づくり協議会森部会鉄工団地小部会,
アドバイザー, 兵庫県県土整備部。

2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市。

2005.1- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネージメントプラン
検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。

2005.4- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネージメントプラン
検討委員会アクションリサーチ部会, 部会長, 国土交通省近畿
地方整備局。

2006.8- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪
神南県民局。

2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽勉強会, コーディネーター, 兵

庫県阪神南泉民局。

2005. 4- 国営明石海峡公園フレンズ, 会長, 国営明石海峡公園事務所。

2006. 8- 西宮市都市景観アドバイザーグループ, 委員, 西宮市。

2006. 8- 芦屋市史編纂委員会専門部会, 委員, 芦屋市教育委員会。

相談・指導助言

来訪者 40 件, 65 名。電話・FAX 相談 40 件, メール相談 90 件。

嶽山 洋志, Hiroshi TAKEYAMA

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/生涯学習推進室

研究員

1976 年大阪府生。大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, こども環境学会 所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部生涯学習推進室

シンクタンク活動グループ アウトリーチ・交流コンテンツ開発担当, ひょうご海外技術研修員の受入, 三田市立自然学習センターとの事業調整, 館報編集

2. 研究開発部門

研究部研究担当, 紀要編集委員

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 多自然居住地域の担い手創出に関する研究
2. こどもの遊び場に関する研究
3. 学校ビオトープのランドスケープエコロジーに関する研究

■共同研究

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究分担者。

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者。

■論文・著書

嶽山洋志・山下義弘(2006) GPS 搭載携帯電話, WEB-GIS, BBS の統合化による地域情報の収集・発信・交流に関する研究—小学生を対象とした共同学習を事例として。環境情報科学論文集 20, p315-320。

■その他著作

嶽山洋志(2006) 一本歯の下駄—砂浜という環境への適応。こども環境学研究, Vol2.No1, 表紙裏。

嶽山洋志(2006) 自然への入口を多様に。こども環境学研究, p20-22。

◎嶽山洋志・中瀬勲(2006) 公園内での持続的経済活動とその支援方策に関する研究。平成 17 年度公園緑地研究所調査研究報告, p97-104。

嶽山洋志・上甫木昭春・大谷剛(2006) 学校ビオトープを中心としたミクロな緑地ネットワークの調査手法。平成 18 年度日本造園学会全国大会分科会講演集, p92。

◎嶽山洋志(2006) 都市公園における商行為に関する研究。平成 18 年度兵庫自治学会研究発表要旨集, p52-53。

SANDA SUMMER STAGE 2006 実行委員会事務局(2006) SANDA SUMMER STAGE 2006 Project Book. pp16。

◎嶽山洋志・高野温子(2006) ひょうご科学技術研修員のご紹介。ハーモニー55, p6

◎嶽山洋志(2006) 武庫川にみられる曖昧性。武庫川散歩, 人と自然特別号 2, p103-111

山下義弘・嶽山洋志(2006) 自然環境シミュレーター「ビオトープをつくろう!」。日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2006 年秋号, 付録 2。

◎野上加代・嶽山洋志(2006) プレイパークの人材マネジメント手法について—ガキッコクラブの取り組みから—。環境情報科学大阪ポスターセッション発表要旨集, p100-101。

嶽山洋志(2006) 携帯電話を利用した共同学習, アジア諸国の職業教育における mLearning の可能性, p17-19。

嶽山洋志・山下義弘・平井茜・石塚周子・中野由梨・中瀬勲(2007) 携帯電話を利用した公園マネジメントについて—兵庫県立有馬富士公園での先行的実践からの考察—。第 4 回公園管理運営フォーラム発表資料集, p75-80。

荻野泰男・嶽山洋志他(2007) 丹波国領博。進修火の鳥会, pp20。

■研究発表

嶽山洋志(2006) 博物館における「インタープリター」の役割とは。こども環境学会, 兵庫県。

嶽山洋志・上甫木昭春・大谷剛(2006) 学校ビオトープを中心としたミクロな緑地ネットワークの調査手法。日本造園学会全国大会分科会ポスター発表, 大阪府。

◎野上加代・嶽山洋志(2006) プレイパークの人材マネジメント手法について—ガキッコクラブの取り組みから—。環境情報科学センターポスター発表, 大阪府。

◎嶽山洋志(2006) 都市公園における商行為に関する研究。平成 18 年度兵庫自治学会研究発表大会, 兵庫県。

◎野上加代・梶元千史・延原早織・嶽山洋志(2006) ガキッコクラブの取り組み。阪神北フォーラムポスター発表, 兵庫県。

◎嶽山洋志(2006) ガキッコクラブの取り組み, 市民と大学の環境フォーラムポスター発表, 兵庫県。

嶽山洋志・山下義弘(2006) GPS 搭載携帯電話, WEB-GIS, BBS の統合化による地域情報の収集・発信・交流に関する研究—小学生を対象とした共同学習を事例として。第 20 回環境研究発表会, 東京都。

嶽山洋志(2006) 携帯電話を利用した公園マネジメントについて—兵庫県立有馬富士公園での先行的実践からの考察—。第 4 回公園管理運営フォーラム, 東京都。

嶽山洋志(2007) 人と自然の博物館における学びの循環システムについて。平成 18 年度国内科学館職員研修パネル発表会, 東京都。

■学会役員など

こども環境学会 2006 年度こども環境学会大会実行委員幹事
環境情報科学センター 査読委員

■受賞

論文賞, こども環境学会。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 2 丹波・但馬地域における古写真と映像

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

嶽山洋志, 2006. 7-8, 「プレイパークトレーニング講座—技術編(5 回)」, 人と自然の博物館。(22 名)

嶽山洋志, 2006. 7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, ボルネオ島。(26 名)

嶽山洋志, 2006. 10, 「公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(10 名)

嶽山洋志, 2006. 11, 「サイエンスショー: 公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(10 名)

嶽山洋志, 2006. 12, 「サイエンスショー: 公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(15 名)

松原尚志・フィービー・アワー・アウィティ・嶽山洋志, 2007. 1, 「化石工房新春スペシャル: フィービーさんと化石のレプリカをつくろう!」, 人と自然の博物館。(46 名)

嶽山洋志, 2007. 2, 「サイエンスショー: 公園の模型をつくろう!」, 人と自然の博物館。(13 名)

館外講演

嶽山洋志, 2006. 10, 「環境教育実践発表大会」, 通訳, 兵庫県教育委員会, 神戸。(450 名)

嶽山洋志, 2006. 10, 「有馬富士セミナー: ガキッコクラブの取り組み」, 有馬富士公園。(9 名)

嶽山洋志, 2006. 10, 「有馬富士セミナー: 企画立案の方法」, 有馬富士公園。(9 名)

嶽山洋志, 2006. 11, 「自然環境シミュレーター“ビオトープをつくろう!”」, 講師, シミュレーション&ゲーミング学会, 京都府。(16 名)

嶽山洋志, 2006. 11, 「有馬富士セミナー: アイスブレイクの方法」, 人と自然の博物館。(18 名)

非常勤講師

2006. 4. 1-2006. 9. 30 「兵庫・地方及び広域計画論」, 淡路景観園芸学校.

2006. 4. 1-2006. 9. 30 「科学入門」, 湊川短期大学.

■キャラバン事業

主担当

2006. 7-8 丹波地域 テーマ「丹波国領博」.

リサーチプロジェクト

2006. 7-8 丹波地域 国領地区の古写真の収集(実施・企画運営).

■ミニキャラバン事業

2006. 6, 丹波の森フェスティバル(責任者), 丹波の森フェスティバル実行委員会, 丹波の森公苑.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007. 2 共生の広場 「遊び場のコミュニティデザイン〜ガキッコラブの取り組みから〜」, ガキッコラブ.(指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6 -6. 9, 藍中学校.(2名)

2006. 11. 8, 神戸市立北神戸中学校.(5名), 池田市立渋谷中学校.(1名)

学校団体対応

2006. 6, 龍野市町づくり塾こどもの遊育セミナー.(8名)

2006. 11, CITE サロン.(10名)

2006. 12, 神戸学院大学.(10名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006. 8. 21-8. 25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

その他

2006. 8. 1-2007. 2. 1, フィービー・アワー・アウティティ(キスム博物館ミュージアムティーチャー), ケニアと日本の博物館における環境学習の比較研究.

■フェスティバル等

2006. 4 ふかたん, 6名

2006. 11 ひとつはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

■展示

企画展

2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」(分担者).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 3回, 22名.

■行政等支援

委員会等 (計4件)

2006. 7- 三田市農業基本計画策定懇話会, 委員, 三田市農業振興課.

2006. 7- 安心安全研究会, 研究協力, 安全・安心社会研究所.

2005. 4- 有馬富士公園公開セミナーのあり方検討会実施作業部会, メンバー, 兵庫県三田土木事務所.

2007. 1- 「丹波風景街道フォーラム」分科会, コーディネーター, 財団法人丹波の森協会.

相談・指導助言

来訪者50件, 100名. メール相談1件.

■学会開催等支援

2006. 4 子ども環境学会関西大会実行委員幹事

2007. 2 ガキッコラブ総会開催

<事業部での配属もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティング及びマネジメント部門 企画調整室

企画調整室長 ネット担当グループリーダー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究

2. 環境文化の研究

■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

田原直樹(2007) ライフストーリーでつづる国際ボランティアの歩き方, (株)国際協力出版会.

■その他著作

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月1日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月8日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月15日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月22日).

田原直樹(2006) 神戸新聞を読んで, 神戸新聞(7月29日).

■学会役員など

日本造園学会, 国際委員・校閲委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

日本都市計画学会, 校閲委員.

日本都市計画学会関西支部, 幹事・国際交流委員.

日本建築学会, 校閲委員.

日本土木学会, 校閲委員.

■海外調査

2006. 8 台湾

2. 資料収集・整理

■資料収集

2002. 5-11 名所写真, 神戸市など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田原直樹, 2006. 4, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪市梅田界隈を歩く」, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 5, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪市四天王寺界隈を歩く」, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 6, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪市長柄・都島界隈を歩く」, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 6, 「都市の歩き方・まち歩きのための資料解説講座 名所図会の見方」, 博物館.(15名)

田原直樹, 2006. 9, 「都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県芦屋界隈を歩く」, 芦屋市.(15名)

田原直樹, 2006. 10, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪府茨木・摂津富田界隈を歩く」, 茨木市・摂津市.(15名)

田原直樹, 2006. 10, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪府高槻界隈を歩く」, 高槻市.(15名)

田原直樹, 2006. 11, 「都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県新神戸・三宮界隈を歩く」, 神戸市.(15名)

館外講演

田原直樹, 2006. 5, 「絵図から見る景観の変化」, 兵庫県立大学社会人専門プロフェッショナルコース, 講師, 兵庫県立大学セミナー室.(20名)

田原直樹, 2006. 5, 「街並み探訪」, コープこうべ, 講師, 大阪市.(15名)

田原直樹, 2006. 6, 「インドネシア, ジャワの都市と庶民の暮らし」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 尼崎市商工会館.(100名)

田原直樹, 2006. 7, 「地域づくりの事例」, 講師, ふるさとひょうご創生塾, 神戸生活創造センター.(20名)

田原直樹, 2006. 10, 「子どもアートスクール」, 講師, 佐用町生涯学習課, さよう文化情報センター.(15名)

田原直樹, 2007. 2, 「摂津名所図会にみる2000年の変遷」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚シニアカレッジ学習室.(150名)

田原直樹, 2007. 2, 「名所図会にみる江戸期から現在までの植生の変化」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習

田原 直樹, Naoki TAHARA

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ
/企画調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画
研究部門 教授.

昭和28年福岡県生. 大阪大学大学院工学研究科
修士課程修了. 工学博士. 日本都市計画学会, 日本造園学会等所属.



中学校. (100名)
 田原直樹, 2007.2, 中播磨地域ビジョンフォーラム, コーディネーター, 中播磨地域ビジョン委員会, 姫路労働会館. (150名)
 田原直樹, 2007.2, 「摂津名所図会にみる2000年の変遷1」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚シニアカレッジ学習室. (145名)
 田原直樹, 2007.2, 「摂津名所図会にみる2000年の変遷2」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚シニアカレッジ学習室. (160名)
 田原直樹, 2007.2, 「都市の歴史を通してみた人と自然」, 講師, 丹波市小中学校教頭会研修会, 柏原公民館. (30名)
 田原直樹, 2007.2, 「環境と共生するまちづくり」, 講師, いなみ野学園地域活動指導者養成講座, いなみ野学園. (50名)
 田原直樹, 2007.2, 「都市の緑と人とのかかわり」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市立生涯学習大学校. (100名)
 田原直樹, 2007.2, 「兵庫県立人と自然の博物館の評価について」, 講師, 兵庫県博物館協会研究会, 兵庫県立人と自然の博物館. (30名)
 田原直樹, 2007.2, 「ひととく連携活動グループによる地域ネットワークの形成」, 講師, 国立科学博物館国際シンポジウム, 国立科学博物館. (150名)
 田原直樹, 2007.3, 「将来構想による挑戦」, 講師, 西日本自然史系博物館ネットワークフォーラム, 西宮浜公民館. (100名)
 田原直樹, 2007.3, 「市民参加のまちづくりを進めるために」, 講師, いなみ野学園大学院講座, いなみ野学園. (100名)

非常勤講師

2006.10-2007.3. 「都市設計論及び演習」, 兵庫県立大学.
 2006.10-2007.3. 「地域計画演習」, 兵庫県立淡路景観園芸学校.
 2006.4-2007.3. 大学院研究指導, 兵庫県いなみ野学園.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007.2 共生の広場 「地域子ども研究員の活動について」, さよう子どもアートスクール (指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校 (2名)
 2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校 (5名), 池田市立渋谷中学校 (1名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

■フェスティバル等

2006.11 ひととくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名
 2006.12, 深田公園うさぎ探検隊, 博物館. (10名)

■展示

企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(分担者).

2. シンクタンク事業

■自然環境情報調査

「地域資源のレフェュージアとしての公園調査」. 神戸市・芦屋市 (委託先: 大阪府立大学大学院).

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 25名.

■行政等支援

委員会等 (計16件)

2006.4-1. 揖保川流域委員会 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
 2006.4-1. 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県.
 2006.4-1. 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民局.
 2006.8-1. 中播磨臨海部再生ビジョン有識者懇談会, 委員長, 兵庫県中播磨県民局.
 2007.1-3. 中播磨地域ビジョン委員審査会, 委員, 兵庫県中播磨県民局.
 2006.4-1. SSH運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
 2006.4-1. 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市.
 2006.4-1. 姫路市景観審議会, 委員, 姫路市.
 2006.9-10. 姫路市景観賞選考委員会, 委員, 姫路市.
 2006.9-1. 加東市総合計画審議会, 会長, 加東市.
 2006.9-1. 三田市環境保全審議会, 会長, 三田市.
 2006.4-1. ベンチマーク策定委員会, 委員, 日本博物館協会.

2006.4-1. 有馬富士公園運営・計画委員会, 委員, 兵庫県公園協会.
 2006.4-1. 丹波OB大学運営委員会, 委員, (財)丹波の森協会.
 2006.4-1. 宝塚ブランド(発掘・創出)特別委員会, 委員, 宝塚市商工会議所.
 2006.4-1. 宝塚ブランド(発掘・創出)特別委員会作業部会, 部長, 宝塚市商工会議所.

相談・指導助言

来訪者5件, 15名. 電話・FAX相談5件, メール相談5件.

宮崎 ひろ志, Hiroshi MIYAZAKI

コミュニティデザイン (都市再生) 研究グループ / 企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 講師.

昭和34年兵庫県生. 神戸大学工学部環境計画学科卒業. 博士 (工学). 日本建築学会, 日本リモートセンシング学会, 空気調和・衛生工学会所属.



＜事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事＞

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室ネクスト担当グループ
 展示・施設整備担当, 基本構想策定補助, パブリックコメントとりまとめ, 事業戦略検討会議事務局

＜研究開発＞

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 都市ヒートアイランドの研究
 2. 環境共生居住に関する研究

■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者.
 総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Tanaka, Moriyama, Miyazaki & Sasagawa (2006) "Detailed analysis of summer radiative temperature in Osaka central area using airborne thermal image and GIS". First Workshop of the EARSeL Special Interest Group on Urban Remote Sensing "Challenges and Solutions", 1-10.

■その他著書

◎客野尚志・宮崎ひろ志 (2006) 方向別の土地利用が気温形成に与える影響. 日本建築学会学術梗概講演集, D-1分冊, 461-462.
 ◎宮崎ひろ志・客野尚志 (2006) 土地被覆評価を目的とした衛星による狭帯域アルベド推定. 日本建築学会学術梗概講演集, D-1分冊, 485-486.
 ◎客野尚志・宮崎ひろ志 (2007) 都市の気候環境地図 (クリマアトラス) の作成にむけて. 環境情報科学, 35(3), 68-69.

■研究発表

客野尚志・宮崎ひろ志 (2006) 「方向別の土地利用が気温形成に与える影響 正規化植生指標の分布に着目して」. 日本建築学会, 横浜市, 日本建築学会大会梗概集D-1分冊, 461-462.
 宮崎ひろ志・客野尚志 (2006) 「土地被覆評価を目的とした衛星による狭帯域アルベド推定」. 日本建築学会, 横浜市, 日本建築学会大会梗概集D-1分冊, 485-486.

■学会役員など

日本建築学会環境工学委員会都市環境・都市設計運営委員会都市環境気候図小委員会, 委員

■海外調査

2006.3 イギリス, コーンウォール

＜事業推進＞

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

宮崎ひろ志, 2006.8, 「人工衛星から見た世界」, 大セミナー室.

(36名)

宮崎ひろ志, 2006. 8, 「教室で実践する温暖化対策」, 大セミナー室. (20名)

宮崎ひろ志, 2006. 10, 「人と自然の共生を考える (■都市の環境問題)」, 兵庫県神戸学習センター. (33名)

宮崎ひろ志, 2007. 2, 「都市だけが熱くなる 市民がいまできること」, 県立神戸生活創造センター. (30名)

館外講演

宮崎ひろ志, 2006. 7, 「高齢者大学: 都市環境を考える」, 講師, 西はりま文化会館, 西はりま文化会館. (100名)

宮崎ひろ志, 2006. 7. 8, 「大学連携ひょうご講座: 暑くなる兵庫の都市-ヒートアイランド現象からみた都市-」, 講師, 兵庫県立大学, 県立神戸学習プラザ. (40名)

宮崎ひろ志, 2006. 7, 「光と生活」, 講師, 西宮市宮水学園, 西宮市宮水学園. (75名)

宮崎ひろ志, 2006. 9. 2, 「日本造園学会: 環境シンポジウム」, パネリスト, 日本造園学会, 大阪府立大学. (215名)

宮崎ひろ志, 2006. 10, 「淡路かがやき未来塾」, 講師, 淡路かがやき未来塾, 洲本市. (9名)

宮崎ひろ志, 2006. 10, 「都市整備公団: 郊外と自然のふれあい, 北六甲の自然」, 講師, 都市整備公団, 大阪市. (200名)

宮崎ひろ志, 2006. 11, 「丹波の森大学 OB: エコエネ健康生活」, 講師, 丹波の森公苑, 丹波の森公苑. (40名)

宮崎ひろ志, 2007. 1, 「丹波の森大学 OB: 宇宙から見た丹波の環境」, 講師, 丹波の森公苑, 丹波の森公苑. (40名)

宮崎ひろ志, 2007. 1, 「阪神シニアカレッジ: 海賊と宇宙」, 講師, 阪神シニアカレッジ, 宝塚市ソリオ 2. (150名)

非常勤講師

2006. 6-2006. 7 「人と自然の共生」, 兵庫県立大学.

2006. 7-2006. 7 「自然とデザイン 都市のデザイン」, 神戸芸術工科大学.

■キャラバン事業

副担当

2006. 10 神戸地区 テーマ「六甲山」

2006. 6. 5 神戸地区 野外展示「六甲山開祖の碑復活ライトアップ」, 六甲山自然観察センター

リサーチプロジェクト

2005. 3-2006. 4 サクラ開花日調査 (実施・企画運営)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 6. 6 -6. 9, 藍中学校. (2名)

2006. 11. 8, 神戸市立北神戸中学校. (5名), 池田市立渋谷中学校. (1名)

学校団体対応

2006. 5 「環境学習実感クイズ」, 尼崎市立立花南小学校. (97名)

2006. 7 「人工衛星から見た世界」, 兵庫県立大学付属高等学校. (40名)

2006. 8 「暑さ寒さと環境問題」西宮市理科担当小中学校教員研修会. (28名)

2006. 8 「ソーラーッキング」西宮市小学校 生活科部会. (48名)

2006. 10 「環境のはなし」神戸市立榎野台小学校 4年生. (99名)

2006. 10 「環境学習実感クイズ」神戸市立西脇中学校, ホロンピアホール. (182名)

2006. 10 「環境学習実感クイズ」神崎中学校. (79名)

2006. 11 「環境学習実感クイズ」天王寺川中学校, 大セミナー室. (302名)

2007. 3 「環境学習実感クイズ」神戸市立御影中学校, ホロンピアホール. (181名)

講師派遣

2006. 10 「研究者のしごと」, 三木高等学校特色化支援事業, 三木市. (8名)

2006. 11 「宝塚の環境 100 年」宝塚市環境リーダー養成講座, 中山寺. (40名)

2006. 11 市民と大学の環境フォーラム, 神戸大学発達科学部. (120名)

2007. 2 神戸市立筑紫が丘小学校, 3年生. (200名)

2007. 2 「都市の環境問題」, 講師, クラーク記念高等学校, 芦屋市. (30名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006. 8. 21-8. 25, 京都府立大学 1名, 龍谷大学 1名.

卒論生等

2002. 4. 1-2002. 3. 31, 本庄裕香 (兵庫県立大学環境人間学部), 「都市建築計画のための冬季ヒートアイランド基礎的研究-サクラ開花日による気温分布推定-」.

■フェスティバル等

2006. 11 ひとくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

■展示

企画展

2007. 2. 17-2007. 6. 10, 企画展「共生の風景」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「六甲山を舞台とした市民団体活動に関する調査研究」, 研究分担者, 兵庫県神戸県民局 (200万円)

■行政等支援

委員会等 (計5件)

2005. 10- 丹波市都市計画審議会, 委員・委員長, 丹波市

2005. 4- 兵庫県立尼崎小田高等学校スーパーサイエンスハイスクール委員会, 委員, 兵庫県立尼崎小田高等学校

2006. 2- 神戸市環境教育研究会, 委員, 神戸市

2005. 3- グラスパーキング評価検討委員会, 委員, 兵庫県

2006. 9- 丹波市住宅マスタープラン検討委員会, 委員・委員長, 丹波市

客野 尚志, Takashi KYAKUNO

都市再生研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和46年京都府生. 大阪大学大学院工学研究科博

士後期課程修了. 博士(工学). 日本建築学会, 日

本都市計画学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門生涯学習推進室シンクタンク活動グループ

出版・発信コンテンツ開発担当, メルマガシステム更新, ネクストコンテンツ開発担当, 共生の広場開催補助など

2. 研究開発部門

「館報 2005」研究開発部門担当分とりまとめ

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 都市の土地利用変化とその環境に対する影響の評価に関する研究

2. 数理モデルによる人工衛星データの環境解析技術の開発

■共同研究

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者.

総合共同研究「兵庫県但馬地域における自然遺産の開拓と統合化に関する研究」, 研究分担者.

■その他著作

◎客野尚志・宮崎ひろ志 (2006) 方向別の土地利用が気温形成に与える影響. 日本建築学会学術梗概講演集, D-1 分冊, 461-462.

◎宮崎ひろ志・客野尚志 (2006) 土地被覆評価を目的とした衛星による狭帯域アルベド推定. 日本建築学会学術梗概講演集, D-1 分冊, 485-486.

◎客野尚志・宮崎ひろ志 (2007) 都市の気候環境地図 (クリマアトラス) の作成にむけて. 環境情報科学 35(3), 68-69.

■研究発表

◎客野尚志 (2005) 方向別の土地利用が気温形成に与える影響. 日本建築学会, 神奈川大学, 横浜市.

◎客野尚志・宮崎ひろ志 (2007) 都市の気候環境地図 (クリマアトラス) の作成にむけて. 環境情報科学ポスターセッション, 大阪府立大学, 堺市.

■学会役員など

日本建築学会, 環境工学委員会空間利用データ小委員会・委員.
日本都市計画学会, 査読部会.
日本造園学会, 校閲委員.
日本土木学会環境システム研究, 査読委員.

■助成を受けた研究

フラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(80万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.7 姫路北部の景観写真など
2005.7-9 都市環境計画に資する各地の気温
2007.12 但馬地域の景観写真など

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

客野尚志, 2006.5, 「数字とキーワードでみる地球環境問題2006」, 博物館. (7名)
客野尚志・宮崎ひろ志・長谷川太一, 2006.6, 「レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 身近な環境を調査しよう～都市環境を調べる～」, 博物館. (全2回, 18名)
客野尚志・宮崎ひろ志・長谷川太一, 2006.6, 「レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 都市環境を調査する」, 博物館. (18名)
客野尚志, 2006.8, 「地球温暖化とヒートアイランドの現在」, 博物館. (90名)
客野尚志・長谷川太一, 2006.8, 「太陽の力を測ろう」, 博物館. (50名)
客野尚志, 2006.8, 「博物館まごごと一日体験オープンミュージアム ～ヒートアイランド問題を考える・手作り百葉箱づくり～」, 博物館. (8名)
客野尚志, 三橋弘宗, 布施静香, 黒田有寿茂, 2006.9, 「Utilization of GIS for environmental management」 JICA研修生, 博物館. (9名)
客野尚志, 2006.12, 「景色の温度を測ろう?」, クラーク記念国際高校―芦屋キャンパス, (100名)
客野尚志, 2007.2, 「20世紀の地球温暖化と将来予測」, 神戸生活創造センター. (35名)

館外講演

客野尚志, 2006.6 「この暑さどうなってるの - ヒートアイランド問題を考える-」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ. (155名)
客野尚志, 2006.8 「暑くなる都市 - ヒートアイランドの現在-」, 豊中市教育委員会環境教育研修会, 講師, 豊中市教育センター. (40名)
客野尚志, 2006.10 「地球温暖化と身近な環境」, 淡路21世紀未来塾, 講師, 洲本市文化体育館. (20名)
客野尚志, 2006.11 「身近な環境を測ろう」, 宝塚市民大学「環境リーダー入門講座」, 講師, 宝塚市環境局, 宝塚ソリオ. (50名)
客野尚志, 2006.11 「私達の生活と地球温暖化」, 講師, 兵庫広域防災センター「ひょうご防災リーダー養成講座」, 兵庫広域防災センター. (50名)

ラジオ・TV出演等

客野尚志, 2006.6, 「都市のヒートアイランド問題」「都市の水」, ひとはく博士のラジオプチセミナー, 三田ハニーFM.

■キャラバン事業

主担当

2006.7-8 中播磨地区(姫路市)「自然環境と生物多様性」

副担当

2006.7 学校キャラバン(姫路市立余部小学校)「自然環境と生物多様性」

展示作成

2006.7-8 中播磨地区(姫路市) 生物多様性に関する解説パネル
2007.2-3 阪神南地区(芦屋市) 芦屋川と芦屋の緑地に関する

る解説パネル

リサーチプロジェクト

2006.6 阪神北地域 ため池の水生植物(企画運営)

セミナー担当

客野尚志, 2006.7, 「太陽の力を測ろう!」, 姫路市伊勢自然の里・環境学習センター. (全2回, 50名)
客野尚志, 2007.3, 「ヒートアイランドの解決に都市の緑と水が果たす役割」. (24名)
客野尚志, 2006.7, 「環境の温度を測ってみよう」, 姫路市立余部小学校. (全2回, 100名)

■ミニキャラバン事業

2006.5 みんなくフェスティバル(分担者), 国立民俗学博物館.
2006.6, 丹波の森フェスティバル(分担者), 丹波の森フェスティバル実行委員会, 丹波の森公苑

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.6-6.9, 藍中学校(2名)
2006.11.8, 神戸市立北神戸中学校(5名), 池田市立渋谷中学校(1名)

学校団体対応

2006.4 大阪府立泉北高校. (34名)
2006.4 大阪府立桃山高校. (87名)
2006.5 大阪府立住吉高等学校. (32名)
2006.6 兵庫県立西脇工業高校. (42名)
2006.6 兵庫県立有馬高校. (12名)
2006.7 芦屋市立山手小学校. (24名)
2006.7 和歌山県立向陽高校. (75名)
2006.9 和歌山県立海南高校. (42名)
2006.10 茨木市立大池小学校. (129名)
2006.10 たつの市立御津中学校. (124名)
2006.10 小生聖心女子学院小学校. (89名)
2006.11 クラーク記念国際高校三田キャンパス. (25名)
2006.12 大阪府立北野高校. (34名)

講師派遣

2007.10 「地球温暖化について」, 狭間が丘小PTA, 三田市立狭間が丘小学校. (40名)
2007.2 「広域ヒートアイランド調査結果速報」, JST 理数大好きモデル事業, 神戸教育センター. (40名)

■研修生等の受入

博物館実習

2006.8.21-8.25, 京都府立大学1名, 龍谷大学1名.

■フェスティバル等

2006.11 ひとはくフェスティバル, ぬり絵ひょうご立版古づくり, 200名

■展示

企画展

2007.2.17-2007.6.10, 企画展「共生の風景」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「立体地図を用いた西播磨地域の景観写真検索システムの開発に関する研究」. 西播磨県民局上郡土地改良事務所, 研究分担者(220万円)

■行政等支援

委員会等(計4件)

2007.4- 多自然居住地域における安心・安全に関する研究会, 研究者・事務局, (財)ひょうご21世紀震災記念機構安心安全研究所.
2007.8 丹波集落活性化戦略調査委員会ワーキング部会, 部会長, (財)丹波の森協会.
2007.11 環境教育副読本編集委員会, アドバイザー, 義務教育課.
2007.1-3 丹波風景街道シンポジウム, 東部デンカンショ街道部会コーディネーター, (財)丹波の森協会

相談・指導助言 2件

3. 特別プロジェクト

丹波恐竜化石発掘調査プロジェクト

事務局, 函面および調整会議議事録の作成など

○自然・環境再生研究部

服部 保, Tamotsu HATTORI

植生創出研究グループ/生涯学習推進室
研究部長/生涯学習推進室長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源
研究部門 教授.

昭和23年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究
科博士課程修了. 学術博士. 日本生態学会, 日本
造園学会, 植生学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室
生涯学習推進室長
2. 研究開発部門
部門研究調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究
2. 森づくりに関する総合的な研究
3. 里山, 草原, 照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究代表者.

■論文・著書

- Aoki K., Matsumura T., Hattori, T. and Murakami N. (2006) Chloroplast DNA phylogeography of *Photinia glabra* (Rosaceae) in Japan. *American Journal of Botany*, 93, 1852-1858.
- 澤田佳宏・服部 保・内田 圭 (2006) 国版および地方版レッドデータブックから見た日本の海岸植物の絶滅危惧の現状—本州・四国・九州における状況. *環境情報科学*, No. 20, 71-76.
- 服部 保・南山典子・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2007) かしわもちとちまきを包む植物に関する植生学的研究. *人と自然*, No. 17, 1-11.

■その他著作

- ◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小舘誓治・鈴木 武 (2006) 武庫川流域に残る2つの湿原. *武庫川散歩*, 53-60.
- ◎伊藤拓夫・笠松光明・池田香奈子・三宅昭仁・服部 保 (2007) 武庫川上流におけるツクシガヤ個体群の生育環境. *人と自然*, No. 17, 43-51.
- ◎栃本大介・服部 保・武田義明・澤田佳宏・石田弘明・福井 聡 (2007) 六甲山に生育するブナの分布位置と個体サイズ. *人と自然*, No. 17, 79-84.
- 田村和也・服部 保 (2007) 鹿児島県栗野岳における照葉樹林の埋土種子相. *人と自然*, No. 17, 137-142.
- 澤田佳宏・中西弘樹・押田佳子・服部 保 (2007) 日本の海岸植物チェックリスト. *人と自然*, No. 17, 85-101.
- ◎養田勝則・山口賢一・鈴木敏弘・南 則夫・玉水通則・服部 保 (2007) 洪水による円山川水系の植生動態. *人と自然*, No. 17, 53-65.
- 青木京子・服部 保 (2006) 植物地理学の立場から緑化植物の地域性を考える. *ランドスケープ研究*, 70 (1), 11-14.
- 服部 保 (2006) 照葉樹林という用語について. *植生情報*第10号, 9-14.
- 服部 保 (2006) 里山から都市山へ. *読売新聞* (2006. 4. 25 夕刊).
- 服部 保 (2006) 昆陽池公園水辺環境再生調査検討会議, 水辺環境再生事業について. 60. *伊丹市環境報告*, 伊丹市市民部環境保全課.
- ◎服部 保 (2006) 自然. *神戸学*, 神戸新聞総合出版センター, 71-84.
- ◎服部 保・他監修 (2006) 六甲・まや 101の大疑問. *神戸新聞総合出版センター*, 124p.
- 服部 保 (2007) 工場緑化と生物多様性—緑化の新しい視点—. *ビオトープ*, 19, 3-5.
- 服部 保 (2007) 市民の手で里山再生を. *神戸新聞* (2007. 1. 15 朝刊).
- ◎服部 保 (2007) 兵庫の自然史「氷上回廊」改訂版. *兵庫県立人と自然の博物館*, 4p.
- 辻 秀之・田村和也・服部 保・中瀬 勲・一ノ瀬友博・橋 俊光・

林 健児・土江廣幸 (2007) 尼崎の森中央緑地における生態的森林創出の計画技術. *造園技術報告集* No. 4: 20-23.

◎服部 保・澤田佳宏・赤松弘治 (2007) “都市山”六甲山の植生管理マニュアル. *神戸農林水産振興事務所・兵庫県立人と自然の博物館*, 32p.

■研究発表

- 服部 保 (2006) かしわもちとちまきの植生学的研究. *植生学会第11回大会*, 信州大学松本校舎, 松本市.
- 橋本佳延・服部 保 (2006) 東北地方におけるタケ類天狗巣病による竹林枯死の現状. *植生学会第11回大会*, 信州大学松本校舎, 松本市.
- 栃本大介・服部 保・岩切康二 (2006) 宮崎県綾町の照葉原生林における着生植物の種多様性. *植生学会第11回大会*, 信州大学松本校舎, 松本市.
- 田村和也・服部 保 (2006) 照葉樹林の埋土種子層. *植生学会第11回大会*, 信州大学松本校舎, 松本市.
- 澤田佳宏・松村俊和・黒田有寿茂・服部 保 (2006) スキー場は草原生植物の避難場所として機能するか? 兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成. *植生学会第11回大会*, 信州大学松本校舎, 松本市.
- 黒田有寿茂・澤田佳宏・服部 保 (2006) 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較. *植生学会第11回大会*, 信州大学松本校舎, 松本市.
- 辻 秀之・田村和也・服部 保・中瀬 勲・一ノ瀬友博・橋 俊光・林 健児・土江廣幸 (2006) 尼崎の森中央緑地における森林創出の試み. *環境情報大阪ポスターセッション*, 大阪府立大学学術交流会館, 堺市.

■学会役員など

植生学会, 運営委員.

■助成を受けた研究

- 生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策. *日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C)*, 研究代表者 (80万円).
- 兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査. 平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究代表者 (130万円).
- 人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—. *日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)*, 研究分担者 (分担金なし/総額832万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 植物および植生景観の映像資料収集. *神戸市, 社町, 宝塚市, たつの市, 伊丹市, 三田市, 川西市, 大阪府, 北海道 (札幌市, 函館市, 釧路市), 長崎県, 高知県, 岩手県, 新潟県, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄県 (本島, 石垣島, 宮古島, 西表島), 和歌山県, 愛媛県.*
2006. 4-2007. 3 照葉樹林の映像資料収集. *沖縄県, 鹿児島県, 宮崎県.*

■整理同定担当資料

植物および植生景観, 照葉樹林の映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

- 服部 保, 2006. 6, 「植物の不思議な利用—粽と柏餅と柿葉鮭と朴葉みそと・・・—」, *博物館*. (52名)
- 服部 保, 2006. 10, 「里山植物・講義と観察—ジーンファーム見学もあわせて—」, *博物館*. (53名)
- 服部 保, 2006. 8, 「ジーンファームツアー」, *博物館*. (10名)
- 服部 保, 2006. 4, 「特注セミナー 照葉樹林と文化」, なゆた会, *博物館*. (25名)
- 服部 保, 2006. 4, 「特注セミナー 万葉集から見た日本の自然」, NPO法人ひょうご森の倶楽部, *博物館*. (55名)
- 服部 保, 2006. 5, 「館内依頼講演 絶滅危惧植物」, 講師, 姫路市立生涯学習大学校, *人と自然の博物館*. (40名)
- 服部 保, 2006. 6, 「特注セミナー 里山」, 森林インストラクター兵庫支部, *博物館*. (25名)
- 服部 保, 2006. 6, 「館内依頼講演 森づくりの基礎知識」, 講師,

尼崎 21 世紀の森 中央緑地を育てる勉強会, 兵庫県阪神南県民局, 人と自然の博物館. (39 名)

服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 生物種の絶滅から里山の保全へ」, シニア自然大学, 博物館. (54 名)

服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 里山林の基礎知識」, NPO 法人ひょうご森の倶楽部, 博物館. (70 名)

服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 照葉樹林から里山へ」, シニア自然大学, 博物館. (64 名)

服部 保, 2006. 7, 「特注セミナー 森林と人間文化」, 兵庫みどり公社, 博物館. (20 名)

服部 保, 2006. 7, 「館内依頼講演 生物種の保全」, 講師, 神戸シルバークレッジ, 人と自然の博物館. (89 名)

服部 保, 2006. 10, 「里山と湿原の保全」, 宝塚市環境管理課, 博物館. (35 名)

服部 保, 2006. 10, 「特注セミナー 日本一の里山」, 武庫川女子大学附属高校, 博物館. (41 名)

服部 保, 2006. 11, 「特注セミナー 日本の森」, シニア自然大学, 博物館. (34 名)

服部 保, 2006. 11, 「特注セミナー 外来種と生物種の保全」, 国土環境緑化協会, 博物館. (24 名)

服部 保, 2006. 11, 「館内依頼講演 さとやまを学ぶ」, 講師, けやき台小学校 5 年生, 博物館. (107 名)

服部 保, 2006. 12, 「特注セミナー 川西市黒川の里山林の管理について」, 菊炭友の会, 博物館. (15 名)

館外講演

服部 保, 2006. 4, 「講演 生物種の絶滅と生物多様性」, 講師, 人と植物コース①, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 4, 「講演 森林のはたらき: 照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバークレッジ. (70 名)

服部 保, 2006. 4, 「講演 植物種保全への取組み①フジバカマ」, 講師, 人と植物コース②, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 5, 「講演 植物種保全への取組み②外来種対策」, 講師, 人と植物コース③, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 5, 「講演 ひょうごの自然・環境十話〜(1)森が語る兵庫の自然〜森が動く〜」, 講師, 大学連携ひょうご講座, ひょうご大学連携事業推進機構事務局. (50 名)

服部 保, 2006. 5, 「講演 自然と里山」, 講師, 市民セミナー スローライフと大人の食育, 宝塚市立中央公民館. (30 名)

服部 保, 2006. 5, 「講演 猪名川自然林のお話し」, 講師, 猪名川自然林サポーター養成講座, 尼崎市. (40 名)

服部 保, 2006. 6, 「講演 植物群落とは何か」, 講師, 人と植物コース⑤, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 6, 「講演 里山林について」, 講師, 北摂情報文化懇話会, 神戸新聞社. (50 名)

服部 保, 2006. 7, 「講演 猪名川流域の里山植生の現状」, 講師, 猪名川町生涯学習カレッジ リバグレス猪名川. (30 名)

服部 保, 2006. 7, 「講演 世界の植生②熱帯雨林の自然」, 講師, 人と植物コース⑦, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 7, 「講演 猪名川河川敷の植生と外来植物」, 講師, 猪名川町生涯学習カレッジ リバグレス猪名川. (30 名)

服部 保, 2006. 7, 「講演 里山林について」, 講師, 篠山市立村雲小学校. (10 名)

服部 保, 2006. 8, 「講演 日本の里山・兵庫の里山」, 講師, 丹波の森大学. (70 名)

服部 保, 2006. 9, 「講演 はげ山から都市山へ」, 講師, 施設ネットワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひょうご環境創造協会. (40 名)

服部 保, 2006. 9, 「講演 日本の植生①植生と環境条件」, 講師, 人と植物コース⑨, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 9, 「講演 神戸学」, 講師, 神戸学セミナー, 神戸新聞総合出版センター. (200 名)

服部 保, 2006. 9, 「講演 日本の植生②照葉樹林」, 講師, 人と植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2006. 9, 「調査実習 猪名川上流域里山勉強会」, 講師, 兵庫県阪神北県民局. (33 名)

服部 保, 2006. 10, 「講演 里山の基礎知識」, 講師, NPO みのお山麓保全委員会. (20 名)

服部 保, 2006. 10, 「調査実習 里山林調査」, 講師, 菊炭友の会, 兵庫県阪神南県民局. (20 名)

服部 保, 2006. 10, 「講演 日本一の里山」, 講師, 施設ネット

ワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひょうご環境創造協会. (30 名)

服部 保, 2006. 10, 「講演 猪名川上流域の里山と菊炭」, 講師, 菊炭体験講座, シニア自然大学. (30 名)

服部 保, 2006. 10, 「講演 河川植生のあり方」, 講師, 河川環境管理財団. (20 名)

服部 保, 2006. 10, 「講演 日本の里山と六甲の都市山」, 講師, 六甲山系里山フォーラム, 兵庫県神戸県民局. (50 名)

服部 保, 2006. 10, 「講演 工場緑化林の種多様化」, 講師, 植林フォーラム, NPO 黄河の森緑化ネットワーク. (100 名)

服部 保, 2006. 10, 「観察会 日本一の里山を学ぶ勉強会」, 講師, 兵庫県阪神北県民局. (30 名)

服部 保, 2006. 11, 「講演・実習 里山」, 講師, ずっと地球と生きる学校プロジェクト, 読売新聞・有野台小学校. (60 名)

服部 保, 2006. 11, 「講演 生物交流の場 こうべと都市山六甲山」, 講師, 実践こうべ学, 兵庫県神戸県民局. (20 名)

服部 保, 2006. 11, 「講演 里山を知ろう」, 講師, 森の楽校 in school, 北六甲台小学校. (60 名)

服部 保, 2006. 11, 「講演 日本一の新しい里山」, 講師, 施設ネットワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひょうご環境創造協会. (30 名)

服部 保, 2006. 11, 「講演 里山の現状とこれからの里山のあり方」, 講師, 琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会. (30 名)

服部 保, 2006. 12, 「講演 里山と湿原の植生管理」, 講師, 甲山森林サポーター講座, 甲山自然環境センター. (50 名)

服部 保, 2006. 12, 「講演・実習 照葉人工林」, 講師, アマフォレストの会, 兵庫県阪神南県民局. (30 名)

服部 保, 2006. 12, 「観察会 第 15 回みちカフェ見学会」, 講師, 国土交通省近畿地方整備局. (20 名)

服部 保, 2006. 12, 「観察会 昆陽池公園樹林」, 講師, 伊丹の自然を守り育てる会森部会. (20 名)

服部 保, 2007. 1, 「講演 里山の現状と課題」, 講師, 里山入門講座, 櫻守の会. (50 名)

服部 保, 2007. 1, 「講演 里山の保全①雑木林」, 講師, 人と植物コース⑥, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2007. 1, 「講演 日本の自然」, 講師, 異文化理解のための特別講座, 鈴鹿工業高等専門学校. (20 名)

服部 保, 2007. 1, 「講演 里山の現状とこれからの里山のあり方」, 講師, 総合的な学習の時間, 兵庫県立福岡高校. (39 名)

服部 保, 2007. 1, 「講演 考えよう! いたみの環境」, 講師, 伊丹市環境フォーラム, 伊丹市環境保全課. (100 名)

服部 保, 2007. 1, 「総括会議 六三ー環境学習セミナー」, 講師, ひょうご環境創造協会. (20 名)

服部 保, 2007. 1, 「調査実習 昆陽池公園調査」, 講師, 伊丹の自然を守り育てる会森部会. (20 名)

服部 保, 2007. 2, 「講演 里山の現状と今後の課題」, 講師, 自然環境保全分科会準備会, 近畿地方環境事務所. (20 名)

服部 保, 2007. 2, 「講演 森が語る兵庫の自然」, 講師, 兵庫 JCC 協同組合研究会, 兵庫県協同組合連絡協議会. (50 名)

服部 保, 2007. 2, 「講演 次世代へつなぐ森づくりとは一どうするこれからの森の育成活動」, 講師, 街中の森づくりセミナー, 塚千年の森クラブ. (40 名)

服部 保, 2007. 2, 「講演 植生と文化 万葉集の植物群落」, 講師, 人と植物コース⑩, 姫路市立生涯学習大学校. (70 名)

服部 保, 2007. 3, 「講演 六甲・摩耶学セミナー」, 講師, 神戸新聞総合出版センター. (300 名)

服部 保, 2007. 3, 「実習 園芸植物の植栽」, 講師, 森の楽校, 国土交通省阪神国道事務所. (30 名)

服部 保, 2007. 3, 「講演 タマムシのとぶ森づくりとは?」, 講師, 猪名川自然林サポータークラブ, 尼崎市. (50 名)

服部 保, 2007. 3, 「講演 一庫ダム周辺の自然とエドヒガン」, 講師, 第 3 回明湖湖周辺エドヒガン植樹会, 一庫ダム管理所. (120 名)

服部 保, 2007. 3, 「講演 六甲山の樹林整備」, 講師, 六甲山の緑の歴史と樹林整備手法について, 国土交通省六甲砂防事務所. (200 名)

服部 保, 2007. 3, 「講演 日本の里山について」, 講師, 里地里山保全再生モデル事業 地域戦略策定懇談会, 環境省, 人と自然の博物館. (50 名)

非常勤講師

- 2006.5.15 人と自然の共生(分担講義), 兵庫県立大学.
2006.9.27, 28 共生生物学(分担講義), 兵庫県立大学.
2007.2.21 環境教育2クラス(分担講義), 関西学院大学.

■学校教育支援

学校団体対応等

- 2006.10, 武庫川女子大学附属高校1年生.(41名)
2006.11, 三田市立けやき台小学校5年生.(107名)
2006.11, 西宮市立北六甲台小学校3年生.(60名)
2006.11, 神戸市立有野台小学校5,6年生.(60名)
2007.1, 兵庫県立福崎高等学校2年生.(39名)
2007.1, 国立鈴鹿工業高等専門学校5年生.(20名)

■展示

ミニ企画展等

- 2006.4.29-5.7, 臨時展示「かしわもちとちまき」(責任者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「平成18年度オグラコホネ等管理業務委託」. 兵庫県丹波県民局.
研究代表者(250万円)
「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」. 三田市.
研究代表者(100万円)
「造成工事等の植生に関する研究」. 猪名川上流広域ごみ処理施設
組合. 研究代表者(190万円)
「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」環
境省. 研究代表者(98.5万円)
「阪神北地域の里山林に関する調査」. 兵庫県阪神北県民局. 研究
代表者(189万円)
「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」. 兵
庫県神戸県民局. 研究代表者(250万円)
「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局.
研究代表者(110万円)
「武庫川ダム貴重植物の育成管理業務」. 財団法人ひょうご環境創
造協会. 研究代表者(40万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 10回, 50名.

■行政等支援

委員会等 (計52件)

- 1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査, アドバイザー, 国土
交通省近畿地方整備局.
1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査, アドバイザー, (独)水
資源機構.
1994.5-2007.3 猪名川総合開発事業余野川ダム環境調査検討委
員会, 委員, 国土交通省猪名川総合開発工事事務所.
1995.8- 自然環境アドバイザー, アドバイザー, 国土交通省近
畿地方整備局.
1996.5- 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市.
1996.7- 兵庫県緑化推進協会運営協議会, 委員, (社)兵庫県緑
化推進協会.
1996.10- 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市.
1997.9- 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県県民生活部.
1999.4- 岬町多奈川地区多目的公園計画に係わる土砂採取事業
環境監視データ解析検討委員会, 委員, (財)関西空港調査会.
1998.8- 環境アドバイザー, アドバイザー, (財)ひょうご環境
創造協会.
2000.10- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北
県民局.
2001.2- 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚市.
2001.9- 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿プロッ
ク調査会議, 委員, 環境省.
2002.1- 林田川水環境緊急改善推進協議会, 専門委員, 国土交
通省姫路河川国道事務所.
2002.2- 中山荘園古墳整備委員会, 委員, 宝塚市.
2002.3- ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協
会.
2002.7- 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市.
2002.12- 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県.
2003.1- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県但
馬県民局.
2003.3-2007.3 円山川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方

整備局.

- 2003.3- ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさきの森公
園運営協議会.
2003.3- 一庫ダム水源地域ビジョン策定協議会委員会, 委員,
(独)水資源機構.
2003.9- 里山再生推進モデル事業検討委員会, 委員長, 近畿中
国森林管理局.
2003.12- 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会, 調査委員,
文部科学省.
2004.1- 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪名川河川
事務所.
2004.3- 神戸地区稀少植物等の保全対策検討会, 委員, 日本緑
化センター.
2004.11- 国営明石海峡公園 公園事業座談会, 委員, (社)日
本公園緑地協会.
2004.11- 北摂地域里地里山保全再生モデル事業懇談会, 専門委
員, (財)自然環境研究センター.
2004.12-2007.3 六甲山自然保護センター運営協議会, 会長, 兵
庫県神戸県民局.
2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員長, 兵庫県
阪神南県民局.
2005.4- 中山荘園古墳整備委員会, 委員, 宝塚市教育委員会.
2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業, 景観アドバイザー,
国土交通省六甲砂防事務所.
2005.4-2007.3 近畿地方整備局景観アドバイザー, アドバイザ
ー, 国土交通省近畿地方整備局.
2005.5- 宝塚西谷地区湿原群研究協議会, 委員長, 兵庫県阪神
北県民局.
2005.6-2007.6 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会,
委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.
2005.6- 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長, 南あわじ
市.
2005.7- 近畿地方整備局事業評価監視委員会, 委員, 国土交通
省近畿地方整備局.
2005.9- 里山管理ガイドライン市民懇話会, 座長, NPO山麓委員
会.
2005.12- 六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント
手法検討会, 委員, 国土交通省六甲砂防事務所.
2006.2- 生態系保全対策検討委員会, 委員, 兵庫県自然環境保
全課.
2006.4- 三田市新環境基本計画検討委員会, 委員, 三田市.
2006.6-2008.6 琵琶湖・淀川流域圏再生推進会議, 委員, 国土
交通省近畿地方整備局.
2006.6-2007.3 長谷ダムにおける「ダム水辺の生物調査」, アド
バイザー, 兵庫県西播磨県民局.
2006.7-2007.3 六甲山系里山研究会, 委員, 兵庫県神戸県民局.
2006.7-2009.3 昆陽池再生推進委員会, 委員長, 伊丹市.
2006.7- 史跡篠山城跡南堀に自生するハスの調査, アドバイザ
ー, 篠山市教育委員会.
2006.7- 緑の国土軸形成に向けた実践対策調査に関する協力,
アドバイザー, 日本海沿岸地帯振興連盟.
2006.8-2007.3 郷土の広葉樹種苗安定供給体制整備検討委員会,
委員, 兵庫県農林水産部.
2006.8- 平成18年度里山まつり実行委員会, アドバイザー, 兵
庫県宝塚農林振興事務所.
2006.11-2008.3 吹上海岸(吹上浜)環境再生検討委員会, 委員,
兵庫県淡路県民局.
2006.11-2007.3 里山ふれあい森づくり及び里山林等整備事業,
アドバイザー, (社)兵庫みどり公社.
2007.1- 野生動物育成林整備にかかる指導・助言, アドバイザ
ー, 兵庫県農林水産部.

相談・指導助言

来訪者175件, 電話・FAX相談100件, メール相談60件.

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

植生創出研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源
研究部門 講師.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科
修士課程修了. 農学博士(東京農工大学). 日本生
態学会, 植生学会, 植物地理・分類学会, 造園学会所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

2. 研究開発部門

2006年2月1日から2007年1月31日にかけて, マレーシア国立サバ
大学との国際交流事業の一環としてサバ大学に滞在し, JICAの「ボ
ルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム」への協力を行った.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 照葉樹林, ブナ林, 里山林の生物多様性と其の保全・復元に
関する研究
2. 絶滅危惧植物の保全に関する研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための生態学的基盤研究」, 研究
分担者.

■その他著作

石田弘明(2006)小面積化が孤立照葉樹林の種多様性に及ぼす影響
—異なる空間スケールの種多様性と樹林面積の関係. 植生情報,
10, 30-34.

石田弘明(2006)森をまもるための研究. ハーモニー, 53, 7.

Hiroaki Ishida, Hibiki Takahira-Ishida, Idris Mohd. Said and
Rimi Repin (eds.) (2006) Manual for Permanent Research Plot
in Crocker Range Park. BBEC Publication No. 63, pp. 53,
Universiti Malaysia Sabah/JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

◎栃本大介・服部 保・武田義明・澤田佳宏・石田弘明・福井 聡
(2007)六甲山に生育するブナの分布位置と個体サイズ. 人と自
然, 17, 79-84.

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小館誓治・鈴木 武
(2006)武庫川流域に残る2つの湿原. 武庫川散歩, 53-60.

■研究発表

Idris Mohd. Said, Rimi Repin and Hiroaki Ishida (2006) Permanent
Research Plot Project in Sabah. Crocker Range Park Permanent
Research Plot Seminar, Universiti Malaysia Sabah, Kota
Kinabalu.

石田弘明(2007)照葉樹林の種多様性評価に必要な視点. 第54回
日本生態学会大会, 愛媛大学, 松山市.

■学会役員など

植生学会, 庶務幹事.

植生学会, 表彰委員.

論文査読, 日本緑化工学会(9月).

■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対
策. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)研究分担者
(分担金なし/総額80万円).

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比し
て—. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), 研究分担
者(分担金なし/総額832万円).

兵庫県および国内におけるタケ類天狗栗病の蔓延による竹林の荒
廃に関する緊急調査. 平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助
成金, 研究分担者(分担金なし/総額130万円).

■受賞

奨励賞, 植生学会.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2007.2-2007.3 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集. 三
田市, 川西市, 篠山市, 鹿儿島県.

■整理同定担当資料

植物・植生映像資料.

種子標本.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2006.7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, マレー
シア. (18名)

館外講演

Hiroaki Ishida, 2006.6, Study trip to Lambir Hills National
Park, Sarawak to gain knowledge on the permanent research
plot project. BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.
(8 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.6, Characteristics of vegetation in
Crocker Range Park. Lecture, Soil survey workshop. BBEC
Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (12 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.7, First workshop for establishment of
permanent research plot at Mt. Alab. BBEC Programme, JICA,
Kota Kinabalu, Malaysia. (15 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.7, Ecological methods for forest
research. Lecture, EMCB Course, BBEC Programme, JICA, Kota
Kinabalu, Malaysia. (20 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.7, Methods of data analysis of tree
census. Lecture, EMCB Course, BBEC Programme, JICA, Kota
Kinabalu, Malaysia. (20 persons)

Akira Takahashi and Hiroaki Ishida, 2006.8, Workshop for
monitoring and maintenance of permanent research plot in
Crocker Range Park. (16 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.8, Second workshop for establishment
of permanent research plot at Mt. Alab. BBEC Programme, JICA,
Kota Kinabalu, Malaysia. (13 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.10, Workshop for establishment of
permanent research plot at Ulu Senangang. BBEC Programme,
JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (18 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.11, Crocker Range Park Permanent
Research Plot Seminar. BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu,
Malaysia. (80 persons)

Hiroaki Ishida, 2006.12, Workshop for establishment of
permanent research plot at Ulu Kimanis. BBEC Programme,
JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (17 persons)

Hiroaki Ishida, 2007.1, A proposal on activities following
BBEC Programme Phase 1. Lecture, Steering committee of the
Crocker Range Park Permanent Research Plot Project, BBEC
Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia. (8 persons)

石田弘明, 2007.3, 「BBECプログラムの活動とその成果」, 講
師, 国際協力公開シンポジウム(ボルネオ島での生物多様性保
全の経験と今後必要な取り組み), JICA, JICA 国際協力総合研
修所. (110名)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」. 三田市.
研究分担者(100万円)

■行政等支援

相談・指導助言

メール相談4件.

3. 特別プロジェクト

サバ・プロジェクト

JICA 国際協力事業「ボルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム」
の保全生物学専門家として, マレーシア国立サバ大学熱帯生物
学・保全研究所に1年間滞在(2006.2.1から2007.1.31).

小館 誓治, Seiji KODATE

植生創出研究グループ/生涯学習推進室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源
研究部門 助手

昭和37年福岡県立 神戸大学大学院自然科学研究
科博士課程修了。学術博士。日本生態学会、森林
立地学会、植生学会、日本ペドロロジー学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 生涯学習推進室スクールパートナー推進グループ
リーダー、学校等との連携に関するプログラムの開発

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 環境保全に関する土壌生態学的研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態
学的研究」、研究分担者。

■その他著作

- ◎小館誓治・福井 聡・武田義明(2006) 再度山永久植生保存地
における植生遷移と土壌理化学性(第7回)。「再度山永久植生保存
地調査報告書(第7回)」,神戸市建設局公園砂防部報告書,68-89.
- ◎小館誓治(2006) 武庫川上流域における「あるアカマツ林」での
出来事。江崎保男(編)。「武庫川散歩」,61-68.
- 小館誓治(2006) 博物館情報 兵庫県立人と自然の博物館。国立科
学博物館ニュース 第446号:30.

- ◎武田義明・大野百合子・山田聖士・福井 聡・小館誓治(2006)
再度山永久植生保存区における植物群落の遷移に関する研究 VI,
「再度山永久植生保存地調査報告書(第7回)」,神戸市建設局公
園砂防部報告書,3-67.

- ◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小館誓治・鈴木 武
(2006) 武庫川流域に残る2つの湿原。江崎保男(編)「武庫川
散歩」,53-60.

小館誓治・布施静香(2007) ひとつはくブック 深田公園での植物観
察。ひとつはく子ども教室事業推進委員会,20p.

小館誓治・布施静香(2007) 小さな子どもの生き物教室 子どもの
遊び場学びの場-植物編-。ひとつはく子ども教室事業推進委員会,
20p.

■研究発表

福井 聡・武田義明・小館誓治・高橋敬三(2006) 神戸市再度山永
久植生保存地におけるマツ林の遷移。植生学会第11回大会,信
州大学松本キャンパス,松本市。

■学会役員など

植生学会,庶務幹事および表彰委員代行。

■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対
策。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C),研究分担者
(分担金なし/総額80万円)。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4-2007.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集。三
田市,神戸市など。

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

小館誓治,2006.5,「植物観察 ~植物・植生の調べ方(初級)
~,博物館・深田公園。(22名)

小館誓治,2006.5,「六甲山「森の植物」観察会(春)」,六甲山。
(21名)

小館誓治,2006.6,「草本群落の調べ方 ~植物・植生の調べ方
(中級)~,博物館・深田公園。(18名)

小館誓治,2006.6-12,レッツ・チャレンジ自然環境調査入門「身
近な環境を調査しよう ~里山を調べる~(全2回)」,祥雲館
高等学校。(全2回,79名)

小館誓治,2006.9-10,「森林植生の調べ方 ~植物・植生の調べ
方(上級)~,有馬富士公園・有馬富士自然学習センター。(全
2回,25名)

小館誓治,2006.11,「六甲山「森の植物」観察会(秋)」,六甲山。
(32名)

館外講演

小館誓治,2006.7,「人間の活動と植生の変遷」,丹波の森リレー
講義,講師,丹波の森公苑。(33名)

■キャラバン事業

主担当

2007.3 北播磨地区「ひとつはくキャラバン in小野」

■ミニキャラバン事業

2006.4 有馬富士フェスティバル・ひとつはくミニキャラバン 自
然観察会講師(植物)。(24名)

2006.10 有馬富士フェスティバル・ひとつはくミニキャラバン
自然観察会講師(植物)。(6名)

■地域研究員養成事業

セミナー

2007.2 北播磨地域 指導員の役割について(北播磨市民活動支
援センター,講師)

■学校教育支援

学校団体対応

2006.4 神戸中華同文学校5・6年生。(162名)

2006.5 北摂第一幼稚園年長組。(70名)

2006.5 県立宝塚北高等学校1年生。(20名)

2006.5 大阪府立住吉高等学校1年生。(31名)

2006.6 北摂第一幼稚園年長組。(77名)

2006.7 神戸大学農学部植物資源学科3年生。(28名)

2006.7 芦屋市立山手小学校5年生。(37名)

2006.8 兵庫教育大学 初任者。(11名)

2006.8 西宮市教委理科研修。(22名)

2006.8 京都市立嘉楽中学校2・3年生。(10名)

2006.9 宝塚市立宝梅中学校1年生。(30名)

2006.11 北摂第一幼稚園年長組。(75名)

2006.12 県立有馬高校1年生。(37名)

2007.2 北摂第一幼稚園年長組。(81名)

講師派遣

2006.5「里山を知る前に木を知る」,県立祥雲館高等学校1年生。
(320名)

2006.5「里山実習『里山景観をみる』」,県立祥雲館高等学校1年
生。(320名)

2006.10「校庭の樹木図鑑づくり」,神戸市中学校研究会理科部会。
(26名)

2007.2 神戸市立糞台小学校5年生。(76名)

2007.2 西宮市立山口小学校4年生。(90名)

■研修生等の受入

博物館実習

2007.8.21-8.25 神戸芸術工科大学 学部学生1名。

■フェスティバル等

2006.11 ひとつはくフェスティバル,「ひとつはく採れ取れビンゴ(植
物)」(責任者)。

2006.11 深田公園探検隊「ドングリともみじ」,深田公園・人と自
然の博物館。(12名)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム案内,4回,82名。

生物系収蔵庫等案内,2回,25名。

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX相談10件。

橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO

植生創出研究グループ/企画調整室

研究員

昭和51年愛知県生。神戸大学大学院総合人間科学研究科修士課程修了。学術修士。日本生態学会、植生学会、環境教育学会、造園学会等所属。



<事業部での配属もしくは研究開発部門での仕事>

1. マーケティングおよびマネジメント部門企画調整室企画調整グループ
マーケティングマネージャー、月例報告会運営、事業推進会議書記、中期目標とりまとめ、館報編集
2. 研究開発部門
資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 国内の竹林におけるタケ類天狗巣病の蔓延状況に関する研究
2. 里山の生物多様性保全に関する研究
3. 外来植物の生態に関する研究

■共同研究

総合共同研究「ひょうごの生物多様性スポットの過去・現在・未来」、研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究分担者。

■その他著作

◎橋本佳延・赤松弘治・丹羽英之(2007)兵庫県の主要水系における外来植物の分布。人と自然, No. 17, 117-135.

◎服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小籠誓治・鈴木 武(2006)武庫川流域に残る2つの湿原。武庫川散歩, 53-60.

■研究発表

橋本佳延・服部 保(2006)東北地方におけるタケ類天狗巣病による竹林枯死の現状。植生学会第11回大会, 信州大学, 松本市。
橋本佳延(2007)外来樹木の侵入と分布拡大による問題。第54回日本生態学会, 愛媛大学, 松山市。

高野温子・布施静香・橋本佳延・坂田宏志・三橋弘宗(2007)六甲山のブナはどこから来たか?兵庫県産ブナ(*Fagus crenata*)の遺伝型解析。日本植物分類学会第6回大会。新潟大学, 新潟市。

橋本佳延(2007)外来樹木の侵入と分布拡大による問題。第54回日本生態学会愛媛大会 自由集会「外来植物の侵入実態と生態系に及ぼす影響～外来植物対策をめぐる課題～」, 松山市

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—。文部科学省科学研究費基盤研究(B) 海外学術調査, 研究分担者(分担金なし/総額832万円)。

兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査。平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究分担者(分担金なし/総額130万円)。

■海外調査

2006.8 中華人民共和国・福建省

2006.12 中華人民共和国・雲南省

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4-2007.3 里山における植物および植生景観の映像資料収集(芦屋市, 三田市, 川西市神戸市, 新温泉町, 宮城県, 長野県, 静岡県, 大阪府, 岡山県, 広島県, 島根県, 愛媛県, 香川県, 高知県, 徳島県, 熊本県, 佐賀県, 鹿児島県, 宮崎県)。

2006.8-2007.2 照葉樹林における植物および植生景観の映像資料収集(中華人民共和国福建省・雲南省, 沖縄県西表島)。

■整理同定担当資料

里山・河川映像資料。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延, 2006.4, 「早春の里山を観察しよう!～日本一の里山、北摂地域の春～」, 能勢妙見山。(24名)

橋本佳延, 2006.4, 「春の六甲山ハイキング」, 六甲山。(21名)

橋本佳延, 2006.6, 「竹林の現状と問題点」, 博物館。(19名)

三村起一・荒谷邦雄・田中哲夫・坂田宏志・橋本佳延・岩槻邦男, 2006.9, 企画展関連シンポジウム「どうする!?兵庫の外来生物」, 博物館。(168名)

橋本佳延, 2006.11, 「秋の六甲山ハイキング」, 六甲山。(5名)

橋本佳延・坂田宏志・外山万由・スティーブ・ブラウン, 2006.12 「徹底解説!外来生物～動物・植物の現状・そして社会的課題にせまる～」, 博物館。(35名)

高橋 晃・高野温子・布施静香・橋本佳延・三枝春生・加藤茂弘, 2007.2, 「私たちの新発見～ひとはく研究員海外調査報告会～」, 人と自然の博物館。(15名)

館外講演

橋本佳延, 2007.1, 「生物多様性の保全をめざした里山管理」, 阪神北摂民局, 講師, 黒川公民館。(24名)

非常勤講師

2007.2.21 環境教育2クラス(分担講義), 「里山保全の手法・実践例」, 関西学院大学。(67名)

■キャラバン事業

展示作成

2007.3 阪神南地域 「どれが外来植物?」

2007.3 北播磨地域 「どれが外来植物?」

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.5.30-6.2, 八景中学校2名, 富士中学校1名。

■フェスティバル等

2006.9 深田公園探検隊「お月見の花」(講師)。

2006.11 ひとはくフェスティバル, 「すぐろくで学ぼう!博物館のおしごと!」(責任者)。

■展示

企画展

2006.7.8-2006.9.24, 企画展「兵庫の外来生物」(分担者)。

2. シンクタンク事業

■受託研究

企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとはく」。株式会社リコー。研究代表者(20万円)

「阪神北地域の里山林に関する調査」。兵庫県阪神北摂民局。研究分担者(189万円)

「造成工事等の植生に関する研究」。猪名川上流広域ごみ処理施設組合。研究分担者(190万円)

「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」。三田市。研究分担者(100万円)

「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」環境省。研究分担者(98.5万円)

「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」。兵庫県神戸民局。研究分担者(250万円)

■自然環境情報調査

「兵庫県下におけるタケ類天狗巣病の蔓延状況調査」。兵庫県(委託先:株式会社里と水辺研究所)。

■行政等支援

委員会等(計1件)

2006.11-2007.3. 平成18年度 里山ふれあいの森づくり(ミニ里山公園型)アドバイザー, 社団法人兵庫みどり公社。

相談・指導助言

来訪者3件, 3名。電話・FAX相談5件, メール相談3件。

鈴木 武 Takeshi SUZUKI

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室
研究員

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助手。

昭和37年千葉県生まれ。東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学。理学博士。日本植物学会、日本植物分類学会、種生物学会等所属。



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

シンクタンク活動支援グループ 情報活用マネージャー、自然環境情報とりまとめ、情報貸出とりまとめ

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究
2. 野生植物の集団構造に関する考察

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」、研究分担者。

■その他著作

小山博滋・鈴木武（2006）キク科タンポポ属。福岡誠行他（編）：兵庫県産維管束植物8，人と自然，No. 17，185-186。

■研究発表

鈴木武（2006）水生シダ植物オオアカウキクサ類での在来種と外来種の現状。種生物学会第38回シンポジウム，奥琵琶湖マキノパークホテル

大槻涼・篠原渉・鈴木武・村上哲明（2007）無配生殖をするヤブソテツ類の分子分類。日本分類学会第6回大会，新潟市。

■学会役員など

日本植物分類学会，図書幹事。
兵庫植物同好会，会計。

■助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C），研究分担者（分担金なし/総額80万円）。

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B），研究分担者（分担金なし/総額832万円）。

■海外調査

2006.8 中華人民共和国・福建省

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4-7 企画展関連資料の収集（ボタンウキクサなど）。明石市，京都府など。

2006.6-2007.3 アカウキクサ属植物の収集。たつの市、南あわじ市、豊岡市など。

■整理同定担当資料

シダ植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武，2006.4 「芦屋のタンポポを見る」，芦屋市立美術博物館周辺。（17名）

鈴木武，2006.4 「但馬のタンポポを見る1」，竹野スノーケルセンター・ビジターセンター。（20名）

鈴木武，2006.4 「但馬のタンポポを見る2」，上山高原エココミュニケーション周辺。（18名）

鈴木武，2006.5 「綾部のタンポポを見る」，綾部市立天文館パオ周辺。（16名）

鈴木武，2006.5 「宮津のタンポポを見る」，宮津市中央公民館周辺。（8名）

鈴木武，2006.5 「宝塚のシダを見る」，宝塚市山本〜最明寺滝。（24名）

鈴木武，2006.6 「宝塚のシダを見る追加版」，宝塚市山本〜最明寺滝。（20名）

鈴木武，2006.9 「雪彦山のシダを見る」，雪彦山周辺。（24名）

鈴木武，2006.10 「甲山のシダを見る」，甲山森林公園。（22名）

鈴木武，2006.11 「甲山のシダを見る追加版」，甲山森林公園。（19名）

館外講演

鈴木武，2006.4，「兵庫県のタンポポ」，三木自然愛好研究会総会，講師，三木市立図書館。（100名）

鈴木武，2006.4，「豊岡藩の押し花」，特別講演会，講師，豊岡市立図書館。（80名）

鈴木武，2006.6，「兵庫県のタンポポ」，ひょうご講座，講師，神戸学習プラザ。（80名）

鈴木武，2006.6，「兵庫県のシダ植物」，阪神シニアカレッジ，講師，宝塚市ソリオ。（80名）

鈴木武，2006.6，「丹波市山南町のシダ植物」，青垣いきものふれあいの郷野外観察会，講師，丹波市山南町。（10名）

鈴木武，2006.11，「丹波の貴重な植物」，丹波の森公苑講座，講師，丹波の森公苑。（60名）

鈴木武，2006.11，「丹波市市島町のシダ植物」，青垣いきものふれあいの郷野外観察会，講師，丹波市市島町。（15名）

鈴木武，2006.12，「六甲山のシダ植物と生き物」，西宮市自然保護協会総会，講師，西宮市中央図書館。（80名）

鈴木武，2006.12，「豊岡藩の押し花」，兵庫県立大学 自然環境科学研究所公開セミナー，講師，コウノトリの郷公園。（80名）

非常勤講師

2006.5 「人と自然の共生」，兵庫県立大学。

■キャラバン事業

主担当

2006.10 神戸地区 テーマ「六甲山の人と自然」

展示作成

2006.5 神戸地区 六甲山のスミスネズミとギョリキマイマイ

2007.3 北播磨地域 外来オオアカウキクサ類

セミナー担当

2007.3 北播磨地域 兵庫県の外来生物（講師）

■地域研究員養成事業

セミナー

2006.11 神戸地域 「昭和初期の六甲山を探る」（神戸市灘区六甲山町，講師）。

■学校教育支援

トライやるウィーク

2002.5.30，八景中学校2名，富士中学校1名。

学校団体対応

2006.4，宝塚市立すみれが丘小学校4年生。（120名）

2006.9，徳島県立農業大学校。（20名）

講師派遣

2006.5 「但馬のタンポポ」香美町立小代中学校3年生。（10名）

2006.11 「六甲山の生き物」神戸市立六甲アイランド高校2年生。（50人）

2007.1 「環境教育と生き物」加東市東条地区教員研修会。（50人）

■展示

企画展

2006.7.8-9.24，企画展「兵庫の外来生物」（責任者）。

2. シンクタンク事業

■受託研究

「六甲山を舞台とした市民活動に関する調査研究」，神戸県民局，研究代表者（200万円）

■行政等支援

委員会等（計1件）

2006.4-10 六甲有馬摩耶エコフェスタ実行委員会，委員。

相談・指導助言

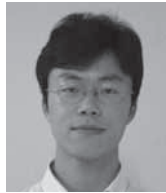
来訪者10件，12名。電話・FAX相談40件，メール相談10件。

黒田 有寿茂, Asumo KURODA

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源
研究部門 助手.

昭和53年愛知県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 博士(理学). 日本生態学会, 植生学会, 日本蘚苔類学会等所属.



<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室 シンクタンク活動支援グループ
ジーンバンク活用担当
2. 研究開発部門
研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 里山林の生物多様性保全に関する研究
2. 希少植物の種生態に関する研究

■共同研究

部門研究「21世紀の森構想支援のための生態学的基盤研究」, 研究分担者.

■論文・著書

Kuroda, A., Ikeda, S., Mukai, S. and Toyohara, G. (2006) Successive mapping of secondary pine forests affected by pine wilt disease and subsequent forest management in Miyajima Island, SW Japan. *Phytocoenologia*, 36, 191-212.

Kuroda, A., Mukai, S. and Toyohara, G. (2006) Floristic composition and community structure of dense undergrowth vegetation formed by evergreen perennial ferns, *Dicranopteris linearis* and *Gleichenia japonica*. *Vegetation Science*, 23, 25-36.

Tsubota, H., Kuroda, A., Masuzaki, H., Nakahara, M. and Deguchi, H. (2006) A preliminary study on allelopathic activity of bryophytes under laboratory conditions using the sandwich method. *Journal of the Hattori Botanical Laboratory*, 100, 517-525.

服部 保・南山典子・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2007) かしわもちとちまきを包む植物に関する植生学的研究. *人と自然*, No. 17, 1-11.

■その他著作

黒田有寿茂 (2006) 野生植物の多様性を守る. *ハーモニー*, 54, 5.

■研究発表

黒田有寿茂・澤田佳宏・服部 保 (2006) 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較. 植生学会第11回大会, 信州大学, 松本市.

澤田佳宏・松村俊和・黒田有寿茂・服部 保 (2006) スキー場は草原植物の避難場所として機能するか? -兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成-. 植生学会第11回大会, 信州大学, 松本市.

岡本健志・黒田有寿茂・向井誠二・中原美保・坪田博美・出口博則 (2006) コケ植物のアレロパシー活性について. 第35回日本蘚苔類学会, 南九州大学, 宮崎県児湯郡高鍋町.

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析-中国と日本を対比して-. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(BE), 研究分担者(分担金なし/総額832万円).

兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査. 平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助成金, 研究分担者(分担金なし/総額130万円).

■海外調査

2006.8 中華人民共和国・福建省

2006.12 中華人民共和国・雲南省

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006.4-2007.3 植物および植生の映像資料収集. 三田市, 神戸市, 川西市, 北海道, 高知県, 山梨県, 長野県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県.

■整理同定担当資料

ジーンファーム生育植物

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館外講演

2006.10, 「講演 クヌギ林伐採後の植生と吉川八幡神社の照葉樹林の比較」, 講師, 施設ネットワーク事業「六甲・三田・一庫環境学習セミナー」(財)ひょうご環境創造協会. (30名)

2006.11, 「実習 里山」, 講師補助, ずっと地球と生きる学校プロジェクト, 読売新聞・有野台小学校5・6年生. (60名)

2006.12, 「講演 絶滅危惧種の保全活動-意義と課題-」, 講師, 兵庫県高等学校教育研究会, 人と自然の博物館. (50名)

非常勤講師

2006.9 共生生物学(分担講義), 兵庫県立大学.

■地域研究員養成事業

成果発表

2007.2 共生のひろば 運営担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006.6.2 八景中学校2名・富士中学校1名.

2006.6.15 啓明学院中学校1名.

学校団体対応

2006.6 神戸大学学生. (9名)

2006.8 姫路飾西高校学生. (15名)

■フェスティバル等

2006.11 ひとつはくフェスティバル, 「ひとつはく採れ取れビンゴ(植物)」(分担者).

■展示

ミニ企画等

2006.4.29-5.7 臨時展示「かしわもちとちまき」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「阪神北地域の里山林に関する調査」. 兵庫県阪神北県民局. 研究分担者(189万円)

「造成工事等の植生に関する研究」. 猪名川上流広域ごみ処理施設組合. 研究分担者(190万円)

「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究分担者(110万円)

「武庫川ダム貴重植物の育成管理業務」. 財団法人ひょうご環境創造協会. 研究分担者(40万円)

「平成18年度オグラコホネ等管理業務委託」. 兵庫県丹波県民局. 研究分担者(250万円)

「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」. 三田市. 研究分担者(100万円)

「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」. 環境省. 研究分担者(98.5万円)

「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」. 兵庫県神戸県民局. 研究分担者(250万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 12回, 146名.

■行政等支援

委員会等(計1件)

2006.11-2007.3 平成18年度里山ふれあい森づくり(ミニ里山公園型), アドバイザー, (社)兵庫みどり公社

相談・指導助言

来訪者2件, 4名. 電話・FAX相談5件, メール相談2件.

藤井 俊夫, Toshio FUJII

生物多様性保全研究グループ/生涯学習推進室
主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科修士課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.



澤田 佳宏, Yoshihiro SAWADA

生物多様性保全研究グループ

研究員

昭和 44 年兵庫県生. 岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程修了. 博士 (農学). 植生学会, 日本生態学会, 漂着物学会等所属.



<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 海岸植生の保全に関する研究
2. 草原植生の多様性と人間活動に関する研究
3. 外来種が山火事跡地の植生回復に及ぼす影響の研究

■共同研究

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

■論文・著書

澤田佳宏・服部保・内田圭 (2006) 国版および地方版レッドデータブックから見た日本の海岸植物の絶滅危惧の現状—本州・四国・九州における状況. 環境情報科学論文集, No. 20, 71-76.

服部保・南山典子・澤田佳宏・黒田有寿茂 (2007) かしわもちとちまきを包む植物に関する植生学的研究. 人と自然, No. 17, 1-11.

■その他著作

澤田佳宏 (2007) 海水に運ばれるタネ, 10-12, 「波打ち際の自然史」, きしわだ自然資料館, 岸和田市.

澤田佳宏・中西弘樹・押田佳子・服部保 (2007) 日本の海岸植物チェックリスト. 人と自然, No. 17, 85-101.

栃本大介・服部保・武田義明・澤田佳宏・石田弘明・福井聡 (2007) 六甲山に生育するブナの分布位置と個体サイズ. 人と自然, No. 17, 79-84.

■研究発表

澤田佳宏・松村俊和・黒田有寿茂・服部保 (2006) スキー場は草原生植物の避難場所として機能するか—兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成. 植生学会第 11 回大会, 信州大学, 松本市.

黒田有寿茂・澤田佳宏・服部保 (2006) 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較. 植生学会第 11 回大会, 信州大学, 松本市.

澤田佳宏 (2007) 海浜植物 14 種の埋土 3 年後の発芽能力. 第 54 回日本生態学会松山大会, 愛媛大学, 松山市.

澤田佳宏 (2007) 自由集会「外来植物の侵入実態と生態系に及ぼす影響—外来植物対策をめぐる課題—」, 口頭発表, 緑化植物 (牧草) の播種による問題. 第 54 回日本生態学会松山大会, 愛媛大学, 松山市.

安立美奈子・稲富素子・八代裕一郎・菅尚子・根岸正弥・西脇愛・志津庸子・澤田佳宏・津田智・大塚俊之・米村正一郎・小泉博 (2007) 日本の 4 つの異なる生態系における土壌呼吸速度と温度依存性. 第 54 回日本生態学会松山大会, 愛媛大学, 松山市.

■学会役員など

2006. 8 漂着物学会 査読 1 報.

2007. 3 第 54 回日本生態学会松山大会, ポスター賞審査委員.

■助成を受けた研究

人間環境としての照葉樹林の植物学的解析—中国と日本を対比して—. 平成 18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 海外学術調査, 研究分担者 (分担金なし/総額 832 万円).

兵庫県および国内におけるタケ類天狗巢病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査. 平成 18 年度 兵庫県立大学特別教育研究助成金. 研究分担者 (分担金なし/総額 130 万円).

■海外調査

2006. 8. 中華人民共和国・福建省

2006. 12. 中華人民共和国・雲南省

2. 資料収集・整理

■資料収集

2006. 4-2007. 3 植物および植生景観の映像資料収集. 兵庫県豊岡市・神戸市・三田市・尼崎市・南あわじ市, 北海道, 秋田県, 長野県, 大阪府, 鳥取県, 沖縄県.

■整理同定担当資料

種子標本の整理

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演

澤田佳宏, 2006. 10. 「都市山・六甲山の森林管理の考え方」講師, 六甲山系里山フォーラム, 兵庫県神戸県民局. (50 名)

澤田佳宏, 2006. 11. 「大きく育ったクヌギ林と伐採したてのクヌギ林をくらべてみた」講師, 施設ネットワーク事業「六甲・三田・一庫 環境学習セミナー」, ひょうご環境創造協会. (30 名)

澤田佳宏, 2006. 11. 1. 「実習 里山」, 講師補助, ずっと地球と生きる学校プロジェクト, 読売新聞・有野台小学校 5・6 年生. (60 名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 5. 31, 八景中学校 2 名, 富士中学校 1 名

学校団体対応

2006. 11. けやき台小学校 5 年生. (約 35 名)

2007. 2. 神戸大学「博物館学講座」. (22 名)

■フェスティバル等

2006. 11. ひとくフェスティバル, 「すぐろくで学ぼう! 博物館のおしごと!」(分担者).

2006. 5. 深田公園うきうき探検隊「おやつのはっぱ」・深田公園・人と自然の博物館. (14 名)

■展示

ミニ企画等

2006. 4. 29-5. 7, 臨時展示「かしわもちとちまき」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「阪神北地域の里山林に関する調査」. 兵庫県阪神北県民局. 研究分担者 (189 万円)

「造成工事等の植生に関する研究」. 猪名川上流広域ごみ処理施設組合. 研究分担者 (190 万円)

「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究分担者 (110 万円)

「平成 18 年度自然環境調査補足業務 (経年変化調査)」. 三田市. 研究分担者 (100 万円)

「平成 18 年度生態系総合管理基盤情報整備里地里山検討業務」環境組合. 研究分担者 (98.5 万円)

「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」. 兵庫県神戸県民局. 研究分担者 (250 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 1 回, 22 名.

■行政等支援

委員会等 (計 4 件)

2006. 6. 兵庫県におけるエコロジカルネットワーク勉強会, アドバイザー, 国交省国土計画局.

2006. 8-2007. 3 六甲山系里山研究会, アドバイザー, 兵庫県神戸県民局神戸農林水産振興事務所.

2006. 12-2007. 3 平成 18 年度里山ふれあい森づくり (ミニ里山公園型), アドバイザー, (社) 兵庫みどり公社.

2007. 3. 吹上海岸 (吹上浜) 環境再生検討委員会, 委員, 兵庫県淡路県民局洲本土改良事務所.

相談・指導助言

来訪者 5 件, 13 名. 電話・FAX 相談 4 件, メール相談 1 件.

○生涯学習推進室

長谷川 太一, Taichi HASEGAWA

生涯学習推進室

スクールパートナー推進グループ

ミュージアム・ティーチャー

昭和16年兵庫県生まれ。大阪府立大学農学部卒業。

元兵庫県立高等学校教員（生物担当）・元高校長



<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

長谷川太一・宮崎ひろ志・客野尚志, 2006. 6-9, 「身近な環境を調査しよう, 都市環境を調べる」, 博物館. (全2回, 33名)

長谷川太一, 2006. 7, 「葉脈標本作り スペシャル」, 博物館. (23名)

長谷川太一, 2006. 7, 「植物の標本をつくろう」, 博物館. (全2回, 20名)

長谷川太一, 2006. 8, 「デジタル植物図鑑に挑戦」, 博物館. (20名)

長谷川太一・三枝春生, 2006. 8, 「脊椎動物の骨格の機能と進化」, 博物館. (10名)

長谷川太一・客野尚志, 2006. 8, 「ヒートアイランド問題を考える・手作り百葉箱づくり」, 博物館. (5名)

長谷川太一, 2006. 8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館. (1名)

長谷川太一・高橋晃・田地川和子・貴島せい子・肥田陽子, 2006. 9-10, 「植物画を描こう」, 博物館. (全2回, 37名)

長谷川太一・布施静香, 2006. 11, 「植物の戦略, CDケースを使ったひつつきむし標本の制作」, 博物館. (10名)

長谷川太一, 2006. 11, 「野草を生かそう, 草木染め」, 博物館. (20名)

長谷川太一, 2006. 12, 「つる植物を生かそう, リース作り」, 博物館. (20名)

館外講演

長谷川太一, 2006. 7-8, 「葉脈の芸術」, 講師, 姫路市立伊勢自然の里環境学習センター. (全2回, 40名)

長谷川太一・小館誓治・平松紳一・本田毅, 2006. 10, 「校庭の樹木図鑑」, 講師, 神戸市中学校教育研究会理科部会ブロック実験講習会. (25名)

長谷川太一, 2006. 10, 「校庭の樹木図鑑」, 講師, 県立篠山鳳鳴高等学校1年生. (12名)

長谷川太一, 2006. 10, 「野外観察(秋の植物)の指導法」, 講師, 豊中市立小中学校理科教育研修. (10名)

長谷川太一, 2006. 11, 「葉の構造と葉脈のしおりづくり」, 講師, 尼崎市立浜田小学校4年生. (70名)

長谷川太一・高橋晃・田地川和子・貴島せい子・肥田陽子, 2006. 12, 「植物画を描こう」, 講師, NHK 神戸放送局(トアステーション), NHK 共催地球大好きキャンペーン. (24名)

長谷川太一, 2007. 1, 「デジタル植物図鑑の利用, 校内樹木図鑑の完成に向けて」, 県立篠山鳳鳴高等学校編. (1名)

長谷川太一, 2007. 2, 「植物色素と草木染め」, 講師, たつの市児童科学館. (20名)

■学校教育支援

学校団体対応

2006. 4, 「哺乳類の歯型と生活様式」・「樹木の観察」, 大阪府立泉北高等学校理系1年生. (25名)

2006. 4, 「けもの歯からの便り」, 追手門小学校5年生. (165名)

2006. 4, 「環境・景色の温度を測る」, 京都府立桃山高等学校自然科学科1年生. (89名)

2006. 5, 「実体顕微鏡の世界(植物・小動物)」, 茨木市立山手台小学校5年生. (47名)

2006. 5, 「けもの歯からの便り」, 姫路市立青山小学校5年生. (140名)

2006. 5, 「けもの歯からの便り」, 川西市立加茂小学校5年生. (98名)

2006. 5, 「野外植物観察」, 深田公園で実習・「植物形態の実体顕

微鏡下での観察」, 県立宝塚北高等学校グローバルサイエンス1年生. (42名)

2006. 5, 「葉脈のしおりづくり」, 西宮市立段上西小学校5年生. (99名)

2006. 5, 「葉脈のしおりづくり」, 茨木市立豊川小学校5年生. (52名)

2006. 5, 「葉脈のしおりづくり」, 高槻市大空子ども会. (23名)

2006. 5, 「けもの歯からわかることは」, 伊丹市立神津小学校4年生. (36名)

2006. 5, 「けもの歯医者さん」, 篠山市立古市小学校親子. (71名)

2006. 5, 「生きものつながりと役割り」, 神戸市立広陵中学校1年生. (153名)

2006. 6, 「歯のちがいは生き方のちがひ」, 武庫川女子大附属高等学校1年生. (180名)

2006. 6, 「葉のちがいは個性的」, 武庫川女子大附属高等学校1年生. (150名)

2006. 6, 「生きものと環境」, 武庫川女子大附属高等学校1年生. (150名)

2006. 6, 「ヒートアイランド問題を考える」, 県立有馬高等学校3年生. (10名)

2006. 7, 「実体顕微鏡でみる植物の世界」, 県立西宮北高等学校SCコース1年生. (40名)

2006. 7, 「イノシシくんがごあいさつ」, 北摂第一幼稚園年長組. (78名)

2006. 7, 「哺乳類の歯型と生活様式」, 県立大学附属高等学校1年生. (167名)

2006. 7, 「草木染めをわくわく」, 社会福祉法人「風」三田わくわく村. (12名)

2006. 7, 「骨が語る博物館の面白さ」, 和歌山県立向陽高等学校2年生. (85名)

2006. 8, 「実体顕微鏡の世界(植物の形態)」, 県立柏原高等学校ベーシックサイエンスコース1年生. (40名)

2006. 8, 「葉っぱの話と葉脈標本」, 錦松台子ども会. (103名)

2006. 9, 「わたしの葉脈のしおり」, 尼崎市立みのり園. (28名)

2006. 9, 「動物の骨と歯を比べてみれば」, 朝来市立生野中学校1年生. (36名)

2006. 9, 「哺乳類のばら骨を組み立てる」, 県立有馬高等学校3年生. (12名)

2006. 9, 「生きものつながり」, 尼崎市立武庫東中学校2年生. (231名)

2006. 9, 「景色の温度」・「ミナの世界」, 姫路市立山田小学校5~6年生. (80名)

2006. 10, 「葉脈のしおり」, 三田市立つつじが丘小学校2年生. (74名)

2006. 10, 「けもの歯をよくみれば」, 尼崎市立名和小学校5年生. (135名)

2006. 10, 「けもの歯からの便り」, 神戸市立月が丘小学校4年生. (36名)

2006. 10, 「大きくしてみる顕微鏡」, 兵庫県神戸町立南小田小学校4~5年生. (21名)

2006. 10, 「生きものつながり」, 豊中市立花町自治会. (56名)

2006. 11, 「生きものには役割りがある」, 神戸市立桜の宮中学校1年生. (74名)

2006. 11, 「葉脈のしおりづくり」, 香寺町立香呂小学校2年生. (35名)

2006. 11, 「生きものつながり」, 池田市立細河小学校5年生. (39名)

2006. 12, 「生きものと環境」, 加古川市立中部中学校PTA. (25名)

2006. 12, 「生きものつながりと環境」, 川西市立北陵小学校6年生. (80名)

2007. 1, 「野生動物の落とし物・トラッキング」, ボーイスカウト神戸第60団カブ隊. (21名)

2007. 3, 「今後の研修活動に生かす・草木染め」, 県立甲山高等学校PTA役員. (3名)

■フェスティバル等

2006. 11, サイエンスショー(1)「けもの歯の模型型紙切抜き」, 講師. (40名)

2006. 11, 「植物の戦略, ひつつき虫標本の制作」, 講師. (10名)

2006. 12, サイエンスショー (2), 「葉脈標本づくり」, 講師. (20名)
2007. 2, 共生のひろば「植物画 (ポスター発表)」. (分担者)

毛利 敏治, Tosiharu MOURI

生涯学習推進室

スクールパートナー推進グループ

ミュージアム・ティーチャー

昭和12年生まれ 兵庫農科大学農学科卒業

元公立小学校 中学校教員 (理科担当)



<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

- 毛利敏治, 2006. 5, 「やってみよう春の植物観察～身近な草木の挿し木」, 博物館. (11名)
毛利敏治, 2006. 7, 「作ってみよう, 夏休みの自由研究, いろいろな葉脈標本にチャレンジ」, 博物館. (40名)
毛利敏治・菊池由美子, 2006. 8, 「学校で作れる葉脈標本しおり」, 博物館. (25名)
毛利敏治, 2006. 8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館. (全2回, 4名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 5. 31-6. 2, 三田市立ゆりのき台中学校 2名.
2006. 5. 31-6. 2, 三田市立八景中学校 3名.
2006. 11. 7, 神戸市立北神戸中学校 5名.
2006. 11. 7, 大阪府池田市立渋谷中学校 1名.

学校団体対応

2006. 4, 「葉脈標本づくり」, 西神吉少年団大団隊. (95名)
2006. 4, 「葉脈標本づくり」, 川西市立川西小学校 5年生. (118名)
2006. 4, 「葉脈標本づくり」, 神戸朝鮮初中級学校実習. (43名)
2006. 5, 「ネイチャーティリング (深田公園)」, 川西市立加茂小学校 5年生. (98名)
2006. 5, 「植物の話」, 神戸市立星陵台中学校 1年生. (152名)
2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立雲部小学校 2年生. (16名)
2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 南あわじ地学の会. (7名)
2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立古市小学校 4年親子活動. (71名)
2006. 6, 「環境の話」, 伊丹市立昆陽里小学校 4年生. (113名)
2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立古市幼稚園親子活動. (85名)
2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 芦屋市立朝見小学校 4年生. (83名)
2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 加東市立滝野南小学校 5年生. (69名)
2006. 7, 「葉脈標本づくり」, 島田子ども会. (125名)
2006. 7, 「葉脈標本づくり」, 富永4丁目子ども会. (50名)
2006. 7, 「深田公園の植物観察」葉脈標本づくり」, 加東市滝野町土曜ふれあい学級. (37名)
2006. 7, 「葉脈標本づくり」, スポーツ21 弥生. (12名)
2006. 7, 「環境の話」, 山手1丁目子ども会. (70名)
2006. 8, 「ネイチャーティリング」, 加東郡稲美町人権推進室. (100名)
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 京都市立嘉楽中学校 1年生. (40名)
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 桑原子ども会. (33名)
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 上ヶ原育成センター. (86名)
2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 真南条子ども会. (27名)
2006. 9, 「植物の話」, 川西市立多田東小学校 3年生. (171名)
2006. 9, 「質問解答」, 宝塚市立宝塚中学校 1年生. (27名)
2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 神戸養護学校高等部 1年生. (69名)
2006. 9, 「ネイチャーティリング」, 姫路市立山田小学校 1・2年生. (80名)

2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 高砂市立北浜小学校 6年生. (56名)
2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 大阪市ないわ青少年会館. (50名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 三田市立つつじヶ丘小学校 2年生. (74名)
2006. 10, 「環境の話」, 丹波市立市島中学校 1年生. (95名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 宝塚市立宝塚小学校 4年生. (139名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 池田市立呉服小学校 4年生. (79名)
2006. 10, 「ネイチャーティリング (深田公園)」, 神戸市立港島小学校 3年生. (114名)
2006. 10, 「ネイチャーティリング (深田公園) 草木染め」, 味間自然を楽しむ会. (23名)
2006. 10, 「環境の話」, 姫路市立菅野中学校 1年生. (109名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 播磨町立播磨西小学校 4年生. (60名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 三田市立あかしあ台小学校 2年生. (102名)
2006. 10, 「環境の話」, 大教大付属池田小学校 5年生. (124名)
2006. 10, 「環境の話」, 赤穂市立有年中学校 1年生. (23名)
2006. 10, 「環境の話」, 高砂市立鹿島中学校 1年生. (159名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 福崎町余田子ども会. (50名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 加西市立日吉・宇仁小学校 3年生. (45名)
2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 吹田市立桃山台小学校 5年生. (58名)
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 加西市立北条小学校 3年生. (83名)
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 丹波市立鴨庄小学校 3・4年生. (50名)
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 姫路市立香呂小学校 2年生. (97名)
2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 北鈴蘭台子ども会. (50名)
2006. 12, 「葉脈標本づくり」, 篠山市立西紀小学校 6年生. (16名)
2006. 12, 「紅葉のしくみについて (深田公園)」, 加古川市立浜の宮中学校 1年生. (318名)
2006. 12, 「リースをつくってみよう」, 北摂第一幼稚園. (75名)
2007. 2, 「葉脈標本づくり」, 川西市立陽明小学校 4年生. (67名)
2007. 3, 「葉脈標本づくり」, 東条保育園. (55名)
2007. 3, 「葉脈標本づくり」, 志染アフタースクール. (20名)

■フェスティバル等

2006. 11, サイエンスショー (1) 「葉脈標本づくり」, 講師. (50名)
2007. 2, サイエンスショー (3) 「葉脈標本づくり」, 講師. (210名)

菊池 由美子, Yumiko KIKUCHI

生涯学習推進室

スクールパートナー推進グループ

ミュージアム・ティーチャー

昭和41年千葉県生 大東文化大学 法学部法律学

科卒業



<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 長谷川太一・菊池由美子, 2006. 7, 「葉脈標本作り スペシャル」, 博物館. (23名)
菊池由美子, 2006. 7, 「昆虫標本作り実演」, 博物館. (全3回, 35名)
大谷 剛・沢田佳久・菊池由美子, 2006. 8, 「昆虫は標本づくりから」, 深田公園・博物館. (30名)
毛利敏治・菊池由美子, 2006. 8, 「学校で作れる葉脈標本作り」, 博物館. (25名)

菊池由美子, 2006. 8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館. (全2回, 4名)

館外講演

菊池由美子, 2006. 10, 「昆虫といのち」, 神戸市北区西山児童館 (小学1年~3年児童), 講師, 神戸市北区西山児童館. (50名)

長谷川太一・菊池由美子, 2006. 12, 「リース作り」, 講師, 株式会社リコー, 博物館. (78名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2006. 5. 31-6. 2, 三田市立ゆりのき台中学校2名.

2006. 5. 31-6. 2, 三田市立八景中学校3名.

2006. 11. 7, 神戸市立北神戸中学校5名.

2006. 11. 7, 大阪府池田市立渋谷中学校1名.

学校団体対応

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 茨城市立西小学校3・4年生. (94名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 西宮市立段上西小学校5年生. (96名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 大空子供会. (23名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 緑ヶ丘子供会. (59名)

2006. 5, 「葉脈標本づくり」, 稲田住宅子ども育成会. (35名)

2006. 5, 「(ワンポイントセミナー) 昆虫の話」, 神戸ドイツ学院 ヨーロピアンスクール. (17名)

2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 加西市古坂3丁目子ども会. (45名)

2006. 6, 「葉脈標本づくり」, 芦屋市立潮見小学校4年生. (83名)

2006. 7, 「(ワンポイントセミナー) 季節の昆虫」, 花屋敷荘園2・3・4丁目子供会. (38名)

2006. 7, 「じっくり昆虫を見てみよう」, 神戸市北区西山児童館2・3年生. (8名)

2006. 7, 「夏休み自由研究のテーマの見つけ方」, 芦屋市立山手小学校6年生. (94名)

2006. 7, 「深田公園で昆虫採集」, 芦屋市立山手小学校6年生. (38名)

2006. 7, 「(ワンポイントセミナー) キベリハムシ」, 西舞子・神陵台幼稚園. (114名)

2006. 8, 「葉脈標本づくり」, 京都市立歌楽中学校1~3年生. (34名)

2006. 9, 「くさむらのむし」, 北摂第一幼稚園年長児. (82名)

2006. 9, 「昆虫のからだ」, 明石市立大久保南小学校5年生. (100名)

2006. 9, 「葉脈標本作り」, 県立神戸養護学校高等部1年生. (45名)

2006. 9, 「質疑応答」, 宝塚市立宝梅中学校1年生. (27名)

2006. 9, 「葉脈標本づくり」, 宝塚市立西谷小学校3・4年生. (38名)

2006. 10, 「動物の表情」, 神戸市立有瀬小学校4年生. (179名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 宝塚市立宝塚小学校4年生. (134名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 箕面市立西南小学校3年生. (109名)

2006. 10, 「動物の表情」, 明石市立錦浦小学校5年生. (173名)

2006. 10, 「(ワンポイントセミナー) しぜんの話」, 神戸市立神陵台小学校4年生. (61名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 猪名川町立中谷中学校1年生. (61名)

2006. 10, 「(ワンポイントセミナー) しぜんの話」, たつの市立東栗栖小学校3・4年生. (31名)

2006. 10, 「昆虫のからだ」, 神河町立南小田小学校1~3年生. (9名)

2006. 10, 「葉脈標本づくり」, 神河町立南小田小学校1~5年生. (21名)

2006. 10, 「動物の表情」, 百合学院中学校1年生. (39名)

2006. 11, 「(ワンポイントセミナー) 虫のからだ」, 加古川市立別府西小学校3年生. (116名)

2006. 11, 「葉脈標本づくり」, 尼崎市立立花小学校5年生. (80名)

2006. 11, 「葉脈標本づくり」, K-maison ときめき生きがいディサービス. (35名)

2006. 12, 「リース作り」, 北摂第一幼稚園年長児. (82名)

2007. 1, 「動物の表情」, 神戸市立住吉小学校4年生. (121名)

2007. 3, 「動物の表情」, 神戸市立大沢小学校1~6年生. (67名)

2007. 3, 「動物の表情」, 西宮市東山ぼぼ保育園4・5歳児. (17名)

■フェスティバル等

2006. 11, ひとくフェスティバル, 写真記録.

2006. 12, サイエンスショー (2) 「振動ブラシ虫をつくろう」, 講師. (28名)

2006. 12, サイエンスショー (2) 「ブラックライトで遊ぼう」, 講師. (30名)

■行政等支援

相談・指導助言

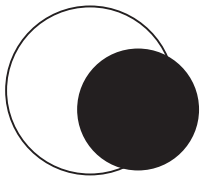
来訪者2件, 2名. メール相談者9名. 電話相談者2名.

		研究開発														
		調査研究														
研究員氏名 (掲載順)	役職	特別課題研究	共同研究 (総合)	共同研究 (部門)	論文・著書		そのほか著作		研究発表		学会役員など	助成を受けた研究			海外調査	受賞等
		テーマ数	参画数	参画数	第一著者 件数	第一著者以外 の件数	第一著者 件数	第一著者以外 の件数	第一著者 件数	第一著者以外 の件数	件数	代表		分担 件数	回数	件数
												件数	(万円 総額)			
小林文夫	教授	3	-	2	6	-	3	2	-	1	2	-	-	-	-	-
佐藤裕司	教授	3	1	1	2	1	1	3	-	2	2	-	-	1	-	-
先山 徹	助教授	2	1	1	-	-	2	-	5	-	1	-	-	-	1	-
加藤茂弘	主任研究員	3	-	1	1	1	3	3	-	2	1	1	220	2	2	-
古谷 裕	助教授	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三枝春生	助手	2	1	1	-	3	2	2	2	4	3	1	100	-	-	-
半田久美子	主任研究員	2	-	1	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
松原尚志	主任研究員	2	1	1	1	1	2	1	4	1	2	-	-	-	-	-
中西明德	教授	4	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
橋本佳明	助教授	4	1	-	-	-	1	-	3	1	3	1	90	-	2	1
沢田佳久	助手	1	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-
八木 剛	主任研究員	2	-	1	-	1	3	1	2	1	1	-	-	-	-	-
高橋 晃	教授	3	1	1	-	-	5	2	-	-	-	1	60	1	2	-
秋山弘之	助教授	3	-	-	6	2	7	-	2	2	3	1	150	-	-	-
高野温子	主任研究員	2	1	1	1	-	6	4	1	2	2	1	110	-	-	1
布施静香	研究員	4	1	1	-	-	1	6	2	3	2	-	-	2	1	-
江崎保男	教授	2	-	1	3	1	6	-	1	2	6	1	199	-	-	-
田中哲夫	助教授	4	-	1	-	-	3	-	2	-	4	-	-	-	-	-
三橋弘宗	講師	2	1	1	-	1	4	1	1	8	2	-	-	1	1	2
大谷 剛	教授	3	-	1	-	-	5	2	2	-	1	1	110	-	-	-
三谷雅純	助教授	3	-	-	1	-	-	-	3	-	3	1	30	-	-	-
坂田宏志	助教授	2	1	1	1	3	-	-	1	6	5	1	130	-	-	-
横山真弓	主任研究員	2	-	1	1	1	1	-	3	4	2	1	640	-	-	-
藤木大介	臨時技術職員	2	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
中瀬 勲	教授/副館長	2	1	1	2	3	29	4	-	-	23	-	-	1	-	1
藤本真里	助手	2	-	1	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
赤澤宏樹	講師	2	-	1	-	-	2	-	-	-	7	1	50	-	1	-
嶽山洋志	研究員	3	1	1	1	-	9	4	7	2	2	-	-	-	-	1
田原直樹	教授	2	-	1	1	-	5	-	-	-	6	-	-	-	1	-
宮崎ひろ志	講師	2	1	1	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	1	-
客野尚志	主任研究員	2	1	1	-	-	2	1	2	-	4	1	80	-	-	-
服部 保	教授	3	-	1	1	2	10	7	1	6	1	2	210	1	-	-
石田弘明	講師	2	-	1	-	-	3	2	1	1	3	-	-	3	-	1
小館誓治	助手	2	-	1	-	-	4	2	-	1	2	-	-	1	-	-
橋本佳延	研究員	3	1	1	-	-	1	1	3	1	-	-	-	2	2	-
鈴木 武	助手	2	-	1	-	-	-	1	1	1	2	-	-	2	1	-
黒田有寿茂	助手	2	-	1	2	2	1	-	1	2	-	-	-	2	2	-
藤井俊夫	主任研究員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
澤田佳宏	臨時技術職員	3	-	1	1	1	2	1	3	2	2	-	-	2	2	-
合計		94	16	33	37	26	129	56	57	57	100	15	2179	22	19	7

研究開発				生涯学習															
資料収集・整理				セミナー								キャラバン事業							
資料収集	資料受贈	資料貸出・借用・譲渡	整理同定担当資料	館主催				他施設主催	非常勤講師	ラジオ・TV出演等	主担当	副担当	展示作成	リサーチプロジェクト	セミナー担当	ミニキャラバン事業			
				実施の有無	担当件数	担当の有無	責任者									分担者		件数	のべ受講者数
件数	のべ受講者	件数	のべ受講者				件数	のべ受講者数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		
有	-	6	有	14	650	-	-	3	139	2	-	1	-	-	-	2	-	-	
有	-	-	有	4	126	2	78	2	45	1	-	-	-	-	-	-	1	-	
有	1	-	有	8	176	1	17	10	332	2	-	-	-	-	-	-	-	1	
有	-	-	有	7	320	3	74	8	742	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
有	-	-	有	15	1194	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	2	-	
有	-	-	有	35	2318	-	-	5	338	-	-	1	-	1	-	1	-	-	
有	1	1	有	3	49	-	-	1	47	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
有	-	1	有	13	307	-	-	1	90	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
無	2	-	有	4	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	有	-	-	2	60	2	230	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	5	-	有	12	255	2	10	2	50	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
有	-	-	有	23	723	7	116	15	958	1	-	-	-	2	-	1	1	2	
有	-	-	有	5	80	6	145	4	91	2	-	-	-	-	-	-	1	-	
有	-	-	有	5	68	-	-	2	100	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
有	-	-	有	3	83	6	139	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	2	
有	1	-	有	4	97	6	118	-	-	2	-	1	-	2	1	1	-	-	
有	-	-	有	7	165	-	-	5	175	3	2	-	-	-	-	-	-	-	
有	2	-	有	10	297	-	-	12	452	3	-	2	-	4	-	2	1	-	
有	1	-	有	9	847	-	-	7	570	1	-	-	2	4	-	4	1	-	
有	-	-	有	42	1000	-	-	13	610	2	2	1	-	-	-	3	1	-	
有	-	-	無	3	32	-	-	1	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	無	4	85	1	35	20	865	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
有	-	-	有	-	-	-	-	6	630	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
無	-	-	無	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	無	11	286	-	-	49	7078	3	1	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	無	1	20	-	-	6	430	-	2	1	-	-	-	-	-	-	
有	1	-	有	7	201	-	-	9	452	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	無	6	96	1	46	5	502	2	-	1	-	-	1	-	1	-	
有	-	-	無	8	120	-	-	17	1435	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
無	-	-	無	4	119	-	-	9	869	2	-	-	2	-	1	-	-	-	
有	-	-	無	10	326	-	-	5	315	-	1	1	1	2	1	5	-	2	
有	-	-	有	19	852	-	-	53	3012	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	有	-	-	1	18	12	337	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	有	8	197	-	-	1	33	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
有	-	-	有	5	104	2	183	1	24	1	-	-	-	2	-	-	-	-	
有	-	-	有	10	188	-	-	9	585	1	-	1	-	2	-	1	-	-	
有	-	-	有	-	-	-	-	3	140	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
無	-	-	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
有	-	-	有	-	-	-	-	3	140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
—	14	8	—	319	11416	40	1003	302	20927	44	8	13	5	30	4	23	10	10	

		生涯学習事業												
		地域研究員養成事業			学校教育支援						研修生等の受入			イベント
		展示作成	セミナー	成果発表	トライやるウィーク	学校団体対応	講師派遣	遠隔授業	博物館実習	卒論生など	その他	フェスティバル等の実施		
研究員氏名	役職	件数	件数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	件数	受講生徒数	受入人数	受入人数	実施件数
小林文夫	教授	-	1	-	5	9	545	-	-	-	9	-	-	1
佐藤裕司	教授	-	-	-	1	3	122	-	-	-	2	1	-	1
先山 徹	助教授	-	-	-	-	3	156	3	250	-	2	-	-	-
加藤茂弘	主任研究員	-	-	2	-	1	31	2	62	-	-	-	-	3
古谷 裕	助教授	-	-	1	-	6	449	5	295	-	-	-	-	-
三枝春生	助手	-	-	-	3	4	215	1	25	-	-	-	-	1
半田久美子	主任研究員	-	-	-	3	2	56	-	-	-	-	-	-	1
松原尚志	主任研究員	-	-	-	-	1	10	-	-	-	2	-	-	1
中西明德	教授	-	-	-	-	5	325	-	-	-	-	-	-	-
橋本佳明	助教授	-	-	-	-	8	635	-	-	-	9	-	-	-
沢田佳久	助手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
八木 剛	主任研究員	-	-	5	6	8	477	9	603	-	2	-	1	1
高橋 晃	教授	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋山弘之	助教授	-	-	-	-	1	160	6	180	-	9	-	-	-
高野温子	主任研究員	-	-	-	-	5	172	1	12	-	-	1	1	1
布施静香	研究員	-	-	2	-	9	396	1	90	-	-	-	18	2
江崎保男	教授	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
田中哲夫	助教授	-	2	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
三橋弘宗	講師	-	-	3	-	7	210	11	444	-	-	2	-	1
大谷 剛	教授	-	2	1	3	16	1537	2	263	7	-	-	2	-
三谷雅純	助教授	-	-	1	-	3	114	-	-	-	-	-	-	4
坂田宏志	助教授	-	-	-	-	3	179	-	-	-	-	-	-	-
横山真弓	主任研究員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
藤木大介	臨時技術職員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中瀬 勲	教授/副館長	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	1
藤本真里	助手	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	1
赤澤宏樹	講師	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	1
嶽山洋志	研究員	-	-	1	8	3	28	-	-	-	2	-	1	2
田原直樹	教授	-	-	1	8	-	-	-	-	-	2	-	-	2
宮崎ひろ志	講師	-	-	-	8	9	1056	5	398	-	2	1	-	1
客野尚志	主任研究員	-	-	-	8	13	749	2	80	-	2	-	-	1
服部 保	教授	-	-	-	-	6	327	-	-	-	-	-	-	-
石田弘明	講師	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小館誓治	助手	-	1	-	-	14	691	5	832	-	1	-	-	2
橋本佳延	研究員	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鈴木 武	助手	-	1	-	3	2	140	3	110	-	-	-	-	-
黒田有寿茂	助手	-	-	1	4	2	24	-	-	-	-	-	-	1
藤井俊夫	主任研究員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
澤田佳宏	臨時技術職員	-	-	-	3	2	57	-	-	-	-	-	-	2
合計		0	7	24	90	145	8861	56	3644	7	43	6	23	33

生涯学習事業						シンクタンク事業														
展示作成・実施						受託研究	自然環境情報調査	収蔵庫・ジーンファームの公開	行政等支援							学会開催等支援	特別プロジェクト			
常設展 (映像資料作成を含む)	企画展		ミニ企画展等		代表				分担 件数	担当 件数	実施 件数	のべ 受講者数	参画 件数	件数	質問者 数			件数	件数	
	主担当 件数	分担 件数	主担当 件数	分担 件数	件数															(受託金額 万円)
-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	12	6	15	20	45	-	-			
-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2	13	4	15	18	37	-	1			
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	16	20	8	-	-			
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	8	57	4	20	20	140	1	-			
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	12	-	4	17	20	2	-			
-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	6	-	5	7	5	-	-			
-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	19	-	13	20	64	1	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-			
-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	22	-	2			
-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	5	5	-	30	30	60	1	-			
-	-	1	-	2	-	1	60	1	-	3	30	2	30	50	70	3	-			
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	40	2	3	3	8	-	2			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	10	18	27	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	100	1	15	22	49	-	1			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	74	1	5	6	18	-	-			
1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	15	25	16	170	350	80	-	2			
-	-	-	2	-	-	1	70	2	-	5	20	8	30	100	170	-	-			
-	1	-	1	-	-	3	2312	-	1	8	24	13	97	148	130	3	1			
1	-	-	2	4	1	-	-	1	-	2	15	-	4	5	31	1	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	10	40	-	-			
-	-	-	1	-	-	3	1292.1	-	2	-	-	12	30	50	200	-	1			
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	20	30	55	-	1			
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	5	10	20	-	1			
-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	111	50	100	-	-	1			
-	-	-	1	-	-	1	30	-	-	-	-	19	-	-	200	-	-			
-	-	1	-	1	-	1	30	-	-	3	12	14	40	65	130	-	-			
-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	22	4	50	100	1	2	-			
-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	5	25	16	5	15	10	-	-			
-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-			
-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	4	2	-	-	-	1			
-	-	-	-	1	-	8	1227.5	-	-	10	50	52	175	384	160	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	1			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	107	-	-	-	10	-	-			
-	-	-	1	-	-	1	20	5	1	-	-	1	3	3	8	-	-			
-	-	1	-	-	-	1	200	-	-	-	-	1	10	12	50	-	-			
-	-	-	-	-	1	-	-	8	-	12	146	1	2	4	7	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	1	-	-	6	-	1	22	4	5	13	5	-	-			
2	1	3	20	11	9	20	5241.6	34	7	117	854	314	891	1657	1884	14	15			



博物館事業報告に関連する資料

セミナー一覧

平成 18 年度は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施しました（キャラバンを除く）。

実施日	タイトル	対象	のべ 参加者数	担当・講師
4月8日	早春の里山を観察しよう！	小学校高学年～大人、教員	22	橋本佳延
4月15日	芦屋のタンポポを見る	小学校高学年～大人、教員	17	鈴木 武
4月16日	日本列島の生い立ち	高校生～大人、教員	31	小林文夫
4月22日	都市の歩き方・名所探訪編 大阪市梅田界隈を歩く	大人	16	田原直樹
4月22日～5月14日(全4回)	ため池を探る	高校生～大人、教員、技術者	35	田中哲夫 佐藤裕司
4月23日	植物化石採集会	小学校高学年～大人	18	半田久美子
4月23日～3月11日(全13回)	ユース昆虫研究室	中学生	206	八木 剛
4月23日	古生代ってなんだ？	小学校高学年～大人、教員	17	古谷 裕
4月29日	春の六甲山ハイキング	小学校高学年～大人、教員	21	橋本佳延
4月29日	但馬のタンポポを見る 1	小学校高学年～大人、教員	26	鈴木 武
4月30日	但馬のタンポポを見る 2	小学校高学年～大人、教員	22	鈴木 武
5月7日	石の観察と見分け方 ー古墳時代から今に伝わる石材：竜山石ー	小学校高学年～大人、教員	22	先山 徹
5月13日	綾部のタンポポを見る	小学校高学年～大人、教員	17	鈴木 武
5月13日	植物観察 ー植物・植生の調べ方（初級）ー	高校生～大人、教員	22	小館誓治
5月14日	宮津のタンポポを見る	小学校高学年～大人、教員	8	鈴木 武
5月14日	植物リサーチクラブ① 植物用語の基礎知識ー花編ー	高校生～大人、教員	23	高野温子・高橋 晃 布施静香
5月16日～12月13日(全6回)	人と自然の共生を考える	高校生～大人、教員	220	八木 剛・橋本佳明 鈴木 武・宮崎ひろ志 赤澤宏樹
5月17日～7月12日(全2回)	レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 ～三田のホテルを調べる～	高校生～大人、教員	34	八木 剛
5月20日	春の石めぐりハイキング 「高砂：石の宝殿と竜山石」	小学校高学年～大人、教員	42	先山 徹 加藤茂弘
5月20日	数字とキーワードでみる地球環境問題2006	高校生～大人、教員	5	客野尚志
5月21日	やってみよう・・・春の植物観察 ー身近な草木の挿し木ー	小学生～中学生	7	毛利敏治
5月27日	水辺の生き物探検	小学生～中学生	10	三橋弘宗
5月27日	六甲山「森の植物」観察会（春）	中学生～大人、教員	21	小館誓治
5月27日～5月(全2回)	植物リサーチクラブ② 但馬海岸の植物	高校生～大人、教員	10	高橋 晃・高野温子 布施静香
5月27日	家族で体験！はちみつしぼり（1）	ファミリー	40	大谷 剛
5月27日	都市の歩き方・名所探訪編 大阪四天王寺界隈を歩く	大人	22	田原直樹
5月31日	宝塚のシダを見る	大人、教員	22	鈴木 武
6月2日～23日(全4回)	鳥の生態学いろいろ	高校生～大人、教員	120	江崎保男
6月3日	植物の不思議な利用 ー粽と柏餅と柿葉鮓と朴葉みそと・・・ー	中学生～大人、教員	52	服部 保
6月3日	川の水生昆虫観察会（芦屋川編）	小学校高学年～大人、教員	22	三橋弘宗
6月4日	古生代に繁栄した植物	小学校高学年～大人	21	半田久美子
6月7日～12月20日(全2回)	レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 ～里山を調べる～	高校生～大人、教員	79	小館誓治
6月10日～9月2日(全3回)	初級鳴く虫インストラクター養成講座	中学生～大人、教員、ファミリー	69	大谷 剛
6月10日	都市の歩き方・名所探訪編 大阪市長柄・都島界隈を歩く	大人	20	田原直樹
6月14日～9月20日(全2回)	レッツ・チャレンジ 自然環境調査入門 ～都市環境を調べる～	高校生～大人、教員	33	客野尚志・宮崎ひろ志 長谷川太一
6月14日	とっこ倶楽部 苔の観察	小学生～大人、教員	12	秋山弘之
6月14日	宝塚のシダを見る 追加版	大人、教員	21	鈴木 武
6月18日	もいちど始める昆虫採集（第6期、糞虫編）	高校生～大人、教員	4	沢田佳久
6月24日	草本群落の調べ方 ー植物・植生の調べ方（中級）ー	高校生～大人、教員	18	小館誓治
6月24日	家族で体験！はちみつしぼり（2）	ファミリー	38	大谷 剛

6月24日	都市の歩き方・まち歩きのための資料簡易講座 一名所図会の見方	大人	21	田原直樹
6月24日～25日(1泊2日)	ひめしたるアドベンチャーin 奥米地	小学校高学年	23	八木 剛
6月25日	チョウの飛ぶ街づくり	小学校高学年～大人、教員	5	中西明德
7月1日～8月25日(全5回)	プレイリーダー・トレーニング講座～技術編～	高校生～大人、教員	23	嶽山洋志
7月1日	兵庫県の活断層と近未来の大地震	中学生～大人、教員	14	加藤茂弘
7月1日	とっとこ倶楽部 梅雨のキノコ1	小学生～大人、教員	14	秋山弘之
7月2日	とっとこ倶楽部 梅雨のキノコ2	小学生～大人、教員	7	秋山弘之
7月2日	植物化石の葉脈の観察	小学校高学年～大人	10	半田久美子
7月8日	里山の小川と湿地の観察会(有馬富士公園編)	小学校高学年～大人、教員	21	三橋弘宗
7月9日	植物リサーチクラブ③ 植物用語の基礎知識 一茎・葉編一	高校生～大人、教員	32	高橋 晃・高野温子 布施静香
7月9日	小さな虫の標本作り	小学校高学年～中学生	8	沢田佳久
7月23日～7月30日(全2回)	植物の標本をつくらう	小学生～中学生	42	長谷川太一
7月23日	化石の標本作製と整理の仕方	小学校高学年～大人	10	松原尚志
7月29日	作ってみよう・・・夏休みの自由研究 いろいろな葉脈標本にチャレンジ	小学生～中学生	62	毛利敏治
8月1日～8月8日(全2回)	家族で完成! 昆虫標本	ファミリー	51	大谷 剛・沢田佳久
8月6日	石の観察と見分け方 一水晶のなかま一	小学校高学年～大人、教員	31	先山 徹
8月6日	土の中のむし	小学校高学年～中学生	7	沢田佳久
8月12日	化石のレプリカをつくらう!	ファミリー(小学2年生以上)	19	松原尚志
8月12日～10月14日(全4回)	上級鳴く虫インストラクター養成講座	中学生～大人、教員、ファミリー	42	大谷 剛
8月24日	博物館まるごと1日体験 ヒートアイランド問題を考える・手作り百葉箱づくり	高校生	5	客野尚志 長谷川太一
8月25日	三宮で化石を探そう一街の中の化石一	ファミリー	23	古谷 裕
8月29日～10月31日(全10回)	造園・景観学講座	大人、教員、技術者	260	中瀬 勲
9月9日	雪彦山のシダを見る	中学生～大人、教員	24	鈴木 武
9月10日	石の観察と見分け方一建物の石材を知ろう一	小学校高学年～大人、教員	8	先山 徹
9月16日	自然史からみた兵庫の海	高校生～大人、教員	23	佐藤裕司
9月23日	ハチの見分け方	小学校高学年～大人、教員	20	中西明德・橋本佳明
9月24日～10月8日(全3回)	兵庫の山	中学生～大人、教員	34	小林文夫
9月24日	虫の体を調べよう	小学校高学年～高校生、ファミリー	12	沢田佳久
9月30日～10月1日(全2回)	植物画を描こう	小学生～高校生	37	長谷川太一 高橋 晃
9月30日	とっとこ倶楽部 秋のキノコ1	小学生～大人、教員	13	秋山弘之
9月30日～10月1日(全2回)	森林植生の調べ方 一植物・植生の調べ方(上級)一	高校生～大人、教員	25	小館誓治
9月30日	都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県芦屋界隈を歩く	大人	22	田原直樹
10月1日	とっとこ倶楽部 秋のキノコ2	小学生～大人、教員	15	秋山弘之
10月4日～10月18日(全2回)	レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 ～ビオトープ池を調べる～	高校生～大人、教員	43	田中哲夫 佐藤裕司
10月8日	花粉の観察一化石編	小学校高学年～大人	10	半田久美子
10月8日	植物リサーチクラブ④ 秋の雪彦山	高校生～大人、教員	27	高野温子・布施静香 高橋 晃
10月8日～9日(全2回)	熱帯林とゴリラのはなし	高校生～大人、教員	18	三谷雅純
10月14日	里山植物・講義と観察 一ジーンファーム見学もあわせて一	中学生～大人、教員	53	服部 保
10月14日	親子で楽しむ鳴く虫講座	ファミリー	16	大谷 剛
10月14日	都市の歩き方・名所探訪編 大阪府茨木・摂津富田界隈を歩く	大人	13	田原直樹
10月21日	南あわじで白亜紀の地層と化石を探る	小学校高学年～大人、教員	27	古谷 裕
10月21日	チョウの見分け方	中学生～大人、教員	7	中西明德
10月22日	秋の石めぐりハイキング一野島断層と大阪層群一	小学生～大人、教員	17	加藤茂弘 先山 徹
10月22日	植物リサーチクラブ⑤ 一植物用語の基礎知識一果実編一	高校生～大人、教員	23	布施静香・高橋 晃 高野温子
10月28日	動物の歯の石膏模型を作ってみよう	小学生～大人	9	三枝春生
10月28日	都市の歩き方・名所探訪編 大阪高槻界隈を歩く	大人	16	田原直樹
10月29日	とっとこ倶楽部 晩秋のキノコ1	小学生～大人、教員	19	秋山弘之
10月29日	立体写真撮影入門	高校生～大人、教員	7	沢田佳久
11月1日	甲山のシダを見る	大人、教員	19	鈴木 武
11月2日	とっとこ倶楽部 晩秋のキノコ2	大人、教員	16	秋山弘之
11月4日	六甲山「森の植物」観察会(秋)	中学生～大人、教員	32	小館誓治
11月8日	甲山のシダを見る 追加版	大人、教員	17	鈴木 武
11月11日	秋の六甲山ハイキング	中学生～大人、教員	6	橋本佳延
11月12日	立体写真特習	高校生～大人、教員	3	沢田佳久
11月18日	博物館まるごと1日体験 植物の戦略・CDケースを使ったひつつきむし標本の制作	高校生	6	布施静香 長谷川太一
11月19日	ハチについての大誤解一正しい知識をあなたに	小学校高学年～大人、教員	22	大谷 剛
11月25日	都市の歩き方・名所探訪編 兵庫県新神戸・三宮界隈を歩く	大人	23	田原直樹
11月26日	野草を生かそう・・・草木染め	小学生～中学生	10	長谷川太一
11月26日	石の観察と見分け方 一花崗岩(みかび石)のなかま一	小学校高学年～大人、教員	23	先山 徹

12月9日	徹底解説！外来生物 ～動物・植物の現状・そして社会的課題に迫る～	高校生～大人、教員	35	坂田宏志・橋本佳延 外山万由 スティーブ・ブラウン
12月16日	つる植物を生かそう・・・リース作り	小学生～中学生	18	長谷川太一
12月16日	チョウの変異	小学校高学年～大人、教員	3	中西明德
12月23日～24日(全2回)	いっしょに学ぼう、ユニバーサルなこと	中学生～大人、教員	14	三谷雅純
1月14日～1月21日(全2回)	植物リサーチクラブ⑥ 標本の調べ方	高校生～大人、教員	28	布施静香・高橋 晃 高野温子
2月21日	レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 わたしことでの自然・環境問題	高校生～大人、教員	17	平松紳一
3月3日	ホタル幼虫の上陸観察	中学生～大人、教員	26	大谷 剛
3月11日	石の観察と見分け方 ー磁石をひきつける鉱物と地球の磁場ー	小学校高学年～大人、教員	18	先山 徹

(特注セミナー)

4月19日	照葉樹林と文化	一般団体	25	服部 保
4月29日	万葉集からみた日本の自然	一般団体	55	服部 保
6月13日	竹林の現状と課題	一般団体	19	橋本佳延
6月18日	尼崎21世紀の森	一般団体	25	服部 保
7月13日	生物種の絶滅から里山の保全へ	一般団体	54	服部 保
7月15日	平成18年度森林ボランティア講座	一般団体	70	服部 保
7月19日	照葉樹林から里山へ	一般団体	64	服部 保
7月20日	森のインストラクター養成講座「森林と人間文化」	一般団体	20	服部 保
8月3日	神戸層群の地質と化石	一般団体	10	松原尚志
8月18日	コブス虹っこプログラム 「人と自然の博物館」で昆虫採集と標本の作り方を 学びましょう！」	一般団体	20	大谷 剛
9月6日	農業と関係した外来生物	一般団体	11	鈴木 武
8月20日	フィールド観察 「巣箱内で生活するミツバチたち」	一般団体	8	大谷 剛
10月25日	環境学習リーダー入門講座「里山と湿原の保全」	一般団体	17	服部 保
11月16日	近畿日本の活断層と地震活動	一般団体	40	小林文夫
11月11日	日本の森	一般団体	34	服部 保
11月17日	外来種と生物種の 保全	一般団体	30	服部 保
11月21日	ハチ、カメムシ、ケムシに関する話	一般団体	17	大谷 剛
11月28日	原生林の鳥類群集	一般団体	12	江崎保男
11月1日	獣害の現状と対策	一般団体	37	坂田宏志
11月15日	野生動物について	一般団体	28	坂田宏志
12月2日	六甲山イノシシについて	一般団体	4	坂田宏志
12月27日	野生動物対策	一般団体	10	坂田宏志

企画展等一覧（平成18年度）

下記のような企画展、ミニ企画展ならびに関連講座を企画展示室・小企画展示室・3階ギャラリー・4階ひとはくサロン等で開催した。

【企画展】

期 間	テーマ	入場者数	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2006.2.18-6.11	古生代の世界	34500	*古谷 裕・小林文夫・三枝春生・半田久美子・沢田佳久 (以上人博)
2006.7.8-9.24	兵庫の外来生物～なんであかんの??問題と対応～	40570	*鈴木 武・田中哲夫・橋本佳延・坂田宏志・沢田佳久・秋山弘之 (以上人博)
2006.10.21-2007.1.21	虫の風林火山	79850	*八木 剛・大谷 剛・中西明德・橋本佳明・沢田佳久 (以上人博)
2007.2.17-6.10	共生の風景 ～古写真にみる暮らしと自然～	20630 (3月31日まで)	*赤澤宏樹・藤本真理・田原直樹・宮崎ひろ志・客野尚志・嶽山洋志・田中哲夫・三橋弘宗・中瀬 勲 (以上人博)

【ミニ企画展（臨時に企画される小規模な展示）】

期 間	テーマ	担当者(所属)	展示場所
2006.3.29-4.2	佐用まるごと美術館「子どもアートスクール」の世界	岸本秀子(佐用町生涯学習課)・田原直樹(人博)	4階ひとはくサロン
2006.4.1-2007.3.31	植物観察画展 (3ヶ月に1回程度展示更新)	小豆むつ子(ひとはく地域研究員)・布施静香(人博)	4階ひとはくサロン
2006.4.29-5.7	かしわもちとちまき	服部 保・澤田佳宏・黒田有寿茂(以上人博)	4階ひとはくサロン
2006.5.27, 28, 6.3, 4	六甲山のスミスネズミ展	鈴木 武・宮崎ひろ志(以上人博)	4階ひとはくサロン
2006.6.1～(随時開催)	ミュージアムティーチャーのワゴン展示(生き物展示)	長谷川太一・毛利敏治・菊池由美子・小館誓治(以上人博)	4階実験セミナー室前等
2006.6.14-7.15	昆虫標本づくりプロセス展示 (2006年トライやる成果)	大谷 剛(人博)・仲 悠・合田和樹(以上富士中学)・塩川次郎(長坂中学)	4階ひとはくサロン
2006.7.8-2006.7.31	イシガケチョウの生体展示	中西明德(人博)	4階ひとはくサロン
2006.7.11-2006.7.30	三田の野鳥写真展	三田野鳥の会・江崎保男(人博)	3階小企画展示室
2006.8.7-2006.8.31	はってなQ便覧展 ～おさるのおしりはなぜ赤い?～	矢野早紀・小西亜由美・高瀬優子・出村治香(以上人博フロアスタッフ)・三枝春生・坂田宏志・半田久美子・宮崎ひろ志・先山 徹・八木 剛・大谷 剛・沢田佳久・加藤茂弘(以上人博)	3階小企画展示室
2006.9.9-2006.11.5	自然史からみた兵庫の海 (日本第四紀学会50周年記念事業)	佐藤裕司・加藤茂弘・半田久美子・三枝春生・松原尚志(以上人博)・日本第四紀学会	3階小企画展示室
2006.9.18-2006.9.24	兵庫の絶滅危惧植物 秋～フジバカマ	鈴木 武(人博)	4階ひとはくサロン
2006.9.27-10.4	三田市立中学校理科自由研究作品展	三田市立中学校理科部会・谷川直也(人博)	4階ひとはくサロン
2006.10.9-2006.11.5	子ども植物画展2006	高橋 晃・長谷川太一(以上人博)	3階ギャラリー
2006.12.2-2007.1.21	刺すハチ, 刺さないハチ	大谷 剛(人博)	4階ひとはくサロン

2006. 12. 23-2007 . 1. 21	DPC 防災紙芝居展示会	防災とプレーパークのセンター (DPC)・藤本真理 (人博)	3階小企画展示室 4階ひとはくサロン (紙芝居実演)
2007. 1. 6-1. 21	丹波の恐竜化石展	古谷 裕・三枝春生・松原尚志・半田久美子 (以上人博)	3階エレベーター横 臨時展示スペース
2007. 2. 17-6. 10	昔はこうして暮らしてた	赤澤宏樹 (人博)	3階ギャラリー
2007. 3. 20-4. 7	知ろう活かそう三田の川 フォトコンテスト作品展	兵庫県三田土木事務所・三橋弘宗 (人博)	4階ひとはくサロン

【資料・トピックス展示 (新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示)】

期 間	テーマ	担当者(所属)	展示場所
2006. 4. 1-11. 30	吉田浩一・増田和彦コレクション (中・古生代化石)	古谷 裕 (人博)	3階トピックスコーナー
2006. 12. 1-2007. 1. 4	和田コレクション (昆虫)	中西明德 (人博)	3階トピックスコーナー

企画展関連講座

【企画展「古生代の世界」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2006. 5. 21	企画展講座「多様な絶滅生物 三葉虫：その生き様にせまる」	34	鈴木雄太郎 (静岡大学理学部)
2006. 4. 16	日本列島の生き立ち	31	小林文夫 (人博)
2006. 4. 23	古生代って何だ	17	古谷 裕 (人博)
2006. 6. 4	古生代に繁栄した植物	21	半田久美子 (人博)
2006. 6. 11	ギャラリートーク 古生代の三大スター	26	古谷 裕 (人博)

【企画展「兵庫の外来生物～なんであかんの??問題と対応」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2006. 9. 2	企画展シンポジウム 「どうする!?兵庫の外来生物」	158	岩槻邦男・坂田宏志・田中哲夫・橋本佳延 (以上人博)・荒谷邦雄 (九州大学)・三村起一 (環境省外来生物対策室)
2006. 7. 16	ギャラリートーク 外来植物	35	橋本佳延 (人博)
2006. 8. 20	ギャラリートーク 外来昆虫	22	沢田佳久 (人博)
2006. 9. 17	ギャラリートーク 外来魚	22	田中哲夫 (人博)

【企画展「虫の風林火山」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2006. 12. 2	企画展講座 「最強の昆虫, オオスズメバチ」	45	小野正人 (玉川大学)
2006. 11. 19	ギャラリートーク	8	沢田佳久 (人博)
2006. 12. 17	ギャラリートーク	7	八木 剛 (人博)

【企画展「共生の風景」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2007. 2. 18	ギャラリートーク	36	赤澤宏樹 (人博)
2007. 3. 18	ギャラリートーク	16	赤澤宏樹 (人博)
2007. 3. 25	自分のカメラを作って写真を撮ろう ～針穴写真機づくり講座～	30	赤澤宏樹・客野尚志 (人博)

【ミニ企画展「自然史から見た兵庫の海」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2006. 9. 16	自然史から見た兵庫の海 ～高塚山海進から縄文海進まで～	23	佐藤裕司（人博）

【ミニ企画展「丹波の恐竜化石展」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2007. 1. 6	恐竜化石解説	200	三枝春生（人博）
2007. 1. 7	恐竜化石解説	370	三枝春生（人博）
2007. 1. 8	恐竜化石解説	730	三枝春生（人博）
2007. 1. 13	恐竜化石解説	290	三枝春生（人博）
2007. 1. 14	恐竜化石解説	460	三枝春生（人博）
2007. 1. 20	恐竜化石解説	185	三枝春生（人博）
2007. 1. 21	恐竜化石解説	420	三枝春生（人博）

生徒・学生等の受け入れ状況

【生徒・学生等の受け入れ状況】

期 間	学 校 名	人 数	担 当 部 課 室 名
2006. 5. 30～6. 2 (I期)	八景中学校	5	自然・環境再生研究部
	ゆりのき台中学校	5	自然・環境マネジメント研究部
	富士中学校	4	総務課
	長坂中学校	1	生涯学習課
2006. 6. 6～6. 9 (II期)	藍中学校	4	自然・環境マネジメント研究部
	狭間中学校	3	自然・環境評価研究部
	けやき台中学校	2	情報管理課
	上野台中学校	2	
2006. 6. 13～6. 16 (III期)	啓明学院中学校	1	自然・環境評価研究部
			自然・環境再生研究部 情報管理課
2006. 11. 7～11. 10 (IV期)	神戸市立北神戸中学校	5	自然・環境マネジメント研究部
			自然・環境評価研究部
	池田市立渋谷中学校	1	情報管理課 生涯学習課

【博物館実習】

期 間	大 学 名	人 数	担 当 研 究 部 名
2006. 8. 21～25	高知大学	1	
	神戸大学	1	
	東京農業大学	1	自然・環境評価研究部 1
	甲南大学	1	自然・環境評価研究部 2
	滋賀県立大学	1	自然・環境マネジメント研究部 1
	南九州大学	1	自然・環境マネジメント研究部 2
	京都府立大学	1	自然・環境再生研究部
	龍谷大学	1	
	神戸芸術工科大学	1	

学校教育支援プログラム

【夏季教職員セミナー】

実施日	セミナー名	講師	参加人数
8/17 木	C01 デジタル植物図鑑に挑戦	長谷川	25
	C02 水生昆虫の調べ方（野外編）	三橋	31
	C03 野生動物との関わりを考える	坂田	24
	C04 昆虫は標本づくりから	大谷・沢田	25
8/18 金	C05 体に不自由な子ども達との野外活動入門	三谷	16
	C06 兵庫の大地の成り立ちを探る	加藤	41
	C07 ビオトープ池を考える	田中	27
	C08 水生昆虫の調べ方（室内編）	三橋	26
	C09 脊椎動物の骨格の機能と進化	三枝・長谷川	13
	C10 地層の見方・調べ方	古谷	11
8/21 月	C11 地球温暖化とヒートアイランドの現在	客野	34
	C12 子どもとふれあう身近な植物	高野・布施	34
	C13 太陽の力を測ってみよう	客野	32
	C14 地学実験講座①	先山	19
8/22 火	C15 地球大紀行～活かしている大地の素顔～	小林	35
	C16 教養としての生態学	江崎	23
	C17 公園の模型をつくろう	嶽山・赤澤	18
	C18 古環境を調べる	佐藤	6
8/23 水	C19 学校で作れる葉脈標本しおり	毛利	23
	C20 人工衛星から見た世界	宮崎	36
	C21 ハチに関する誤解を解く	大谷	30
	C22 教室で実践する温暖化対策	宮崎	20
	C23 地学実験講座②	先山	13

【平成 18 年度 遠隔授業実施状況】

実施日	相手校	学習内容	利用回線の種類	講師	参加人数
2006. 11. 30	ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校 小学部2年生	生活科 「カブトムシ・クワガタムシの 不思議パートⅠ」	Meeting Plaza 利用	大谷	28
2006. 12. 14	ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校 小学部2年生	生活科 「カブトムシ・クワガタムシの 不思議パートⅡ」	Meeting Plaza 利用	大谷	26
2006. 12. 19	ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校 小学部2年生	生活科 「カブトムシ・クワガタムシの 不思議パートⅢ」	Meeting Plaza 利用	大谷	25
2007. 3. 1	高砂市立荒井小学校3年生	理科 「昆虫のはなしパートⅠ」	Meeting Plaza 利用	大谷	40
2007. 3. 1	高砂市立荒井小学校3年生	理科 「昆虫のはなしパートⅡ」	Meeting Plaza 利用	大谷	38
2007. 3. 2	高砂市立荒井小学校3年生	理科 「昆虫のはなしパートⅢ」	Meeting Plaza 利用	大谷	39

平成17～18年度 2年間学校団体連続入館状況

学 校 名	校種	地域	来館回数				
若草保育園	保	三田市	2	播磨町立蓮池小学校	小	播磨町	2
神陵台幼稚園	幼	神戸市	2	姫路市立山田小学校	小	姫路市	2
西舞子幼稚園	幼	神戸市	2	姫路市立青山小学校	小	姫路市	2
北摂第一幼稚園	幼	三田市	8	姫路市立峰相小学校	小	姫路市	6
				姫路市立余部小学校	小	姫路市	2
保育園・幼稚園 合計 (4校)			14	宝塚市立すみれが丘小学校	小	宝塚市	3
				宝塚市立西山小学校	小	宝塚市	5
芦屋市立精道小学校	小	芦屋市	2	宝塚市立宝塚小学校	小	宝塚市	2
伊丹市立荻野小学校	小	伊丹市	2	明石市立花園小学校	小	明石市	3
伊丹市立花里小学校	小	伊丹市	2	明石市立大久保南小学校	小	明石市	2
伊丹市立昆陽里小学校	小	伊丹市	2	明石市立林小学校	小	明石市	2
伊丹市立桜台小学校	小	伊丹市	2	茨木市立玉島小学校	小	大阪府	2
伊丹市立神津小学校	小	伊丹市	2	茨木市立山手台小学校	小	大阪府	2
伊丹市立瑞穂小学校	小	伊丹市	2	茨木市立天王小学校	小	大阪府	2
伊丹市立池尻小学校	小	伊丹市	2	吹田市立東佐井寺小学校	小	大阪府	2
伊丹市立天神川小学校	小	伊丹市	2	吹田市立桃山台小学校	小	大阪府	2
加古川市立尾上小学校	小	加古川市	2	大阪教育大学附属池田小学校	小	大阪府	2
加西市立北条小学校	小	加西市	2	箕面市立西南小学校	小	大阪府	2
高砂市立北浜小学校	小	高砂市	2	綾部市立綾部小学校A	小	京都府	2
三田市立あかしあ台小学校	小	三田市	2				
三田市立けやき台小学校	小	三田市	2	小 学 校 合 計 (62校)			145
三田市立すずかけ台小学校	小	三田市	4	開明中学校	中	大阪府	2
三田市立つつじが丘小学校	小	三田市	2	関西大倉中学校	中	大阪府	2
三田市立狭間小学校	小	三田市	6	百合学院中学校	中	尼崎市	2
三田市立松が丘小学校	小	三田市	4				
三田市立武庫小学校	小	三田市	2	中 学 校 合 計 (3校)			6
三田市立母子小学校	小	三田市	3	県立有馬高等学校	高	三田市	2
三田市立弥生小学校	小	三田市	2	県立篠山鳳鳴高等学校	高	篠山市	3
三田市立広野小学校	小	三田市	3	県立柏原高等学校	高	丹波市	2
篠山市立西紀小学校	小	篠山市	2	県立網干高等学校	高	姫路市	2
神戸市立港島小学校	小	神戸市	2	県立福崎高等学校総合科学コース	高	福崎町	2
神戸市立高津橋小学校	小	神戸市	2	県立宝塚北高等学校	高	宝塚市	2
神戸市立住吉小学校	小	神戸市	2	武庫川女子大学附属高等学校	高	西宮市	4
神戸市立神出小学校	小	神戸市	2	大阪府立泉北高等学校	高	大阪府	2
神戸市立西脇小学校	小	神戸市	2	大阪府立北野高等学校	高	大阪府	2
神戸市立大池小学校	小	神戸市	2	和歌山県立海南高等学校	高	和歌山県	2
神戸市立筑紫が丘小学校	小	神戸市	2				
神戸市立藤原台小学校	小	神戸市	2	高 等 学 校 合 計 (10校)			23
神戸市立道場小学校	小	神戸市	2	関西学院大学	大	三田市	8
神戸市立有瀬小学校	小	神戸市	2				
神戸市立有野小学校	小	神戸市	2	大 学 合 計 (1校)			8
神戸市立有野台小学校	小	神戸市	2	県立神戸養護学校	養高	神戸市	2
神戸市立糺台小学校	小	神戸市	4				
西宮市立山口小学校	小	西宮市	2	そ の 他 学 校 合 計 (1校)			2
西宮市立生瀬小学校	小	西宮市	2				
西宮市立段上西小学校	小	西宮市	2	合 計 (81校)			198
川西市立加茂小学校	小	川西市	2				
川西市立川西小学校	小	川西市	2				
川西市立多田東小学校	小	川西市	2				
川西市立陽明小学校	小	川西市	2				

来館一般団体一覧

団体名	地域		
【県内】			
赤坂子ども会	相生市	緑丘小学校校区地区社会福祉協議会理事研修会	伊丹市
I H I O B会	相生市	k-maison ときめき生きがいサービス	伊丹市
山手1丁目子ども会	相生市	ときの会	市川町
親子ツアー	明石市	小室子ども会	市川町
つくんこ教室	明石市	保喜子ども会	市川町
もりもりクラブ	明石市	スポーツクラブ21あまじ	市川町
おのえレディース	明石市	リバグレス猪名川	猪名川町
明石交通安全協会	明石市	自然体験教育研究所	猪名川町
大久保ダイヤハイツ	明石市	稲美町美術協議会	稲美町
明石ハウス子ども会	明石市	加古郡稲美町教育委員会人権推進室	稲美町
スポーツクラブ21錦が丘	明石市	浄谷町老人会	小野市
魚住東コミセン高齢者大学	明石市	ひまわり倶楽部	小野市
東播建設労働組合二見分会	明石市	高田町子ども会	小野市
グッドチョイス(有)新井道場	明石市	上新町子ども会	小野市
兵庫県立明石南高等学校PTA	明石市	ふれあいセミナー	小野市
株明石機械OB会万歩四季事務局	明石市	小野市代表農会長会	小野市
読売新聞神戸西部支部なでしこ会	明石市	小野市来住町原子子ども会	小野市
アルファステイツハイム自治会・子ども会	明石市	健友会	加古川市
宿東子ども会	赤穂郡	清慶寺	加古川市
北野中子ども会	赤穂市	福友会	加古川市
高齢者大学福寿学園	赤穂市	旭少年団	加古川市
高齢者大学赤穂西学園	赤穂市	中西少年団	加古川市
諏訪平成会	朝来市	いなみの学園	加古川市
加都子ども会	朝来市	長田浜少年団	加古川市
枚田子ども会	朝来市	いかるが子ども会	加古川市
教連寺仏教婦人会	朝来市	サマート(株)太陽	加古川市
大蔵小学校クラス会	朝来市	加古川市老人大学院	加古川市
A, S, B CLUB	朝来市	平岡南中学校PTA	加古川市
コープデイズ芦屋レインボースクール	芦屋市	いきいきサロン岸の下	加古川市
NEEいなほ会	尼崎市	ひょうご平成竹取物語	加古川市
大西園芸クラブ	尼崎市	西神吉少年団大国支部	加古川市
大庄南母親クラブ	尼崎市	いきいき趣味の会加古川	加古川市
尼崎市立みのり園	尼崎市	加古川市野口町老人クラブ	加古川市
武庫地区子ども会	尼崎市	加古川市立中部中学校PTA	加古川市
アマフォレストの会	尼崎市	加古川市立尾上幼稚園PTA	加古川市
クボタ阪神労働組合	尼崎市	加古川市立若宮小学校PTA研修会	加古川市
大西社会福祉協議会	尼崎市	加古川西公民館障害児青年学級「土の子」	加古川市
尼崎市視力福祉協会	尼崎市	河内町子ども会	加西市
稲葉荘社会福祉協議会	尼崎市	西高室子ども会	加西市
西武庫公園ホテルの会	尼崎市	満久町子ども会	加西市
東大島第6社教婦人部	尼崎市	野条町子ども会	加西市
東婦人会会員一般研修	尼崎市	古坂三丁目子ども会	加西市
県立尼崎小田高等学校育友会	尼崎市	スポーツクラブ21宇仁	加西市
南塚口町8丁目緑丘福祉協会	尼崎市	網引町グラウンドゴルフ同好会	加西市
尼崎市市民局人権啓発室神崎総合センター	尼崎市	穂積子ども会	加東郡
半紙南地域ビジョン委員会エコサポーター養成講座	尼崎市	横谷老人クラブ	加東郡
海峽フレンズ	淡路市	鴨川地区子ども会	加東郡
淡路景観園芸学校	淡路市	加東市土曜ふれあい塾	加東郡
淡路島自然を愛する会	淡路市	東条町老人クラブ連合会	加東郡
木の子会	伊丹市	上郡ボランティア協会	上郡町
伊丹珠算振興会	伊丹市	兵庫県高等学校教育研究会生物部会	上郡町
第2美鈴自治会	伊丹市	寺河内区親睦旅行	香美町
日生住宅自治会	伊丹市	笹寿会	川西市
伊丹市婦人共励会	伊丹市	平成会	川西市
御願塚史跡保存会	伊丹市	なゆた会	川西市
北池尻団地自治会	伊丹市	栄根消防団	川西市
コスモハイツ自治会	伊丹市	加茂保育所	川西市
伊丹市社会福祉事業団	伊丹市	川西南保育所	川西市
阪急住宅自治会青少年部	伊丹市	川西北保育所	川西市
エンゼルハイムリバーサイド自治会	伊丹市	滝山みつわ会	川西市
伊丹市友会県市町村年金者連盟伊丹支部	伊丹市	バンビ子ども会	川西市
		錦松台子ども会	川西市
		ひまわり子ども会	川西市

豊嶋運送労働組合	川西市	コープ神戸六甲コープ委員会	神戸市
桜小地区福祉委員会	川西市	ルゼフィール伊吹台自治会	神戸市
川西健康体操クラブ	川西市	神戸市住吉ひまわり昼食の会	神戸市
萩原2丁目子ども会	川西市	神戸地区交通安全協会金賞会	神戸市
久代小地区福祉委員会	川西市	兵庫県シンクタンク等協議会	神戸市
川西市北陵地区自主防災会	川西市	兵庫県議会議員待遇者研修会	神戸市
花屋敷荘園2・3・4丁目子ども会	川西市	NPO法人ひょうご森の倶楽部	神戸市
川小校区コミュニティ推進協議会文化部会	川西市	コープこうべ生活文化センター	神戸市
山崎妙見講	神崎郡	介護老人保健施設カトレア六甲	神戸市
大河内町商工会	神崎郡	森林インストラクター兵庫支部	神戸市
飛松会	神戸市	西神南美賀多第1・2クラブ	神戸市
さくら苑	神戸市	JLC 兵庫長田支部げんきながら	神戸市
向陽病院	神戸市	神戸市兵庫区肢体障害者福祉協会	神戸市
カルム箕谷	神戸市	神戸市理科教育研究会北ブロック	神戸市
ひらめの家	神戸市	神戸市老人クラブ連合会福祉部会	神戸市
みのたに園	神戸市	垂水区神陵台地区民生委員協議会	神戸市
安高様一行	神戸市	東有野台3丁目コスモス子ども会	神戸市
長田女性会	神戸市	ボーイスカウト神戸第60団カブ隊	神戸市
鶴甲白寿会	神戸市	神戸センチュリーライオンズクラブ	神戸市
楠六自治会	神戸市	神戸ドイツ学院ヨーロッパンスクール	神戸市
摩耶クラブ	神戸市	県立学校事務職員協会神戸支部管理研究班	神戸市
木見自治会	神戸市	NPO 法人親育ち子育てファミリーアカデミー	神戸市
ガッツクラブ	神戸市	農業農村整備技術強化対策事業近畿ブロック調査計画研修会	神戸市
ひまわりの会	神戸市	神戸シルバーカレッジ生活環境コース第11期生野鳥おっかけ隊	神戸市
桜が丘自治会	神戸市	紀洋会親睦会	篠山市
小部子ども会	神戸市	真南条子ども会	篠山市
神戸YWCA	神戸市	西浜谷子ども会	篠山市
星和台婦人会	神戸市	下小野原子ども会	篠山市
日本カナダ会	神戸市	味間自然を楽しむ会	篠山市
お転婆サークル	神戸市	篠山市立古市小学校4年親子活動	篠山市
じゃんけんぼん	神戸市	社会福祉法人わかたけ福祉会ささやま通園センター	篠山市
フレンズクラブ	神戸市	佐用保育園	佐用町
塩屋消費者学級	神戸市	平福なじみ子ども会	佐用町
三菱電機(株)	神戸市	伊藤様	三田市
コミュニティ21	神戸市	ラッコの会	三田市
すまいるコーラス	神戸市	高平婦人会	三田市
元栄海1丁目町会	神戸市	たんぼぼの会	三田市
神戸青年仏教徒会	神戸市	桑原子子ども会	三田市
泉台5丁目自治会	神戸市	高次百々楽会	三田市
大池福祉自主防災	神戸市	宝塚三田病院	三田市
稗田シニアクラブ	神戸市	はっぴーさふり	三田市
浜本りつ子後援会	神戸市	ブレイスクール	三田市
北鈴蘭台子ども会	神戸市	狭間児童クラブ	三田市
コープ第5地区本部	神戸市	三田こぶしの園	三田市
ひとみ保育園卒園生	神戸市	三田わくわく村	三田市
ひょうご森の倶楽部	神戸市	三輪児童クラブ	三田市
神戸市立松尾小学校	神戸市	富士児童クラブ	三田市
平野地区連絡協議会	神戸市	緑ヶ丘子ども会	三田市
こうべにここクラブ	神戸市	キッピーフレンズ	三田市
玉津第1小学校PTA	神戸市	こぐまちゃんの会	三田市
手話サークルすずらん	神戸市	スポーツ21弥生	三田市
神戸シルバーカレッジ	神戸市	乙原子育てサロン	三田市
西山児童館エコクラブ	神戸市	親子リズムトトロ	三田市
灘区高齢者運動連絡会	神戸市	西山仲良しサロン	三田市
日の峰1丁目子ども会	神戸市	弥生が丘わかば会	三田市
北区の教育を考える会	神戸市	あおぞらディサービス	三田市
くらぶかすとむ神戸支部	神戸市	ひょうごシニアクラブ	三田市
フィールド・オブ・ゆう	神戸市	貴志ウォーキングの会	三田市
横尾小学校少年団野球部	神戸市	三田市緑ヶ丘子ども会	三田市
神戸代54カブスカウト	神戸市	三田市放課後児童クラブ	三田市
神戸野田高等学校PTA	神戸市	三田小学校第66同窓会	三田市
西脇POWERWAVE	神戸市	富士が丘6丁目子ども会	三田市
500人委員会9期生A班	神戸市	三田市立すずかけ台小学校	三田市
阪神在宅酸素患者家族の会	神戸市	兵庫県高等学校農水産部会	三田市
舞子プレーパーク子ども会	神戸市	ガールスカウト兵庫第90団	三田市
兵庫区視力障害者福祉協会	神戸市	第10回ヒメボタルサミット	三田市

三田市小学校理科担当者研修会	三田市	東中子ども会	丹波市
三田市地域子育て支援センター	三田市	とうがくサロン	丹波市
ディサービスセンターありまふじ	三田市	大名草子ども会	丹波市
社会福祉法人「風」三田わくわく村	三田市	木の根会作業所	丹波市
武庫児童クラブ武庫第2児童クラブ	三田市	丹波市屋敷自治会	丹波市
皆森会	三田市	丹波市自治会長会	丹波市
宇原老人会	宍粟市	丹波市中町公民館	丹波市
川戸婦人会	宍粟市	丹波氏婦人共励会	丹波市
段組親睦会	宍粟市	植野記念美術館施設研修	丹波市
野子ども会	宍粟市	丹波市老人クラブ連合会	丹波市
下三方婦人会	宍粟市	柏原農業改良普及センター	丹波市
県立山の学校	宍粟市	豊岡寿会	豊岡市
高下子ども会	宍粟市	山本婦人会	豊岡市
本町子ども会	宍粟市	八条公民館	豊岡市
山崎植物同好会	宍粟市	上佐野育成会	豊岡市
西安積子ども会	宍粟市	鶴岡子ども会	豊岡市
福知老人クラブ	宍粟市	南下子ども会	豊岡市
山崎地区自治会婦人会	宍粟市	大開東子ども会	豊岡市
兵庫みどり公社森のインストラクター養成講座	宍粟市	田鶴野青年クラブ	豊岡市
諸寄松寿会	新温泉町	しおかぜ青空子ども会	豊岡市
但馬読売西部七店会	新温泉町	内線工事研究会豊岡地区	豊岡市
古宮婦人会	洲本市	豊岡市日高花と緑の会員	豊岡市
淡路教育事務協議会	洲本市	吉川充	西宮市
淡路交通労働組合家族組合	洲本市	宮水学園	西宮市
竹広子ども会	太子町	砂子療育園	西宮市
塚森子ども会	太子町	春風青愛協	西宮市
糸井北子ども会	太子町	上田自治会	西宮市
石見構下老人会	太子町	市川イトコ会	西宮市
山子ども会	多可郡	西宮いずみ会	西宮市
公民館男性料理講座	多可郡	今津中水波福祉会	西宮市
蓮池婦人会	高砂市	青少年愛護協議会	西宮市
伊保西部子ども会	高砂市	教育委員会理科研修	西宮市
阿弥陀町地徳自主防災会	高砂市	高須南ボブキャッツ	西宮市
あしたば園	宝塚市	阪神シニアカレッジ	西宮市
ゆとりの会	宝塚市	上ヶ原育成センター	西宮市
川ガキくらぶ	宝塚市	神原校区老人連合会	西宮市
宝塚市環境課	宝塚市	名塩スポーツクラブ	西宮市
光明町子ども会	宝塚市	西宮市小学校生活科部会	西宮市
コミュニティ西山	宝塚市	西宮市退職教職員連絡協議会	西宮市
丸橋小学校育成会	宝塚市	兵庫県学校厚生会阪神南支部	西宮市
仁川コープ委員会	宝塚市	西宮市社会福祉協議会東山台分区	西宮市
阪神シニアカレッジ	宝塚市	西宮市上ヶ原地区青少年愛護協議会	西宮市
県改良普及職員協議会	宝塚市	西宮市社会福祉協議会甲東・段上・段上西分区	西宮市
希望の森ワークセンター	宝塚市	市原町2組	西脇市
光明会館管理運営委員会	宝塚市	坂本子ども会	西脇市
阪神シニアカレッジOB会	宝塚市	谷町子ども会	西脇市
宝塚市立小浜小学校育成会	宝塚市	羽安町子ども会	西脇市
宝塚市和泉町老人クラブ水輪会	宝塚市	明楽寺子ども会	西脇市
原子子ども会	たつの市	西脇市富田町子ども会	西脇市
末政子供会	たつの市	島尾会	姫路市
四箇子ども会	たつの市	継子ども会	姫路市
中村子ども会	たつの市	広畑婦人会	姫路市
東用子ども会	たつの市	江鮎子ども会	姫路市
浦町子ども会	たつの市	香呂子ども会	姫路市
西横内子ども会	たつの市	早瀬町自治会	姫路市
アルーラ保護者会	たつの市	大堤子ども会	姫路市
島田地区子ども会	たつの市	中屋子ども会	姫路市
龍野市町づくり塾	たつの市	塚本子ども会	姫路市
富永4丁目子ども会	たつの市	苦編こども会	姫路市
ミキミー夢食を考える会	たつの市	白浜子ども会	姫路市
兵庫県青い鳥学級運営委員会たつの教室	たつの市	四支部子ども会	姫路市
三相園	丹波市	人と自然愛好会	姫路市
たんば園	丹波市	中筋西子ども会	姫路市
石田子供会	丹波市	東多田子ども会	姫路市
阿草子ども会	丹波市	東夢カー友の会	姫路市
勅使子ども会	丹波市	地域づくり塾響喜	姫路市

ウシオ電機労働組合	姫路市	上代町5組	大阪府
五北一支部子ども会	姫路市	大空子ども会	大阪府
香寺広瀬南子ども会	姫路市	今津第四町会	大阪府
船津町宮脇子ども会	姫路市	UR都市機構	大阪府
船津町仁色子ども会	姫路市	自然大学星組	大阪府
白浜駅前丁子ども会	姫路市	奥本子ども会	大阪府
姫路更生保護女性会	姫路市	虹ます自治会	大阪府
網干自主防災連絡会	姫路市	歴史散歩の会	大阪府
ホームタウン子ども会	姫路市	おおわだ保育園	大阪府
青山北2丁目子ども会	姫路市	吹田難病連絡会	大阪府
人生を楽しく生きよう会	姫路市	タケモトピアノ	大阪府
東夢前台1丁目北自治会	姫路市	なみはや知相会	大阪府
姫路市城東町推進委員会	姫路市	高倉連合9町会	大阪府
姫路市夢前町生涯学習会	姫路市	西淡路希望の家	大阪府
北部地域づくり推進協議会	姫路市	かわかつのさと	大阪府
中播磨地球温暖化防止連絡会	姫路市	東成区薬剤師会	大阪府
知的障害者入所更正施設姫路学園	姫路市	茨木春日丘公民館	大阪府
姫路市飾磨小学校PTAかすがい教室	姫路市	K E E環境工事株	大阪府
余田子ども会	福崎町	保育園卒園生の会	大阪府
山崎子ども会	福崎町	シニア自然大学風組	大阪府
新町子ども会	福崎町	第2つくし子ども会	大阪府
西治子ども会	福崎町	茨木市立春日小学校	大阪府
板坂子ども会	福崎町	椿本カスタムチェン	大阪府
北恒屋子ども会	福崎町	稲田住宅子ども育成会	大阪府
長野町子ども会	福崎町	園芸ボランティア大地	大阪府
大村病院	三木市	国際興業大阪労働組合	大阪府
宮前町子ども会	三木市	福島区民生委員協議会	大阪府
大開町子ども会	三木市	東中本連合第14町会	大阪府
青山三丁目自治会	三木市	大阪大学総合学術博物館	大阪府
朝日ヶ丘子ども会	三木市	新森ヤローズ少年野球団	大阪府
三木市立総合隣保館	三木市	貝塚母子寡婦福祉新生会	大阪府
志染アフタースクール	三木市	ワークセンターくすのき	大阪府
中自由が丘2丁目つくし子ども会	三木市	カネカ労働組合大阪支部	大阪府
津名コープ委員会	南あわじ市	N P O法人シニア自然大学	大阪府
南あわじ地学の会	南あわじ市	旭区母と子の教励会母子会	大阪府
誠心学園保護者交流会	山崎町	島本町人権啓発推進協議会	大阪府
吉井育成会	養父市	大阪市立なにわ青少年会館	大阪府
伊佐子ども会	養父市	豊中市立花町三丁目自治会	大阪府
浦部子ども会	養父市	国土環境緑化協会近畿支部	大阪府
上箇子ども会	養父市	浅香山グリーンマンション	大阪府
大江子ども会	養父市	全日本年金者組合此花支部	大阪府
中央子ども会	養父市	しじょっこ地域合同社会見学	大阪府
中区子ども会	養父市	シャトー第2キッズサークル	大阪府
養父子ども会	養父市	登美丘西校区青少年指導委員会	大阪府
野谷子ども会	養父市	大阪アニマル&オーシャン専門学校	大阪府
上藪崎子ども会	養父市	自然環境市民大学修了生の会 空の会	大阪府
高柳地区子ども会	養父市	守口市エイフボランティアネットワーク	大阪府
小佐保育所保護者会	養父市	貯水槽管理事業協同組合	岡山県
養父市関宮文化協会	養父市	トラベルボックス	香川県
とが山学園園芸クラブ	養父市	丸亀市役所環境課	香川県
とが山学園葉草クラブ	養父市	大垣市農業委員会	岐阜県
広谷小学校地区公民館	養父市	賀陽会	京都府
建屋幼児センター保護者会	養父市	綾部自然の会	京都府
関宮生涯学習推進地区委員協議会	養父市	日本ほ乳類学会	京都府
【県外】		クニテル自治会	京都府
名古屋大学農学国際教育協力研究センター	愛知県	木津町緑化協会	京都府
今田家	大阪府	福知山学園第3翠光園	京都府
新生会	大阪府	博物館を10倍楽しむ法	京都府
ゆたか会	大阪府	京運労伏見支部藤森分会	京都府
あおげ会	大阪府	3B会	滋賀県
第2東福	大阪府	利昌工業株	滋賀県
多治女性会	大阪府	欲賀町内会	滋賀県
山一公民館	大阪府	草津第2公民館	滋賀県
下睦自治会	大阪府	長浜市消費学習研究会	滋賀県
高畑自治会	大阪府	草津市山田学区民児協	滋賀県
上原消防団	大阪府	滋賀交通フレンドツアー	滋賀県

大津コミュニティセンター
株式会社リコー
智頭町森林組合
河合町女性消防隊
矢田山町第5自治会
㈱ヤマト奥様ご招待会
読売大和八木営業所いちご狩りツアー

島根県
東京都
鳥取県
奈良県
奈良県
奈良県
奈良県

J A三次アンテナショップ生産連絡協議会
亀山市自然に親しむ会
つれもて行こう会

広島県
三重県
和歌山県

421 団体

来館学校団体一覧

学校名	地域		
【県内】			
〈小学校〉			
明石市立花園小学校	明石市	神戸市立藤原台小学校	神戸市
明石市立貴崎小学校	明石市	神戸市立道場小学校	神戸市
明石市立錦浦小学校	明石市	神戸市立南落合小学校	神戸市
明石市立大久保南小学校	明石市	神戸市立北六甲台小学校	神戸市
明石市立谷八木小学校	明石市	神戸市立有瀬小学校	神戸市
明石市立二見北小学校	明石市	神戸市立有野小学校	神戸市
明石市立林小学校	明石市	神戸市立有野台小学校	神戸市
朝来市立与布土小学校	朝来市	神戸市立糺台小学校	神戸市
芦屋市立山手小学校	芦屋市	神戸中華同文学校	神戸市
芦屋市立精道小学校	芦屋市	雲部小学校親子活動	篠山市
芦屋市立潮見小学校	芦屋市	篠山市立古市小学校	篠山市
尼崎市立上坂部小学校	尼崎市	篠山市立今田小学校	篠山市
尼崎市立清和小学校	尼崎市	篠山市立西紀小学校	篠山市
尼崎市立名和小学校	尼崎市	篠山市立大芋小学校	篠山市
尼崎市立立花南小学校	尼崎市	三田市立あかしあ台小学校	三田市
尼崎市立立花北小学校	尼崎市	三田市立けやき台小学校	三田市
伊丹市立荻野小学校	伊丹市	三田市立すずかけ台小学校	三田市
伊丹市立花里小学校	伊丹市	三田市立つつじヶ丘小学校	三田市
伊丹市立鴻池小学校	伊丹市	三田市立狭間小学校	三田市
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市	三田市立広野小学校	三田市
伊丹市立桜台小学校	伊丹市	三田市立三輪小学校	三田市
伊丹市立神津小学校	伊丹市	三田市立小野小学校	三田市
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	三田市立松が丘小学校	三田市
伊丹市立池尻小学校	伊丹市	三田市立武庫小学校	三田市
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	三田市立母子小学校	三田市
伊丹市立有岡小学校	伊丹市	三田市立弥生小学校	三田市
加古川市立西神吉小学校	加古川市	高砂市立伊保小学校	高砂市
加古川市立川西小学校	加古川市	高砂市立北浜小学校	高砂市
加古川市立尾上小学校	加古川市	雲雀が丘学園小学校	宝塚市
加古川市立氷丘小学校	加古川市	小林聖心女子学院小学校	宝塚市
加古川市立別府西小学校	加古川市	宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市
加古川市立野口北小学校	加古川市	宝塚市立安倉北小学校	宝塚市
加西市市立日吉小学校	加西市	宝塚市立西山小学校	宝塚市
加西市立宇仁小学校	加西市	宝塚市立西谷小学校	宝塚市
加西市立賀茂小学校	加西市	宝塚市立宝塚小学校	宝塚市
加西市立北条小学校	加西市	たつの市立神岡小学校	たつの市
加東市立滝野東小学校	加東郡	たつの市立西来栖小学校	たつの市
加東市立滝野南小学校	加東郡	たつの市立東来栖小学校	たつの市
加東市立東条東小学校	加東郡	丹波市立遠阪小学校	丹波市
兵庫教育大学附属小学校	加東郡	丹波市立鴨庄小学校	丹波市
香美町立香住小学校	香美町	西宮市立山口小学校	西宮市
神河町立南小田小学校	神崎郡	西宮市立夙川小学校	西宮市
川西市立加茂小学校	川西市	西宮市立生瀬小学校	西宮市
川西市立久代小学校	川西市	西宮市立西宮浜小学校	西宮市
川西市立川西小学校	川西市	西宮市立大社小学校	西宮市
川西市立多田東小学校	川西市	西宮市立段上西小学校	西宮市
川西市立北陵小学校	川西市	西脇市立比延小学校	西脇市
川西市立陽明小学校	川西市	播磨町立播磨西小学校	播磨町
神戸市立井吹東小学校	神戸市	播磨町立蓮池小学校	播磨町
神戸市立櫻野台小学校	神戸市	姫路市立香呂小学校	姫路市
神戸市立月が丘小学校	神戸市	姫路市立高浜小学校	姫路市
神戸市立港島小学校	神戸市	姫路市立山田小学校	姫路市
神戸市立高津橋小学校	神戸市	姫路市立青山小学校	姫路市
神戸市立住吉小学校	神戸市	姫路市立中寺小学校	姫路市
神戸市立神出小学校	神戸市	姫路市立峰相小学校	姫路市
神戸市立神陵台小学校	神戸市	姫路市立余部小学校	姫路市
神戸市立西脇小学校	神戸市	姫路市立林田小学校	姫路市
神戸市立大沢小学校	神戸市	三木市立自由が丘小学校	三木市
神戸市立大池小学校	神戸市	〈中学校〉	
神戸市立筑紫が丘小学校	神戸市	赤穂市立坂越中学校	赤穂市
		赤穂市立赤穂中学校	赤穂市
		赤穂市立有年中学校	赤穂市
		朝来市立生野中学校	朝来市

朝来市立和田山中学校	朝来市	兵庫教育大学	加東郡
尼崎市立南武庫之荘中学校	尼崎市	兵庫教育大学自然系地学	加東郡
尼崎市立武庫東中学校	尼崎市	青山短期大学	川西市
百合学院中学校	尼崎市	神戸学院大学人類学教室3回生	神戸市
伊丹市立天王寺川中学校	伊丹市	神戸大学農学部	神戸市
猪名川町立中谷中学校	猪名川町	神戸大学農学部(昆虫科学)	神戸市
小野市立河合中学校	小野市	関西学院大学	三田市
小野市立小野中学校	小野市	<特殊教育諸学校>	
加古川市立神吉中学校	加古川市	加西養護学校	加西市
加古川市立浜の宮中学校	加古川市	県立神戸養護学校	神戸市
加古川市立両社中学校	加古川市	神戸市立垂水養護学校	神戸市
加西市立泉中学校	加西市	神戸養護学校さわらび分教室	神戸市
加西市立善坊中学校PTA	加西市	県立北はりま養護学校	多可郡
加西市立北条中学校	加西市	三木市立三木養護学校	三木市
神戸河町立神崎中学校	神崎郡	<保育園・幼稚園>	
神戸市立御影中学校	神戸市	武庫愛の園幼稚園	尼崎市
神戸市立広陵中学校	神戸市	武庫之荘みこころ幼稚園	尼崎市
神戸市立高倉中学校	神戸市	立花愛の園幼稚園	尼崎市
神戸市立桜の宮中学校	神戸市	東条保育園	加東郡
神戸市立星陵台中学校	神戸市	三田市こぼと保育園	川西市
神戸市立西台中学校	神戸市	神戸海星女子学院マリア幼稚園	神戸市
神戸市立樋谷中学校サイエンスツアー	神戸市	神戸市立八多幼稚園	神戸市
神戸市立本山中学校	神戸市	神陵台幼稚園	神戸市
滝川中学校生物部	神戸市	西舞子幼稚園	神戸市
佐用町立三日月中学校	佐用町	名倉みふね幼稚園	神戸市
佐用町立上月中学校	佐用町	篠山市立古市幼稚園	篠山市
佐用町立上津中学校	佐用町	畑幼稚園	篠山市
宍粟市立山崎西中学校	宍粟市	やよい幼稚園	三田市
新温泉町立浜坂中学校	新温泉町	若草保育園	三田市
宝塚市立光が丘中学校	宝塚市	北摂学園幼稚園	三田市
宝塚市立宝梅中学校	宝塚市	北摂第一幼稚園	三田市
高砂市立鹿島中学校	高砂市	北摂中央幼稚園	三田市
たつの市立御津中学校	たつの市	わかばのもり保育園	宝塚市
丹波市立市島中学校	丹波市	宝塚すみれ幼稚園	宝塚市
森本中学校	豊岡市	斑鳩保育所	たつの市
豊岡市立城崎中学校	豊岡市	市島町吉見保育園保護者会	丹波市
豊岡市立日高西中学校	豊岡市	前山保育園保護者会	丹波市
西脇市立西脇中学校	西脇市	東山ぼぼ保育園	西宮市
西脇市立西脇東中学校	西脇市	<各種学校等>	
西脇市立西脇南中学校	西脇市	県立淡路景観園芸学校	淡路市
姫路市立山陽中学校	姫路市	神戸朝鮮初級中級学校	神戸市
姫路市立菅野中学校	姫路市	神戸ドイツ学院ヨーロッパンスクール	神戸市
南あわじ市立御原中学校	南あわじ市	ピーターバンインターナショナルスクール	神戸市
南あわじ市立辰美中学校	南あわじ市	【県外】	
<高等学校>		<小学校>	
クラーク記念国際高等学校 芦屋キャンパス	芦屋市	池田市立呉服小学校	大阪府
兵庫県立大学附属高等学校	上郡町	茨木市立安威小学校	大阪府
県立舞子高等学校環境防災科	神戸市	茨木市立大池小学校	大阪府
県立鈴蘭台西高等学校	神戸市	高槻市立津之江小学校	大阪府
県立篠山鳳鳴高等学校	篠山市	茨木市立玉島小学校	大阪府
県立佐用高等学校	佐用町	茨木市立山手台小学校	大阪府
クラーク記念国際高等学校 三田キャンパス	三田市	茨木市立西小学校	大阪府
県立有馬高等学校	三田市	茨木市立天王小学校	大阪府
県立宝塚北高等学校	宝塚市	茨木市立豊川小学校	大阪府
県立柏原高等学校	丹波市	高槻市立川西小学校	大阪府
県立西宮北高等学校理数コース	西宮市	吹田市立東佐井寺小学校	大阪府
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	吹田市立東山田小学校	大阪府
県立西脇工業高等学校	西脇市	吹田市立桃山台小学校	大阪府
県立姫路飾西高等学校	姫路市	大阪教育大学附属池田小学校	大阪府
兵庫県立網干高等学校	姫路市	追手門小学校	大阪府
県立福崎高等学校総合科学コース	福崎町	豊中市立桜井谷東小学校	大阪府
<専門学校>		箕面市立西南小学校	大阪府
神戸動植物環境専門学校	神戸市	池田市立細河小学校	大阪府
兵庫県立障害高等技術専門学校	神戸市	京都市立朱雀第3小学校	京都府
<大学>		綾部市立綾部小学校A	京都府
淡路園芸景観学校	淡路市		

〈中学校〉			
茨木市立西陵中学校	大阪府	大阪府立泉北高等学校	大阪府
河内長野市立東中学校	大阪府	大阪府立北野高等学校	大阪府
開明中学校	大阪府	京都府立桃山高等学校	京都府
関西大倉中学校	大阪府	京都府立福知山高等学校	京都府
守口市立梶中学校	大阪府	和歌山県立海南高等学校	和歌山県
吹田市立古江台中学校	大阪府	和歌山県立向陽高等学校	和歌山県
大阪市立高倉中学校	大阪府	〈専門学校〉	
同志社香里中学校	大阪府	徳島県立農業水産総合技術支援センター農業大学校	徳島県
豊中市立第3中学校	大阪府	〈大学〉	
京都市立嘉楽中学校	京都府	大阪大学理学部化学科	大阪府
〈高等学校〉		岡山理科大学	岡山県
千里国際学園高等学校	大阪府	〈保育園・幼稚園〉	
大阪府立住吉高等学校	大阪府	水尾幼稚園	大阪府
大阪府立城山高等学校	大阪府		
			260 校

共催および協力事業等

(他施設、他団体との連携事業)

【キャラバン事業】

地域名	開催場所(展示)	開催期間	テーマ	ビジター数
西播磨	兵庫県立大学附属高校	2006.4.24~5.2	ひとはくがやってくる2006 in 県立大学附属高校 「世界のクワガタムシ・カブトムシ大集合」	3053
阪神北	フローラ88	2006.4.28~5.7	企画展「古生代の世界」特別展示	26675
阪神北	県立有馬富士公園	2006.4.29~4.30	あなたのハチ知識—8つの間違い	10953
神戸	県立六甲山自然保護センター	2006.4.29~5.21	ひとはくキャラバン in 神戸 2006 六甲山の日記念企画	2271
大阪	国立民族学博物館	2006.5.5	ひとはくオリジナル遊びで楽しもう	600
神戸	県立六甲山自然保護センター	2006.5.25~6.18	ひとはくキャラバン in 神戸 2006 六甲の日記念企画	758
丹波	兵庫県立丹波の森公苑	2006.6.4	世界と繋がる丹波の化石	8000
淡路	三原ショッピングプラザパルティ	2006.7.1~7.14	海底、地下、学校に眠る化石	1519
中播磨	姫路市伊勢自然の里	2006.7.21~8.3	ひとはくがやってくる'06 in 姫路 「地域の環境と生物多様性」	948
丹波	春日農村改善センター	2006.7.21~8.5	ひとはくがやってくる in 丹波 丹波・国領博~国領の自然・歴史文化・暮らしに関する展覧会~	1032
神戸	県立六甲山自然保護センター	2006.7.22~8.20	六甲山にちなむ生き物たち	2424
東播磨	明石市立文化博物館	2006.7.22~8.31	化石展—化石が語る生物の進化と太古の明石— 人博キャラバン in 明石	5341
但馬	但馬長寿の里	2006.8.5~8.21	ひとはくキャラバン in 但馬 川に棲むもの・山に棲むもの	743
阪神北	神戸三田新阪急ホテル	2006.8.14~8.15	神戸三田新阪急ホテル第六回納涼夏祭り	2007
淡路	淡路ワールドパーク ONOKORO	2006.8.19~8.31	太古からの贈り物・海の怪物	15515
神戸	県立神戸生活創造センター	2006.10.13~10.22	六甲山の人と自然	1649
阪神北	猪名川町生涯学習センター	2006.10.13~10.25	ひとはくキャラバン「猪名川の今を知る」 —めざせ清流猪名川—	5735
阪神北	県立有馬富士公園	2006.10.21~10.22	ハチに似た虫たち—ハチ擬態の世界	5078
丹波	兵庫県立丹波の森公苑	2006.10.28~10.29	ひとはくがやってくる in ふれあいフェスティバル	40000
阪神南	芦屋市市民センター	2006.2.21~3.5	ひとはくキャラバン 「芦屋川の自然と外来生物たち」	7320
北播磨	小野市うるおい交流館エクラ	2006.3.8~3.19	ひとはくがやってくる'06 in 小野	10745

1. 上郡町(西播磨)

キャラバン参画者の所属

兵庫県立大学附属高等学校

セミナー

なし

2. 三田市(阪神北)

キャラバン参画者の所属

フローラ88ショッピングセンター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「ひとはくの触って当 てよう!」クイズ	5.3-5.5 13:00~14:00	フローラ 88 特設 ステージ	257	化石や貝、水草に触って、どんな種類のものか を当ててもらう	古谷 裕, 松 原尚志, 高野 温子

3. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

県立有馬富士公園、三田市立有馬富士自然学習センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ひとはく研究員による自然観察ツアー	4.29 11:00~12:30	有馬富士公園	29	有馬富士公園内を散策し、昆虫の解説を行う	大谷 剛
ひとはく研究員による自然観察ツアー	4.29 13:30~15:00	有馬富士公園	24	有馬富士公園内を散策し、植物の解説を行う	小館誓治

4. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

県立六甲山自然保護センター

セミナー

なし

5. 吹田市（大阪）

キャラバン参画者の所属

NPO法人人と自然の会、ひとはく連携グループrun♪run♪plaza、考古楽者、九州国立博物館、ボランティアグループ等

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石ジグソーパズルに挑戦!	5.5	国立民俗学博物館	3セミナー	三葉虫などの化石のオリジナル・ジグソーパズルに挑戦してもらう	古谷 裕
わなげで遊ぼう	5.5	国立民俗学博物館	合計	手作りわなげゲームに挑戦してもらう	客野尚志
ガーネットでしおり作り	5.5	国立民俗学博物館	600	ガーネットを拾い出してオリジナルしおりを作る	加藤茂弘

6. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

県立六甲山自然保護センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ミニ講演会「六甲山の謎に迫る」：六甲山開祖の碑はどこに？、スミスネズミとギュリキマイマイ	6.3 14:00~15:00	県立六甲山自然保護センター	20	六甲山開祖の碑や六甲山原産の生物にまつわる話をリレートーク形式で	宮崎ひろ志, 鈴木 武

7. 丹波市（丹波）

キャラバン参画者の所属

県立丹波の森公苑

セミナー

なし

8. 南あわじ市（淡路）

キャラバン参画者の所属

南あわじ市教育委員会、南あわじ地学の会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
石灰岩のペーパーウェイトづくり	7.2 13:00～15:00	三原ショッピング プラザパルティ	13	切断してある石灰岩を使ってペーパーウェイトをつくる	小林文夫
化石発掘体験会	7.9 10:00～15:00	淡路ふれあい公園	34	公園内の工事残土からアンモナイトなどの化石を探す	古谷 裕, 小林文夫

9. 姫路市（中播磨）

キャラバン参画者の所属

伊勢自然の里，環境学習センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ため池の生物多様性	7.22 10:00～12:00	伊勢自然の里，環 境学習センター	11	ため池の環境と水生生物の多様性について解説	田中哲夫
葉脈標本作り体験	7.27, 8.1 10:30～12:00	伊勢自然の里，環 境学習センター	30	葉脈標本作りをおして植物のつくりを学習する	長谷川太一
太陽の力を体感しよう	7.27, 8.1 13:00～14:30	伊勢自然の里，環 境学習センター	22	いろいろな方法で太陽の力を測定し太陽の力について考える	客野尚志

10. 丹波市（丹波）

キャラバン参画者の所属

国領地区社会教育振興会，進修火の鳥の会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
微化石で探る丹波の大地の成り立ち	7.30 13:00～16:00	国領農村改善セン ター	21	微化石を使って丹波の大地の成り立ちを探り，地層を観察する	古谷 裕
ワクワク昆虫採集とたのしい昆虫のお話	8.3 13:15～16:00	国領農村改善セン ター	72	昆虫の採集と標本作り。昆虫にまつわるお話	大谷 剛

11. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属

神戸県民局

セミナー

なし

12. 明石市（東播磨）

キャラバン参画者の所属

明石市立文化博物館

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石レプリカづくり	8.6 13:30～	明石市立文化博物館	25	石膏をつかってアンモナイトや三葉虫のレプリカをつくる	三枝春生

13. 養父市（但馬）

キャラバン参画者の所属

但馬長寿の郷づくり協議会，養父市立養父公民館

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
人博研究員による展示 解説ツアー	8.5 13:30~14:00 15:00~15:30	県立但馬 長寿の郷ギャラリー	50	展示の解説	布施静香
夏の化石探し	8.5 10:00~15:00	妙見山	25	北但馬群産化石の採集	工藤智己
里山の昆虫採集教室	8.6 10:00~15:00	県立但馬 長寿の郷ギャラリー	26	但馬長寿の里周辺での昆虫の採集	中尾淳三, 波 多野哲哉, 佐 藤隆夫
展示解説ツアー	8.6	県立但馬 長寿の郷ギャラリー	12	展示の解説	里山の昆虫採 集教室講師ら

14. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属
神戸三田新阪急ホテル

15. 淡路市（淡路）

キャラバン参画者の所属
南あわじ市教育委員会, 南あわじ地学の会, 淡路ワールドパーク ONOKORO
セミナー
なし

16. 神戸市（神戸）

キャラバン参画者の所属
県立神戸生活創造センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
神戸の里山の生き物	10.14 13:30~	県立神戸生活創造 センター	30	神戸で身近な里山にいる生物を写真と解説で 紹介	今給黎靖夫
六甲山リレートーク 「六甲山原産の生き物 ースミスネズミとギョ リキマイマイ」	10.22	県立神戸生活創造 センター	25	六甲山のスミスネズミとギョリキマイマイな どの講演	金子之史, 東良 雄

17. 猪名川町（阪神北）

キャラバン参画者の所属
猪名川町教育委員会（猪名川町・生涯学習センター・図書館），兵庫県河川課

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
猪名川町白金で聞く鳴 く虫たち	10.15 17:00~19:00	生涯学習センター	24	キャラバン展示を利用して鳴く虫の解説に続 いて観察会を実施	大谷 剛
川虫を観察して封入標 本を作ろう	10.21 14:00~16:30	生涯学習センター	14	猪名川の水生昆虫観察に続いて封入標本の作 製	三橋弘宗
川虫を観察して封入標 本を作ろう	11.11 14:00~16:00	生涯学習センター	10	封入標本の仕上げ	三橋弘宗

18. 三田市（阪神北）

キャラバン参画者の所属
県立有馬富士公園、三田市立有馬富士自然学習センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
ひとく研究員による自然観察ツアー	10.21 11:00~12:30	有馬富士公園	29	有馬富士公園内を散策し、昆虫の解説を行う	大谷 剛
ひとく研究員による自然観察ツアー	10.21 13:30~15:00	有馬富士公園	7	有馬富士公園内を散策し、植物の解説を行う	小館誓治

19. 丹波市（丹波）

キャラバン参画者の所属

ふれあいの祭典実行委員会波の森公苑

セミナー

なし

20. 芦屋市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

芦屋市、芦屋市教育委員会、芦屋市民センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
芦屋の自然環境：森・川・海のつながり	2.24 10:00~11:30	芦屋市民センター	50	芦屋浜から六甲山流域の現状	三橋弘宗
芦屋の自然と外来生物	2.28 10:00~11:30	芦屋市民センター	45	水生生物の住める芦屋川、外来生物の脅威	田中哲夫
ヒートアイランドと芦屋川	3.3 10:00~11:30	芦屋市民センター	25	居住空間における緑と水辺の意味	客野尚志

21. 小野市（北播磨）

キャラバン参画者の所属

NPO法人 北播磨市民活動支援センター

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
兵庫の外来生物について	3.18 13:30~14:30	小野市うるおい交流館	34	兵庫の外来生物の現状と対策について解説	鈴木 武

【アウトリーチプログラム（出店など）】：博物館と1対1で連携している場合

No.	地域	タイトル	実施場所	実施期間	博物館の関わり方	連携施設・団体	内容種別
1	猪名川町	清流猪名川を取り戻そう町民運動	猪名川町	3ヵ年	協定	猪名川町	委員会への参画と助言
2	大阪府	国立民族学博物館特別展「みんなくキッズワールド：こどもとおとなをつなぐもの」	国立民族学博物館	2006.3.16-5.30	協力	(主催)国立民族学博物館	館外展示
3	猪名川町	「猪名川町生涯学習カレッジリバグレス猪名川自然と環境コース」	猪名川町生涯学習センター	2006.5.20-2007.3.3	協力	猪名川町中央公民館	講演、館外セミナー
4	鳥取県	第5回ホテル展 ホタル・鳥取一ひとの共存一	鳥取市歴史博物館	2006.6.3-6.25 (内6.18講演)	協力	鳥取市歴史博物館	講演、展示資料貸出、展示内容に関する指導・助言

5	奈良県	虫まつり	橿原市昆虫館	2006.6.4	協力	橿原市昆虫館	出展
6	洲本市	淡路島の化石展 ー7000 万年前の生き物たちー	洲本市立淡路文化史料館	2006.7.15-9.24	協力	洲本市立淡路文化史料館	館外展示 講演
7	豊岡市	『第4回ミニ企画展「世界のクワガタ大集合！」』	但馬国府・国分寺館	2006.7.21-8.31	協力	豊岡市教育委員会 文化振興課但馬国府・国分寺館	展示物貸出
8	淡路市	奇跡の星の植物館夏休み企画展 「恐竜と花展」	兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」	2006.7.22-8.31	共催	(主催)兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	館外展示
9	佐用郡	さよう子どもアートスクール2006 ～兵庫県立人と自然の博物館”子ども研究員”モデル事業～	佐用町内	2006.7.27-2007.2.11	共催	(主催)佐用町生涯学習課(佐用町子どもの居場所づくり推進協議会)	館外セミナー・イベント
10	二戸市	”化石に学ぶふるさとの歴史” 「かつて二戸は熱帯だった!化石展」	二戸市立二戸歴史民俗資料館	2006.8.1-8.31	協力	(主催)二戸市立二戸歴史民俗資料館	館外展示
11	加西市	加西の自然環境展(仮)	アスティア加西交流センター及び集会室 玉丘史跡公園周辺 ～長倉池～ 兵庫県立播磨農業高等学校周辺	2006.8.4-13	協力	加西市生活環境部	夏季展示会への出展
12	姫路市	土壌の観察会	姫路市自然観察の森	2006.8.20	協力	日本土壤肥料学会	土壌の観察学会のイベントを支援 講師派遣
13	赤穂郡	西播磨エコプレイヤー塾	西播磨全域	2006.8.22-12.12 (内9.12,12.5講演)	協力	兵庫県西播磨県民局 環境課	
14	神戸市	防災未来館企画展 「10.23 新潟県中越地震から2年。KOBE からのエール」	防災未来館	2006.10.20-12.10	協力	人と防災未来センター	館外展示
15	豊岡市	第2回豊岡市竹野地域市民文化祭 竹野地区館展	竹野地域内各地区 公民館	2006.11.1-11.5	協力	豊岡市竹野地区公民館	館外展示
16	三田市	第32回 さんだ農業まつり	パスカルさんだ駐車場 J A兵庫六甲 三田支店駐車場	2006.11.11 2006.11.12	協力	兵庫六甲農業協同組合三田営農 総合センター	館外展示
17	淡路市	淡路夢舞台ラン展2007	兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」	2007.1.20-2.18	協力	財団法人淡路花博記念事業協会	館外展示
18	神戸市	第3回 県土を学ぼう!キッズプロジェクト年次発表会(仮称)	神戸文化ホール	2007.2.16	後援	兵庫県県土整備部 県土企画局 技術企画課	その他
19	東京都	国際協力公開シンポジウム 「ボルネオ島での生物多様性保全の経験と今後必要な取り組み」	国際協力総合研修所国際会議場	2007.3.17	共催	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	シンポジウム

【有馬富士公園との連携】

No.	タイトル	実施場所	実施期間	博物館の 関わり方	連携施設・団体	内容 種別
1	あなたのハチ知識ー8つの間違い	三田市立有馬富士 自然学習センター	2006.4.29-7.17	共催	三田市立有馬富士自然学習センター	館外展示

2	ひとつはく連携企画展 「ハチに似た虫たちーハチ擬態の世界」	三田市立有馬富士 自然学習センター	2006.10.23-12.3	共催	三田市立有馬富士自然学習セン ター	館外展示
---	----------------------------------	----------------------	-----------------	----	----------------------	------

【県民、NPO等との連携事業】：博物館と複数の団体が連携している場合

No.	地域	タイトル	実施場所	実施期間	博物館の 関わり方	連携施設・団体	内容 種別
1	三田市	「かわいい虫をみつけよう！！①～③」	深田公園	2006.3.21, 2006.4.16, 2006.5.21	共催	(主催)ひとつはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza	館外セミナー・イベント
2	三田市	第10回ヒメボタルサミット	兵庫県立人と自然の博物館	2006.4.15	協力	(主催)第10回ヒメボタルサミット実行委員会	館内シンポジウム
3	三田市	フローラ88 イベント	フローラ88	2006.4.28-5.7 (展示) 2006.5.3-5 (クイズ)	協力	フローラ88	化石に関する展示 クイズイベントの実施
4	大阪府	国立民族学博物館 「みんなくキッズフェス2006」	国立民族学博物館	2006.5.5	参加	国立民族学博物館	イベント 「みんなくキッズフェス2006」への参加
5	神戸市	お父さんとお母さんの勉強会	頌栄保育園	2006.5.12	協力	頌栄保育園	両親・保育園職員 対象昆虫に関する講演
6	神戸市	小学校自然学校	兵庫県立人と自然の博物館およびハチ高原	2006.5.17 2006.5.20 2006.5.21	協力	神戸市立道場小学校	小学生対象昆虫に関する講演および標本作り
7	篠山市	宮沢賢治セミナー・篠山「イーハトーブのクワトリ～宮沢賢治に学ぶ人と生きものたちの共生」	篠山市民センター	2006.5.20	後援	(主催)宮沢賢治セミナー・篠山実行委員会	館外シンポジウム
8	三田市	かわいい虫を見つけよう！～春バージョン～スペシャル企画 「今年はホテルを見に行こう」	三田市立フラワータウン市民センター	2006.6.3	共催	(主催)ひとつはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza	館外セミナー・イベント
9	丹波市	姫ボタルまつり	薬草薬樹公園リフレッシュ館	2006.6.10-7.16	共催	(主催)姫ボタルまつり実行委員会	館外セミナー・イベント
10	芦屋市	・芦屋川探検隊(モクズガニの遡上をみんなで助けよう) ・あしや村復興プロジェクト(市民の手で作る環境学習センター)	芦屋市内	2006.6.3	共催 協力	特定非営利活動法人さんびいす	モクズガニの保護・観察 青少年野外活動センターの再生
11	三田市	NPO法人さんぼくらぶスタッフ研修 「昆虫標本の作り方」	道場地域福祉センター	2006.6.18	協力	NPO法人さんぼくらぶ	昆虫標本の作り方の指導及びアドバイス
12	三田市	挿し木で育てる希少山野草-2-	兵庫県立人と自然の博物館	2006.6.24	協力	ひとつはく連携活動グループ「希少植物研究会」	館内セミナー

13	三田市	ミニ企画展 「三田の野鳥写真展」	兵庫県立人と自然 の博物館	2006.7.11-7.30	共催	(主催)三田野鳥の会	館内展示
14	神戸市	小中学・高校生の科学教室 「宝石の世界・鉱物の不思議」	神戸国際会議場	2006.7.23	後援	IMA2006-Kobe 組織委員会	小学校高 学年・中 学生・高 校生対象 鉱物に関 する講演
15	西脇市	昆虫展 「北はりまと世界の昆虫 展&ハチの不思議」	北はりま田園空間 博物館	2006.8.3-8.13	協力	(主催)特定非営利活動法人北 はりま田園空間博物館	館外展示
16	三田市	神戸三田新阪急ホテル 第六回納涼夏祭り	神戸三田新阪急ホ テル	2006.8.14-15	協力	神戸三田新阪急ホテル	館外イベ ント
17	神戸市	親子であつまれ自然遊び 塾10 「昆虫をさがして標本を つくろう」	しあわせの村研修 館(神戸市北区)	2006.8.19	協力	NPO法人 社会還元センタ ーグループ わ	講師派遣
18	篠山市	こども冒険ひろば 「丹波の魚たち」	いぬいふくし村	2006.8.19	共催	NPO法人 いぬいふくし村	館外講演
19	伊丹市	ガキクラキャンプ	伊丹市立野外活動 センター	2006.8.26-27	協力	ガキッコクラブ	館外イベ ント
20	宝塚市	「第2回 みやまあかね 祭」	宝塚ゴルフ倶楽部	2006.8.28	共催	みやまあかね委員会	館外イベ ント
21	三田市	SANDA SUMMER STAGE 2006	三田市深田公園	2006.9.2	協力	SANDA SUMMER STAGE 2006 実行委員会	館外イベ ント
22	三田市	ミニ企画展 「自然史から見た兵庫の海」	兵庫県立人と自然 の博物館	2006.9.9-11.5	共催	日本第四紀学会	館内展示
23	川西市	鳴く虫観察会	一庫公園	2006.9.10	協力	ひとくらクラブ	館外セミ ナー
24	福島県	NPO法人はるなか自然 環境講演会・昆虫展	福島県立博物館	2006.9.15-9.24	共催	特定非営利活動法人 はるな か	館外展 示・講演
25	尼崎市	シニアウォーキング入門 教室	尼崎市内	2006.10.10 2006.10.24 2006.11.28 2006.12.12 2007.1.9 2007.1.23	協力	財団法人尼崎市高齢者生きが い促進協会	野鳥・昆 虫・植物 の観察会
26	篠山市	丹波篠山の地域研究	兵庫県立篠山鳳鳴 高等学校	2006.10.11	共催	兵庫県立篠山鳳鳴高等学校	館外講演
27	川西市	はっけん!たまたま箱 ～未来の動物学者たちへ	一庫公園ネイチャ ーセンター	2006.10.21・22	協力	財団法人兵庫県園芸・公園協会 一庫公園管理事務所	館外セミ ナー
28	神戸市	平成18年度農業農村整 備技術強化対策事業近畿 ブロック調査計画研修会	水土里ネット兵庫 (兵庫県土地改良 事業団体連合会)	2006.10.31-2006 .11.2	協力	兵庫県土地改良事業団体連合 会	館外セミ ナー
29	尼崎市	葉脈標本作りとしおり作 成	尼崎市立浜田小学 校	2006.11.8	共催	尼崎市立浜田小学校	館外セミ ナー
30	神戸市	地球だい好き環境キャン ペーン植物画教室・展示	NHK神戸放送局 トアステーション 展示ギャラリー	2006.11.11-11.16	共催	NHK神戸放送局	館外展示
31	三田市	「知ろう、活かそう、三 田の川」プロジェクト	兵庫県立人と自然 の博物館	2006.11.23	共催	兵庫県阪神北泉民局県土整備 部三田土木事務所	セミナー・シン ポジウム その他
32	神戸市	昭和初期の六甲山を探る 現地見学 「阪神 VS 阪急ー六甲山 開発の思いは」	六甲山周辺	2006.11.23	共催	六甲山の生活文化を探る会	セミナー

33	神戸市	市民と大学の環境フォーラム	神戸大学百年記念館	2006. 11. 26	協力	神戸大学発達科学部	館外展示 シンポジウム
34	篠山市	篠山市小学校長会 研修会	篠山市立篠山小学校	2006. 12. 6	協力	篠山市小学校長会	館外セミナー
35	高砂市	竜山石フォーラム 「竜山石を語ろう 2006 ～石の文化とまちづくり～」	ふれあいの郷生石 研修センター	2006. 12. 3	後援	高砂市教育委員会	シンポジウム
36	三田市	日本昆虫学会近畿支部大会・日本鱗翅学会近畿支部第 133 回例会合同大会	兵庫県立人と自然の博物館	2006. 12. 16	共催	日本昆虫学会近畿支部	シンポジウム
37	淡路市	北淡活断層シンポジウム 2007	兵庫県淡路市小倉・北淡震災記念公園	2007. 1. 13	共催	北淡活断層シンポジウム実行委員会	シンポジウム
38	伊丹市	阪神・淡路大震災 犠牲者追悼のつどい ＝あなたの重いを灯してください＝～失った命の数をロウソクの灯火に込めて～	伊丹市昆陽池公園	2007. 1. 16-1. 17	協力	ボランティア団体 ユウ・アイ・アソシエーション	館外イベント
39	神戸市	ゆめさがし隊将来こんな仕事をやってみたいヨ	神戸市立有野児童館	2007. 2. 14	協力	有野児童館	館外セミナー
40	東京都	国際協力公開シンポジウム 「ボルネオ島での生物多様性保全の経験と今後必要な取り組み」	国際協力総合研修所国際会議場	2007. 3. 17	共催	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	シンポジウム
41	三田市	タネから育てる希少山野草	兵庫県立人と自然の博物館	2007. 3. 21	協力	ひとはく連携活動グループ 「希少植物研究会」	セミナー
42	三田市	有馬富士自然学習センターの職員交流員養成講座	有馬富士自然学習センター兵庫県立人と自然の博物館	2007. 3. 31	共催	特定非営利活動法人 キッピーフレンズ	館外セミナー

理数ワンダーランドひとはくサイエンスショー出展者一覧

No	タイトル	所属	氏名	備考
1	身近な植物で水溶液を仲間わけしよう	丹波市立西小学校	細見隆昭	11月3日
2	遊ぶ電気は自分で起こそう	神戸市立有野北中学校	佐藤善信・佐藤千寿子	12月17日、2月18日
3	人工イクラ時計をつくろう	丹波市立和田中学校	中西勝廣	11月3日、12月17日
4	リサイクル楽器でリサイクル	篠山養護学校	足立晃一郎	11月3日、12月17日、2月18日
5	室内でも揚がる手作り凧	篠山養護学校	足立晃一郎	12月17日
6	ソーラーエネルギー～太陽熱集熱器の作成	県立鈴蘭台西高等学校	繁戸克彦・深水正和・荒田絵美理	11月3日
7	眼の不思議～ブタの眼の解剖	県立鈴蘭台西高等学校	繁戸克彦・深水正和・荒田絵美理	11月3日
8	万華鏡をつくる	県立御影高等学校	清水敏一・橋本喜一	11月3日
9	直視カメラの作成	県立宝塚北高等学校	安達泰二	11月3日
10	かんたん紙飛行機と発射台	県立宝塚東高等学校	吉田英一	11月3日
11	台所で遺伝子 (DNA) を取り出そう	県立長田高等学校	中西敏昭・千家弘行	11月3日
12	接着剤でうごく船をつくろう	県立神戸高塚高等学校	浮田 裕	11月3日
13	ドロドロ物体のふしぎ	県立伊丹北高等学校	谷口真日東	11月3日、2月18日
14	ボンボン蒸気船をつくろう	県立氷上西高等学校	足立幸謙	11月3日、12月17日、2月18日
15	フランクリンモーターをまわそう	県立西宮今津高等学校	北方英二	12月17日
16	笛をつくろう	県立三田祥雲館高等学校	三戸尚美・景山嘉裕	12月17日
17	豚足でつくる骨格標本	県立神戸高等学校	稲葉浩介・片嶋智之	12月17日
18	ミンミンゼミをつくろう	県立篠山鳳鳴高等学校	宇治宮隆文・森田かずみ、徳永優子	12月17日
19	ふしぎな茶わん	県立柏原高等学校	尾松浩明	12月17日
20	海にもホテル	県立有馬高等学校	土居恭子・大林奈園	12月17日、2月18日
21	日時計をつくろう	県立有馬高等学校	谷川智康	2月18日
22	紫キャベツで二酸化炭素センサー	県立伊川谷北高等学校	名生修子・那須久代・戎井一史	12月17日、2月18日
23	備長炭で電池をつくろう	県立柏原高等学校	小西邦和	2月18日
24	水のふしぎを体験しよう	県立柏原高等学校	石井 理	2月18日
25	-196℃の世界を体験しよう	県立明石高等学校	東田純一・山口正義・徳麻衣子・井俣由貴史	2月18日
26	光合成ペンダントをつくろう	県立宝塚高等学校	篠谷和彦	2月18日
27	石をみがいて「ぶんちん」をつくろう	神戸市立摩耶兵庫高等学校	常深俊規・岩崎みずず	2月18日
28	心臓いろいろ聴診器をつくろう	神戸市立楠高等学校	山本恵昭・山口奈緒	2月18日
29	ウミホテルの発光のしくみを調べる	甲南大学理工学部	道之前允直	11月3日
30	のり巻きの海苔はなぜ黒色なの？	甲南大学理工学部	道之前允直	2月18日
31	ツーエンジンボートをつくろう	神戸市水の科学博物館	齋藤賢之輔・大平雅子	12月17日
32	よく飛ぶストローロケットをつくろう	神戸市水の科学博物館	齋藤賢之輔・神原佐知子	2月18日
33	不思議な電池を作ろう	たつの児童科学館	上田智勝	11月3日
34	電気のしくみを体験しよう	関西電力㈱	不老地政臣・玉置修・東浦美保子	11月3日、2月18日
35	バランストンボをつくろう	ケニス㈱	玉谷勝彦・藤山心	12月17日、2月18日
36	ぶんぶんゴマをつくろう	啓林館㈱	桜木輝秀	2月18日
37	ヒューマノイドロボットとあそぼう	ビー・エル・オートテック㈱	上道俊雄・曾我卓之・田口千代子	2月18日
38	空力ボディ	トヨタ自動車㈱社会貢献グループ	深田敏昭ほか9名	2月18日
39	摩擦がないときの物の運動	学習・実験教室瑞習会	中田勝夫	11月3日
40	ミツロウでクリスマスキャンドルづくり	人と自然の会	佐竹千代子ほか	12月17日
41	勾玉づくり	人と自然の会	西義信ほか	12月17日、2月18日
42	星座万華鏡をつくろう	人と自然の会	田中慎悟ほか	2月18日
43	ナチュラルフレーム&押し花アート・勾玉づくり	人と自然の会	佐竹千代子ほか	2月18日
44	双眼実体顕微鏡をのぞいてみよう	人と自然の博物館	沢田佳久	11月3日
45	公園の模型をつくろう	人と自然の博物館	嶽山洋志	11月3日、12月17日、2月18日

46	顕微鏡写真でオリジナルカードをつくろう	人と自然の博物館	三橋弘宗	11月3日、12月17日、2月18日
47	トリビアの泉	人と自然の博物館	大谷 剛	12月17日、2月18日
48	ゾウムシ学序論	人と自然の博物館	沢田佳久	2月18日
49	私たちの新発見	人と自然の博物館	布施静香ほか	2月18日
50	偏光顕微鏡で見る鉱物と岩石	人と自然の博物館	加藤茂弘	12月17日、2月18日
51	葉脈標本しおりをつくろう	人と自然の博物館	毛利敏治	11月3日、2月18日
52	けもの歯	人と自然の博物館	長谷川太一	11月3日
53	葉脈標本をつくろう	人と自然の博物館	長谷川太一	12月17日
54	振動ブラシ虫をつくろう	人と自然の博物館	菊池由美子	12月17日
55	ブラックライトであそぼう	人と自然の博物館	菊池由美子	12月17日
56	ボルネオジャングル探検	人と自然の博物館	フロアースタッフ	11月3日、12月17日、2月18日
57	うりんぼうのごちそう	人と自然の博物館	フロアースタッフ	11月3日、12月17日、2月18日

ひとはくフェスティバル '06 参画団体リスト (順不同)

■実行委員会・後援・協賛

1. フラワータウン市民センター
2. 多世代交歓館ふらっと
3. 株式会社北摂コミュニティ開発センター
4. 兵庫県府中北県民局
5. 株式会社北摂コミュニティ開発センター
6. 財団法人 兵庫丹波の森協会
7. 神戸三田新阪急ホテル
8. J-FAS日本きのこ協会

■イベント・ステージ開催団体

1. 藍中学校吹奏楽部
2. 有馬高校吹奏楽部
3. 三田市吹奏楽団
4. 狹間中学校吹奏楽部
5. 富士中学校吹奏楽部
6. 北摂三田高校吹奏楽部
7. ゆうかり保育園
8. (SAPV)神戸市立須磨緑水旗園ボランティア
9. GREEN GRASS
10. NPO法人 人と自然の会
11. NPO法人 人と自然の会「ネイチャー・クラフトクラブ」
12. NPO法人 人と自然の会「チームかざぐるま」
13. NPO法人 人と自然の会「みつばち研究会」
14. NPO法人 人と自然の会「花工房」
15. NPO法人 人と自然の会「理科ボックスクラブ」
16. NPO法人 人と自然の会「里山クラブ」
17. ひとはく連繋活動グループ run♪run♪plaza

18. 伊丹市昆虫館友の会
19. キッズプラザ大阪
20. 九州国立博物館
21. 国見の森公園
22. 考古楽倶楽部
23. 篠山チルドレンズミュージアム「ミュージアム・クラブ」
24. ささやまの森公園
25. 三田マッキントッシュ・ユーズーズグループ (SMUG)
26. ひとはく連繋活動グループ テネラル
27. なか・やちよの森公園
28. ひとはく連繋活動グループ「希少植物研究会」
29. フィービーさんとフロアスタッフ (仮称)
30. やしろの森公園
31. ゆめさきの森公園
32. 国立民族学博物館・みんぱくミュージアムパートナーズ (共同
出展)
33. 西宮市貝類館

■出店団体

1. ガールスカウト第90団 (三田)
 2. ガールスカウト第95団 (淡路)
 3. 神戸三田新阪急ホテル
 4. さくら
 5. さとやまづくり推進協議会 企画運営会議
 6. 社会福祉法人まほろば
 7. ヒバリヒルズ
 8. ボーイスカウト三田第1団
 9. ミツカンよかおビオトープ 倶楽部
 10. 山名酒造株式会社
-

フロアサービス実績一覧

イベント名	内 容	参加者数	実施回数
デジタル紙芝居	「うりんぼのこちそう」	4524	186
	「ぶくぶくあわわ〜森から川へのおくりもの」	4311	144
	「たんぼぼレストラン」	2264	88
	「ススキ草原のオーケストラ」	2076	84
	「スミスネズミと100年の森」	579	19
展示解説	「ボルネオジャングル探検」	3174	155
	「氷上回廊」	711	55
	「ヌートリア紹介」	204	11
フロアスタッフとあそぼう	「画はくの日」	566	41
	「くるくるとぶたね」	368	22
	「リサイクルクイズ大会」	149	7
	「うきうきおりがみ」	137	10
	「葉っぱdeカルタ」	124	10
	「タンポポパーパークラフト」	120	9
	「川で魚釣り」	119	9
	「昆虫おりがみ」	109	10
	「動物すごろく」	62	5
	「メリーひとはクリスマス」	67	8
深田公園探検隊	テーマ 「秋のキノコ」「石のもよう」「お月見の花」「おやつの葉っぱ」 「水路探検」「太陽とすごす」「とり・ウォッチング」「どんぐりともみじ」 「はくぶつかん」「マン・ウォッチング」「虫取り名人」	180	11
うりんぼ じんじゃ		824	5
ひとはくモバイル作り		49	1
そのほか	(特注セミナー対応)	114	3
合計		20831	893

○外部資金導入状況

◆研究助成金

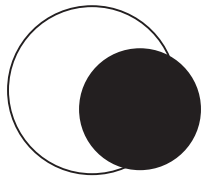
	タイトル	種類	受託者	金額 (H18年度)
1	フラクタルと自己相関による都市の空間解析とそれに基づく環境評価システムの構築	文部科学省科学研究費若手研究(B)	(代表) 客野尚志	80万円
2	ミツバチの尻振りダンスは擬似飛行ではないだろうか	文部科学省科学研究費萌芽研究	(代表) 大谷 剛	110万円
3	近隣コミュニティの緑化活動および支援制度による規範的緑地計画に関する研究 ～米国コミュニティガーデン活動を事例として～	文部科学省科学研究費若手研究(B)	(代表) 赤澤宏樹	50万円
4	後期中新世の旧世界における長鼻類の進化	日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)	(代表) 三枝春生	100万円
5	人間環境としての照葉樹林の植物学的解析 —中国と日本を対比して—	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)	(代表) 岩槻邦男, (分担) 服部 保, 石田弘明, 鈴木武, 橋本佳延, 黒田有寿茂, 澤田佳宏	832万円
6	生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表) 服部 保, (分担) 石田弘明, 小館誓治, 鈴木 武	80万円
7	地域的な堅果類の豊凶と野生動物の生息状況ならびに獣害発生のダイナミクスの解析	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)	(代表) 坂田宏志	130万円
8	「絶滅危惧種ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか?—生理学的なアプローチからの出没要因の解明—」	文部科学省科学研究費補助金 若手A	(代表) 横山真弓	640万円
9	屋久島蘇苔類相の現状把握と保全への基礎調査	日本学術振興会科学研究費基盤研究(C) (一般)	(代表) 秋山弘之	150万円
10	雌しべが動いて性が変わる:フレキシスタイリーの起源と進化に関する研究	文部科学省科学研究費若手研究(B)	(代表) 高野温子	110万円
11	アリ類の種多様性はアリグモ類の種多様性の鋳型となっているか? —熱帯林でのアリ・アリグモ共生系の解明	文部科学省科学研究費萌芽の研究	(代表) 橋本佳明	90万円
12	汎用中深度定方位サンプリング手法の開発	文部科学省科学研究費 萌芽研究	(代表) 加藤茂弘	220万円
13	ユニバーサル化をめざした視覚障害児のための理科テキストの開発	日産科学振興財団 理科/環境教育助成	(代表) 三谷雅純	30万円
14	兵庫県および国内におけるタケ類天狗巣病の蔓延による竹林の荒廃に関する緊急調査	平成18年度兵庫県立大学特別教育研究助成金	(代表) 服部 保(分担) 橋本佳延, 石田弘明, 黒田有寿茂, 澤田佳宏	130万円
15	熱帯樹木の木部解剖学的生長解析	(財)藤原ナチュラルヒストリー振興財団研究助成	(代表) 高橋 晃	60万円
16	砂州河川の生物群集の研究	(財)リバーフロント整備センター	(代表) 江崎保男	199万円
17	「水田生物多様性温存地域ホットスポットの広域的探索と農村環境再生ストラテジー水田生態系の保全再生に必要な農村環境要因は何か?—」	日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)	(分担) 三橋弘宗	80万円 (総額580万円)
18	長大活断層のセグメント区分・地下構造・活動履歴の再検討と大地震予測の総合研究	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)	(分担) 加藤茂弘	260万円 (総額570万円)
19	鮮更新世の初期人類を含まない哺乳動物相の進化古環境学的研究	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)	(協力) 加藤茂弘	60万円 (総額490万円)
20	ジャワ鮮更新世の古環境変遷と原人の出現・進化に関する研究	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)	(分担) 佐藤裕司	15万円 (総額300万円)
21	マオウ科植物の形態ならびに成分化学的多様と種分類に関する調査研究	日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)海外学術研究	(分担) 高橋 晃	— (総額420万円)
22	単子葉植物の大規模分子系統樹の構築と形態・分子データの調和による新分類体系の設立	日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)	(分担) 布施静香	— (総額160万円)
23	日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理	独立行政法人日本学術振興会二国間交流事業 (韓国との共同研究)	(分担) 布施静香	— (総額100万円)
25	対話型科学技術社会に求められる教師教育プログラムの開発と評価	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)	(分担) 中瀬 勲	— (総額3934.5万円)
合計※代表分のみ				3346万円

◆受託研究

	タイトル	種類	受託者	金額 (H18年度)
1	「「知ろう、活かそう、三田の川」プロジェクト推進における情報発信ツールの開発および市民向け講座の実施に関する委託業務」	阪神北摂民局三田土木事務所	(代表) 三橋弘宗	92万円
2	「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」	森林総合研究所	(代表) 坂田宏志 (分担) 横山真弓, 藤木大介	475.1万円
3	「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」	自然環境研究センター	(代表) 坂田宏志 (分担) 横山真弓, 藤木大介	357万円
4	「ヌートリアの分布と被害の拡大過程の解析」	森林総合研究所	(代表) 坂田宏志	460万円
5	「ひょうごの川自然環境調査における成果取りまとめ」	兵庫県県土整備部河川計画局河川計画課分任事業	(代表) 三橋弘宗 (分担) 田中哲夫	2000万円
6	「国営明石海峡公園神戸地区管理運営計画他検討業務」	日本公園緑地協会	(代表) 赤澤宏樹	30万円
7	「阪神北地域の里山林に関する調査」	兵庫県阪神北摂民局	(代表) 服部 保 (分担) 黒田有寿茂, 橋本佳延, 澤田佳宏	189万円
8	「清流猪名川を取り戻そう町民運動支援に関わる調査研究」	猪名川町	(代表) 藤本真里 (分担) 中瀬 勲, 田中哲夫, 先山 徹, 八木 剛	30万円
9	「造成工事等の植生に関する研究」	猪名川上流広域ごみ処理施設組合	(代表) 服部 保 (分担) 黒田有寿茂, 橋本佳延, 澤田佳宏	190万円
10	「尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務」	兵庫県阪神南摂民局	(代表) 服部 保 (分担) 黒田有寿茂, 澤田佳宏	110万円
11	「武庫川ダム貴重植物の育成管理業務」	財団法人ひょうご環境創造協会	(代表) 服部 保 (分担) 黒田有寿茂	40万円
12	「平成18年度オグラコウホネ等管理業務委託」	兵庫県丹波県民局	(代表) 服部 保 (分担) 黒田有寿茂	250万円
13	「平成18年度自然環境調査補足業務(経年変化調査)」	三田市	(代表) 服部 保 (分担) 石田弘明, 澤田佳宏, 橋本佳延, 黒田有寿茂	100万円
14	「平成18年度生態系総合管理基盤情報整備里山里山検討業務」	環境省	(代表) 服部 保 (分担) 橋本佳延, 黒田有寿茂, 澤田佳宏	98.5万円
15	「立体地図を用いた西播磨地域の景観写真検索システムの開発に関する研究」	西播磨県民局上郡土地改良事務所	(代表) 三橋弘宗 (分担) 客野尚志	220万円
16	「六甲山を舞台とした市民団体活動に関する調査研究」	兵庫県神戸県民局	(代表) 鈴木武 (分担) 宮崎ひろ志	200万円
17	「六甲山系の里山林ガイドと里山林の整備マニュアルの作成」	兵庫県神戸県民局	(代表) 服部 保 (分担) 澤田佳宏, 橋本佳延, 黒田有寿茂	250万円
18	「キリンビール神戸工場レフュジアビオトープに関する研究」	キリンビール株式会社	(代表) 田中哲夫 (分担) 佐藤裕司	70万円
19	企業研修「リコー親子自然教室 in 兵庫ひとほく」	株式会社リコー	(代表) 橋本佳延 (分担) 佐藤裕司, 大谷剛	20万円
20	「生息地の造成工事がヒメボタル個体群へ与える影響に関する研究」(責任者)	猪名川上流広域ごみ処理施設組合	(代表) 八木 剛	60万円
	合計			5241.6万円

◆事業助成

	タイトル	種類	受託者	金額 (H18年度)
	ボルネオジャングル体験スクール	日本児童教育振興財団	(代表) 三浦忠保	170万円
	ボルネオジャングル体験スクール	クラーク記念国際高校	(代表) 三浦忠保	40万円
	全国科学系子供教室推進事業	子供教室推進事業運営協議会	(代表) 中瀬 勲	649.777万円
	平成18年度地域科学館連携支援事業 「私のまちの環境マップをつくらう」	独立行政法人 科学技術振興機構 (J S T)	(代表) 生涯学習課	980.965万円
	平成18年度理数大好きモデル地域事業	独立行政法人 科学技術振興機構 (J S T)	(代表) 生涯学習課	158.018万円
	合計			1998.76万円



利用案内

■観覧時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分）

■休館日 毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）
 年末年始（12月28日～1月2日）
 臨時休館日（1月21日～2月7日を予定）

■観覧料 観覧料（平成18年4月1日現在）

区分	個人	団体（20人以上）
大人*	200円	150円
高・大学生	150円	100円
小・中学生（県外）	100円	70円
小・中学生（県内）**	無料	

*：障害者（介護者1名を含む）及び県内在住の65歳以上の方は半額

**：県内在住・在学の小・中学生はココロカードの提示により無料

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。（客席数500）

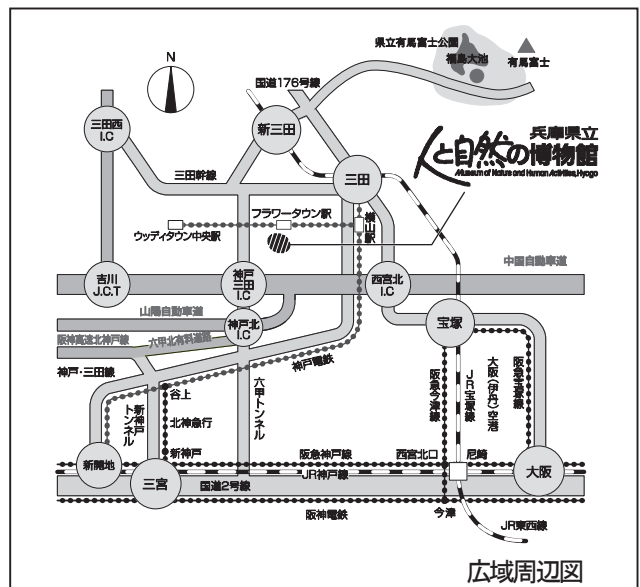
使用料（平成18年4月1日現在）

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
（土日祝）	5,500円	7,000円	12,500円
（平日）	4,400円	5,600円	10,000円

なお、附属設備の料金については別紙に定めます。

■交通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。
 神姫バスフラワータウンセンター前下車すぐ。
 中国自動車道神戸三田より5分。

■駐車場 バス 13台 無料（要予約）
 普通車および近隣の有料駐車場をご利用ください。



編集

企画調整室企画調整グループ
(担当) 橋本佳延

表紙イラスト

イザワ イツハ

編集後記

本年度の館報では個人業績の一覧表や外部資金の導入状況をまとめた表などを加えたほか、研究員一人一人の顔がみえる体裁に整えるなどの改善を行いました。より多くの方々に人と自然の博物館の事業や研究の内容についてご理解をいただければと願っています。

館報 2006

編集・発行 兵庫県立人と自然の博物館
〒669-1546 兵庫県立三田市弥生が丘6丁目
TEL (079) 559-2001 (代表)
*博物館ではインターネットでも情報を提供しています。
URL <http://www.hitohaku.jp/>

発行年月日 平成19年6月30日
印刷 株式会社廣濟堂



ANNUAL REPORT
Of
Museum Of Nature and Human Activities, Hyogo
For The Fiscal Year Of 2005
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan